

平成17年度（2005）

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会

第11回総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会

三重大会報告書

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会

会長あいさつ

『高校福祉教育の目指すもの』



全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 会長
学校法人東奥学園 理事長・東奥学園高等学校 校長 高橋 福太郎

全国高等学校長協会家庭部会と同福祉科高等学校長会主催による第11回総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会が、去る17年8月9日・10日の2日間三重県津市で開催されました。大会に出席された多くの方々の福祉教育に対する熱い思いが、この夏の暑さを吹き飛ばす勢いで無事終了することができましたことを大変喜ばしく思っております。まさに、参加された方々の熱い情熱に支えられた、益々進化発展を遂げつつある我が国の福祉教育の巨大なパワーを実感できた2日間であったと感じております。

学習指導要領の改訂に伴い15年度より高校教育に新たに誕生した教科「福祉」は、これからの日本が確実に迎える将来を、両手でしっかりと受け止めることのできる教科の一つであると私は考えております。そして「福祉」教育は、単に高齢者や障害者のケアのための知識・技能を修得するだけでなく、同教科・科目履修を通して人間としての「在り方」「生き方」を学び考え、更には「思いやり」の心や人間として生きていく上での「優しさ」とは何かを考えるものであるとも考えております。そのようなことからすると、教科「福祉」は高等学校における一種の「道徳」教育に値するものといえるのではないのでしょうか。

訪問介護員や介護福祉士国家資格取得のためにより専門的に学ぼうとする生徒も、日本が抱える将来の問題と自己の「在り方」「生き方」そして「思いやり」の心と「優しさ」をこの教科「福祉」を通して学ぶであろう生徒も、分け隔てなくこれからの日本を支える一人の人間として成長させることに「福祉」教育の大きな柱があるものと信じております。

高校福祉教育は今大きな変換点を迎えつつあります。大きなうねりの中にありながらも、高校福祉教育が益々充実発展していくためにも、全国の関係者が一堂に会し福祉の現状を踏まえた研究協議及び討議が交わされるこの大会がもつ意義は重大であります。この度の「三重大会」が盛会裏に終了したことは誠に感慨深く、大会開催にあたりご指導ご助言いただきましたご来賓各位、並びにご後援いただきました関係各位、そして大会主管校であります三重県立明野高等学校の校長先生をはじめとする、三重県関係教職員の方々のご苦勞に、あらためてこの場をお借りし深く感謝申し上げます。

来年18年度第12回大会は、本州最北の地「青森」です。今大会に参加された多くの方々がまた新たな情報を互いに持ち寄り、青森で再会できることを期待しつつご挨拶といたします。

目 次

開催要項	1
来賓・主催者	3
日程	4
理事会・学科主任代表者会議	14
開会行事	17
基調講演	19
校長会総会・研究協議会	23
分科会 1	31
分科会 2	53
参画型分科会	89
ブロック会議	98
全体報告会	113
文部科学省指導講評	122
閉会行事	125
主管校挨拶	127
平成16年度事業報告・決算報告	129
平成17年度事業計画・予算・組織図・加盟校・役員・学科主任等代表者	131
総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会 会場一覧・分科会分担一覧	137
全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 加盟校一覧	142
広告	151

平成17年度
 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会
 第11回総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会

開 催 要 項

- 1 研究主題 「共生の時代に求められる魅力ある高校福祉教育」
 — 地域社会に根ざした福祉実践力を育てるために —
- 2 期 日 平成17年8月9日(火)・10日(水)
- 3 会 場 ホテルグリーンパーク津
 アストプラザ
 三重県立みえ夢学園高等学校
- 4 主 催 等 主 催 全国高等学校長協会家庭部会
 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会
- 後 援 三重県教育委員会
 三重県津市教育委員会
 三重県社会福祉協議会
 三重県産業教育振興会
 三重県高等学校長協会
 三重県高等学校家庭科教育研究会
 三重県高等学校福祉教育研究会
- 主 管 三重県立明野高等学校

5 基本日程

8月9日(火)〈第1日目〉：ホテルグリーンパーク津・アストプラザ・三重県立みえ夢学園高等学校

8:50 9:00 10:30 11:00 11:30 12:00 12:50 17:00 18:30 20:30

受付	理事会	受付	開 会 行 事	基 調 講 演	昼 食	校長会総会・研究協議会			移 動	教育 懇談会
	学科主任 代表者会議					14:40	15:00	研究協議会		

8月10日(水)〈第2日目〉：ホテルグリーンパーク津・アストプラザ

9:00 10:00 10:15 11:20 12:20 12:40

ブロッ ク別 会議	移 動	全体報告会	文部科学省 指導講評	閉 会 行 事
-----------------	--------	-------	---------------	------------------

6 日 程

(1) 理事会・学科主任代表者会議	8月 9日 (火)	
受 付	8:50 ~ 9:00	
理 事 会	9:00 ~ 10:30	
学科主任代表者会議	9:00 ~ 10:30	
(2) 第1日目	8月 9日 (火)	
受 付	10:30 ~ 11:00	
開 会 行 事	11:00 ~ 11:30	
基 調 講 演	11:30 ~ 12:00	
昼 食	12:00 ~ 12:50	
《校長部会》		
校長会総会・研究協議会	12:50 ~ 17:00	
《教員等部会》		
研 究 協 議 会	12:50 ~ 14:40	
移 動	14:40 ~ 15:00	
参 画 型 分 科 会	15:00 ~ 17:00	
教 育 懇 談 会	18:30 ~ 20:30	
(3) 第2日目	8月10日 (水)	
ブ ロ ッ ク 別 会 議	9:00 ~ 10:00	
移 動	10:00 ~ 10:15	
全 体 報 告 会	10:15 ~ 11:20	
文 部 科 学 省 指 導 講 評	11:20 ~ 12:20	
閉 会 行 事	12:20 ~ 12:40	

来 賓 ・ 主 催 者

1 来 賓

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部

教育課程調査官

文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官

矢 幅 清 司

三重県教育委員会教育長

安 田 敏 春

三重県津市教育委員会教育長

田 中 彌

三重県教育委員会高校教育育室長

山 川 政 美

三重県高等学校長協会会長

水 越 利 幸

三重県教育委員会高校教育室指導主事

和 田 欣 子

愛知県教育委員会高等学校教育課指導主事

嶋 田 麻知代

三重県産業教育振興会理事長

宮 本 長 和

2 主 催 者

全国高等学校長協会家庭部会理事長

今 成 昭

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会会長

高 橋 福太郎

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会参与

木 村 行 幸

三重県高等学校長協会家庭部会会長

大 市 智 子

日 程

8月 9日 (火)

8月 9日 (火) 9:00 ~ 10:30

理 事 会

ホテルグリーンパーク津 (6階) 橘の間

司会進行 東京都立野津田高等学校 校長 安田 健

記 録 三重県立明野高等学校 教諭 高松 瑞和

8月 9日 (火) 9:00 ~ 10:30

学科主任等代表者会議

ホテルグリーンパーク津 (6階) 葵の間

司会進行 青森県東奥学園高等学校 教諭 小川 義光

記 録 三重県立明野高等学校 教諭 芝谷 美子

8月 9日 (火) 大会 1日目

8月 9日 (火) 11:00 ~ 11:30

開 会 行 事

ホテルグリーンパーク津 (6階) 伊勢・安濃の間

- | | | | |
|-----------|------------------------|-----|-------|
| 1 開会のことば | 愛知県立海南・海翔高等学校 | 校長 | 田中 基夫 |
| 2 主催者あいさつ | 全国高等学校長協会家庭部会 | 理事長 | 今成 昭 |
| | 全国高等学校長協会家庭部会福祉科校長会 | 会長 | 高橋福太郎 |
| 3 来賓祝辞 | 文部科学省初等中等教育局 参事官付教科調査官 | | 矢幅 清司 |
| | 三重県教育委員会 | 教育長 | 安田 敏春 |
| 4 来賓紹介 | 愛知県立古知野高等学校 | 校長 | 伊藤 久夫 |
| 5 主管校あいさつ | 三重県立明野高等学校 | 校長 | 濱口 政巳 |
| 6 感謝状贈呈 | 全国高等学校長協会家庭部会福祉科校長会 | 前会長 | 木村 行幸 |
| 7 閉会のことば | 愛知県立高浜高等学校 | 校長 | 江坂 栄子 |

司会進行	三重県立上野商業高等学校	校長	廣岡 久和
記 録	岐阜県立揖斐高等学校	教諭	増田 恵子
	岐阜県立関有知高等学校	教諭	棚橋 康子

8月 9日 (火) 11:30 ~ 12:00

基 調 講 演

ホテルグリーンパーク津 (6階) 伊勢・安濃の間

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部
教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官

矢 幅 清 司

司会進行	三重県立昴学園高等学校	校長	竹内 一
記 録	岐阜県立大垣桜高等学校	教諭	渡辺美智子

8月9日 (火) 12:00 ~ 12:50

昼 食

ホテルグリーンパーク津 (6階) 伊勢・安濃の間

8月 9日 (火) 12:50 ~ 17:00

校長会総会・研究協議会

アストプラザ (4階) アストホール

〔総会〕

- | | | | |
|-----------------|------------------------|----|-------|
| 1 開会のことば | 長崎県立大村城南高等学校 | 校長 | 宇田川 洸 |
| 2 会長あいさつ | 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 | 会長 | 高橋福太郎 |
| 3 議長選出 | | | |
| 4 議事 | | | |
| ① 平成16年度事業報告 | | | |
| ② 平成16年度会計決算報告 | | | |
| ③ 平成17年度事業計画(案) | | | |
| ④ 平成17年度会計予算(案) | | | |
| ⑤ 平成17年度役員 | | | |
| ⑥ その他 | | | |
| 5 報告・連絡 | | | |
| ① 加盟校数 | | | |
| ② 研修案内 | | | |
| ③ その他 | | | |
| 6 閉会のことば | 佐賀県立鹿島実業高等学校 | 校長 | 井手 正博 |
| 司会進行 | 北秋田市立合川高等学校 | 校長 | 工藤 元博 |
| 記録 | 岐阜県立飛騨高山高等学校 | 教諭 | 畑中佐江子 |
| | 岐阜県立坂下高等学校 | 教諭 | 安江実恵子 |

〔研究協議会〕

研究協議題

- ① 第17回介護福祉士国家試験の結果(今後の介護福祉士試験)について
- ② 介護技術講習について
- ③ ホームヘルパー資格について
- ④ 今後の高校教育のあり方について
- ⑤ その他

- | | | |
|------|-----------------------|----------|
| 指導助言 | 文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官 | 矢 幅 清 司 |
| 司会進行 | 北海道釧路星園高等学校 | 校長 山田 英二 |
| 記録 | 岐阜県立飛騨高山高等学校 | 教諭 畑中佐江子 |
| | 岐阜県立坂下高等学校 | 教諭 安江実恵子 |

*校長会総会・研究協議会に並行して、研究協議会・参画型分科会を開催

8月 9日(火) 12:50 ~ 14:40

研究協議会分科会 1 ホテルグリーンパーク津 (6階) 葵・橘・藤の間

1 現場実習

発表 「社会福祉実習の取り組みについて」

広島県立黒瀬高等学校 教諭 森谷 順子
教諭 武智 朋子

2 資格取得

発表 「介護福祉士資格取得の取り組み・・・本校の現状と課題」

大分県立野津高等学校 教諭 津田 暁子

指導助言 愛知県教育委員会高等学校教育課 指導主事 嶋田 麻知代

司会進行 北海道立置戸高等学校 教諭 前田 信治

高知県立室戸高等学校 教諭 別役 千世

記 録 愛知県立高浜高等学校 教諭 神谷 千尋

愛知県立古知野高等学校 教諭 坂井美恵子

8月 9日 (火) 12:50 ~ 14:40

研究協議会 分科会 2

アストプラザ (4階) 橋北公民館研修室A

1 進路指導

発表 「村田高校社会福祉系列の進路指導の現状」

宮城県立村田高等学校

教諭 酒井原 美 紀

2 授業研究

発表 「『感染予防』の授業の一工夫」

静岡県立吉田高等学校

教諭 福 嶋 みちる

教諭 池 上 香 苗

指導助言

三重県教育委員会高校教育室

指導主事

和 田 欣 子

司会進行

北秋田市立合川高等学校

教諭

穴倉 博明

山梨県立富士北陵高等学校

教諭

外川 真美

記 録

愛知県立桃陵高等学校

教諭

松浦 直子

愛知県立高浜高等学校

教諭

尾崎久美子

8月 9日 (火) 15:00 ~ 17:00

参画型分科会 レクリエーション活動技術

アストプラザ (4階) 会議室1

内 容 「福祉レクリエーションの理解と実技」

講 師 社団法人三重県レクリエーション協会事務局長 鈴木 寿子 先生

講師紹介	三重県立上野商業高等学校	教頭	番家 康文
司会進行	三重県立みえ夢学園高等学校	教諭	野呂 朱美
記 録	三重県立いなべ総合学園高等学校	教諭	梅田 仁美
	三重県立いなべ総合学園高等学校	教諭	岡村 真琴

参画型分科会 コミュニケーション技法

ホテルグリーンパーク津 (6階) 伊勢の間

内 容 「福祉コミュニケーションの理解と実技」

講 師 大阪教育大学助教授 新崎 国広 先生

講師紹介	三重県教育委員会高校教育室	指導主事	和田 欣子
司会進行	三重県立白山高等学校	教諭	松尾佳津代
記 録	三重県立飯南高等学校	教諭	竹岡 美幸
	三重県立飯南高等学校	教諭	大藪 昭子

8月 9日 (火) 15:00 ~ 17:00

参画型分科会 介護技術

三重県立みえ夢学園高等学校

(1階) 基礎看護実習室 (3階) 国際経済総合実習室

内 容 「施設実習の心構えと介護実習」

講 師 学校法人大橋学園 ユマニテク福祉専門学校

伊 藤 幾 代 先生
大 崎 淳 子 先生

講師紹介	三重県立みえ夢学園高等学校	教頭	楠井 善治
司会進行	三重県立亀山高等学校	教諭	小河由佳里
	三重県立みえ夢学園高等学校	教諭	塚原まゆみ
記 録	[実技] 三重県立みえ夢学園高等学校	教諭	岡本みち子
	三重県立上野商業高等学校高等学校	教諭	杉野 直樹
	[講義] 三重県立昴学園高等学校	教諭	宮本 千賀
	三重県立尾鷲高等学校	教諭	茶木 正幸

参画型分科会 園芸福祉

アストプラザ (5階) 橋北公民館実習室

内 容 「園芸福祉の理解と苔玉作り」

講 師 広島国際大学大学院教授
三重県園芸福祉研究会会長

吉 長 元 孝 先生
前 川 良 文 先生

講師紹介	三重県立明野高等学校	教頭	野村 良嗣
司会進行	三重県立朝明高等学校	教諭	伊藤 稲子
記 録	三重県立紀南高等学校	教諭	曾野亜希子
	三重県立紀南高等学校	教諭	寺前 淑湖

8月10日(水) 9:00 ~ 10:00

ブロック会議

アストプラザ (8会場)

北海道・東北	アストプラザ	(4階) 会議室2
関東	アストプラザ	(4階) 会議室1
北信越	アストプラザ	(4階) 和室
東海	アストプラザ	(4階) アストホール
近畿	アストプラザ	(5階) 研修室B
中国	アストプラザ	(4階) 会議室3
四国	アストプラザ	(5階) 研修室C
九州・沖縄	アストプラザ	(4階) 研修室A

北海道・東北	司会進行	北海道	置戸高等学校	教諭	前田 信治
	記録	福島県	光南高等学校	教諭	大久保 義行
関東	司会進行	東京都	野津田高等学校	教諭	小山 哲広
	記録	茨城県	古川第二高等学校	教諭	嶋田 拓巨
北信越	司会進行	山梨県	富士北稜高等学校	教諭	外川 真美
	記録	福井県	啓新高等学校	教諭	水元 敏博
東海	司会進行	岐阜県	坂下高等学校	教諭	安江 実恵子
	記録	愛知県	古知野高等学校	教諭	坂井 美恵子
近畿	司会進行	京都府	福知山淑徳高等学校	教諭	松井 儀幸
	記録	奈良県	榛原昇陽高等学校	教諭	車谷 真紀
中国	司会進行	岡山県	倉敷中央高等学校	教諭	浅野 純子
	記録	岡山県	ベル学園高等学校	教諭	大石 博之
四国	司会進行	高知県	室戸高等学校	教諭	別役 千世
	記録	徳島県	小松島西高等学校	教諭	阿部 美恵
九州・沖縄	司会進行	長崎県	大村城南高等学校	校長	宇田川 決
	記録	長崎県	大村城南高等学校	教諭	下田 かおる

8月 10日(水) 10:15 ~ 11:20

全体報告会

アストプラザ (4階) アストホール

- | | | | | |
|------|-----------|--|-----|-------|
| 1 | 校長部会報告 | 東京都立野津田高等学校 | 校長 | 安田 健 |
| | | | | |
| 2 | 教員等研修会報告 | | | |
| ① | 分科会(1) | 北海道立置戸高等学校 | 教諭 | 前田 信治 |
| ② | 分科会(2) | 北秋田市立合川高等学校 | 教諭 | 穴倉 博明 |
| ③ | 参画型分科会 | 三重県立いなべ総合学園高等学校 | 教諭 | 梅田 仁美 |
| | | | | |
| 3 | 報告 | | | |
| ① | 家庭部会本部 | 全国高等学校長協会家庭部会 | 理事長 | 今成 昭 |
| ② | 福祉科校長会事務局 | 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会事務局
青森県東奥学園高等学校 | 教諭 | 小川 義光 |
| 司会進行 | | 三重県立飯南高等学校 | 校長 | 中谷 文弘 |
| 記録 | | 静岡県立富士宮東高等学校 | 教諭 | 高橋 恵子 |
| | | 静岡県静岡女子高等学校 | 教諭 | 太田久巳子 |

8月 10日 (水) 11:20 ~ 12:20

文部科学省指導・講評

アストプラザ (4階) アストホール

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官

文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官

矢 幅 清 司

司会進行

岐阜県立大垣桜高等学校

校長 横山 仁美

記 録

静岡県立磐田北高等学校

教諭 高井 恵実

静岡県立三島高等学校

教諭 芦川 裕美

8月10日 (水) 12:20 ~ 12:40

閉 会 行 事

アストプラザ (4階) アストホール

- | | | | |
|-------------|---------------------|----|---------|
| 1 開会のことば | 岐阜県立坂下高等学校 | 校長 | 松 久 聡 |
| 2 主催者あいさつ | 全国高等学校長協会家庭部会福祉科校長会 | 会長 | 高 橋 福太郎 |
| 3 次回主管校あいさつ | 青森県 東奥学園高等学校 | 校長 | 高 橋 福太郎 |
| 4 主管校あいさつ | 三重県立明野高等学校 | 校長 | 濱 口 政 巳 |
| 5 閉会のことば | 岐阜県立関有知高等学校 | 校長 | 江 崎 榮 彦 |

司会進行

三重県立いなべ総合学園高等学校

校長 西城 博

記 録

愛知県海南・海翔高等学校

教諭 神野 孝司

愛知県立宝陵高等学校

教諭 原田 喜子

理 事 会

平成 17 年 8 月 9 日 (火) 9:00~10:30

ホテルグリーンパーク津 (6階) 橋の間

司会進行 東京都立野津田高等学校 校長 安 田 健

記 録 三重県立明野高等学校 教諭 高 松 瑞 和

1 あいさつ

(文部科学省) に変更。

全国高等学校長協会家庭部会理事長
今 成 昭
文部科学省初等中等教育局参事官付
教科調査官 矢 幅 清 司
全国福祉科高等学校長会会長
高 橋 福太郎
三重大会 主管校校長 濱 口 政 巳

2) 平成 18 年度全国大会運営について
主管校教頭 阿 保 貴 志
(青森県東奥学園高等学校)
平成 18 年 8 月 9 日~11 日 (3日間)
8 月 10 日午後の介護技術研修では、今年度
から始まった介護技術講習会を体験していた
だく予定。

2 報告

3) 平成 18 年度第 1 回理事会
5 月 19 日 (金) に予定。

1) 平成 16 年度事業・会計・監査報告

4) 平成 19 年度全国大会について
(関東・北信越地区)
関東地区と北信越地区が交互に担当しており、平成 19 年度は北信越地区。
5 月 19 日の第 1 回理事会までに内容を検討。

2) 平成 17 年度事業計画・予算案

3) 平成 17 年度役員

4) 平成 17 年度加盟校
平成 16 年度 210 校 + 新規加盟 16 校
- 脱退 2 校 = 平成 17 年度 224 校

5) 今後の介護福祉士国家試験について

5) 第 15 回全国産業教育フェア
(東京都:平成 17 年 11 月 26・27 日)

6) 今後の高等学校福祉教育の在り方について

6) 第 16 回全国産業教育フェア
(埼玉県:平成 18 年 11 月 3・4・5 日)

7) その他
(九州)「九州・沖縄地区」の名称を来年度から「九州ブロック」に変更。

3 協議事項

(中国) 資料 p.21 の組織図について、福祉科の事務局の所在を明らかにしてほしい。会長校に事務局を設置するのであれば、明記が必要。

1) 平成 17 年度全国大会運営について
主管校校長 濱 口 政 巳
(三重県立明野高等学校)

従来 3 日間の日程を 2 日間に短縮。

新たに参画型分科会を導入した。

基調講演の講師は、当初予定の曾我昌樹氏
(厚生労働省) の都合が悪くなり、矢幅清司氏

4 講話

講師 文部科学省初等中等教育局参事官付
教科調査官 矢 幅 清 司
演題「福祉科高等学校長会加盟校校長に
望むこと」

1) 高等学校福祉科の設置状況

介護福祉士国家試験受験可能校、訪問介護員
養成研修事業実施校、福祉科目設置校、いずれ
も増加している。

2) 第17回介護福祉士国家試験の状況

受験校数 153校

全体の合格率 42.6%

福祉系高校合格率 48.9%

全国の担当教員と生徒の努力により、めざま
しい成果をあげている。

卒業見込者の合格率 54.4%

卒業者の合格率 24.8%

卒業時の指導とともに、卒業後のフォローが
重要。これによって高校福祉科の社会的評価が
高まる。

3) 教科書

全ての科目の教科書を発行してほしいとの
要望が多いが、実習・演習科目の教科書は発行
されない。福祉科校長会作成の指導参考ノート
を活用してほしい。

4) 研修

現在は企画・事務処理を個人的なつながりで
お願いしているが、今後は校長会の組織に担当
部署を設置して運営して欲しい。

産業教育の指導者養成講習は、H-1（介護
技術等，京都女子大学）に32名、H-2（援
助技術等，ルーテル学院大学）に13名が参加。
受講に際して混乱をきたした面もあり。

福祉教育研修講座（平成18年1月7・8日，
日本女子大学）への多数の参加を。

5) 他団体とのかかわり

日本社会福祉教育学校連盟（福祉系大学の集
まり）の社会福祉セミナーへの出席を。

社会福祉関連学会（日本社会福祉学会，日本

地域福祉学会，日本福祉教育・ボランティア学
習学会等）への参加を。

6) 産業教育フェアについて

今年度は校長会が中心となって開催。各種発
表会に初めて「福祉科」枠を設定。是非エン
トリーを。

来年度以降も「福祉科」枠あり。生徒の発表
の場として活用を。

福祉科校長会として生徒の発表の場を設定
してほしい。

7) 全国大会の在り方について

今年で11回目。形態・内容について再検討
する時期にきている。

8) 福祉科校長会としての組織の在り方について

校長部会・学科主任会の役割を明確に。能率
的な運営と各委員会の再編も必要。

加盟校の増加とともに、目的が絞りきれなく
なっている。

9) 訪問介護員養成研修について

社会の流れから、内容・時間数等が見直され、
「介護職員基礎研修（仮称）」への衣替えが決
定済み。訪問介護員養成研修に固執せず、福祉
科校長会で新たな検定や証書の作成も可。

10) 校長会としてデータの収集を

高校福祉科の存在意義を社会に訴えていく
ためには調査は必要。福祉科校長会単独での実
施が困難ならば、他団体との共同でも。

国家試験の状況（筆記・実技）。校長会とし
ても問題分析を（教員の研修にもなる）。

介護技術講習の受講・修了状況の把握。

卒業生の追跡調査（離職率等）。

学科主任等代表者会議

平成 17 年 8 月 9 日 (火) 9:00~10:30

ホテルグリーンパーク津 (6 階) 葵の間

司会進行 青森県東奥学園高等学校 教諭 小川 義光

記録 三重県立明野高等学校 教諭 芝谷 美子

1 開会の言葉

2 自己紹介

3 報告事項

1) 参考書の使用について、資料等を考慮していく。

2) 秋に向けてアンケートを作成していく。

3) 広報部より

FAX 番号の打ち込みをしていく。一年に二回程、広報を出していきたい。FAX かメールかというところで検討中。

4) 研修部より

研修内容が非常によかった。

これからの課題は、受付係を会場校に近い先生方に依頼。二学期制もあり、実習中でもある。今後は研修部の先生方をお願いしていきたい。

介護は関東、援助は関西でやっていきたい。

H1、H2 の過去二年間の資料は研修部の先生に送ってある。

5~6 日間の研修はきびしいと思われる。

受付をしながら研修に参加するのは可能か。

研修に参加してよかった。情報交換などできてよかった。

報告書を出していくのが予算的にむずかしい。

私学には情報が入りにくいという意見に対しては、担当指導主事が違うので私学の方から教委へ聞いてもらうとよいということになった。

東京大会 (11/26・27) には 3 校が参加する。8/15 までまだ余裕があるので、作品・研究発表の申し込みをしてもらいたい。

4 協議事項

1) H1、H2 に関して協議して、うまく来年度に引き継いでいく。

2) 調査統計部より

進路追跡調査を、春に渡した調査に基づいて、秋に向かってやっていく。3 万円の調査費もあるので報告していく。国家試験の調査については、未加盟校から少しクレームもあったが、150 校くらいの集計ができた。明日の報告会で呼びかけ 11 月には発行。12 月、年内に回収していく。

3) 広報部より

全国大会も含めて各地では FAX で流したりもしているが、数の多いところは無理もあるとの意見。

全国大会後に各ブロック大会もあり、そこで報告ができるところもある。

全国大会のホームページを立ち上げ、その中で調査・報告も見ていけばよいという意見が出たが、見ないと何もわからないのは困るという意見もあった。

いずれ将来的にはホームページにしていこう (していただける先生がみえれば…) のもよいという意見が多かった。

本年度は FAX で流す。内容は事務局一任。

4) その他

・学科主任会議のメンバーは、来年も今年と同じで行っていく予定。

・来年度青森大会について (資料 p.2、p.3 参照)

・今後の福祉教育のあり方について (報告資料 3 枚参照)

・研究協議会 (第 1・第 2 分科会) 記録について

・ブロック会議の内容についての検討

開 会 行 事

開催期日：平成17年8月9日（火）

場 所：ホテルグリーンパーク津（6階）伊勢・安濃の間

時 間：11：00～11：30

司会進行：三重県立上野商業高等学校教諭 廣岡久和

記 録：岐阜県立揖斐高等学校教諭 増田恵子

1. 開会のことば

愛知県立海南・海翔高等学校長 田中基夫

2. 主催者あいさつ

全国高等学校長協会家庭部会理事長 今成 昭

少子化・高齢化の進展の中で、福祉教育及び福祉介護サービスにおける人材の育成が大変重要になってきています。平成15年より新学習指導要領において新設された教科「福祉」も3年目を迎えました。福祉の科目の目標をもとに、介護福祉士を目的とする高校、福祉コースを設置する高校、福祉の心を育成する高校と様々であるが、それぞれの高校で多くの実績が上げられています。訪問介護員養成のあり方や介護福祉士国家試験のあり方、福祉の制度の変化もあり、様々な問題も生じてきています。また、生徒一人一人の進路実現・自己実現を図るための指導のあり方などの課題も生じており、その解決のため努力を重ねております。この機会に英知を寄せ合い、福祉教育の方向を見い出してほしいと思います。心から福祉教育の発展・充実を願っています。

全国高等学校長協会家庭部会福祉科校長会会長 高橋 福太郎

皆さん、おはようございます。この度、平成17年度 全国福祉科校長会 三重大会が『共生の時代に求められる魅力ある高校福祉教育』をテーマとして、三重県立明野高等学校を主管校に開催される運びとなりました。

国立教育政策研究所教育課程調査官・文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官 矢幅清司先生、三重県教育委員会教育長 安田敏春先生を初め、多くの来賓各位のご臨席を賜り、又、北は北海道から南は沖縄までの各高校福祉科の校長先生、そして各先生方の本大会への参加に心より感謝申し上げます。

本大会の準備から運営全般に至るまで、携わっておられる明野高等学校校長 濱口政巳先生を初めとする、東海地区の先生方には心から感謝申し上げます。

本大会での、日頃の成果の発表、討議あるいは協議を通して新しい知見を共有する中で、休み明け後の各高校での教育活動の一層の充実・発展に繋がることをご期待申し上げ、挨拶とさせていただきます。

3. 来賓祝辞

文部科学省初等中等教育局 参事官付教科調査官 矢幅 清司

平成7年に設立されて、回を重ねるごとに内容が充実し、福祉科の教育実践が確かなものになっています。社会全体が大きく変わろうとしている今、教育そして福祉も大きく変化しています。特に高等学校における教科「福祉」は福祉サービスの向上を求める社会の要請により設置されました。

今大会では、皆様のお声をお聞きし、今後の福祉教育の充実・発展のため、頑張って参りたいと思っています。また、教科「福祉」が設置され3年目を迎え、つまり完成の年です。新たな一歩をこの三重の地から踏み出して、歩いていただければ有難いと思います。この2日間で充実した研修でありますことを祈念いたします。

三重県教育委員会 教育長 安田 敏春

本大会のテーマにもある「共生の時代」とは、思いやり、人と人との連携、絆が大切です。親子の愛情、友情、人を助けようとする優しさなど、信頼や共感に基づいた人間関係が必要不可欠になってきています。それには、福祉教育が役割を果たすと思われます。福祉を学習する中で体験として実感したり、豊かな人間性を育み、主体的な行動がとれる何よりも大切な重要な柱となります。

一方、専門的な知識や技術を身に付けることによって、直接、専門職として働く人材を育成することが大切になってきています。

高等学校で、魅力ある福祉教育が実施されるよう、教師の積極的な取り組みが大切です。社会環境の変化に的確に対応し、地域密着型で実践力となる教育と人づくりをすすめていくことが必要です。

4. 来賓紹介

愛知県立古知野高等学校長 伊藤 久夫

5. 主管校あいさつ

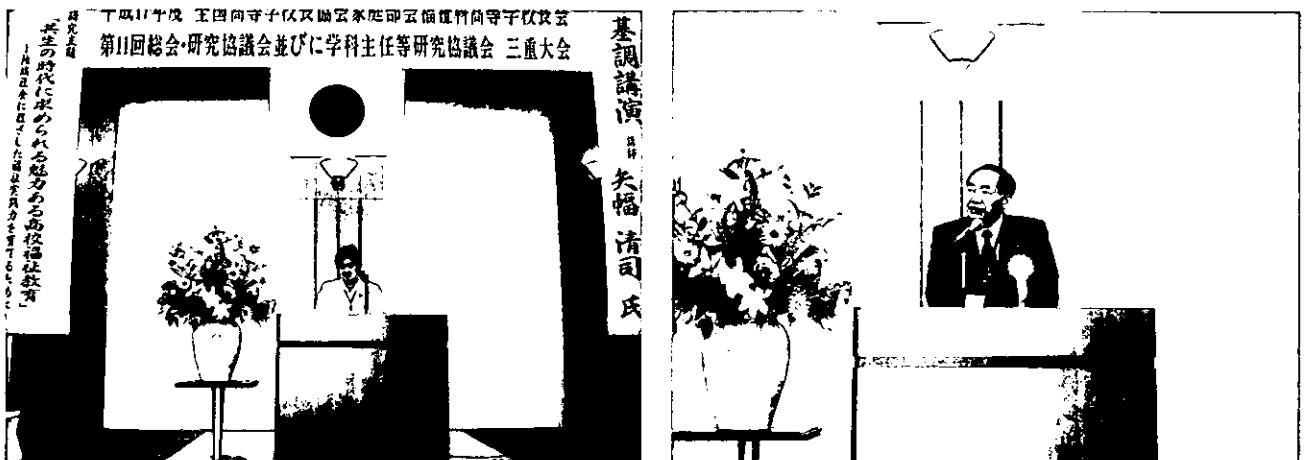
三重県立明野高等学校長 濱口 政巳

6. 感謝状贈呈

全国高等学校長協会家庭部会福祉科校長会 前会長 木村 行幸

7. 閉会のことば

愛知県立高浜高等学校長 江坂 栄子



基 調 講 演

8月9日(火) 11:30～12:00 ホテルグリーンパーク津
司会進行：竹内 一 (三重県立昴高等学校長)
記 録：渡辺美智子 (岐阜県立大垣桜高等学校教諭)
石田 英子 (岐阜県立岐阜各務野高等学校教諭)

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官 矢幅 清司

皆さん、改めましておはようございます。本来なら厚生労働省の担当者から福祉に関するお話をお聞きしたいのですが、私が話しをさせていただきます。お手元に厚生労働省から出ています基調講演資料がございますのでそれに基づきながら話をしたいと思います。

1 介護福祉士養成施設の現況について

(1) 課程別設置状況の推移

平成17年度4月現在全国に402校、479課程そして定員は26,850名となっております。

(2) 設置形態別の状況

専門学校が計260校とありますが、これは全体の約7割つまり介護福祉士の養成の中心はこの専門学校であることが読み取れます。ただ近年の傾向として、専門学校の数が増えているわけではなくて、大学、短大に主力が移りつつあります。そして四年制大学において介護福祉士の養成が始まっておりますし、専門的な教育がなされようとしております。数の上では専門学校、ただし、今後増えていくであろう、もしくは一つの柱になると思われるのが大学、短期大学だにご理解ください。

2 介護福祉士国家試験の状況について

第1回目の合格率が23.2%そこから少しずつですが合格率が高まり、第4回では53.9%そしてピークを迎える第5回においては55.1%という数値を出しました。その後50%台が続くのですが、第12回以降は50%を切っています。厚生労働省では、全く数値を操作していないが、かなり厳しい数字になってきています。全体で第17回は42.6%という数値になってきております。つまり2分の1以上だったものが2分の1以下になってしまったということです。今後もだいたい4割ちょっとで推移するのではないかと思います。

3 介護福祉士の登録者数の推移

これは国家試験に合格して登録した数値であります。うなぎのぼりの状態でどんどん増えております。その内訳は、国家試験に合格して登録している方と養成施設を卒業して登録している方がありますが、今どちらが伸びているかという、実は国家試験を受けている方々が伸びています。養成施設を出て登録した人が26,000人、国家試験のほうはそれ以上の約40,000人ということになります。となると、養成施設よりも国家試験のほうに合格者そして登録者が多いということになっていきますし、今後この傾向は続くものと考えられます。現在では41万人の方が介護福祉士の登録を終えております。そのうちの約6割が国家試験でとった方になりますし、約4割が養成施設の人といえます。ただし、ここでひとつ落とし穴があります。国家試験を合格した方の中で、登録していない方がかなりいらっしゃる。それをどこで見ればいいのかというと、約40,000名がまだ手続きしていない。なぜかといいますと、

資格をとったけれどまだ、福祉関係の施設で働かないので登録しないほうがいいと判断をしている。合格者の85%しか登録をしていないということを、押さえておいてください。逆に高校福祉科においては卒業後、すぐに登録しなければならないので、登録しなければ介護福祉士と名乗れないということを卒業する時に指導をお願いしたいと思います。また、職能団体・介護福祉士会がありますが、そこに加入している方がまだ2割か3割ということです。職能団体という通常6割から8割入っていないとその職能を代表する発言ができないといわれています。自分のレベルアップを図るために、そういう職能団体にきちんと参加して研修を受け続けてくださいという事を高校生に伝えていただければと思います。

4 国家試験の受験者・合格者の推移について

資料を見ての通り、受験者はどんどん増えていますが、合格者はそのパーセンテージでいうと抑えられている形になっています。2回ほど段があります。それが平成12年度と平成17年度ということになります。実質の合格者数は、減少しているという事になります。それでも40%台をこえている現状にあり、資料についてはこのとおりになります。

5 介護技術講習について

今年度より国家試験のシステムが変わり、実技試験を今まで通り受けるか介護技術講習を受講し修了証を取り実技試験にかえるかのどちらかの選択になりました。現在は進行中ですが、厚生労働省がいうには、予想に反して受講定員が少なかったということがあります。約7万名が受講希望するのではないかとということで、7万名分の受講定員を全国で確保するというのが当初の目的でした。しかし、ふたを開けてみたらその半分もいかない29,000名分の定員しかない。40%つまり6割が希望しても受けられない状態になっていました。厚生労働省のその後の指導で、7月の末現在で34,000名の定員に達しております。ほぼ50%近くになっております。定員は固定されたものではなく日々増え続けております。そういう点で受け入れないからだめなのだときらめるのではなく、受けたいという希望がある学校においては、常に情報をキャッチしてほしいと思います。一番情報をキャッチしやすいのは、ホームページです。全国の介護福祉士養成協会のホームページに現在だと1週間おきくらいに更新されてその度に500人~1000人は増えています。ホームページを逐次チェックしてほしいと思います。情報がこなかったのではなく、情報は見つけてくるもの、集めるものだと思いますので、そこのところをお願いしたいと思います。現在のところ希望者に対する受講定員が一桁の定員の県が4つあります。山形県、埼玉県、静岡県、兵庫県は1割に至っていません。という事は、受講者の受講希望の9割が受講できない状況になっています。また、逆に言うと100%を超えている県もあります。和歌山県、広島県は100%を超えています。つまりその県内の受講者全員を受け入れても余った状況になっているので隣県から受けてもキャパとしては大丈夫ということです。そういう点で、介護技術講習というものは、国家試験の一つのルートですから、希望があれば、そして学校の指導内容がそこまで進んでいる学校においては活用しても結構ありますし、また、自分の学校は3年間ゆっくと3月の実技試験まで育てていくという方針であれば受けなくても結構だと思います。そこところをはっきりしておかなければ6万円のお金を出して時間も取られて修了証がもらえなかったということがあったら、それこそ一大事であると思います。現実には講習会が修了できなかった者が出ております。講習会は受ければ修了証がもらえるという錯覚をしている先生方もいらっしゃいますので、あえて警告的に言いますが、介護技術講習はできることを前提として、それを確認する場ということでもあります。ということは、介護技術講習を受ける前にすべての介護技術が終わっていなければならないということになります。8月に介護技術講習を受けるのであれば、7月までのカリキュラムの段階で全部の介護技術が終わっていなければならないという事になります。以前であれば1月が

筆記、3月の頭が実技でしたから2月まで約4～5ヶ月間達したところで指導できたものが、8月に介護技術講習を受けるのであれば、前倒し半年前には修了していなければならない。それがきちんと指導できる学校であればそういう選択肢も可能だと思いますが、ただ単にあるからという事で受けさせて未修了で終わるような指導は、決してしてほしくないと思います。きちっと学校が責任を持ってそのレベルに達しているから受けてもいいよという、そこをしっかりとっておかないと、時間も無駄、お金も無駄で大変なことになると思います。もう一度繰り返します。受講イコール修了ではないという事です。また、今年は初年度ということで、受付等に若干の混乱が生じておりますし、先程言った受講定員のキャパが少なかったということがありますので、来年度を見据えて、受講したいと言う生徒がいて、受講させようという学校があれば県内の諸関係団体と連絡を密にして何名の者が受けたいという希望を随時、情報を発信しておいてください。そうすることによって主催者となる専門学校の方で、ある程度情報が入って、40人の定員で2回、3回の応募があるということがわかっていれば、最初から準備ができるわけです。それを空いているところへ入ろうとすれば枠は決まっていますので、今年度は毎回毎回更新していますが、来年以降はそんなに増えることはないだろうと思います。秋から冬にかけて専門学校は人数を決定しなければなりませんから、それまでに、連絡を密にして、自分の学校は何人くらいというのを発信して開催をお願いしたい。そして、例えば自分の学校の実習棟を貸し出すという形も全国であろうかと思えます。私の知っている限りでも4つの学校が自分の実習棟を貸しているという情報があります。但し自分の学校の生徒だけではなくて、40人定員のうち15人くらいはうちの学校の生徒だけれども、25人は一般の方も入りますよ、でも、無償で貸しますよというところも現実にあります。そういう方法もとれるのではないかと思います。まずは動かなければ。準備をお願いします。

6 国家試験の筆記と実技の再チェックについて

1次試験である筆記試験は合格するけれども、二次試験の実技試験で落ちる割合が全国で約10%あります。高校の現役のみの数値ですが、筆記試験の合格率が、校長会の調べでは62.3%で、筆記では6割ちょっと受かっています。しかし、実技試験の合格率は54.4%で、約8%ダウンしているのです。逆に言うと8%救い上げることができないのかという部分の検討を各学校でお願いしたいと思います。中には、80%くらいの筆記合格率なのに、最終合格率が40%、つまり半分になってしまうという学校もあります。また、いい学校を紹介させていただければ、今回の合格率100%を達成した学校は全国で6校あります。総合学科等で数が少ない学校もありますけれども学科で受けて学科全員が受かったという学校を含めて6校あります。90%合格した学校が11校、80%以上合格した学校が19校、なので80%以上を全部足すと36校あります。昨年度受けた学校が153校ですから実に4分の1が80%以上ということになります。逆に言うとそうでない学校もあります。0%という学校、しかも3年連続0%という学校もあります。国家試験を受けることができますということで生徒を集めた以上、何がしかの手だてをし、フォローしていかなければいけないのではないかと思います。を各校の責任として考えていただければと思います。

7 訪問介護員養成研修指導について

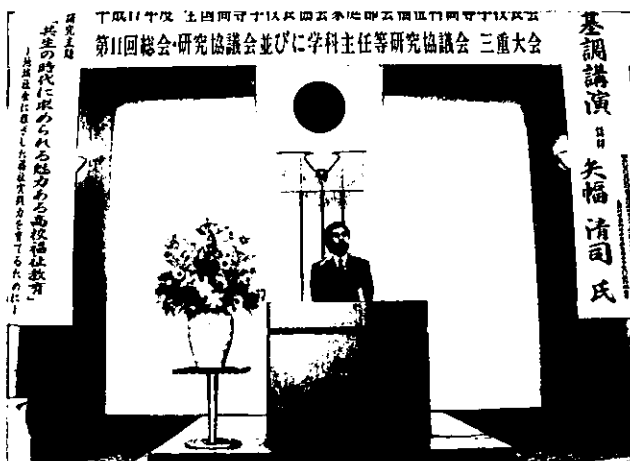
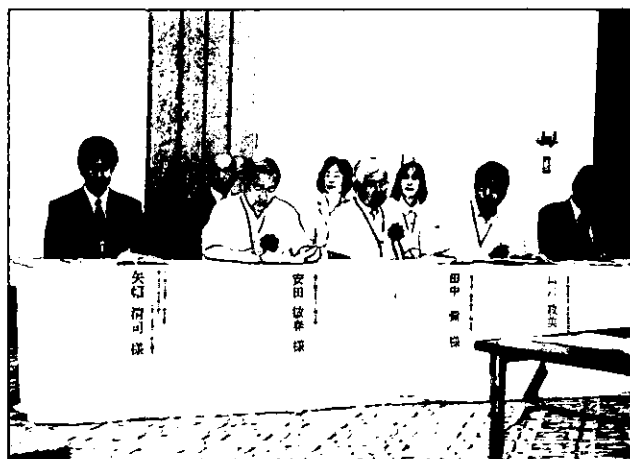
本来ならば厚生労働省から直接お話を伺えたらよかったですけれども、現在の状況は、8月中旬に報告書をまとめる予定で鋭意努力はしていると、ただし8月中にはまとまりそうなので9月の頭には出したいというお言葉を昨日聞いてきました。訪問介護員養成研修事業を実施している学校は報告書が出たらすぐに情報をキャッチして分析をお願いしたい。まず今の方向でいうのであれば、現在の養成研修事業が移行的に残るという部分と、介護基礎研修が導入されますから、2本立てで進むという方向になります。但し、申請が単年度申請になりまし

たので、1年ごとに申請を受理されますので、来年からはだめですよという日がいずれくると
 思いますので、その準備もしておかなければといけませんということをお話しします。

8 資格に関することについて

昨年度末あたりから新聞でかなりたたかれました。ホームヘルパーや介護福祉士とか、専門
 学校が、無資格の教員に授業をやらせたとか、施設・設備が基準に達してないとか、という事
 が皆さん方記憶にあるのではないかと思います。厚生労働省としては、社会的信用度を維持す
 るために、資格のレベルや資格要件が守れているか厳しく今後もチェックしていく、そして最
 悪の場合は取り消しをする場合もあると言われましたし、そこにおいて、高校福祉がそのレベ
 ルに達しているかどうかも今後はその対象になってきます。とりわけ訪問介護員養成研修事業
 がそのバージョンアップをして介護基礎研修になっていくわけですから講師の要件、時間数が、
 たとえ1時間でも足りなければ修了証を受けてはいけないわけです。そのあたりの改良を高校
 側が考えなければいけないということです。

以上、昨日厚生労働省の関係から情報をいただいた部分でお話をさせていただきました。本来
 であれば厚生労働省の方がお話をすればよかったですのですが、伝え聞きの部分を含めてお話をさ
 せていただきました。高校福祉科のことにつきましては明日の指導の中でふれたいと思います。こ
 れで情報の提供を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。



「総会」

司会進行；北秋田市立合川高等学校 校長 工藤 元博
記録；岐阜県立飛騨高山高等学校 教諭 畑中 佐江子
岐阜県立坂下高等学校 教諭 安江 実恵子

- 1 開会のことば 長崎県立大村城南高等学校 校長 宇田川 洸
2 会長あいさつ 全国福祉科高等学校長会 会長 高橋 福太郎

3 議長選出

4 議事

- ① 平成16年度事業報告 (冊子15頁参照)
② 平成16年度会計決算報告 (冊子16頁参照)
③ 平成17年度事業計画(案) (冊子17頁参照)
④ 平成17年度会計予算(案) (冊子18頁参照)
訂正 支出の事業費のうち 広告部補助費→広報部補助費
⑤ 平成17年度役員 (冊子19頁参照)
⑥ その他
全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会「規約」 (冊子27頁)
第4条 9, 九州・沖縄地区 → 9, 九州地区 とする (H17,8,9改正)
* 家庭部会の規約についても、確認の上福祉科に準じていく。

5 報告・連絡

- ① 加盟校数・・・224校 (冊子22頁参照)
210+16(新規加盟) - 2(統廃合など) = 224
② 研修に関して (冊子25頁参照)
③ その他

ア、産業教育フェアについて

産フェア東京2005(御台場)については、都からの支援はなく各専門部会で準備を進めている。福祉学科については、関東近辺から作品の提供をしていただく予定であるが、協力をお願いしたい。なお、次年度は埼玉県での開催が予定されている。従来のスタイルで県の協力が得られることになっている。

イ、表彰規程について

(旧)を廃止して、(新)を承認 (冊子26頁参照)

- 6 閉会のことば 佐賀県立鹿島実業高等学校 校長 井手 正博

「研究協議会」

指導助言：文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官 矢幅 清司

司会進行：北海道釧路星園高等学校 校長 山田 英二

記 録：岐阜県立飛騨高山高等学校 教諭 畑中 佐江子

岐阜県立坂下高等学校 教諭 安江 実恵子

- ① 第17回介護福祉士国家試験の結果（今後の介護福祉士試験）について
- ② 介護技術講習会について
- ③ ホームヘルパー資格について
- ④ 今後の高校教育のあり方について
- ⑤ その他

- ① 第17回介護福祉士国家試験の結果（今後の介護福祉士試験）について

初めに高校福祉科の状況を見てみると、高校福祉科関連学科などの設置状況は、単純合計で全国1011校ある。高等学校で、福祉関連学科は、大きく次の3つに分けられる。

(ア) 介護福祉士国家試験受験可能校	187校
(イ) 訪問介護員（ホームヘルパー）養成研修事業実施校	643校
(ウ) 教科「福祉」科目実施している学校	181校

1011校という数は、全国に約5000校ある高等学校のうち約1/5にあたる学校に福祉関連学科があるということになり、福祉関連の学科、教科「福祉」があるだけでは特色ある学校といえない。本当に特色ある学校というのは各県に数校にとどまる。資格を特色としている学校、地域と連携したボランティアや体験などを特色としている学校なら良いが、ただ福祉を勉強しているという中途半端な状況の中では、特色ある学校とは言えない。

介護福祉士国家試験の合格状況を見てみると、第17回では42.6%となっており、この5、6年40%台が続いている。中でも特に低い合格率になっている。これは国民の福祉ニーズが高まるとともに、興味だけの人もいるため、レベルを下げる訳にはいかないという状況があると思われる。第1回から徐々に合格率が上昇傾向だったのが、第12回より下降傾向となっている。第15・16回は受験条件の変更による駆け込み受験があったため、合格率は少し上昇した。第17回にはこの受験がないので、合格率が低いということも考えられる。今後も合格率は50%より低い値になることが考えられる。

高校の状況を見てみると、第17回では48.9%の合格率で全体より約6%高くなっている。ここ数年間でも全体の合格率より高くなっており、50%に匹敵する合格率である。厳しくはなっているが、決して一般の受験生に負ける数字ではない。しかし高校では両極化傾向を示しており、合格率が高い学校が増えてきているのと同時に低い学校も増えてきている。全く指導していないような学校もあれば、熱心に取り組んでいる学校もあり、両極に分かれてきている。数字的にみると、昨年度合格率が100%の学校が6校、90%以上11校、80%以上19校、計36校が80%以上を達成している。3年連続合格率が0%1校、これを含めて20%以下の学校が10校ある。本当に学校をあげて取り組まないと、高校福祉科の社会的評価は高まらないし、一般の方々は低い学校をみて高校福祉科はなんだということになってしまう。評価の高い学校は現状を維持し、頑張っている学校は今年ダメでも次の年までちゃんとフォローするという体制を築いて、2年目3年目で合格させるようにして欲しい。

地域によっては専門学校生や短大生よりも高校福祉科の生徒がほしいということで、声のかかる福祉科が全国にある。逆に高校生はいらないという地域もあるのが現状である。

高校生が介護福祉士として就職・進学していき、社会的認知度が高まっていけば、国家試験の受験資格年齢を引き上げるということにはならないのではないかと考えられる。今はまだ良

い意味での評価が充分ではなく、生活年齢的に18歳では介護は無理ではないかという専門の方々の発言が時としてあるので、きちんとした実績をデータとして説明していただきたいと思う。

高校生の合格者の中でも、卒業見込み者の合格率は54.4%と高く、1年後の合格率は26.8%と4人に1人しか合格できていない状況があるので、卒業と同時に合格できるように指導していただきたい。

②介護技術講習会

介護技術講習会は単純に修了認定がされるものではなく、介護技術の確認の場である。ただし、きちんと受講できれば、決して難しい講習会ではないという位置づけがされている。しかし未修了の高校生が出ているという情報がある。ある専門学校で24名（高校生8名、一般16名）が講習を受けて最終合格者は3名という状況がある。時間と労力を使ったが最終的に未修了ではとても受講を勧められない。そういう点からも講習会を安易にとらえないでいただきたい。講習会を受ける前にきちんと指導して参加させるということが原則である。参加させる講習会の時期なども考える必要がある。

1つの選択肢をもらった訳なので、その選択をするのか、今まで通り3月の試験まで引っ張っていったほうがいいのかは、各校の指導力と生徒の状況を見て考えてもらいたい。すべての生徒が受けなければいけない訳ではないので、そこをきちんと整理していかなければ、お金も時間も費やして何もなかったということになりかねない。もし修了できた生徒がいたとしても筆記試験で落ちてしまえば合格はできないので、そのあたりも考えていただきたい。

③ホームヘルパー資格について

ホームヘルパーについての報告書は9月の頭に出されると思う。訪問介護員養成研修1・2・3級については介護職員基礎研修に変わることが決まっており、来年の4月からスタートすることになる。決定したことは覆せないなので、そこでの対応をしっかりといただきたい。1・2・3級はどのようになっていくかということ、ある程度の移行期間を設けるようになっていくが、移行期間がどれくらいになるかは推定できない。今、訪問介護員養成研修を実施している学校については、対応を考えつつ、申請し受理されているのであればしばらくは大丈夫かと思われる。ただ今から取らせるような学校があるとすれば、それはかなり難しい状況ではないかと思う。

介護職員基礎研修はどのような内容なのかということ、現在の1級 230時間、2級 130時間、3級 50時間の養成時間をほぼ500時間になる予定である。これは現在行われている養成時間の倍近くの時間数で、現在行っている学校のいくつかは実施できていくつかの学校は実施できない可能性が出てくる。そこにおいて福祉の特色をどのように出すかということが、今後の高校教育のあり方につながることになる。全国一律同じような高校福祉教育を目指す必要性はないが、限られた条件の中で、学校はどう生きればいいのかを考えていただきたい。

④今後の高校教育の在り方について（質疑応答を含む）

Q) 福岡県 荒瀬先生より 介護福祉士国家試験筆記試験の有効期限について、前の制度が復活することはないか。

A) 制度が変わり動き出しているので、前の制度が復活することはないし、そのように求めて行くことも大変難しい。

Q) 福岡県 荒瀬先生より 訪問介護員養成研修の視察の状況を教えていただきたい。

- A) 訪問介護員養成研修については都道府県の知事のもとで申請受理されているものなので、そこで申請受理されたものであるならば、一般であろうと教育現場であろうと現地調査はその権限によって行われる。その現地調査を強化したいと言っている。時間数は不足していないか、講師がちゃんと授業しているか、訪問介護員の場合欠席すれば、修了認定はできないことになっているので、欠席した場合はちゃんと補講が必要である。去年は専門学校を中心に調査が行われた。今後現地調査があることが十分考えられるのできちんと書類を準備してほしい。
- Q) 福岡県 荒瀬先生より 介護技術講習会の申込者が殺到し回数を1回から3回に増やした。全国的にどうなのか状況を教えてほしい。県によって対応が違うがもう少し合理的な方法はないだろうか。
- A) 夜中に並んで順番を待ったというケースもあるくらい今回の定員は少ない。厚生労働省にはもう少し多くの人を受講できるようにしてもらえるように強く依頼し、来年は最初から8割～9割の人が受けられるように話をしているので、今年より良くなると思う。専門学校も受講者が集まらないのではないかとという経営不安があったので敬遠したようである。高校としては枠を確保してもらえるように、専門学校と情報を共有する必要がある。または学校の実習棟を貸し出して行う方法もある。学校が動けば動くほど有利な方向に行くのではないかと思う。
- Q) 福岡県 荒瀬先生より 高校教育から介護福祉士受験資格がなくなるのではないかという話もあるが、今後の見通しはどのようなものか教えてほしい。
- A) 厚生労働省の本当のところは、報告書でなければ分からないが、ある人からこんな話を聞いた。高校よりも短大、短大よりも大学という考え方はあるが、介護職員として多様な人達に働いてもらいたいし、国家試験というものをクリアして資格を持っていれば高校であろうが何であろうが関係ない。高校生だからダメなのではなくて、高校生でも頑張っている人はいるし、逆に大学生でも頑張れない人もいる。要は情熱と資格をもって頑張っている人かどうかという事が大切である。可能性のある高校生を前にして、教育者が生活的に未熟だとかいうことを言うてはいけない。
- 報告書は理想論を書きがちで、レベルが高い方がいいに決まっているから今より技術知識が素晴らしい人に資格を与えるような書き方になる。報告書を安易に持って行くことはできない。報告書ができた上で現実と合わせていかなければならない。しかし報告書は法的なものなので、1人の意見で変わるものではなくて、委員会や市議会を尊重しなければならない。高校生の可能性や頑張りは知っている。介護福祉士国家試験の受験資格について、制度を今変えたばかりなので、その成果も出ないうちに、また審議することはないかもしれないということだった。次の審議の時期までに、校長会として高校福祉科の卒業生が頑張っているというデーターをとって発信していけば評価も高まっていくのではないだろうか。まだまだ高校福祉科で介護福祉士が取れるのかという人が多く、世間の認識は低い。だからこそ校長会で、資格が取れること、頑張っている卒業生がいることをアピールする必要がある。
- 見通しとしては、介護技術講習会などの制度が新しくなったので、数年後その成果が出た上で、高校生が審議の対象になることはあるが、数年はかかると思う。今、校長会としてデーターを蓄積し、訴えていき、地域の評価を高めることが高校福祉科を充実、発展させることにつながると思われる。高校生の可能性を信じて応援団になってほしい。
- Q) 岡山県 中根先生より 文部科学省の取り組み、考え方、姿勢が見えてこないのです、どの

ように活動してみえるかなどを教えていただきたい。大学の先生方なども生活経験が不足していると言っているがその点も含めて伺いたい。

A) 「大学の先生方なども生活経験が不足していると言っている」という点については、大学の教員が高校福祉科をよく知らないからで、会って話しをすると、初めて高校福祉科を知る。各学会に行くときには、資料を持参し配布して説明している。その時にデータが大切なのである。

Q) 愛知県 細井先生より 教育現場では、中学生にたいして、3年間を約束するのが原則であるが、先ほどの話のように、訪問介護員養成研修の見直しについても3年か5年か10年かもしれないという曖昧な形のままで困る。その点でやや疑問を感じるので、訪問介護員養成研修などについての文部科学省として視点を伺いたい。

A) 訪問介護員養成研修はいつ切られるか分からないので、生徒に取れるということを言わないでいただきたい。生徒に説明する場合は単年度申請なのでということを必ず断って続くかどうか分からないということを伝えて欲しい。

文部科学省の考え方としては、昨年何度か担当者と会っているが門前払いになっている。文部科学省として動いていないのではなくて、すべての会議にできるようにしているが、何もしていないと言われれば、紙に残っていないのでそう思われるかもしれない。しかし接触はしている。社会的流れとして、訪問介護員養成研修はなくなる方向に動いているので、それを止めることは無理である。その時に少なくとも介護福祉士の国家試験の受験資格を維持したいというスタンスのもとに交渉している。

なぜ訪問介護員が厳しくなったかということ、F T A (自由貿易協定) の関係で海外からの労働者を受け入れざるをえないということが出てきている。これは厚生労働省もタッチできない所である。今の日本の福祉の仕事といえば、訪問介護員と介護福祉士があり、日本の国として介護の質を下げないで、一本化するためには介護福祉士を残すということを国として打ち出した。

訪問介護員養成研修修了者は200万人いるが実際に働いているのは20万人で、その内の約8割が非常勤である。介護福祉士を持っている人は8割が常勤で、生徒の安定した職業への就職という事を考えれば、介護福祉士国家試験受験資格を残す方向を支持した方がいいという考えを持っているのが現状である。

Q) 群馬県 峯川先生より 前進的な対応をしないで、政策にたいする苛立ちが多い。訪問介護員養成研修がなくなることが分かっているので、全福校長協会の資格試験を作るなどしてアイデアを出して、出来てしまっている福祉科の生徒達のモチベーションを高めるように進歩をしていかないといけないと思うが、どのようにお考えかご意見を伺いたい。

A) 午前中の理事会で話をさせていただいたが、福祉検定のようなものや福祉を学んだ生徒達に校長会で認めていくような資格をつくるという方法も対策の1つとして考えられるのではないだろうか。

O) 福岡県 杉森先生より 校長会で企画するようなものはどうかという話があったが、それに反対である。いろいろな資格をとっても最終的には出先で認められるようにならなければいけない。介護福祉士については国家試験として確立されていてよいが、結果として資格が取れるようにしないと意味がないのではないだろうか。調理師の免許も出口があつてこそよい教育ができる。卒業後、就職するか進学するかによっても違うが、資格を作っても難しいと思われる。

O) 大阪市 笠岡先生より 資格については良い所と悪い所があるのは事実で、検討していか

なければならない。訪問介護員養成研修の資格を持っていると就職においても進学においても有利であり、校長会で資格を出しても認めてもらわなければ意味がないのでどのように社会に認めてもらうのが問題である。今現在の生徒が社会で活躍してくれば、資格もだんだんと認められるのではないだろうかと思う。

-) 福井県 萩原先生より 資格だけでは就職はできないと思う。就職の先でどの程度評価があるかによって変わってくる。生徒の育成に全力を注ぎ、実績をつくるのが、唯一厚生労働省に対し介護福祉士の資格取得を剥奪することの歯止めになる一番の方法だと思う。福祉科としてどれだけ良い人材を就職先に送るかの一点につきと思う。福祉科としてどういう学校の方針を持って生徒を育てていくのか、介護福祉士として資格取得を目指して育てていくのか、一般福祉として育てていくのか考えた上で、前向きな試みとして検定なども良いと思う。ただ検定などが就職の現場で役に立つかどうかは、ほぼ不可能に近いくらい厳しいと思う。一般的な福祉を学ぶ生徒の段階的な学習にはなると思うが、大変難しいと思う。高齢者がだんだん減ってくるとそれに伴って就職も減ってくるので、高校生が介護福祉士資格取得を出来ないとなると、高校福祉科卒業生の就職戦線はますます厳しくなっていくと思う。私達がいかに質の高い生徒を育てていくかが大切で、教員が高校生は精神年齢が幼いという評価になってきていることをいい訳にしまっては、結局不利益を被るのは生徒になり非常に難しい課題であると思う。しかし何らかの方法でいろいろな問題を解決し、生徒を育成していくことがポイントになるので、頑張りたいと思う。

- Q) 介護福祉士の試験の時期を早めることはできないか。早く介護福祉士を取れば、その資格でもって就職することができると思うがどうか。

- A) 一番伸びている職種は訪問介護員、二番目が介護職員なので出口はあるが、高校福祉科のみの出口ではないので一般の方々と競争しなければならない。

実施時期については平成2年に早めて良いかという話があった。そうすると高校福祉科は3年間で養成するはずなので、9月10月には受験が不可能で、その年は受験出来なくなる。早く受けさせることで若干就職に有利になるという考え方とその資格がないと就職できないとする施設があった場合不利になるという考え方がある。それを時期を早めてほしいということをごちから持ち出すのは怖い気がする。

-) 滋賀県 中野先生より 福祉科が子供達に浸透してきたのは、おそらく介護保険制度が出来たからではないだろうか。将来福祉の仕事について頑張ろうという気持ちをもって入ってくる子供達を大事にしなければならないと思う。地域の方からは高校の段階で福祉を勉強しているという子供を純粋に尊敬したいという事をいわれる。そういうモチベーションを持った生徒をきちんと育てることが大切なので、厚生労働省もしっかりと後押しをして欲しいと思う。

- Q) 福岡県 杉森先生より FTAの関係で外国人労働者が入ってくると、単価が下がったり、雇用条件が変わったりなど問題が起きてくるのではないか。そのあたりをどのようにお考えか教えていただきたい。

- A) 外国人労働者が入ってきても最低賃金は決まっているので、単価が下がることはない。フィリピン海外労働省があって海外への労働者は800万名と決まっている。それから日本の福祉分野では介護福祉士の資格がないと働けないので、かなり条件が厳しいことからレベルの高い人しか受け入れられない。1000人までいかないので、各施設に1名くらいになるので日本人を圧迫するわけではないと思う。文化等が違うので主役にはなれなくてサポート的な存在になるのではないだろうか。

- Q) 福井県 萩原先生より 高校福祉科の介護福祉士受験資格をもっている学校への査察が入る可能性はあるのか。
- A) 高校福祉科への査察はほぼないと思われる。訪問介護員養成研修のほうが査察が入る可能性が高いのでそちらのほうが心配である。訪問介護員養成研修は受講証明書で時間数をこなせばいいというものなので査察が入りやすい。

矢幅調査官の助言

各学校個別の問題もある。県、国という段階がある。各学校の課題を整理して必要なものは校長会で取り上げるなどして行って欲しい。校長会はよいつながりなので、校長会の組織、システムをしっかりして行って頂きたい。

生徒の交流の場がないので、せめて県内の高校福祉科の生徒が意見交換、発表する場を作っていただきたい。それが生徒の励みになると思う。宮崎県ではすでに実施されているので、参考にしていきたい。そうすることで生徒も生き生きしてくると思う。

全国大会の前後にブロックでの研修会を充実させていきたい。

今回で11回になる全国大会であるが、すべて同じ形でやる必要はないので、例えばこの校長会も学科主任の先生を従えて意見を聞く機会があってもいいのではないかと思う。固定観念にとらわれずいいことがあれば取り入れていけるといいと思う。

よりよいものを作るために意見を戦わせるようにしてほしい。

⑤その他

・研修について

事務局の方からも連絡があったが、新産業等指導者養成研修は主催者が福祉科校長会であるということや文部科学省が関わっている福祉の研修会はこれしかないので、来年度以降も充実させ、実施をしていきたい。また定員に満たなければなくなってしまうので、ここに受講者を派遣していただきたい。

今回H-1という京都女子大学で行われた研修は、介護技術講習会の中身そのものを先生方に受けていただくという形を取った。講師は厚生労働省が介護技術講習会を作った時の担当スタッフである大学教授にお願いした。チェックポイントやどのように指導したら良いかという事をすべてやっていただいた。20名のところを33名でやっていただき、充実したものになったと聞いている。H-2のルーテル学院大学で行われた研修では20名中13名が参加し、参加した先生方が大変熱心に受講され、講師の先生からお褒めのお言葉をいただいている。来年は介護技術講習の方を関東で、援助技術の方を関西で行うように計画している。現在は補助金をカットの時代なので参加者がいなければなくなってしまうので、教員の派遣をお願いしたい。

また校長会での委員会を増やしたり、担当者を作ったりして、研修会を行いやすいようなシステムを作っていただきたいと思う。

その他に福祉学会として大きな日本社会福祉学会、日本地域社会福祉学会、福祉科教員養成の分科会をもっている学会としてはトップクラスの日本福祉教育・ボランティア学習学会等への教員の派遣もしていただきたい。

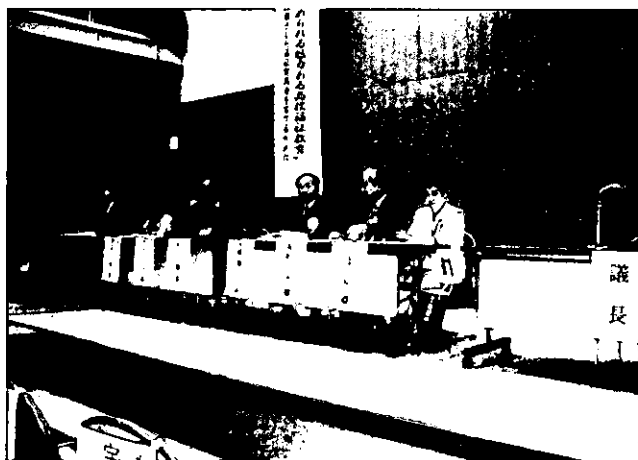
福祉の教員は大学でも養成しているが、まだまだ不足気味で、現場でも研修の機会が少ないので学会への派遣をしていただきたい。その時に他の団体とのつながりを作っていただきたいと思う。福祉系の大学の集まりと高校福祉科の集まりがタッグを組めばいろんな研修の時に講師を派遣して頂くこともできるし、生徒を送る先の大学も見つかるし、生徒が戻ってきて教育実習を行う場所を提供するような、両方が協力体制を作っていくことができる。一番のキーパーソンは日本社会福祉教育学校連盟で、日本社会福祉学会、日本地域福祉学会の事務局が学校

連盟と同じ住所にあるので、学校連盟と学会とがきちんとした関わりを持っていけば、高校福祉科としてもメリットが出てくる。昨年度の木村会長がいろいろな全国大会に顔を出し、あいさつをしてつながりを作って頂きましたので、今年度についてもこの校長会の代表があいさつなどを通して関わりをしていただければと思う。

産業教育フェアが東京都お台場で行われる。いつもなら都道府県の教育委員会が主体になって行われるが、今年に限っては主催が各校長会になって行うことになっており、教育委員会は直接運営面ではタッチしない。校長会の人、お金を持ち出してやることになる。意見・体験発表会、作品・研究発表会があり、それらは各専門学科の代表生徒が意見を述べたり、研究成果を発表したりする場である。福祉科としての枠は今年度からできたので、福祉科を理解して頂くためには福祉科からエントリーして、どんなところに福祉科があって、どんな勉強をしているかを訴えて頂きたいし、発表して頂きたい。来年度以降は固定して福祉科の枠ができるので、そこに送り込むだけの生徒の発表の場を校長会で作っていかないと、ただ順番に高校を決めるだけになってしまう。県やブロックでの発表会のようなものを企画運営して頂ければいいのではないかと思う。

・教科書について

社会福祉実習・演習の教科書を作って欲しいという依頼がよくあるが、文部科学省では実習演習の教科書は検定しないことになっているので、校長会で指導書や学習ノートなどを作りたい。それか研修部で発行しているようなものを使用していただきたい。いろいろな本の抜粋により、現在のものは基本の形がしっかりできている。今後は中身の見直しを行っていきよりよいものになれば良いと思う。



第1分科会

現場実習

「社会福祉実習の取り組みについて」

広島県立黒瀬高等学校 教諭 森谷 順子
教諭 武智 朋子

1 学校の概要

本校は、広島県のほぼ中央に位置し、昭和23年に広島県西条農業高等学校黒瀬分校として設置され、昭和46年に広島県立黒瀬高等学校として開校した。その後、平成4年に家政科を福祉科に改編し、今年は福祉科設置14年めとなる。現在普通科3クラス・福祉科1クラスの4クラス編成である。

2 福祉科の概要

(1) 取得できる資格等

- ・ 訪問介護員2級
 - ・ 訪問介護員1級（校内認定試験に合格した者のうち希望者）
 - ・ 介護福祉士国家試験受験資格（全員）
 - ・ 選択科目「福祉総合」2単位の選択者は福祉住環境コーディネーター3級を受験
- ※1・2級とも、卒業時に
修了証書授与式を行う

(2) 福祉科の現状

	1年	2年	3年	合計
生徒数(男子の数)	38(6)	31(6)	30(6)	99(18)

卒業後の進路は、進学と就職が約50%ずつで、看護・福祉関係への進学の割合は8～9割、福祉関係への就職は約8割で、地元の福祉施設で活躍している卒業生も多い。

現在は自宅から通学できる生徒のみ在籍している。約8割が女子である。

3 教育課程

平成17年度入学生カリキュラム

◆ 1学年(30単位)

国語総合 (4)	世史 A (2)	数学I (4)	理科 総合 B (2)	体育 (3)	保健 (1)	英語I (3)	家庭 (2)	基医 (2)	福基 (2)	基介 (2)	福情 (2)	H R (1)
-------------	----------------	------------	----------------------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------------

基医=看護基礎医学、福基=社会福祉基礎、基介=基礎介護、福情=福祉情報処理

◆ 2学年(32単位)

現代文 (2)	現社 (2)	数学A (3)	化学I (3)	体育 (2)	保健 (1)	音楽I 美術I 書道I (2)	英語 II (2)	OCI 国表 古典 (2)	家庭 (2)	基医 (2)	福基 (2)	基介 (2)	社援 (2)	福実 (3)	H R (1)
------------	-----------	------------	------------	-----------	-----------	--------------------------	-----------------	------------------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------------

基医=看護基礎医学, 福基=社会福祉基礎, 基介=基礎介護, 社援=社会福祉援助技術, 福実=社会福祉実習

◆ 3学年(32単位)

現代文 (2)	地理 A (3)	政経 発展数学 総合英語 研究 (2)	生物I (3)	体育 (2)	英語 II (2)	選択 ス (2)	食文 化 (2)	福制 (2)	基介 (2)	社援 (2)	福演 (4)	福実 (3)	H R (1)
------------	----------------	---------------------------------	------------	-----------	-----------------	----------------	----------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------------

福制=社会福祉制度, 基介=基礎介護, 社援=社会福祉援助技術, 福演=社会福祉演習, 福実=社会福祉実習
選択ス: **福祉総合**・現代文研究, 音楽II, 美術II, 書道II

4 福祉施設現場実習について

(1) 実習期間

1年生: 1日(6月中旬) 総合福祉施設見学実習及び交流

2年生: 10日(10月中旬の月曜日～金曜日・土日は休み) 8:30～16:00

※ 訪問介護員養成研修2級課程の研修を含む

3年生: 10日(5月下旬の月曜日～金曜日・土日は休み) 8:30～16:00

※ 訪問介護員1級研修希望者は夏季休業中に11日 8:30～17:30

介護老人福祉施設 3日・デイサービスセンター 2日・在宅介護支援センター1日

訪問介護員同行訪問 2日・訪問看護同行訪問2日・地域保健所見学実習1日

※ 2年・3年の10日間の実習は1日7時間で、社会福祉実習(2単位)としている。

※ 実習期間中の普通教科の授業は、夏季休業中に補充授業を行う。

(2) 実習施設

近隣の介護老人福祉施設・介護老人保健施設及び併設の通所介護事業所・訪問介護事業所(訪問介護員1級研修は訪問看護ステーションも含む)に、1施設2名～4名で計10～12施設お願いしている。

実習期間中は、学校には登校せず、自宅から直接実習施設へ向かう。実習施設は2年次と3年次が同じ施設にならないよう、また、自宅からの距離等を考慮して教員が決めるので、交通費は入学時に徴収している実習費より、学校から施設までの実費を支出している。

(3) 保険加入

施設賠償保険に加入

(4) 実習委託料

生徒一人あたり1日2,000円(県費)・訪問介護員1級研修については自己負担

(5) 実習目標

- ・ 利用者とのコミュニケーションを図り、身体的・精神的特性を理解する。
- ・ 利用者との間に信頼関係をつくることができる。
- ・ 日課にそった日常生活の基本的な援助ができ、個々に応じた方法が理解できる。
- ・ 他職種の役割を理解し、チームの一員としての行動ができる。

(6) 実習内容 (10 日間の社会福祉実習について)

【2年次】

施設での介護実習・・・8日
レクリエーション実習も含む
デイサービス (デイケア) 実習・・・1日
訪問介護員同行訪問実習・・・1日

【3年次】

施設での介護実習・・・9日
レクリエーション実習
ケース記録 も含む
デイサービス (デイケア) 実習・・・1日

(7) 指導内容 (10 日間の社会福祉実習について)

ア 実習前

- (ア) 実習前意識調査
- (イ) 個人面接 (放課後)
髪型・制服を整え、入退室の作法練習をし、実習に向けての決意を述べる
- (ウ) 実習施設の発表・交通経路の確認
- (エ) 保護者に文書で説明し、実習承諾書の提出
- (オ) 個人票・決意表明の記入 → 福祉科教職員6名が分担して (1～2施設) 個人票を施設に持参し、実習の打ち合わせを行う
- (カ) 実習オリエンテーション
 - a 実習の心得：時間厳守、服装・身だしなみ、態度・言葉づかい、守秘義務、健康管理、記録及び提出物、実習中の生活、責任ある行動、持参物 等
 - b 実習記録 (行動計画表) の書き方
 - c ケース記録の書き方 (3年次のみ) ※個人情報に関する守秘義務については重点的に
 - d 注意事項 (事前連携) の確認 (施設ごと)
- (キ) 結団式
福祉科の全生徒が参加し、施設ごとに自分の実習への決意を述べる

イ 実習中

- (ア) 巡回指導：1週めに1回・2週めに2回程度 (反省会も含めて)
福祉科教職員が1～2施設担当
- (イ) 反省会
※原則、実習最終日に施設の実習担当職員の方と生徒・教職員が参加し、リーダー生徒の進行で行う

ウ 実習後

- (ア) 礼状作成・実習記録の提出
※生徒の礼状とともに、各施設に生徒の記録物を郵送し、実習評価表への評価の記入及び、個人票・記録物の返送をお願いしている
- (イ) ケース記録 (3年のみ)・振り返りプリントの提出及び自己評価 (資料1)

(ウ) 実習報告会（2・3年生参加）

発表内容

- ① 施設の種類と役割
- ② ケース紹介と介護の様子
- ③ 利用者との接し方・コミュニケーション・信頼関係
- ④ 食事について
- ⑤ 排泄について
- ⑥ 環境について
- ⑦ 清潔について
- ⑧ 社会生活の維持拡大について
- ⑨ 全体を通しての感想・考えたこと

(エ) 感想文集（1200字）の作成

(8) 成果

- ・ 結団式で実習への決意を福祉科生徒の前で発表することにより、実習に対するの自覚が高まる。
- ・ 結団式に参加することにより1年次より実習や学習に関する意欲が高まる。
- ・ 2年次にできなかったことを克服したいという気持ちで校内実習に励み、3年次の実習を充実したものにすることができている。
- ・ 介護の現場で実習することにより、自信を持って実施できる項目が増え、介護技術が向上した。
- ・ 実習前に不安に思っていたこと、一週めに困ったことを、ほとんどの生徒が2週目には解決している。（特にコミュニケーションに関して）
- ・ ケース記録をまとめることにより、利用者に対する理解が深まり、利用者の状態に合わせた介護の実際を学ぶことができた。
- ・ 報告会でそれぞれの施設での実習内容がわかり、情報交換の重要性を学んだ。

5 今後の課題

- ・ 現場での実習の頻度の高いもの（レクリエーションの運営・配膳・食事介助・口腔の清潔援助・ベッドメイキング・移動・トイレ介助・おむつ交換・歩行・杖介助・入浴介助・洗髪・整髪等）は、校内で十分学習と練習を行って、戸惑うことなく安全に行えるようにしておく必要がある。
- ・ 3年次に自信を持って実施できるまで到達させたい項目を精選し、2年次より施設実習の中で見学や実施を行なえるように施設の担当職員と連携しなければならない。
- ・ 3年次には利用者の状態を考え、ニーズを把握し根拠をもって応用ができるよう指導したい。利用者の状態を観察することが不十分なので、授業の中で充実させる必要がある。
- ・ 実習に対する積極性が不十分な生徒や、実習記録のまとめ方や表現力が十分でない生徒もいるので、校内実習での指導を充実させる。

生徒の感想（抜粋）

結団式の「決意表明」(3年生)

- ・ 前回の実習では、着脱介助を主に行っていました。この着脱介助でどのように介助を行うとうまく着脱できるかなど勉強になりました。また、はじめはうまくいかなかったコミュニケーションも、介助をしていく中で気軽に声をかけられるようになり、私自身も楽しく会話をすることができました。前回の実習先へ行ったことを生かしつつ、今回の実習では主に、認知症の方とのふれあいや利用者の思い、コミュニケーションの仕方を学びたいと思っています。将来、グループホームへ就職したいという思いがあるので将来に向けての勉強も兼ね認知症の方についてよく理解しておきたいと考えています。今回は技術面に加え、高齢者の精神面を学び、将来の勉強になるよう勉強していきたいです。

結団式の感想(2年生)

- ・ 今回、3年生が「2年生のときは～ができなかったので・・・。」と言っていたので、私も、10月の実習には自分のできる精一杯をして、自分の力にしていきたいです。
- ・ 3年生の先輩たち全員が「コミュニケーション」という言葉を使い、全員がそれを課題にしていたので、コミュニケーションはとても難しいのだと思い、自分も不安になりました。コミュニケーションをしよう、やろうと言う意識でやるのも大切だと思いますが、できれば自然に話をすると言う感覚でできるようになればいいなと思いました。
- ・ 先輩たちの決意を聞いていて、あまりよくわからなかった実習が少しわかるようになりました。1回やった事があるだけに、目標が具体的で参考になった。でも不安だ。

結団式の感想(1年生)

- ・ みんなすごく大きな声でしゃべっていてすごいなあとと思いました。2回目から頑張りたいという気持ち伝わってきました。みんなそれぞれ、自分の目標を持って、その目標に向かって頑張っているのが、かっこよかったです。私も、2年生、3年生になったときにあんな風に堂々と実習に行けるようになればいいなあとと思いました。卒業するときに介護福祉士の国家資格が確実に取れるようになりたいです。
- ・ 今日の実習の話を聞いて、自分が行くときがとても楽しみになりました。まだまだ勉強することはたくさんあると思います。その中で苦しいことがあると思うけど、それが実習のときに必ず役に立つと思います。だから、これからの福祉の勉強で、先生の話真剣に聞き、最後まで一生懸命頑張ろうと思います。介護をさせていただく側として気持ちを忘れずに3年生のようないい生徒になりたいです。

報告会に参加して(3年生)

- ・ どの施設もコミュニケーションは大切だと考えていた。「心のケア」は一人一人違っているので大変だと思った。できるようになりたい。
- ・ 実習のことがわかりました。施設によりおむつ交換・入浴介助といった介助・介護の方法が違うことがわかりました。「介護させていただいている」という気持ちで介護するという事を、発表を聞いて学びました。
- ・ それぞれ施設によって、食事、居室、入浴、排泄など工夫がされていました。私が一番工夫しているなと思ったのは、手指の拘縮がある方にお茶パックを握ってもらうことです。お茶の殺菌効果などを利用して驚きました。また、介護者自身の介護技術の向上を図るために講習会を開いていることはよいことだと思いました。自分の行っていない施設の様子も聞けてとてもよい機会でした。
- ・ このような機会は、理解を深め、向上心、興味関心を高めるといったことに役立つので実によいと

思います。情報交換は重要だと思いました。

報告会に参加して（2年生）

- ・ 施設の様子や、内容などがよくわかったりし、自分たちが実習に行くときこういうことも考えさせたいと思いました。やっぱりコミュニケーションは難しそうで、いろいろ工夫しながら行っていることがよくわかりました。
- ・ 10月の実習へ行く前に、職員の方のアドバイス、施設の様子、コミュニケーションなどをどうしたらよいか知ることができ、不安が少しなくなりました。発表を聞くことができてよかったです。
- ・ 利用者の方はいろいろな人がいると思いました。でも、その人に合った介助などがあって、とても難しく思いました。声かけをしながら介助をしていかないと、利用者の方が今どのような状態なのかわからないのできちんとコミュニケーションをし、声かけをしないといけないと思いました。コミュニケーションができたらいと思いました。次は自分が体験するので先輩達みたいに、うまく伝えられるように、実習でやったことなどを頭に入れて、授業に生かして自分のものにして行きたいと思いました。

実習前意識調査より

- ・ 自己の健康管理と、利用者とのコミュニケーションがうまく図れるか、また、介護技術が未熟で利用者に不快な思いをさせないかと言う不安を抱えている生徒が多い。

3年生の施設実習の自己評価表より（資料2）

- ・ レクリエーション参加への援助、デイサービス・デイケアへの参加、送迎介助等、1日は体験実習できるように施設と打ち合わせを行い全員が実習し、食事介助などをほとんどの生徒が実習でき、利用者の状態に応じた食事の準備、介助の方法を理解するという目標への到達度（自己評価）も高かった。
- ・ 排泄のトイレ誘導、おむつ交換、排泄確認の頻度が多く、他の排泄項目の頻度は低く、観察は30%の生徒が実施できないと答えた。しかし、トイレ誘導、おむつ交換は90%以上の生徒が自信を持って実施できるようになっている。
- ・ 清潔については、歯磨き、義歯の清拭取り扱い、爪切は、頻度も低く、自己評価が低い生徒が多いが、洗髪、整髪、清拭、入浴の実習頻度が高く、到達度も高かった。
- ・ 歩行介助、補助具介助、車イス移動は頻度も高く、90%以上実施できると答えている。

3年生の施設実習の振り返りプリントより（資料3）

- ・ 施設実習の1週間目は、利用者の名前がわからなくてコミュニケーションにも困っている。食事介助や着脱、おむつ交換などの介護技術面にも戸惑いがあるが、2週間目になるとコミュニケーションや介護技術面の戸惑いはほとんど解消している。
- ・ 2週間目は全体に困ったことがない生徒も多く、入浴介助やレクリエーションの実施を行うために新たに困ったこととしてあがってきている。実習の頻度が上がり、指導されることにより、実習はスムーズに行えている。
- ・ 2週間目は利用者に対して、状態や個性が把握できるようになり、その利用者に対応する介護を行う状況になっている。この場面に遭遇することにより困ったことは多くなるが、状態に合わせた対応を学習することができている。

施設実習の自己評価表

3-4 () 番 名前()

施設実習を終えて、実習の目標をどの程度達成できたか振り返り、自己評価をしてください。施設で見学も実習もなかったものには未の欄に○を記入してください。見学・実習をしたものにはそれぞれの欄に○を記入し、自分の到達度を、表の到達度の欄に、尺度の番号を記入してください。到達度の低いものは、これから、課題として取り組んでいきましょう。

評価尺度

- 1 自信を持って実施できる
- 2 指導・監視のもとで何とか実施できる
- 3 実施できないが、施設の職員の実施を見学し理解することができた
- 4 方法や内容が理解できない

チェック項目		施設実習				施設実習の到達目標
		実習	見学	未	到達度	
環境	環境整備(居室・自床)					①居室の整理、整頓、換気、清掃ができる。 ②安全の確保について理解できる。(感染予防、事故防止) ③個々のニーズに合わせた居室環境について観察し、整備できる。 ④プライバシーの確保について理解する。 ⑤状況に応じたリネン類の交換ができる。
	ベットメイキング					
	シーツ交換					
食事	準備(配膳など)					①利用者の状態に応じた食事の場所、献立、調理法などがわかる。 ②利用者の状態に応じた食事の準備、介助の方法を理解する。 ③食事摂取量を観察し、報告できる。 ④適切な後片付けと下膳ができる。 ⑤水分補給の必要性を理解する。
	食事介助					
	摂取量の観察					
	経管栄養					
	水分補給					



施設実習の振り返りプリント

施設名() () 番名前()

月日	曜日	実習指導担当者名	職種	指導を受けたスタッフ(人数)	指導を受けた内容(□にチェック)	印象に残ったこと 学んだこと	困ったこと
					<input type="checkbox"/> 服装身だしなみ <input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 言葉使い <input type="checkbox"/> 健康管理 <input type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 清潔 <input type="checkbox"/> 整容身だしなみ <input type="checkbox"/> 排泄 <input type="checkbox"/> 安楽安全 <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 環境整備 <input type="checkbox"/> 日常生活拡大 <input type="checkbox"/> 記録報告 <input type="checkbox"/> 他職種との連携 <input type="checkbox"/> 在宅福祉サービス <input type="checkbox"/> その他		



資料2
実習後自己評価表

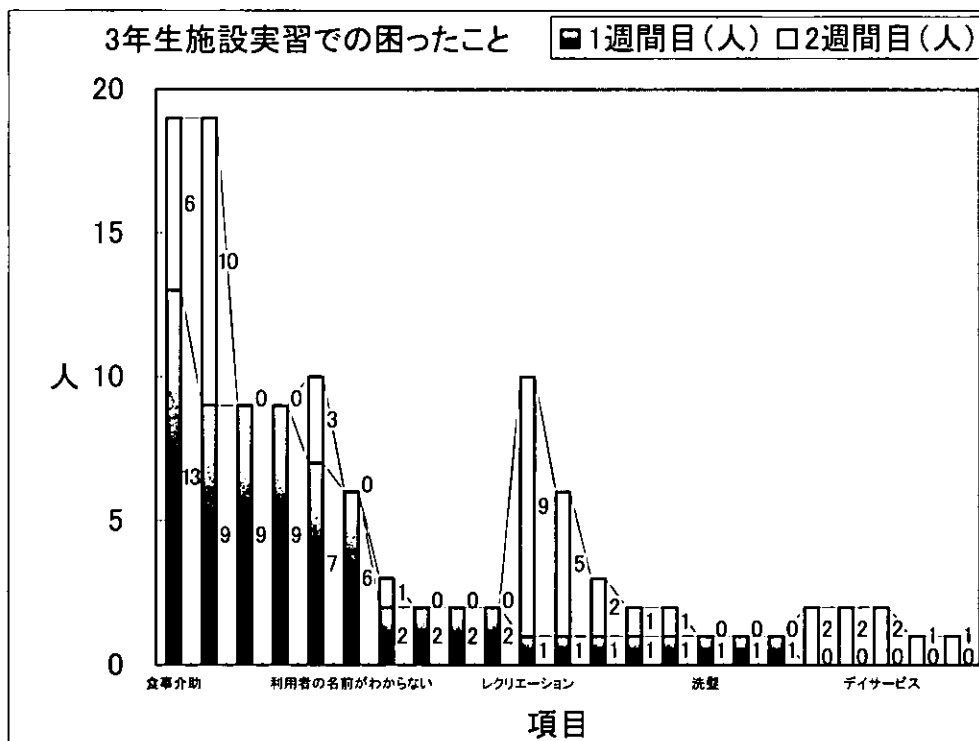
チェック項目		到達の順位	実習した人数	実施できる(%)	実施できない(%)
環境	環境整備(居室・自床)	17	24	80.0	3.3
環境	ベットメイキング	10	26	93.3	0.0
環境	シーツ交換	10	27	93.3	0.0
食事	準備(配膳など)	1	30	100.0	0.0
食事	食事介助	10	29	93.3	6.7
食事	摂取量の観察	23	19	66.7	20.0
食事	経管栄養	46	0	0.0	63.3
食事	水分補給	3	29	96.7	3.3
排泄	トイレ誘導	10	26	93.3	3.3
排泄	便・尿器介助	33	12	43.3	16.7
排泄	ポータブルトイレ移動	31	16	50.0	26.7
排泄	おむつ交換	6	29	96.7	3.3
排泄	排泄物の観察	27	20	60.0	30.0
排泄	摘便・座薬挿入・浣腸	44	1	3.3	40.0
姿勢・移動	ストレッチャー移動	34	12	40.0	30.0
姿勢・移動	車イス移動	3	29	96.7	3.3
姿勢・移動	補助具(杖など)介助	14	25	90.0	6.7
姿勢・移動	歩行介助	1	28	100.0	0.0
姿勢・移動	安楽への援助(円座・マット)	20	17	73.3	20.0
姿勢・移動	体位変換	17	19	80.0	16.7
姿勢・移動	マッサージ	35	7	33.3	30.0
清潔	一般浴槽	17	24	80.0	16.7
清潔	機械浴槽	23	22	66.7	20.0
清潔	椅子浴	28	19	56.7	26.7
清潔	全身清拭	20	20	73.3	6.7
清潔	部分清拭(足浴)	28	16	56.7	13.3
清潔	口腔清拭(歯磨き)	37	6	30.0	36.7
清潔	洗髪	6	29	96.7	3.3
清潔	義歯の取り扱い	40	4	23.3	26.7
清潔	整髪	3	28	96.7	0.0
清潔	ひげそり	26	12	63.3	10.0
清潔	爪切り	30	12	53.3	26.7
衣類	衣類の管理	32	15	46.7	26.7
衣類	着脱介助	6	29	96.7	0.0
褥法	氷枕・氷嚢の与え方	42	1	6.7	6.7
褥法	湯たんぽの与え方	41	1	10.0	6.7
看護	症状の観察	37	7	30.0	23.3
看護	与薬の介助	36	8	33.3	20.0
看護	褥瘡の予防と処置	39	6	26.7	46.7
看護	応急処置	42	2	6.7	23.3
その他	クラブ活動・行事参加	16	24	86.7	0.0
その他	レクリエーション参加への援助	6	30	96.7	0.0
その他	散歩介助・買い物介助	22	21	70.0	3.3
その他	ショートステイ、ホームヘルパー、在宅福祉サービスへの参加	25	21	66.7	10.0
その他	デイサービス・デイケアへの参加、送迎介助	14	30	90.0	6.7
その他	終末期の介護	44	0	3.3	6.7

30%以上のもの

資料3
3年生施設実習(困ったこと)

振り返りプリント

項目	1週間目(人)	2週間目(人)	1週間目順位	2週間目順位
食事介助	13	6	1	3
利用者への対応	9	10	2	1
コミュニケーション	9	0	3	15
着脱	9	0	4	16
おむつ交換	7	3	5	5
利用者の名前がわからない	6	0	6	17
ベッド・キッチン・シーツ交換	2	1	7	10
トイレ介助	2	0	8	18
自分の健康管理	2	0	9	19
目薬	2	0	10	20
レクリエーション	1	9	11	2
入浴	1	5	12	4
認知症の対応	1	2	13	6
声かけ	1	1	14	11
爪切・髭剃り	1	1	15	12
洗髪	1	0	16	21
陰部洗浄	1	0	17	22
ホットパック	1	0	18	23
移乗	0	2	19	7
衣類の汚染	0	2	20	8
デイサービス	0	2	21	9
救急	0	1	22	13
物の場所	0	1	23	14
なし	40	64	24	24



第1分科会

資格取得

「介護福祉士資格取得の取り組み・・・本校の現状と課題」

大分県立野津高等学校 教諭 津田 暁子

1 本校の概要

本校は各学年2学級、生徒数215名（男子55名、女子160名）、職員数35名の小規模校で、全国で唯一の福祉科単科の専門高校である。卒業時には介護福祉士国家試験受験資格と訪問介護員2級の資格が取得できる学校である。県都大分の南、約30kmにある小さな大野郡野津町は平成17年1月、市町村合併により臼杵市野津町となる。野津町は人口約9,700人で緑豊かで自然に恵まれた環境にある。

(1) 沿革

昭和24年4月 県立三重高等学校定時制野津校舎として開校

昭和41年4月 県立三重高等学校より独立 普通科3学級

＜途中、商業科の新設・募集停止などが行われた＞

昭和50年8月 女子剣道インターハイ団体優勝（引き続き昭和53年、58年、60年団体優勝）

平成8年4月 福祉科の新設 普通科2学級／福祉科1学級

※大分県内の公立高校として初めての福祉科が設置される。

県下で唯一の福祉科設置校であるため、全県下からの生徒募集である。

平成10年11月 創立50周年記念式典

平成13年4月 普通科募集停止 福祉科2学級

平成15年4月 全学年福祉科2クラスの福祉科単科高校としてスタート

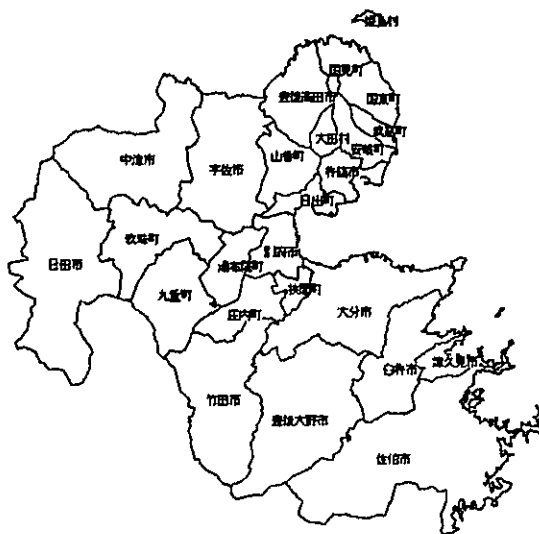
平成15年11月 柔道部 新人戦 女子個人九州大会優勝

平成17年2月 全国高等学校柔道選手権大会 男子団体 ベスト16

(2) 生徒状況

全県一区からの生徒募集とは言うものの、交通の便が整っていない環境にあり、地元旧野津町（31名）をはじめとして、隣接する臼杵市・津久見市（45名）や豊後大野市・竹田市（42名）、大分市（60名）や佐伯市（35名）等からの生徒がほとんどである。列車通学（最寄りの駅はJR豊肥線犬飼駅。駅からの交通の便がないため、駅～学校間はスクールタクシーを利用している）やバス通学をしている生徒も多く、さらに遠隔地からの生徒は、臼杵市が運営する寮（高校より徒歩10分）から通学している。

中学の頃から福祉に関する仕事に就きたいという進路目標を持って本校に進学してくる生徒が多く、中には中学生の時から手話を勉強している生徒もいる。福祉の道を志し



ているだけに友達思いで心優しく、進路目標をしっかりと持って明るく前向きな学校生活を送っているものがほとんどである。また、長期・短期の休日を問わず福祉施設等へのボランティア活動などにも積極的に参加し高い評価を得ている。

2 教育活動

(1) 教育目標

教育基本法の精神に則り、自己の存在感が確かめられる学校生活をとおして、生命の尊さを認識し、確かな学力と豊かな人間性をそなえた「福祉」を志す人間を育成する。この目標を達成するために校訓を教育活動の主眼におく。

誠実・・・高潔な人格と常に全力をつくすたくましい精神の養成をめざす。

勤勉・・・勤労と責任を重んじ、意志強固にして実践力のある人材の養成をめざす。

親和・・・自他の敬愛と協力によって、公共の福祉に貢献できる人材の養成をめざす。

(2) 教育方針

- ① 生徒一人ひとりの自己実現の達成を可能にする自己教育力を身につけさせる。
- ② 人間的な触れ合い異世代交流、感動体験を大切にし、豊かな人間性を育てる。
- ③ 基礎学力を定着させ、福祉に関する専門知識・技術・心を育てる。
- ④ 生き生きとした集団生活をとおして、幅広い社会性や公共の福祉への使命感、友愛精神を身に付けさせる。あわせて主体的・自律的に生きる力を育てる。
- ⑤ 県下唯一の公立高校福祉科として「開かれた学校づくり」を推進し、地域や保護者に信頼され、地域に貢献できる福祉従事者を育てる。

(3) 地域との連携を取り入れた活動

本地域は、「福祉の町づくり」を目指し、福祉行政や各種団体の取り組みが行われているが、それぞれの取り組みが独自に展開されている。平成15、16年度には文部科学省から「みんなの専門高校プロジェクト推進事業」の指定を受け、関係行政機関や各福祉関係団体とのネットワークづくりを行い、福祉についての研修活動や異世代交流などの地域連携を実践するなど、地域の福祉活動の活性化に一助を添えた。また、専門科目の中に地域住民参加型の授業を導入することで学習内容が充実し定着してきた。このように専門性を生かした地域住民参加型の学校行事の取り組みやボランティア活動に参加することで、地域における福祉活動のリーダーとしての資質を身につけている。



♪和太鼓部の演奏 ～老人施設訪問～

● 野津町バリアフリー探検

～障害者とともに～



地域に貢献できる福祉従事者
～一人ひとりの個性を伸ばし、自尊感情の持てる学校～



地域社会の協育ネットワーク

学習活動

「地域参加型授業」

- ・ 郷土料理に学ぶ
- ・ 野津町内のバリアフリー探検実習
- ・ つどいの広場事業
- ・ 社会福祉演習発表会
- ・ グランドゴルフ大会

部活動

「和太鼓（親和太鼓）」

- ・ 福祉施設訪問
- ・ 町内外のイベント参加
- ・ ボランティア活動

学校行事

「地域参加型行事」

- 永月祭（文化・体育祭）
- ・ 潔き聖母の家
 - ・ 野津南北保育園
 - ・ 高年クラブ



予想される成果

- ① 地域参加型授業や行事の取り組みにより、野津高校福祉科の存在意義が地域に認知される。
- ② 実践的学習活動の場の広がりにより、福祉のスペシャリストへの意欲向上につながる。
- ③ 社会福祉演習発表会を公開することでプロジェクト学習の深化充実とプレゼンテーション能力の向上につながり、生きる力の育成となる。
- ④ 和太鼓部員の真摯な活動・態度は全校生徒の愛校心を育て、学校の活性化につながる。



- 豊かな人間性を備えた福祉のスペシャリスト
- 自己教育力を身につけ主体的・自律的に生きる力を備えた生徒

(4) 進路指導

① 過去3カ年の卒業生進路状況

卒業年度	生徒数	大学		その他の進学			※就職		未定 その他
		国公立	私立	短大	専門学校	高等看護	県内	県外	
16年	66名	0名	6名	7名	5名	2名	34名	1名	7名
15年	56名	0名	3名	6名	8名	1名	29名	1名	8名
14年	39名	1名	1名	4名	5名	0名	24名	0名	4名

※就職内訳

卒業年度	介護職	准看護学校	公務員	一般職
16年	19名	3名	1名	12名
15年	20名	6名	1名	3名
14年	23名	1名	0名	0名

② 今年度の進路希望状況

3学年 (73名)

就職 (47名) 64%				進学 (26名) 36%			
介護職	公務員	准看護学校	一般職	大学	短大	高等看護	専門学校
34名	1名	4名	8名	9名	7名	2名	8名

1. 2学年の希望状況

2年	就職	46%		進学		34%		未定
	介護職	一般職	福祉・医療系	その他				
	29名	5名	12名	13名	15名			
1年	就職	52%		進学		48%		
	35名			32名				

福祉科の就職先は、平成15年度までは介護職が断然多かったが、平成16年度においては介護職だけではなく一般職が増えている。平成16年度の卒業生である第7期生は施設実習の回数を重ねる度に「福祉を志す」という目標から離れていった生徒が目立った。3年間の学習の中から福祉分野で働くという職業観をしっかりと意識するようになり、「福祉の仕事に携わる」というライフステージが描けなくなっていったように思える。こうなると福祉分野以外で働きたい生徒と介護職に是非就きたいという生徒の指導を進めていく難しさがある。進学指導についても同様の傾向が見られた。本校の大きな目標である「介護福祉士受験資格」を「介護福祉士国家試験合格」まで達成させるためには、それぞれの目標をお互い尊重する協調性の指導も大切だと考える。

さらに、介護職として働くには介護福祉士だけに限らず他の有資格者を条件としてあげている施設が非常に多い。このことよりできる限り本校でも進学を視野に入れた進路指導に取り組んでいる。しかし多くの資格が取得できる学校への進学を希望するものの、経済的理由で進学をあきらめなければならないものも多く進路指導の難しい面がある。

3 資格取得

(1) 介護福祉士の受験状況と本校の問題

全国的に見ると介護福祉士の受験者がここ4年間で急増している。合格者の割合は依然として福祉現場で働く職員が優勢であり、高校生合格者数の全国的に占める割合は1割程度である。これは、介護施設職員や訪問介護員の合格者が増加しているからである。ただ、福祉系の高校生全体の合格率は4～5割を超えており、現役の強さかもしれない。本校では福祉科設置以来、福祉科生徒全員が受験し合格率をあげて順調であったが、今回の第17回合格率は下記のように激減してしまった。全国平均を上回っていた近年のデータを覆すような結果に大きな衝撃を受け、反省を強いられた。卒業生の中には介護職として老健や特養等での内定を決めていた者が不合格のため取り消しとなった例もあり、進路達成にも大きく響いた。

また、本校生徒の進路希望調査から分かるように、今年度は介護職を希望している割合が高いことや、将来何らかの形で福祉系の仕事に就きたいと希望している生徒も多い。本校の場合、福祉科全員の合格が、「地域の福祉従事者を育成する」という期待にこたえるといっても過言ではない。従来の指導方法では進路達成は望めないと考え、合格率をあげる具体的な方策を立てて取り組んでいる。

ア 介護福祉士国家試験合格率（全国平均と本校を比較）

介護福祉士国家試験合格率 福祉科1期生（第11回）～福祉科7期生（第17回）

年 度	回 数	全 国			本 校			
		受験者数	合格者数	合 格 率 (%)	受験者数 (名)	一次 (名)	二次 (名)	合格率 (%)
13年度	14	59,943	24,845	41.4	36	23	17	47.2
14年度	15	67,363	32,319	48.4	39	29	19	48.7
15年度	16	81,008	39,938	49.3	56	34	32	57.1
16年度	17	90,602	38,576	42.6	66	21	14	21.2

※ 第16回 から福祉科2クラス

※ 原則として福祉科全員受験を入学時から指導している

受験資格別合格者の割合（数字は%）

区分	年度/回	13年度	14年度	15年度	16年度
		第14回	第15回	第16回	第17回
社会福祉施設の介護職員等		39.1	38.0	38.9	38.0
訪問介護員		14.8	16.6	23.8	26.9
介護老人保健施設職員		18.0	17.1	13.5	12.2
医療機関の看護補助者		11.0	10.7	10.6	9.5
その他		4.4	4.0	2.7	2.7
福祉系高等学校（NHK学園高校専攻科含む）		12.7	13.6	10.5	10.7
同上 合格率		※42.1	※52.7	※52.7	※48.9

注意 数字は各回とも厚生労働省ホームページによる

イ 本校の国家試験対策反省と問題点

①筆記試験

- ・ 放課後補習や夏期補習などの取り組みに進路意識の希薄さから全員が一丸となれなかった。
- ・ 一部の生徒に資格取得に全力で取り組めない者がいた。
- ・ 1年生から続けてきた朝自習が形だけのものとなり学習効果が十分に発揮できない。
- ・ 模擬試験の反省で、福祉科職員・生徒自身の問題点の把握が十分に深まってなく、試験結果をうまく活用できなかった。
- ・ 7割以上の合格基準の指導を現実のものとしていなかった。

②実技試験

- ・ 真面目に取り組んでいた生徒は合格した。また何度も練習した生徒は合格できた。
- ・ 謙虚さがない生徒は不合格となった。
- ・ 緊張に耐えられず、パニックになってしまった生徒がいた。
- ・ 授業での取り組み方が甘い（ふざける・意識が低い）
- ・ 型どおりのことはできても実技に取り込めない。体で覚えていない。
- ・ 「合格しなければならない」という気持ちの強さが欠けていた。

ウ 受験対策

①筆記試験

学年	具体的な取り組み状況
1年	基礎学力を定着させるため、普通教科の理解徹底。 専門科目の休日課題。 定期考査・課題考査・実力考査等に国家試験問題を一部入れる。 現状の福祉問題に目を向けさせる。
2年	授業第一と考え福祉科目の基礎理解を徹底する。 最近の福祉問題に関心を持ち課題に取り組む。(社会福祉演習等) 新聞の切り抜き課題に取り組む。(福祉・医学・家庭等) 国家試験対策問題集全員購入・取り組み方指導 国家試験対策校内模試・・・年間6回実施 (最初90問から120問へ) 国家試験自己採点から自分の弱点科目を知る。
3年	国家試験対策ノート・・・日々の学習を毎週月曜に提出 問題集チェックシート・・・一ヶ月に600問題取り組むことを目標(合格への道) 放課後自主学習・・・毎日1時間ほど空き教室で学習(学年指導) 休業中の補習授業・・・夏期補習・冬期補習 朝自習・・・1学期 普通科目 2学期より専門科目 課後の補習授業・・・2学期より専門科目(13分野) 国家試験対策対外模試・・・9月、11月の2回実施 課題・実力考査・・・年間8回実習(国家試験対策問題)

②実技試験

◎日々の授業が実技対策であると考え、1年、2年では基礎介護の授業の中で指導している。

実習上の注意 服装・頭髮チェック 授業第一（欠席時の補充） 利用者・介護者双方の体験
同性介護にこだわらないこと 教室の使用規則 物品使用後の片付け・清掃等

◎3年次の基礎介護では実技の総仕上げとして次のような計画で取り組んでいる。（3単位）

学期	授業内容（実技内容のみ）
1	施設実習に必要な実技の復習 着脱・移乗（ベッド→トイレ→ベッド ベッド→車椅子→ベッド） 入浴介助・杖歩行
2	ホームヘルパーの実技試験対策 介護福祉士国家試験実技問題を例にあげ、グループ別学習 生徒達で指導案作成し、生徒へ教える（グループ別指導）
3	国家試験直前対策 2年生への実技指導（3年生が作成した指導案で2年生に教える）

◎特別対策・・・（国家試験1次試験に合格した者を対象）

a 期 間 例年1次試験合格発表後3週間実施（実質12～15日間程度・・・60時間前後）

日数	時間	練習内容	指導者
7	4時間×7日	演習1～7 問題1～20	3年基礎介護担当4名割当
1	4時間	復習会	〃
1	8時間	実技講習会	介護福祉士会（外部講師招聘）
1～6	4時間×（1～6）	実技講習会復習	

b 対 応 教室は自宅学習期間中なので、空き教室を利用している。

実技講習会は一日実施であるため、福祉科全員で対応している。

c 内 容 教材は過去の実技問題を利用

チェックリストを使いながら指導記録を提出→指導者助言

d 生徒感想（実技講習会后）

- ・国家試験形式で解いてみて、自分で考えて介護するのはとても難しいと感じました。頭で分かっているけど実際はできなかったからです。今日、介護福祉士会の方から注意されたことを忘れず明日からの練習頑張ります。
- ・緊張しました。私は問題を把握するのが苦手でした。大切なことを忘れていたり、言われて気づくことばかりでした。本番は倍に緊張すると思います。落ち着いてできるよう悔いのないものにしたいです。
- ・5分間という時間で何をすべきかなど以前からイメージして取り組まなければうまくいかないと感じました。うまくいかなかったけど、落ち込んでいません。落ち込むよりいいものを得られたからです。

(2) 訪問介護員 2 級

具体的な取り組みは 3 年次のみ

2 学期・・・朝自習・・・介護福祉士 1 3 科目実施

1 2 月認定テスト

筆記テスト 100 問 朝自習問題より出題 50 分 合格基準 7～8 割

実技テスト 基礎介護の内容より出題 5 分 合格基準 介護福祉士国家試験に順ずる。

筆記・実技両方合格になるまで追試験実施 (2 回)

(3) その他の資格取得

漢字検定 国語科主導により希望者受検

校内受験者が揃うのが 1 月実施となる。 合格者 準 2 級 4 名 3 級 3 名

4 施設の求める人材

現場でどのような人を求めているのかを知るために、今回 3 年生が実習している老人施設 27 施設に資格取得についてアンケートを依頼した。 回答施設数 (20) 施設

また、社会福祉施設で働く本校卒業生にも資格取得の現状や必要性を調査した。

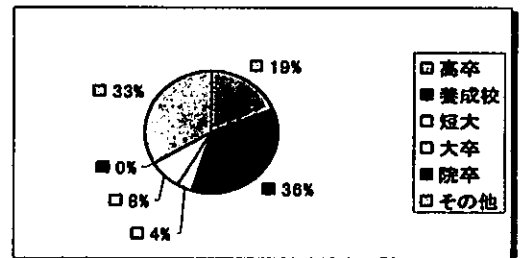
回答者数 (19) 名

(1) 実習施設への資格取得アンケートとその結果

ア 今年度の新規採用者の内訳をお聞きします。

養成校卒の採用者が 36% と高く、高卒 19%

という結果であった。予想以上に採用されていた。

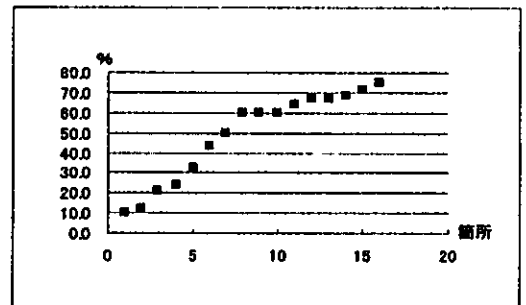


イ あなたの施設では何名が介護福祉士の資格を取得していますか。

平均は 4.5 名の資格取得者であったが、6 割以上の資格取得施設が半数を超えていた。

資格の取得した時期は高卒者が一番多く 42.2% 続いて養成校卒以上の 29.0% であった。

やはり現役で資格取得するほうが取りやすく、仕事を続けながらの資格取得は難しいといえる。



ウ 介護福祉士有資格者と無資格者の勤務上の処遇の違いを教えてください。

・当施設の介護職員はすべて有資格者であり、資格が無いものが介護業務を行っていることはないの
で比較できない。

・資格手当を支給 10 施設

・役職・正規職員・昇進等の違い

・無資格者は夜勤をさせない

・総合職と一般職の違い

エ あなたの施設では介護福祉士の資格取得を勧めていますか。

・はいと答えた施設が大半で 95%

オ 勧めている理由は何ですか。

- ・専門職としての意識向上を図るとともに、常に資質向上に努めてもらいたい為
- ・職員のレベルアップ
- ・介護技術の統一
- ・ケア技術の向上に期待するから
- ・専門性をアピールするには形骸的ではあるが資格というのが一つの手段であると思う。
- ・近い将来、施設職員として勤務するには介護福祉士としての資格が必須になるであろう。
- ・利用者へのサービス提供者として質の向上を図ることは今後ますますその必要性が求められる。そうした意味で一定の知識と技術を持った職員の確保とその養成において施設側としては当面力を入れていくつもり。
- ・高卒でヘルパー2級をもって就職してくる場合があるが、専門的知識も必要であるし、ライセンスも必要のため就職後3年間の実務経験を積んだら必ず試験にチャレンジしてもらい3回落ちたら退職の約束を就職時に取り決めている。この10年間順調に取得できている。

上記のように専門職としての条件に資格を取得することをあげている施設がほとんどである。

カ 介護福祉士の資格取得に向けての施設内での対策は。

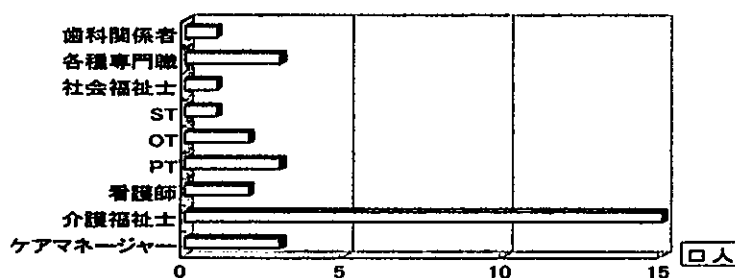
- ・筆記試験・実技試験とも指導している施設・・・10/20施設あり、大分県介護研修センターや各種のセミナーに参加を勧めている。実技においては、施設内で先輩職員の実技トレーニングを実施しているところもあった。

キ 高卒で介護職として働く場合、身につけてきてほしいことは何か。

- ・「社会人としてのマナー」「一人の人間としての資質を高めてほしい」等が非常に多かった。高校生に求められるものは、実技・知識はもちろん必要ではあるが、礼儀作法や一般常識および生活の基本（生活支援中心の介護職なので 掃除・洗濯・調理）といったものを求めている。学校や家庭内など身近な生活を見直すことが大切といえる。

ク 今後採用したい資格の種類は。

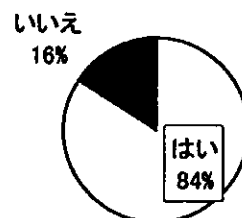
- ・介護福祉士を求めている施設が圧倒的に多い。その他各種の専門の資格取得者を採用予定としている。



(2) 卒業生へのアンケートとその結果

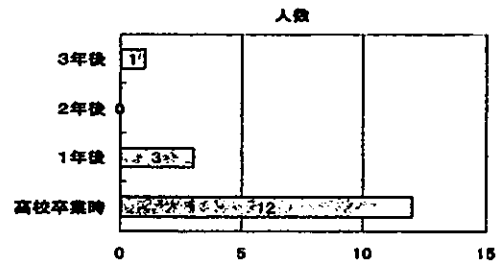
ア あなたは介護福祉士の資格を取得していますか。

- ・はいと答えたものは16名で8割を示している。



イ 資格を取得したのはいつですか。

- ・高校卒業時には6割の生徒が資格をもっているが、その後2～3年以内には殆ど取得できている。その背景には正採用には不可欠であり、資格手当が支給されている事多い。



ウ 高校卒業時に資格を取得する秘訣は何だと思いますか。

《筆記試験》

- ・学校での授業と家庭での自主勉強
- ・得意なところは早めに切り上げ苦手なところを重点的に解く
- ・問題を何度も読み最後まできちんと解く
- ・自信を持つそしてやる気
- ・間違えた問題は解説などをよく読み自分の間違えたところを把握すること

《実技試験》

- ・日々実技の練習をすること。
- ・何でこうすればいいのか一つひとつ理解しておくこと
- ・友達の見解・先生アドバイスを聞き、たくさんのやり方で勉強する。

5 まとめ・今後の課題

福祉科がスタートして今年で第8期生を送り出すことになる。福祉科1クラスから始まり現在福祉科単科の専門高校である本校は、「地域に貢献できる福祉従事者を育てる」という役割がある。地域や保護者に信頼され本校が発展していくためには、日々の授業から始まり、施設実習、ボランティア活動、部活動など幅広い活動での評価が問われる。豊かな人間性を備えた「福祉」を志す人間を育成するという教育目標は常に心がけ実践してきた。ところが、今年3月第17回介護福祉士国家試験が終わり、期待する数字を出せなく落胆した苦い思いがある。教育目標の一つである、確かな学力をつける努力がいま一つ欠けていたように思える。何とか以前の状態まで戻したいという気持ちから、福祉科全員で指導内容の精選と指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。介護福祉士という資格が職場でどれだけの価値があるのか、職場で求められる人材とは何なのかという現場の方の声をもとに資格取得の意義を考えてみた。

社会福祉施設で働くには、どの施設も介護福祉士の資格を取得することを第一条件としてあげている。専門職として働くには、利用者へのサービス提供者として質の向上を図ることの必要性が求められている。介護職として働くには、「全ての人々が将来にわたり安心して質の高い介護を受ける権利を享受できる」という介護福祉士会の倫理綱領にもあるように、専門職としての自覚を認識させ、資格取得の意義を伝えていく必要がある。

私たちは、福祉科高校生に与えられた介護福祉士受験資格を少しでも無駄にしないためにも今後更なる研鑽をしていかねばならないと思う。高校生の採用率は依然として高くないが、施設が高校生を拒んでいるわけでもない。社会人としてのマナーを身につけ、一般常識を高校生には求めているのを考えると課題は大きい。福祉のスペシャリストとして働く卒業生が一人でも多く見られることを願って努力していきたい。

研究協議会 分科会 1

開催期日：平成 17 年 8 月 9 日（火）
項 目：研究協議会 第 1 分科会
場 所：ホテルグリーンパーク津（6 階）
葵・橘・藤の間
時 間：12:50～14:40
指導助言：愛知県教育委員会高等学校教育課
指導主事 嶋田麻知代
司会進行：北海道立置戸高等学校 前田 信治
高知県立室戸高等学校 別役 千世
記 録：愛知県立高浜高等学校 神谷 千尋
愛知県立古知野高等学校 坂井美恵子

1 現場実習

発表 「社会福祉実習の取り組みについて」

広島県立黒瀬高等学校

教諭 森谷 順子

教諭 武智 朋子

質疑応答

Q：校内認定試験の内容及び合格ラインを教えてください。（香川県 尽誠学園高等学校）

A：1 級を受けるために行う校内認定試験は、訪問介護員 2 級を修了した者の内、介護技術・面接・家庭科技術検定の 3 項目を実施している。合格者から研修費 3 万円を徴収し、自己負担するという経済的な面もあるので、希望者のみとしている。校内認定試験の合格ラインは 6～7 割で、本年度は 8 名、昨年度は 9 名であった。

Q：現場実習の教育課程上の位置づけを教えてください。（群馬県 吾妻高等学校）

A：社会福祉実習 3 単位の内、授業が 1 単位、福祉施設現場実習が 2 単位である。授業での 1 単位は実習に向けての準備をし、現場実習は 1 日 7 時間で 10 日間、合計 70 時間実施しており、2 単位として加算している。介護技術については、基礎介護の授業で実施している。

Q：福祉総合（2 単位）の内容を教えてください。（鹿児島県 薩摩中央高等学校）

A：今年度より実施している科目で、指導は施設長やケアマネージャー等外部講師に依頼している。3 年生の半数が選択受講しており、11 月までは住環境コーディネーター受験に向けての学習、その後は介護福祉士国家試験に向けての指導を実施する予定である。

Q：①施設によって実習内容に違いがありませんか。②ケース記録（利用者の情報等）の扱い方、③レクリエーション実習の方法、④反省会に出席する指導者は現場担当の方ですか。また、⑤生徒への指導をどうしていますか。（大阪府 淀商業高等学校）

A：①2 年生、3 年生とも、施設によって実習内容が異なる。コミュニケーションだけで、食事介護、おむつ交換等実施して貰えない施設もある。その場合、直接現場の担当者に依頼した。施設側でも現場の担当者に戸惑いがあるようだ。②ケース記録は、接する人から情報を得る場合と記録簿から転記する場合がありますいろいろだが、誓約書の指導時に守秘義務を指導している。個人名は ABC で書くようにしている。③レクリエーションについては、

企画進行をさせて貰い実施している。特養は大人数なので、生徒への指導を考えなければならぬ。レクリエーションの練習の会を実施している。④反省会には主任が出席する機会が多いが、生徒のそれぞれの様子をしっかりと把握してくれている。それでも、評価表がオール5となる場合もあるので、参考程度としている。途中でいやになる生徒もいるが、実習先で困ったことにはなっていない。以前、休憩室で休ませて貰ったり、帰らせて貰った場合もある。実習前にいやだと言っていた生徒も行ってしまうと何とかなる。⑤実習の報告会では、3～4人でまとめ発表させている。この報告会を通して、施設間での違いを学ばせ、全体で大事なところを確認させている。

2 資格取得

発表 「介護福祉士資格取得の取り組み・・・本校の現状と課題」

大分県立野津高等学校 教諭 津田 暁子

質疑応答

Q：国家試験対策模試の実施状況や内容を教えて下さい。(奈良県 榛原・榛生昇陽高等学校)

A：模擬試験は3年生で2回(東京アカデミー、2回で4000円)実施している。2年生は校内で6回実施している。前年度の模試を利用したり、問題集から出題したりしている。昨年度の国家試験については、合格に対する意欲に欠けており、3年間の取り組みが甘かった。今年度は全員で合格を目指そうと取り組んでいる。

Q：国家試験直前対策で2年生への実技指導とあるが、どのようなものですか。

(栃木県 塩谷高等学校)

A：それは3年生実技指導の一つで、覚えるということは人に教えることで自分のものになると考えている。国家試験直前だが、ポイントが分かって自分のものになる。ヘルパーの実技試験(11月)を使いながら、生徒が生徒に教えている。過去の国家試験問題(5分間)を使っている。評価は3年生から見た2年生、2年生から見た3年生で、反省を書いて自己評価している。2年生は3年生への感想を書いている。

指導助言 愛知県教育委員会高等学校教育課 指導主事 嶋田 麻知代

本日の発表は、日々の教育実践の成果だと思います。大変貴重な報告をして頂き有難うございます。

1 現場実習 について

現場実習では、どのように事前指導していくかがとても重要です。特に初めて現場に出す時には、丁寧に事前指導を実施することが必要と考えています。現場では、福祉科の生徒ということで見られているので、それらの指導をしっかりしておくことが必要となります。意識調査、個人面接等々、個々に対応して指導することが求められます。オリエンテーションでは、具体的に示さないと高校生は理解できないので、成功した話、失敗した話を盛り込みながら具体的に指導するとよいでしょう。個人情報取り扱いに関しては大変難しい問題となりますが、生徒にとっては記録させるということが勉強になります。施設によっては記録をさせないという施設もありますが、記録して学習した後にシュレッターにかける等の処置を工夫することが必要でしょう。施設の考え方や要望をきちんと捕らえ、事前指導して下さい。

2. 3年生で実施する結団式は、とても意義があると思います。結団式というセレモニーを行うことにより意識が高まります。各校で工夫しながら是非実施して欲しいと思います。そしてそれは、後輩にとってとてもよい気付きの機会となることでしょう。

そして、巡回指導にできる限り行くようにして下さい。できれば、管理職にも1回は行って貰うとよいと思います。実習先の施設によって実習内容が違うことについては、前もって文書で依頼しておき、巡回指導の際に現場で生徒の記録物を見せて貰い、その内容を把握した上で再度依頼していくとよいと思います。

2 **資格取得** について

地域での活動をしっかり実践されていると思います。今はとても苦しいと思いますが、指導計画や取り組み方法を再度検討していただきたいと思います。進路先に一般職が増えたり、施設実習後に福祉系以外の進路へ変更する生徒がいるということだが、施設実習を終えて大きな感動や成就感から進路が福祉系に変わるよう、施設実習を持っていくようお願いしたい。

また、国家試験対策では、筆記試験対策ノートや問題集チェックシート等大変参考になります。目にみえて物が残る、結果が分かるということが個々の点検にもなると思います。消化不良とならないよう解説をじっくり理解させていくとよいでしょう。実技試験では、事例問題が多く取り扱われるので、基礎基本をしっかり身に付けさせることが大切です。卒業生に手伝ってもらい、実技試験対策をしていったらいかがでしょうか。



第2分科会

進路指導

「村田高校社会福祉系列の進路指導の現状」

宮城県村田高等学校 教諭 酒井原 美紀

1. 学校の概要

(1) 沿革

本校は、大正13年に村田町の女子教育に対する強い願いが実り、「宮城県村田実科女学校」として当時の小学校に併設して開設された。昭和23年学制改革により、校名が宮城県村田高等学校と改称し、定時制課程（普通科男子40名・家政科女子40名）となった。それまでの実績と町民の関心が全日制課程設置運動に繋がり、昭和39年現在地へ移転、新校舎建設に伴い、全日制課程（普通科男女50名・家政科女子50名）が設置された。また、昭和41年には県立高校として移管され、全日制課程には、普通科1クラス・自動車科2クラス・家政科1クラス、定時制課程には、普通科1クラスの16学級、生徒数約700名、教職員数60数名を擁し、自動車運転実技指導のための錬成場を活用するなど、特色ある学校として名が広まった。昭和58年には、定時制課程が閉校となり、平成7年には、全国で8番目、宮城県においては、初の総合学科（6系列）として新たなスタートを切り、現在に至る。

(2) 総合学科6系列の紹介

- ・国際教養系列 ・ ・ 英語、国語、社会を中心とした普通教科の科目を多く選択し、文系の進学を希望する生徒対象
- ・自然環境系列 ・ ・ 理科・英語・数学を中心とした普通教科の科目を多く選択し、理系の進学を希望する生徒対象
- ・社会福祉系列 ・ ・ 福祉の科目を選択し、福祉系への進学・就職を希望する生徒対象
- ・コンピュータ・ビジネス系列 ・ ・ 商業科の科目を中心に選択し、商業系の進路希望の生徒対象
- ・メカニカル・テクノロジー系列 ・ ・ 自動車・機械の科目を中心に選択し、工業系に進学・就職を希望する生徒対象。自動車整備士3級受験希望の生徒対象。
- ・情報システム系列 ・ ・ 電子機械・情報系の科目を中心に選択する。

(3) 村田高校社会福祉系列で取得できる資格

○系列指定科目修得者の国家試験受験資格

介護福祉士国家試験受験資格

○系列指定科目修得者の資格等

訪問介護員養成研修2級課程修了 (2年次)

訪問介護員養成研修1級課程修了 (3年次)

(4) 系列に分かれる時期

総合学科4クラス160名でスタートするため、「産業社会と人間」の授業を使って、1年次後期(10月)までの間に3年間の自分の時間割を決める際に決定。選択の仕方により、社会福祉系列・情報システム系列、または無系列などになる。

(5) 「産業社会と人間」とG展開の結びつきについて

①「産業社会と人間」の授業のねらいと目標

「産業社会と人間」という科目は、総合学科の原則履修科目であり、1年次前期に週4時間で実施される。「将来の生活・職業」を見据え「高校卒業後の進路」を考えながら「高校での履修計画」を立てる。このことにより、高等学校では何のために学ぶのか、何に向かって学ぶのかを考える。

「産業社会と人間」で、下記のような授業展開をし、進路について深く考えさせている。

②年間指導計画

1	ガイダンス・新入生意識調査	16	系列別科目選択ガイダンス③
2	自己理解(性格テスト、自分史)	17	系列別科目選択ガイダンス④
3	将来の生活	18	系列別科目選択ガイダンス⑤
4	将来の職業	19	先輩と語る会(2・3年次)
5	高校卒業後の進路(進学/就職)	20	選択科目別科目選択ガイダンス①
6	科目選択ガイダンス	21	選択科目別科目選択ガイダンス②
7	職業レディネステスト	22	選択科目別科目選択ガイダンス③
8	系列別進路学習①	23	選択科目別科目選択ガイダンス④
9	系列別進路学習②	24	インターンシップ体験報告会
10	系列別進路学習③	25	選択科目別校内体験学習①
11	系列別進路学習④	26	選択科目別校内体験学習②
12	系列別進路学習⑤	27	選択科目別校内体験学習③
13	系列別進路学習⑥	28	選択科目別校内体験学習④
14	系列別科目選択ガイダンス①	29	選択科目別校内体験学習⑤
15	系列別科目選択ガイダンス②	30	選択科目別校内体験学習⑥

授業形態は、クラス毎に行うもの、系列別に行うもの、全体で行うものなど様々である。担当者も、必ず系列の教員が入り、また1年次担当教諭も入るようになっている。「産業社会と人間」は8人で展開するようにしている。

③G展開科目

英文法	社会福祉基礎	簿記I	機械技術基礎	情報システム基礎
-----	--------	-----	--------	----------

※社会福祉系列希望の生徒は、社会福祉基礎をとるようになる。2年次もしくは3年次から社会福祉系列に変更することはできないことになっている。従って1年次「産業社会と人間」で真剣に自分の高校生活を考えなければならない。

(6) 村田高校の教育課程について

平成17年度教育課程表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1年	国総				現社			数I			理A			体育			音I			英I			家総		情A		産社 (前期)		文法 福I 簿I 機基 シ基 (後期)		総	H
2年	A展開				B展開				C展開				D展開				E展開				世A	数A	保健	家総	総	H						
	A甲		A乙		B甲		B乙		C甲		C乙		D甲		D乙		E甲		E乙													
	現文 数II 物I 情処		日A 理B 体育 才I 製図		地A 理B 体育 製図 工教 商I 医I		英II 機B 電機 福実				日B 化I シI 簿II				地B 生I 生産 自I 情処																	
	政経 理B 体育 商I		機A ピ基				日A 数B 理B		国総 地A 理B 経法		工I 介I		設I 福II		医I		介I															
3年	A展開				B展開				C展開				D展開				E展開				F展開		G展開		総	H						
	A甲		A乙		B甲		B乙		C甲		C乙		D甲		D乙		E甲		E乙		F甲		F乙				G甲		G乙			
	現文 数II 物I 情処		ハ技 古典 日A 理B 才I 設II 手話				小論 地A 理B 美I 機D 実践 医I		国総 日A 数B 理B 体育 被服		国総 地A 理B 体育 経法 フー 科実		日B 英実 整備 ブ技 シI 原価 介II 福演				地B ライ 自II シII 情処 援助				リー 機C 会計		工芸 情実 手芸 制度				マル フー 美I 医II		国表 数基 化II スI ヴォ 商II		国表 倫理 数基 生II 工II 手話 舞音	
	政経 工芸 課工 商I 保育		近史 体育 ピア 家看																													

社会福祉系列選択者のカリキュラム例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1年	国総				現社			数I			理A			体育			音楽			英I			家総		情報		産社		福I		総	H
2年	現文				日A			体育			福実				介I		福II		医I		介I		世A		数A		保健		家総		総	H
3年	保育		体育		手話			理B			被服		フー		介II		福演		援助				制度		医II		国表		倫理		総	H

平成17年度開設科目一覧

	略称	科目名	単	備考		略称	科目名	単	備考		略称	科目名	単	備考	
国語	国総	国語総合	4	1年必修	芸術	工芸	工芸Ⅰ	2		工業	自Ⅱ	自動車工学(Ⅱ)	4		
			2				ピア	ピアノ	2			整備	自動車整備	4	
	国表	国語表現Ⅰ	2			ヴォ	ヴォーカル	2			ブ技	プログラミング技術	4		
	現文	現代文	4			舞音	舞台音楽	2			ハ技	ハードウェア技術	4		
	古典	古典	2			外国語	オⅠ	オーラルコミュニケーションⅠ	2			マル	マルチメディア応用	2	
	小論	小論文	2				英Ⅰ	英語Ⅰ	4		1年必修	シⅠ	情報システム実習Ⅰ	4	
地理・歴史	世A	世界史A	2	2年必修	英Ⅱ		英語Ⅱ	4		シⅡ	情報システム実習Ⅱ	4			
	日A	日本史A	2	選択必修	リー		リーディング	4		CD	CAD製図	4			
	日B	日本史B	4	選択必修	ライ		ライティング	4		機基	機械技術基礎	2			
	地A	地理A	2	選択必修	文法		英文法	2		シ基	情報システム基礎	2			
	地B	地理B	4	選択必修	英実	英語実践	4		情実	情報実習	2				
	近史	近現代史	2		家庭	家総	家庭総合	4	12必修	ビ基	ビジネス基礎	2			
公民	現社	現代社会	2	1年必修		保育	発達と保育	2		実践	総合実践	2			
	倫理	倫理	2			家看	家庭看護・福祉	2		商Ⅰ	商業技術(Ⅰ)	2			
	政経	政治・経済	2			被服	被服製作	2		商Ⅱ	〃(Ⅱ)	2			
	数学	数Ⅰ	数学Ⅰ	3		1年必修	手芸	服飾手芸	2		経法	経済活動と法	2		
数A		数学A	2	2年必修		フー	フードデザイン	2		簿Ⅰ	簿記(Ⅰ)	2			
数Ⅱ		数学Ⅱ	4		手話	手話	2		簿Ⅱ	〃(Ⅱ)	4				
数B		数学B	2		情報	情報A	2	1年必修	会計	会計	4				
数基		数学基礎	2		課工	課題研究	2		原価	原価計算	4				
理科		理A	理科総合A	2	1年必修	機A	機械技術類(A)	2		情処	情報処理	4			
	理B	理科総合B	2	選択必修	機B	〃(B)	4		看護	医Ⅰ	看護基礎医学(Ⅰ)	2			
	物Ⅰ	物理Ⅰ	4	選択必修	機C	〃(C)	4			医Ⅱ	〃(Ⅱ)	2			
	化Ⅰ	化学Ⅰ	4	選択必修	機D	〃(D)	2		福祉	福Ⅰ	福祉基礎(Ⅰ)	2			
	化Ⅱ	化学Ⅱ	2		製図	機械製図	2			福Ⅱ	〃(Ⅱ)	2			
	生Ⅰ	生物Ⅰ	4	選択必修	工数	工業数理基礎	2			制度	社会福祉制度	2			
	生Ⅱ	生物Ⅱ	2		生産	生産システム技術	4			援助	福祉援助技術	4			
	科実	科学実験	2		工Ⅰ	機械工作(Ⅰ)	2			介Ⅰ	基礎介護(Ⅰ)	4			
保健	体育	体育	7	各年必修	工Ⅱ	〃(Ⅱ)	2			介Ⅱ	〃(Ⅱ)	2			
	保健	保健	2	2年必修	設Ⅰ	機械設計(Ⅰ)	2			福実	社会福祉実習	4	増+2		
	スⅠ	スポーツⅠ	2		設Ⅱ	〃(Ⅱ)	2			福演	社会福祉演習	2	増+2		
芸術	音Ⅰ	音楽Ⅰ	2	1年必修	電機	電子機械	4		産社	産業社会と人間	2	1年必修			
	美Ⅰ	美術Ⅰ	2		自Ⅰ	自動車工学(Ⅰ)	4		総合	総合敎学学習時間	2	各年必修			

※「福実」は2年次3月の修業体験で2単位を増単、「福演」は3年次夏期の実習体験で2単位を増単する。

2. 進路指導

(1) 3年次における進路指導 (全体)

総合的な学習の時間

進路希望別に学習 (進路別研究)

<就職>

小論文、作文、面接、一般教養

- ・社会人としての心構え
- ・職業について調べ学習 など

<大学・短期大学>

基礎学力(演習)・面接・小論文・進路別研究(進学を希望する学校、学部を調べる)

夏季学習合宿(3泊4日:利府町のグランディ21)

- ・内容:自学自習、英語・国語・数学の講習、小論文講座など
- ・費用:9,500円

<専門学校> →コース別

作文、面接、一般教養、進路別研究(進路先に関わるテーマを設定し、調べ学習)

(2) 社会福祉系列の進路指導

<進学希望者の進路指導>

一般入試、センター入試等の受験方式では合格が困難なため、本校の進学希望者のほとんどは、一般推薦・指定校推薦などにより合格を決めている。

- ・小論文指導は、指定された教員について約半年間指導を受ける。
- ・先輩からのアドバイスを直接受ける。
- ・教科の受験が絡む生徒は、教科の先生に指導を受ける。

<就職希望者の進路指導>

- ・就職先の指導は、担任・進路指導部(福祉担当)が、本人の希望を調査する。
- ・履歴書等の指導は担任・福祉担当教諭が行う。
- ・面接の指導は、福祉担当教諭と進路指導部があたる。

介護職の高校求人が出るのが遅い上、昨年度は例年より減ったため(毎年採用して貰っているところから求人がこない)、生徒本人が行きたいところを探し、進路指導部・就職支援員が求人をもらいに行く形式も新たにとった。管内では本校が「介護福祉士・訪問介護員1級」まで取らせていることは浸透しており、求人はあるが、少し離れたところでは「高校で介護福祉士の受験ができる」ことが知られておらず、求人を高校まで廻さないということであった。資格取得の状況などを説明し、新しい所で採用してもらうことができた。そのようなところが他にもあることを考えると、今後は少しずつ開拓していくことも可能であると考え、生徒の希望に沿った求人開拓を行う必要性を感じている。

<介護福祉士国家試験に向けての指導>

夏休み明け初日から毎日1時間の課外授業。冬休みは、年末年始を除き毎日60分を3コマ。

二次試験対策は、一次受験後毎日1日8時間実施。この他に自主学習も積極的である。

(3) 社会福祉系列の資格等の修得状況

①訪問介護員養成研修

	H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6	合計
1級		12	21	11	14	18	19	24	25	144
2級	12	22	11	14	24	23	29	29	21	185

②介護福祉士国家試験合格率

区 分	受験者数	合格者数	本校合格率	全国合格率
H 9 (1期生)	12名	2名	16.6%	50.1%
H 1 0 (2期生)	21名	13+(2)名	61.9%	50.2%
H 1 1 (3期生)	11名	4+(5)名	36.3%	48.3%
H 1 2 (4期生)	14名	9+(6)名	64.2%	45.9%
H 1 3 (5期生)	18名	5+(1)名	27.7%	41.4%
H 1 4 (6期生)	20名	15+(6)名	75.0%	48.0%
H 1 5 (7期生)	24名	13+(5)名	54.1%	49.3%
H 1 6 (8期生)	23名	17+(1)名	73.9%	42.6%
合 計	143名	78+(26)名		

() は、過卒者で合格した数

(4) 社会福祉系列卒業生の進路状況 (進学・就職状況)

	進 学			就 職		合 計
	大 学	短 大	専門学校	福祉施設	その他	
H 9	0	4	0	5	3	12名
H 1 0	1	1	5	12	2	21名
H 1 1	0	1	1	9	0	11名
H 1 2	0	0	0	13	1	14名
H 1 3	2	1	2	10	3	18名
H 1 4	1	0	1	13	5	20名
H 1 5	1	0	2	14	7	24名
H 1 6	5	1	3	14	3	26名
合 計	10	8	14	90	24	146名

○主な進学・就職先

<大学> 東北福祉大学 6名 東北文化学園大学 3名 城西国際大学 1名
<短大> 尚綱短大 2名 福島短大 3名 いわき短大 1名
山形女子短大 1名 羽陽短大 1名 (名称が現在と異なるものもある)

<専門学校>

仙台医療福祉専門学校 仙台福祉専門学校 など

<就職>

社会福祉法人庄慶会 社会福祉法人常盤福祉会 社会福祉法人宮城福祉会
医療法人本多友愛会 医療法人社団光友会 医療法人財団明理会
(株) ジャパンケアサービス (株) コムスン 蔵王町社会福祉協議会など

○卒業時の感想文 (17年3月卒業生)

3年間で学んできて得たものは数え切れないくらいたくさんあります。1年次の自分とを比べて成長できたと思える部分がいくつもあります。

福祉の勉強をするまで、介護は「してあげる」という、利用者が受動的になる考え方をしていました。しかし、福祉とは何なのか、老いていくとはどういうことなのか深く考えることで、自分の人生と照らし合わせて、生きる意味についても考えるようになりました。

現場実習では、実際に利用者と触れ合うことで、教科書では分からない、人と関わりを持つことの重要性や難しさに直面し、戸惑ったり落ち込んだりするなかで、その課題について考えようとする新しい自分を発見することもできました。また、実習では、利用者との関係だけでなく、職種間や地域との結びつきも重要になることを知りました。それは、私たち系列のチームワークとも関係していて、ボランティアやレクリエーション活動など、1つのことをみんなで成し遂げようとする協力的な感動することの素晴らしさに気づきました。

私は3年間、福祉系列で勉強できたことを本当に良かったと思っています。系列のみんなと出逢って一緒に勉強することで、気づかないうちにいろいろなことを学んでいたり、高校生で現場実習という貴重な体験をさせていただいたり、私にとって最高の高校生活だったと心から思います。

福祉の勉強をしてきて、福祉は高齢者だけでなく幸せに生きるため、みんなに必要なものだと分かりました。将来は、高齢者に限らずみんなの福祉をサポートすることができる仕事に携わりたいと思うようになったのも、福祉の勉強をして自分の気持ちに気づけたからです。友達や実習でお世話になった多くの方達から得たものは、私の大切な宝物です。そして最後に、私を育ててくれた先生方に感謝したいです。

<3年2組 U. Y 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科に進学>

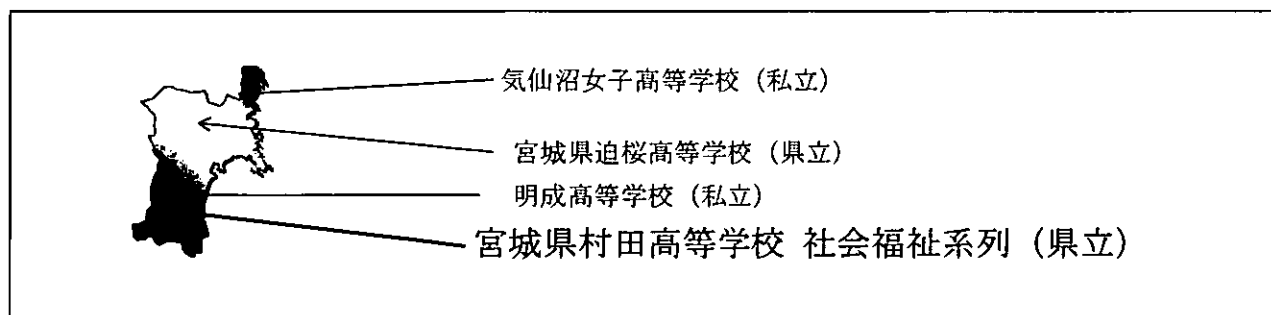
3年間、本当にいろいろな事があった気がします。1年生の「G 展開」から、私の福祉の学習がスタートしました。始めはまだ、楽しさと興味深さで勉強していました。逆に言えば、甘く考えていました。2年生になってから、授業が増え、さらに実習も体験しました。学んだことを実際に実習で実施すると、上手くできず、未熟さを感じるようになりました。でもそれが、「もっと頑張らなきゃ」と言う気持ちにさせてくれたのだと思います。多分、この時期はいろいろと考えさせられた時期だったと思います。

そして、3年生の今。3年生になったら、毎日福祉、福祉・毎日、福祉の先生と友達と一緒にいると、もうそれが当たり前になっていました。福祉系列のみんなが良い友達ばかりだからここまで頑張ってきたのだと思います。3年生の夏の実習で、私は「福祉を続けてきて本当に良かった」と感じました。初めての介護計画で、たくさんの情報から問題点を考え、利用者の生活がより良いものになるようにと、考えに考えを重ね、実施し、更に評価までしました。介護の仕事は「ここまでやってこそ、やっと良い援助ができるのだ」と言う事を考えさせられました。この2週間の実習が終わった時、達成感で満ち溢れていました。自分が成長でき、自信にも繋がった実習になりました。介護職に就きたいという思いも更に強くなり、「夢は諦めてはいけない」と心の底から思いました。

この3年間で、私は介護職に就くというゴールに確実に近づく事ができました。その影には、辛い時期・悩んだ時期がありました。しかし、先生方や友達への支え、励ましがあったからこそ乗り越えてこれました。感謝しきれない程ですが感謝しています。お世話になった先生方、いつも一緒に頑張ってきた友達みんな、本当にありがとうございました。

<3年4組 O. E 特別養護老人ホーム楽園が丘に就職>

<宮城県の福祉教育の現状>



現在宮城県には介護福祉士受験に取り組んでいる高校が4校ある。中でも本校が県内で初めて取り組んだ高校である。平成13年度卒業生までは、遠く県北からも生徒が集まり、県唯一の学校であった。平成13年度入学生からは県下の他地域でも取り組む学校が増え、現在に至っている。

宮城県村田高等学校

E-mail : murata-h@murata-h.myswan.ne.jp

H P : <http://murata-h.myswan.ne.jp>

電 話 : 0224-(83)-2275

第2分科会

授 業 研 究

「感染予防」の授業の一工夫

— 介護者としての自覚の芽生えを期待して —

静岡県立吉田高等学校 教諭 福 嶋 みちる
教諭 池 上 香 苗

1 学校の概要

吉田高等学校は昭和47年に普通科、保育科、英語科の3科で開設された。学校のある吉田町は県中部を流れる大井川河口西岸にある人口約3万人の小さな町で、駿河湾に面した自然環境の豊かな所である。

福祉科は、平成6年度より保育科から学科改編された。現在、各学年に1クラスずつ設置され、1年生41人、2年生41人、3年生38人、合計120人の生徒が在籍している。

卒業するまでにすべての単位を修得すれば介護福祉士国家試験受験資格が取得でき、併せて訪問介護員養成研修1級課程の修了が認定される。卒業後の進路は、約80%の生徒が、福祉系大学や看護・医療系大学、短大、専門学校、幼児教育系の短大、専門学校等に進学している。また、約20%の生徒は、特別養護老人ホームや老人保健施設、民間のデイサービス等に就職している。進学者が多いのが本校福祉科の特徴である。

2 テーマ設定について

最近、福祉施設における感染症に関する事故を新聞等でよく目にするようになった。これは、介護保険の導入に伴い、施設サービスのあり方が問われるようになったことや、耐性菌などの出現で、感染症への対応に困難が生じてきているのも原因と考えられる。このような状況下において、介護者が感染に対する意識を高め、予防に関する知識や技術を習得することは必要不可欠なことと思われる。

高校の福祉科においても、感染に対する意識を高め、感染予防の正しい知識と技術を学ばせることは、現場実習で生徒の安全を守ると同時に、介護者としての質を高めるために有意義であると考えられる。しかし、指導要領には感染予防に関する記述はなく、教科書の取りあげ方にもばらつきがあるのが現状である。

そこで、本校では、生徒に目に見えない微生物の脅威を実感させ、感染予防に関する介護者の責任と役割を身につけさせるため、効果的な指導方法の工夫を試みた。

3 研究内容

1. 単元名 社会福祉実習 (1) 介護技術の基本と実際 「感染予防」(4時間)

2. 単元の目標

- (1) 高齢者や障害者が日常生活を安全で快適に過ごすには感染予防が重要であることを理解させる。
- (2) 感染予防の基礎的知識を習得させ、介護者の役割を理解させる。
- (3) 介護者の接触感染に及ぼす影響について理解させ、基本的な技術を習得させる。

3. 「感染予防」の評価規準

	内容のまとめりごとの評価規準	「感染予防」の評価規準	学習活動における具体的評価規準
ア 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	介護について関心をもち、より良い介護を目指して、意欲的に取り組む主体的な態度と創造的、実践的な態度を身に付けている。	感染が及ぼす影響に関心をもち、安全で快適な日常生活を目指して、感染予防に意欲的に取り組む主体的・実践的な態度を身に付けている。	①感染が及ぼす影響について関心をもっている。 ②高齢者や障害者が安全で快適に過ごすための感染予防に関心をもち、意欲的に主体的に取り組む姿勢を身に付けている。 ③感染予防における介護者の役割と責任について関心をもち、意欲的に主体的に取り組む姿勢を身に付けている。
イ 思 考 ・ 判 断	高齢者や障害者を的確にとらえ、適切に判断し、その状態に応じた介護を創意工夫する能力を養う。	感染が及ぼす影響について自ら思考を深め、援助方法を判断し、感染予防における介護者の関わりについて多面的・多角的に考察している。	①感染が及ぼす影響及び援助の必要性と方法について自ら思考を深め、判断することができる。 ②感染予防における介護者の関わりについて多面的・多角的に考察できる。
ウ 技 能 ・ 表 現	介護に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、安全で快適な介護を提供できるとともに、その成果を的確に表現する。	感染予防に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全で快適な日常生活を目指した感染予防についての的確に表現できる。	①感染が及ぼす影響と安全で快適な生活を目指した感染予防について、的確に表現することができる。 ②感染予防に関する基礎的知識を表現できる。 ③感染予防に関する基本的技術を身に付ける。
エ 知 識 ・ 理 解	理論に裏付けされた基礎的・基本的な知識と介護技術を身につけ、自立生活支援と信頼し合える人間関係の重要性を理解している。	感染予防に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、日常生活を安全で快適に過ごすための感染予防の必要性について多面的・多角的に理解している。	①感染予防に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ②感染が与える影響について理解している。 ③高齢者や障害者が日常生活を安全で快適に過ごすためには感染予防が必要であることを理解している。 ④感染予防における介護者の役割と責任を多面的・多角的に理解している。

4. 指導計画	総時数 4 時間
(1) 感染予防の基本と介護者の役割	2 時間
(2) 接触感染における介護者の役割	1 時間
(3) 感染予防の基本的技術	1 時間

5. 学習活動と指導上の工夫点

感染は、目に見えないので生徒が実感としてとらえにくく、専門用語も多いため理解しがたい題材である。対象とする1年生は、専門科目の学習を始めて日が浅く、関連する基礎科目も未学習である。さらに、老人施設等での現場実習も経験していないため、介護現場のイメージがつかみにくく、介護者の立場で感染予防を考えることは困難と思われる。そこで、指導するにあたりいくつかの工夫を試みた。

(1) 感染予防の基本と介護者の役割

項目	内 容
ねらい	感染予防の基本と介護者の役割について理解する。
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・感染に関する正しい知識を学ぶ。 ・感染が及ぼす影響について考える。 ・高齢者や障害者が安全で快適に過ごすための感染予防の必要性について考える。 ・感染予防の具体的方法を知る。 ・感染予防における介護者の役割について考える。
指導上の工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・感染に関するタイムリーな出来事を活用し、動機付けをする。 ・感染が自分と関わりの深いテーマであることを考えさせる。 ・感染予防に関する用語を精選する。 ・感染に関する出来事や新聞記事を活用してグローバルに考えられるようにする。

(2) 接触感染における介護者の役割と感染予防の基本的技術

項目	内 容
ねらい	接触感染における介護者の関わりについて理解し、感染予防の基本的技術を身に付ける。
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・手により感染が拡大していくことを理解する。 ・介護者が媒介者となることを認識する。 ・感染防止対策として手洗いが重要であることを認識する。 ・実習を通して、手洗いの正しい方法を身に付ける。
指導上の工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・実験をすることにより、感染の脅威を実感させる。 ・手を介して感染が拡大することを体験させる。 ・手洗いの状態を視覚的に見せることにより、技術の定着を図る。

6. 学習指導案

(1) 感染予防の基本と介護者の役割 (2時間)

離	学習内容	時間	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導 入	本時の学習内容、 目標の確認 課題「施設での感 染事故について」	5	本時の学習内容、目標を知る 新聞課題について調べてきた事 を発表する	・新聞記事の課題を提出させ、 点検しておく ・事故の内容を確認し本時の 学習内容に発展させる	課題レポート
展 開	1 感染の基礎知識	3 5	1 用語と意味を理解する 2 感染による影響を考え、ノー トにまとめ発表する	・用語を精選し板書する ・健康を害するだけでなく、 人権問題や経済的な問題にも 波及することに気づかせる	テスト 参加態度 テスト
	2 感染予防の基礎 知識 (1) 感染成立要因 (2) 主な感染症の 感染経路	3 5	1 感染成立要因を理解する ・ノロウイルスの事例について 感染要因を発表する ・事例と関連づけて感染成立の 要因を理解する 2 主な感染症について知る ・集団感染となる感染症を発表 する ・施設でおこる感染症を知る 3 主な感染症を感染経路別にワ ークシートにまとめ、病原微生物の 伝播様式を理解する 4 感染予防の三原則を理解する ・感染源対策、感染経路対策、 感受性者対策について学ぶ ・ノロウイルスの事例と関連さ せて具体策を考え、発表する	・新聞記事の事例から感染成 立要因を導きだし板書する ・課題レポートを参考に発表 させ、確認と訂正をする ・看護基礎医学と関連づける ・微生物の種類により伝播様 式が異なる事を理解させる ・資料を使用し理解させる ・感染経路対策についてはス タンダードプリコーションの 概要を知らせる ・感染予防の三原則について、 新聞課題と関連づけて理解さ せる	テスト テスト ワークシート テスト 参加態度
	3 介護者の役割と 責任	2 0	1 グループで意見交換をし、ワ ークシートにまとめる ・感染症が施設に与える影響 ・感染経路対策としてできる事 2 介護者として気をつけなけれ ばならない事を発表する	・新聞課題を参考にバズセッ ションをさせる ・具体的にあげさせる ・感染予防の三原則および介 護者としての責任について確 認させる	参加態度 ワークシート テスト
ま と め	次時の予告 ワークシート提出	5	次時の学習内容を知る ワークシートを提出する	・次時は感染予防対策として、 手指衛生の技術について学ぶ ことを告げる	

(2) 接触感染における介護者の役割と感染予防の基本的技術 (2時間)

	学習内容	時間	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導 入	前時の復習	5	・感染予防の三原則と介護者の役割について確認する		
	本時の学習内容、目標の確認		・本時の学習内容を知る		
展 開	1 手による感染の拡大 ・実験	3 5	・5人1組になり実験を行う 実験1 手から手への拡大 実験2 物品を介しての拡大 ・ブラックライトをあて結果を記録する ・頭髪や衣類及び机上の物にもブラックライトをあててみる ・実験結果をワークシートに整理する	・ワークシートを使用し、手順を確認させる ・手洗い検証パウダーを使用する ・無意識のうちに拡大していることを認識させる	参加態度 ワークシート
	2 手洗い方法と効果 1) 石けんによる手洗い ・実習	3 5	(1)「日常的手洗い」 ・2人1組で、手洗いを行う ・ブラックライトをあて、結果を記録する (2)「衛生的手洗い」 ・手順を確認し、デモンストレーションを見て手順を知る ・実施者、チェック者となり交互に実習する ・ブラックライトをあて、結果を記録する ・実習結果についてワークシートにまとめる	・手洗い検証クリームを使用する ・日常行っている手洗いをするように注意する ・洗い残しを図示させ、日常的手洗いの不十分さを確認させる	参加態度 ワークシート
	・実習のまとめ		・実施者、チェック者となり交互に実習する ・ブラックライトをあて、結果を記録する ・実習結果についてワークシートにまとめる	・チェック者に観察させながら実習をすすめる ・洗い残しを図示させ日常的手洗いとの違いを確認させる	参加態度 テスト 記録用紙
	2) 擦式手指消毒		・デモンストレーションを見て、正しい方法について知る	・正しい方法と量で行う事を認識させる	ワークシート
	3 感染予防における手洗いの重要性	1 0	・実験・実習結果についてグループで意見交換し、発表をする	・手洗いが感染予防の基本である事を認識させる	参加態度 ワークシート
	4 接触感染における介護者の関わり	1 0	・感染予防における介護者の関わりをワークシートにまとめる ・考えた事を発表する	・介護者が媒介者となる事を認識させる ・介護者の役割と手洗いの重要性について再確認させる	参加態度 ワークシート テスト
ま と め	まとめ 次時の予告	5	・記録用紙に記入する ・次時の学習内容を知る	ワークシートと記録用紙を回収する	

4 考察

・生活体験が未熟な1年の早い時期に行うことについて多少不安があったが、タイムリーな話題を活用したことで感染に興味を持つきっかけとなり、授業に意欲的に取り組めた。新聞を利用することにより感染成立要因の理解を助けるとともに、入学して間もない一年生に、介護の対象である高齢者や障害者の感染予防をグローバルに考えさせる一助となり、介護者としての責任と役割を気づかせることができた。

・目に見えない感染の脅威を、言葉だけでなく、実験・実習を取り入れたことで実感させ、伝播様式をより深く理解させることができた。また、生徒にとって、実験・実習は学習意欲を喚起し、主体的に学習に取り組む姿勢を養う方法として効果的だった。

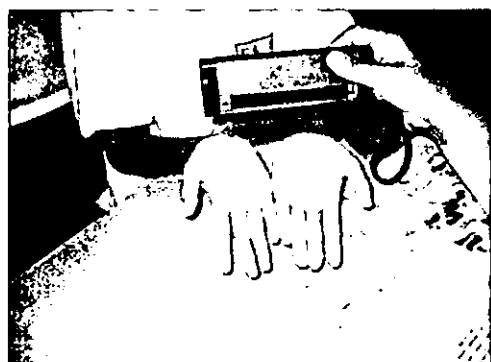
・感染予防に関する正しい知識を学ぶことにより、生徒は、普段の生活の中で、手洗いや環境整備を実践するなど、感染予防の意識を持つようになった。また、介護者として自覚が芽生え、目的意識の高揚が図れた。

・今回指導した分野は、生徒にとって難しい内容であると思われるが、1年生でも教材を工夫し、内容を精選することによって理解させることができたと思う。また、授業を6月に実施したが、福祉の専門科目を学習し始めたこの時期に実施したテーマとしては適切だったと考える。生徒により刺激となり校内実習への取り組む姿勢を養うことができ、その他の専門科目を学ぶ意欲にもつながった。さらに、2・3年の現場実習に向け、正しい根拠に基づき主体的に行動できる生徒の育成を目指し検討していきたい。

5 おわりに

本校では、従来から感染予防について、試行錯誤で行ってきたが、今回の研究で、実験・実習を取り入れたことにより生徒の意識高揚が図れ、大変効果があがった。しかし、限られた時間の中で、どの程度の内容をどう教えればいいのか不明確であり、福祉科の生徒の学習内容として十分な内容であったかどうかは疑問である。4時間の配当時間では、ガウンテクニックや消毒法などの指導まではできなかった。どこまで指導すべきか模索中であり、他の専門科目との関連をどう図るかについても今後の課題である。

研究を行い、改めて感染予防は福祉を学ぶ高校生に不可欠な内容であると痛感した。是非、学習指導要領に明記し、福祉科目の中に位置づけべきだと考える。また、これを機に各学校において授業研究を重ね、よりよいものへと発展させていくことができればよいと思う。



研究協議会 分科会 2

開催期日：平成 17年 8月 9日 (火)
項 目：研究協議会 第2分科会
場 所：アストプラザ4階 橋北公民館研修室A
時 間：12:50 ~ 14:40
助言指導：三重県教育委員会高校教育室
指導主事 和田 欣子
司会進行：北秋田市立合川高等学校 穴倉 博明
山梨県立富士北陵高等学校 外山 真美
記 録：愛知県立桃陵高等学校 松浦 直子
愛知県立高浜高等学校 尾崎久美子

1 進路指導

発表 「村田高校社会福祉系列の進路指導の現状」
宮城県立村田高等学校 教諭 酒井原 美紀

質疑応答

- Q：卒業生に対しての交通費及び謝礼はどうしているか。
進学者が増えているが、基礎学力定着のためにどのような対策をとっているか。
本県の福祉就職フェアには高校生は参加できないが、宮城県は参加しているか、教えて下さい。
(神奈川県 川崎高等学校)
- A：交通費謝礼はなし、自分もお世話になっているのであたりまえである。
福祉は記録が大切である。国語は必ず選択させ、漢字検定2級を受験させる。数学は苦手
で、大学の授業で困ると、高校へ来て質問している。
就職説明会には高校生は行かない。
- Q：施設実習は授業公欠が難しい、どのようにしているか。
実習と進路指導をどのように行っているか、教えて下さい。(岩手県 一関第二高等学校)
- A：1, 2年生は公欠で実習に出た。3年生は春休みに行っている。
3年生の進学指導は2学期より行っており、就職指導は夏休みから行っている。
- Q：ケアプランはどのように扱っているか。
卒業生への定着指導はどのように行っているか、教えて下さい。
(栃木県 真岡北陵高等学校)
- A：2年基礎介護、3年社会福祉演習で行っている。
求人依頼の時、卒業生の状況を聞いたり、直接本人と話しをしたりしている。

2 授業研究

発表 「『感染予防』の授業の一工夫」
静岡県立吉田高等学校 教諭 福嶋みちる
池上 香苗

質疑応答

- Q：実習の参加態度やワークシートの点数化など、評価方法のシステムについて教えて下さい。
(神奈川県 川崎高等学校)
- A：評価規準は資料に載せてある。今回は授業の一工夫なので授業での評価基準まではしっか

りできていない。実験実習の授業では生徒の参加態度は全般的に真剣に取り組んでいてよかったです。実際はマイナスチェックをしている。バズセッションでは机間巡視でグループ内の意見をまとめていた生徒の参加態度をチェックした。ワークシートについては、正答率やポイントを抑えているかで評価をしている。実習のチェックリストは2人一組で正しく実習が行われ、改善点も書かれていたのであまり差がつかなかった。指導と評価の一体化として評価基準までできているとよかったです。

Q：使用教科書と、感染予防の内容を他の単元につなげていく予定について教えてください。

(日本社会事業大学 三島高等学校)

A：使用教科書は介護福祉士養成講座の介護技術Ⅱである。単元の続きというわけではないが、1年生の3学期に基礎介護の中で消毒・滅菌などを行う。看護基礎医学で滅菌や菌のことなど詳しい内容を行う予定である。

助言指導 三重県教育委員会高校教育室 指導主事 和田 欣子

すばらしい研究でした。各校で考えていただく話題提供とポイントを話します。この研究をそれぞれの学校の実態に合わせた形で展開して下さい。

1 進路指導 について

村田高校の発表では、総合学科における進路指導をどうして行くのか。総合学科自体が多様な系列を持ち、生徒自身が科目選択をし、自分の在り方・生き方を考えながら、3年間過ごしていく学科です。福祉系列は決められた単位が34単位と多いので他の科目の選択範囲は狭い。2,3年生で福祉系列から他系列に外れる生徒も出てくる中で進路指導をしながら最終の国家試験に向けて指導をしている御苦労が見られます。それぞれの学科の目標があります。総合学科は総合学科のねらいがあるので、34単位の取得を目指す専門学科とは違う位置づけがあってもよいのではないのでしょうか。

昨年度、静岡大学で専門学科からの推薦枠を拡大しました。将来的には専門学科の生徒を60人取りたいということが新聞に載っていました。専門学科を卒業し、はっきりとした目的意識を持った生徒が大学に入って、普通科の受験で伸びきった生徒よりも、大学で伸び伸びとトップ層で学んでいくことができることに期待したいという内容でした。一方で専門学科の半分の生徒は授業について行くことができずリタイアしています。基礎学力をどうつけていくのか、この解決策は難しい。吉田高校のように新聞記事を授業に取り入れたり、国語・社会・数学など他科目と連携して福祉科の中だけでなく、福祉を学ぶ生徒がどうあるべきかということを学校全体の取り組みに広げてほしいと思います。

2 授業研究 について

吉田高校については感染予防の発表をして頂きました。どの時期にどの教材をもって行くのかは教員の授業デザイン力です。教員の指導力が問われます。1年生に感染予防を持っていったのは興味深い。感染予防の知識、理解という部分はあるが、介護の専門職者になっていく生徒にはどのようなことが大切なのか。専門知識には科学性、合理性があることを生徒は学んだのではないか。国家試験に必要な知識を身につけさせなければならないことはよく分かるが、国家試験をゴールとするのではなく、その学習を通して「なるほど」、「そうだ」と思える学習をして、卒業しても学んでいける力をつけてほしい。

学習指導要領に記述がないことについては今後検討されていくだろうが、現場の先生からこのように提案してほしい。

情報交換をして、それぞれの実態に合うように展開して下さい。

レクリエーション活動報告

楽しさいっぱい
笑顔いっぱいの
レクリエーション支援を

(社) 三重県レクリエーション協会

事務局長 鈴木 寿子 先生

1. はじめまして
2. レクリエーションからのプレゼント
3. 福祉現場でのレクリエーション支援って
4. 共に生きている喜びを実感できる「グループを介した」支援
5. 「一人ひとりの思い」に寄り添う支援
6. レクリエーションを楽しむ「環境の整備」
7. 生活の快が福祉レクリエーション支援のスタート・ゴール
8. レクリエーション活動を生活の中心に

人は誰でも、話し掛けられたいと思っている

見つめられたいと思っている

関心をもって欲しいと思っている

認められたいと思っている

ほめてもらいたいと思っている

大切にされたいと思っている

～ デール・カーネギー ～

コミュニケーション技法

参加型授業への誘い ～頭と心と身体を使って学ぶこと～

大阪教育大学教育学部教養学科

助教授 新崎 国広 先生

「福祉コミュニケーション理解のための講義と実技」

大阪教育大学教育学部教養学科発達人間福祉学講座助教授 新崎国広(社会福祉士)

【参加型授業への誘い～頭と心と身体を使って学ぶこと～】

《ねらい》

- ① 今回の研修の参加者自身が、グループワークを活用した参加型授業を通して、カウンセリングマインドの意義やコミュニケーションの大切さを体験的に理解することを目的としています。
- ② あなた自身が、生徒達にあなたの福祉理念を“どのようすれば効果的に伝えることができるか”を参加型授業を通して取得することが、今研修の目的です。
キーワード：“気づきに注目した授業”・“手段と目的の明確化”
- ③ あなた自身が、やる気になって元気になる。
今日のGWTで使ったワークを、実際の授業で活用していただければ幸いです。

【グループワーク・トレーニングとは何か？】(「グループワーク・トレーニング」遊戯社より)

I. 自分を知り、他人を知る

- ① 自分自身を知る (自己理解・自己覚知)
- ② 他人を知る (他者理解)
- ③ 自分を知ってもらう (自己表現)

II. 対人関係について学ぶ

- ① 感受性を養う
 - ・ 認知する
 - ・ 受容する
 - ・ 応答する
- ② コミュニケーションについて学ぶ
- ③ 協力について学ぶ

III 創造力を養う

- ① アイデアを出す
- ② 情報を集める
- ③ アイデアや情報を組み立てる

社会的対人相互作用の循環過程の理論(CPSI)

悪循環を打ち破るためには、

- ① リーダーが現実的状况を理解すること
- ② クライアントに変わりたいという意欲を起こさす
- ③ 他のメンバーのクライアントに対する先入観を打ち壊す
人が新しい在り方を試みることに對する支持的許容的な雰囲気をつくり出す

グループ成立の条件

- ① 集団目標の明確化
 - ② 集団の役割の分化と統合=構造化
 - ③ 集団基準の確立
 - ④ 許容的雰囲気の存在
- ★ 集団の構造化→役割が分化すると同時に役割間の連携が保たれて全体としてまとまりがある。

【対人援助活動に必要な不可欠な3つのポイント】

① 人間の平等と尊厳

:人は、一人一人かけがえのない貴重な命を持った存在であり、障害の有無や老若男女、国籍、出身等に関わらず尊重されなければならないという価値観

② 人間に対する肯定的理解

:様々な問題を抱えるクライアント(利用者)は、現状があまりにも困難な状況にあるため自分自身の本来持っている力を出し切れていない状況にあるだけで、すべての人が、ワーカビリティ(自己問題解決能力)を持っているという強い信念

③援助者として、利用者や保護者と接する時に、忘れてはならない視点

社会関係障害

:クライアント(利用者)自身の能力(インペアメント・ディスアビリティ)や属性のみでクライアントをアセスメントするのではなく、常に社会との関係の中で見ていくことの必要性。

【研修指導者に必要なリーダーシップって何?】

目標を掲げる・集団をまとめる・メンバー個々を大切にすること

- ①グループの存在意義・目的を知り、それをメンバーにより明確に提示し、理解を促す
- ②役割分担を混乱させないように、各メンバーの権限と責任の範囲を明確にすること、その為にメンバー各自の感情の動きを把握する
- ③メンバー個々の興味と能力と現実条件を満足させるよう配慮し「個人的ケア」を行う

【上記が必要な理由】

- ①目的が明確になる、行動目的が定まり意欲も高まる
- ②権限や責任を明確にしても、感情的な問題がメンバーに存在する場合役割が機能しない
- ③グループのメンバー承認欲求を満足させ個々の意欲が高まることでグループ自体の活性化につながる

『リーダーは、集団目標という旗印を掲げるところは、父性的であり役割遂行状況を観察するところは、冷静なサイエンティストであり、一人一人をケアするところは、母性的である』

【リーダーの資質】

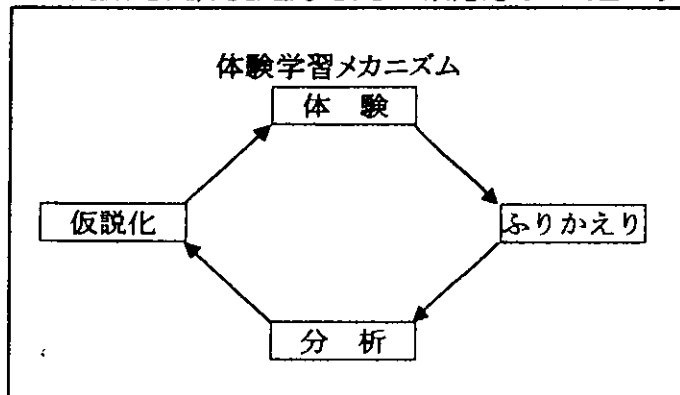
- ・感受性
- ・対孤独性
- 人を育てる(M型)
 - ・カウンセリングマインドを持つ・受容と傾聴
 - ・共感性
 - ・愛語・メンバーの良い点を発見し、ほめ、その人の個性を伸ばしていく
 - ・情緒安定
 - ・幅広い価値観
- 目標をかかげる(P型)
 - ・自己主張・目標を明確にして、方向性を示す
 - ・責任感
 - ・全体把握・大局観を持つ
 - ・リーダーとしてのアイデンティティ(自覚)を持つ

【福祉コミュニケーション理解のためのグループワークトレーニング(GWT)の実際】

このワークショップでは、参加者自身が体験学習〔GWT〕を実際に体験しながら、個々のワークの意義や有効な使い方、マル秘テクニックを学んでいきましょう。

保育実践の中に、活用していただければ嬉しいです。

★ “I am OK!, You are OK!” ・双方向のコミュニケーションを大切に！！



《指導者の在り方》

やってみせ（お手本・ロールモデル）
 言ってみせて（指導・レクチャー）
 させてみて（体験・実習）
 ほめてやらねば（サポート・共感）
 人は動かす

（山本五十六）

『自分では当然だと思う事（主観的事実）が、決して客観的真理ではないということ』
 我々はつい自分の価値判断によって“～すべきである、～するのが当然である”という発想で、事実を一つと思いついてしまいがちになるが、こういった断定的な発想ではなく、より柔軟な考え方が必要ではないだろうか。
 特に、研修指導者を行う者にとっては、この柔軟な発想が豊かな感性とともに必要である。

《今回のGWTメニュー》

アイスブレイク

【ワーク 0】「後だしジャンケン」：導入、気づきの大切さ

1. 対人援助にかかわる人に必要不可欠な基本的視点と価値観

【ワーク 1】後出しジャンケン：アイスブレイク・波長合わせを学ぶ

《アイスブレイクとは》

- ①参加者の緊張の緩和
- ②参加者の関係づくり：波長合わせ(チューニング)
- ③演習等プログラムの規範づくり：共通認識を高める

【ワーク 2】「～さんがいましたゲーム」：対人援助に必要不可欠な三つの学び

【ワーク 3】「あなたの1分間」：個別化と社会的存在としての個人

【ワーク 4】『十人十色』～多様な価値観の存在と、人権についての気づき～：自己覚知

2. 対人援助技術・コミュニケーションのトレーニング

【ワーク 5】「5つのキーワードを使った自己紹介」：アイスブレイク、自己開示・出会いの楽しさ

【ワーク 6】何でもチェーン&イメージの伝達ゲーム：2種類のコミュニケーションについて考える

【ワーク 7】“話し上手より聴き上手(6人×1分×2回)”：受容的雰囲気・慶長の重要性

【ワーク 8】バズセッション～「社会福祉」ってどんな色・もの？：多様な価値観の存在を知る

【ワーク 9】プラス志向の椅子取りゲーム：協働の喜び(時間・会場の都合により省略)

注：時間・進行の関係で、行なわないものもあります。ご了承ください。

【ワーク4】自己覚知：『十人十色』～多様な価値観の存在と、人権についての気づき～

下記のワークシートにある質問を各自で記入してみましょう。

正解なんてありません。「あっ、同じ」「そんなもんあるのかな」という発見をお互いに楽しんでください。（『77のワークで学ぶ 対人援助ワークブック』より久美株式会社

- ① 朝起きたら一番最初にすること

- ② 「ああ、幸せ！」って感じる瞬間

- ③ 嫌いな食べ物

- ④ あなたの一番好きな色

- ⑤ 他人に絶対されたくないこと

【ふりかえりシート】

- ① メンバーから、同じような答え、似たような答えが出たときはどんなふうに感じましたか？

- ② メンバーから、自分とは全く違う答え、自分では思いもよらなかった答が出た時、どんなふうに感じましたか？

私と小鳥と鈴と(金子みすず)

私が両手をひろげても お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、地面を速くは走れない。

私がからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のようにたくさんの歌は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。
(「金子みすず童謡集」角川春樹事務所、ハルキ文庫より)

福祉の目的概念は、「すべての人々の幸せ」を実現させること。でも、一人ひとりの幸せは、みんな違う。だから、利用者を理解するとき、個別化が必要です。「人から絶対にされたくないこと」って、考えてみると結構共通点が見出せます。人権を抽象的にとらえるのではなく、自分の身近な人権を考えてみましょう。

【ワーク5】 出会いのデートゲーム

～喜びは分かち合うことで増し、悲しみや苦しみは分かち合うことで半減する～

- ① A4の紙を縦横四つ折にする
- ② 右上のスペースに「私は一見〇〇ですが、実は××です」
左上のスペースに、「仕事で一番苦しかったこと。つらかったこと」
右下のスペースに、「仕事で一番嬉しかったこと。楽しかったこと」
右下のスペースに、「これからやっていきたいこと」をそれぞれ記入する(5分位)
- ③ 裏返し、今度は縦横6つ折にし、端から月～土曜日まで記入する。
- ④ 全員で、各曜日にデートする人を探し決める。ダブルブッキングには注意！！
- ⑤ 全員のデート相手が決まれば、月曜日から握手して表に書いた4つをもとにデート開始。
デートタイムは、3分～5分(時間の関係で調整可能)
- ⑥ 6人とのデート終了後、全員で感想を話し合っていく。

【ワークシート別紙】

【ワーク7】 “話し上手より聴き上手に～傾聴・受容の大切さを経験する～”

ねらい：『受容的雰囲気・共感的理解の重要性を学ぶ』

- ・このエクササイズは、グループの形成当初のリレーションを促進させるのに効果的
- ・人は出会いの時、冷たく拒否的な雰囲気では緊張が高まり、あせって自分自身を十分出せなくなってしまいます。これでは、うまくコミュニケーションがとれるはずがありません！

自分が受け入れられていると感じる雰囲気の中で初めて普段のありのままの自分を出せるもの。

そして、そんな雰囲気の中ではじめてコミュニケーションが深まっていくのだと思います。

“拒否的な雰囲気”と“受容的な雰囲気”の違いをゲームで体験し受容的な雰囲気がいかにコミュニケーションにとって重要かを、実感して下さい

【ワーク 10】 ワークシート “バスセッション～「社会福祉」ってどんな色・もの～”

「社会福祉」を物にたとえると、何だと思えますか？
 その理由はなぜですか？あまり難しく考えないでひらめきで答えて下さい。
 その後、グループで話し合っ、グループで物を決定して下さい。
 一人一人が考える認知症介護やこれから自分自身が学びたいことを、グループで分かち合い
 グループディスカッションを行って下さい。
 メンバーのそれぞれの想いが一つになれば素敵ですね。

《個人ワーク》

あなたが考える「社会福祉」を物にたとえると、何だと思えますか？
 その理由はなぜですか？あまり難しく考えないでひらめきで答えて下さい。
 その後、グループで話し合っ、グループで物を決定して下さい。

あなたの思う色： _____

理由：

あなたの思う物： _____

理由：

《グループワーク》

○発展型：グループで話し合いの上、決定した「色」・「物」と「その理由」を模造紙に
 自分達なりに表現してみよう！！

氏名	イメージした色	その理由	イメージした物	その理由
グループ 意見				

【ワーク5】「5つのキーワードを使っての自己紹介」ワークシート

自己開示1

私、一見○○ですが、
実は××何です。

私、今までこんなことをやりました。

自己開示2

喜びは分かち合うことで倍増し、悲しみは分かち合うことで半減する

今までで一番うれしかったことは... です。

今、不安なことは... です。

（将来の目標）私が将来めざしていること。

介 護 技 術

「 介 護 技 術 」

学校法人大橋学園ユマニテク福祉専門学校

伊藤 幾代 先生

「 施設実習に備えた学内指導の

あり方および心構え、留意点 」

学校法人大橋学園ユマニテク福祉専門学校

大崎 淳子 先生

1. 実技試験出題基準と学習の進め方

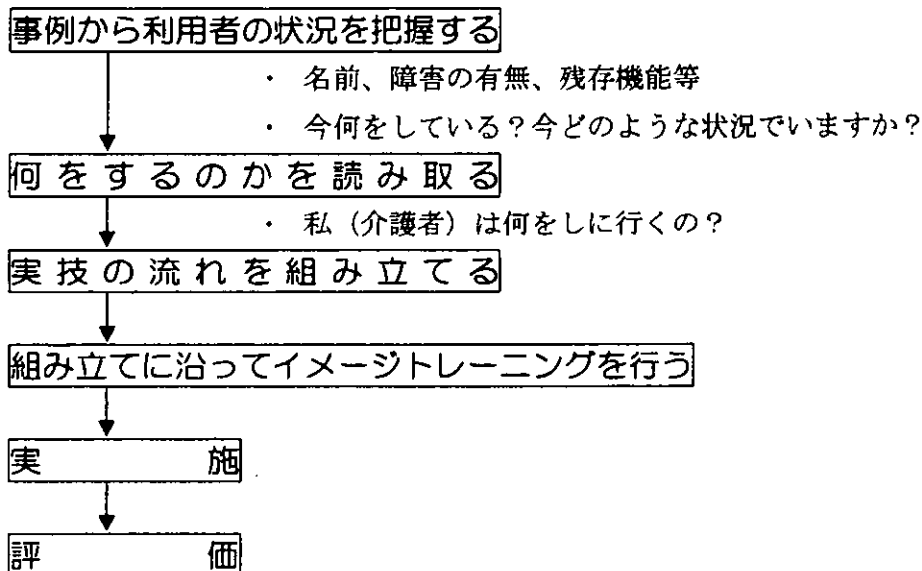
① 出題基準の考え方 【資料A】

- ・ 出題基準は、実技における最低限の基準と考えられる。
- ・ 大項目は介護の理念を、中項目は試験の出題範囲を、小項目はより具体的な内容を示したものである。

② 学習の進め方

実技試験は、テクニックだけでなく理念・知識・技術を兼ね備えているかどうかを問われる。常日頃より「自立支援、自己決定できる言葉かけ」ということを意識し、また、次の動作を考えながら行動する習慣を身につけることが大切。

● 実技試験問題の基本的考え方



2. 実技に関する留意点

- ① 利用者の尊厳を認め、安全・安楽に配慮し、自己決定を尊重する。
- ② 利用者へ事前の説明をする。
- ③ 利用者への説明は、わかりやすい言葉で行う。
- ④ 「設定された障害」について注意事項を確認する。
- ⑤ 利用者の自立を支援する方法を用いる。
- ⑥ 間違いに気がいたらやり直しをする。
- ⑦ 「終わります」を言う前にやり残しがないか確認する。

介護技術子エックリスト

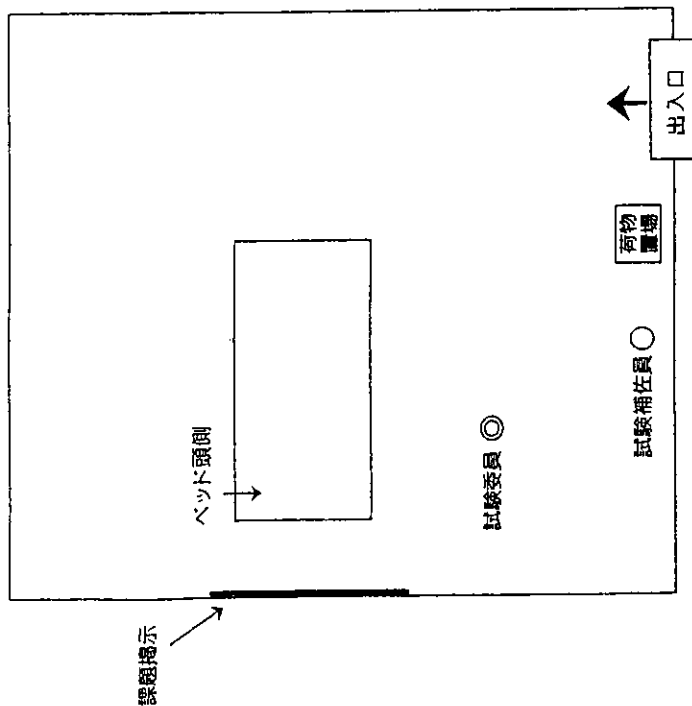
コミュニケーション	項目	評価 O X
コミュニケーション	1 あいさつ、自己紹介をしたか	フルネーム又は名字で呼ぶ
	2 今の体調を聞いたか	今の状況を把握した内容で体調を聞く
	3 今から行うことを説明し、協力を得たか	
体位変換	4 ゆっくりと仰臥位にしたか	右手で左しじを掴んで頂き、右肩、左腕を直挿し行う
	5 上方に移動することを説明し、同意を得たか	
ベッドでの 上方移動	6 杖をベッドのふちに立てかけたか	
	7 腰割の活用を促す声かけができたか	
	8 右手の活用、左手の保護はできたか	
	9 右腕をしっかりと曲げ、呼吸を合わせて確足でかつてもらったか	かけ声をかけたか
	10 介護者はポイメカニクスを活用したか	足の位置、腰の曲げは良いか
	11 仰臥位の位置は適切か	ベッド中央で安全か
	12 杖、手足を好みの位置にし、安全の確認をしたか	
	13 バジヤマのしわ、たるみを直したか	
	14 掛けかけた靴下を直したか	平角な穿え方をしない
	15 手背を上にしてシーツを入れたか	
シーツを整える	16 しわたるみなくコーナーができたか	
	17 ポイメカニクスを活用したか	
利用者の尊重	18 尊重した声かけができたか	
	19 命令口調、幼児言葉は使っていないか	
安全安楽	20 危険行為はなかったか	
	21 安全な介護はできたか(確認)	
22		

1 試験課題

斉藤フミさん(86歳)は左半身に麻痺があり、移動には一部介助が必要です。
 部屋を訪れると、斉藤さんはベッドの下方で左側を下にし、膝を曲げた姿勢で寝ています。
 身体をベッド上の適切な位置に戻し、衣服とシーツを整え、仰臥位にしてください。
 (掛布団は省略します。斉藤さんは、「はい」または「うなづく」のみです。)

(試験時間は5分以内です。)

2 試験室見取図



(注) 試験室の出入口、試験委員等の位置は、見取図と異なる場合があります。

実技試験出題基準項目

大項目	中項目	小項目	備考
1. 介護の原則	1) 安全・安楽	① 転落・転倒・強打の防止 ② 麻痺側の保護 ③ 誤嚥の予防	
	2) 自立支援	① 残存機能の活用 ② 意欲の促進	
	3) 個人の尊厳	① コミュニケーション ② 事前の説明と承諾 ③ 自己決定 ④ 接遇（言葉づかい・態度）	
2. 健康状況の把握	1) 利用者の健康状況の把握	① 外見（観）の変化を察知する観察 ② 意識（反応）状況の変化を察知する能力 ③ 体温・脈拍・呼吸の測定	
	2) 介護者の健康管理	① ボディメカニクス ② 感染予防	
3. 環境整備	1) 室内環境	① 換気 ② 温度、湿度 ③ 冷暖房 ④ 清潔 ⑤ 採光	
	2) ベッド	① ベッドの機能 ② ベッドメイキング、リネン交換	
4. 身体介護	1) 体位と体位変換	① 体位の種類 ② 体位（身体）の保持と膝折れ防止 ③ テコの原理、ボディメカニクスの活用 ④ 体位の変換	
	2) 移乗動作	① 車いす ② ポータブルトイレ ③ ストレッチャー ④ いす	
	3) 移動・歩行介助	① ベッド上での移動 ② 車いす、ストレッチャーでの移動 ③ 肢体不自由者の歩行介助 ④ 視覚障害者の歩行介助	
	4) 食事の介助	① 食事の種類と介助 ② 食前の介助 ③ 摂食の介助 ④ 食後の介助	
	5) 排泄の介助	① トイレ及びポータブルへの誘導と介助 ② 便器・尿器の介助 ③ オムツの介助	
	6) 保清の介助	① 清拭 ② 入浴・シャワー浴 ③ 足浴・手浴 ④ 洗面 ⑤ 口腔ケア・義歯の取り扱い ⑥ 洗髪	
	7) 衣服の着脱	① 衣服の着脱 ② 寝衣の交換 ③ 衣服のたたみ方	
	8) 整容の介助	① 髪をとかす ② ひげそり	

施設実習に備えた学内指導のあり方および心構え、留意点

ユマニテク福祉専門学校 教員 大崎淳子

○ はじめに

経験からの学び

(実習現場受け入れ時代) 実習現場指導者として・・・
現場での出来事

(実習現場へ送り手としての今) 実習指導教員として・・・
学内での出来事

○ 施設実習は対人援助サービスの場

人としてうまくかかわる能力

コミュニケーション

演習

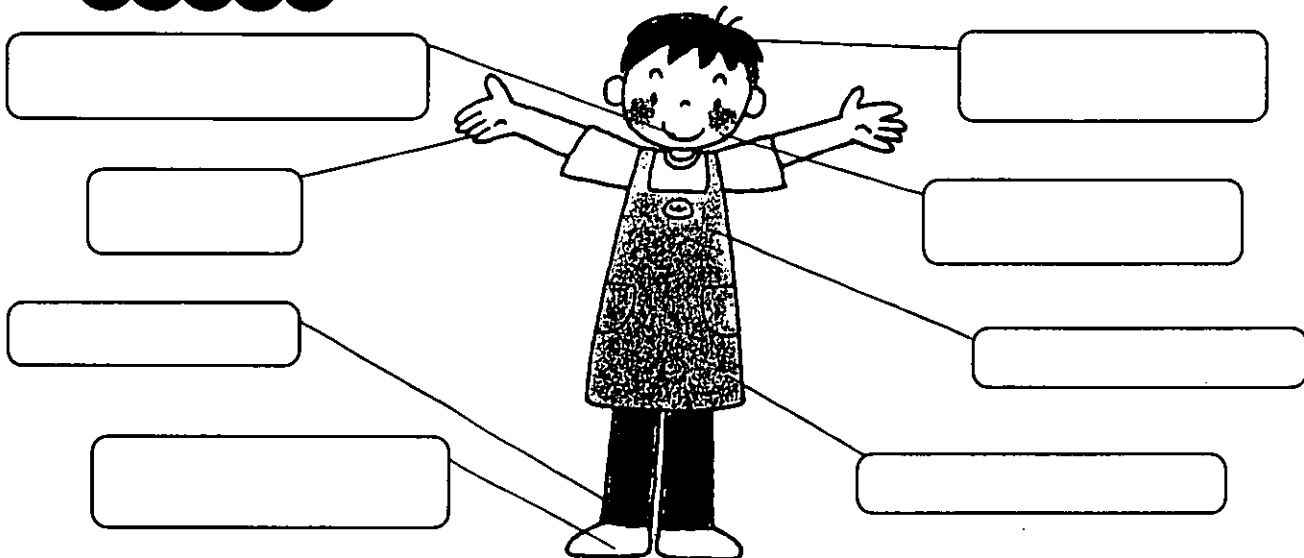
① 3通りの「こんにちは」

② 2通りの「おはようございます。よくねむれましたか」

身だしなみで気をつけることは？

身だしなみ チェック

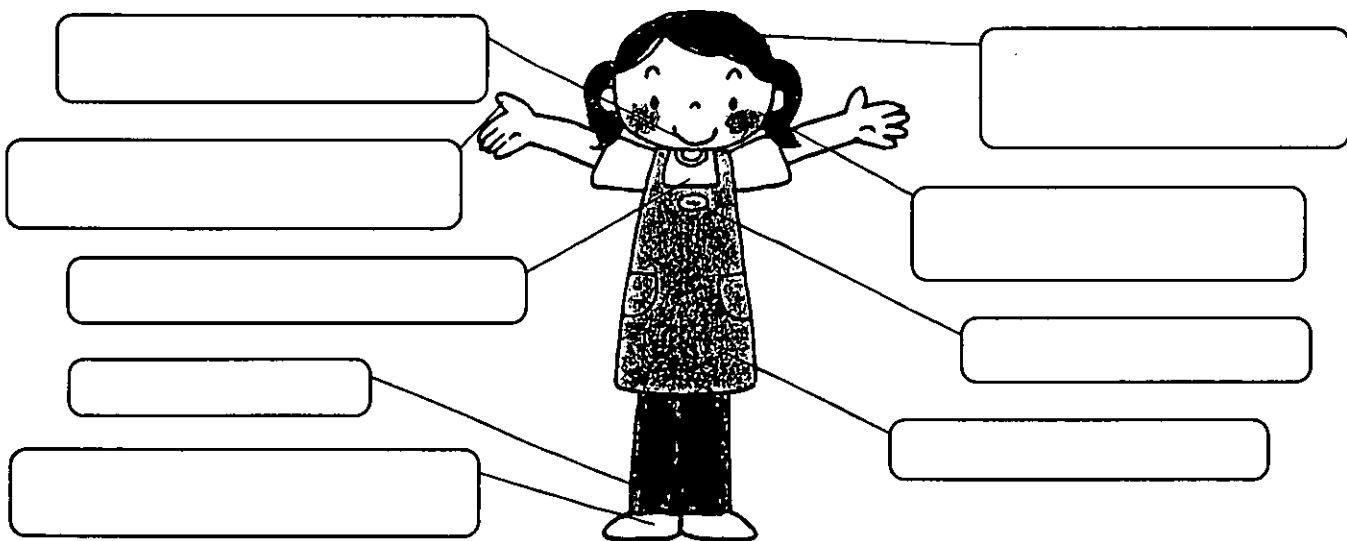
男性の場合



さあ、身支度ができました！

手洗い、うがいをしてください。鏡を見てください、口角は上がっていますか？（いつも笑顔で）

女性の場合



さあ、身支度ができました！

手洗い、うがいをしてください。鏡を見てください、口角は上がっていますか？（いつも笑顔で）

園 芸 福 祉

「 始 め よ う 園 芸 福 祉 」

広島国際大学大学院

教授 吉長 元孝先生

「 観 葉 植 物 の 苔 玉 作 り 」

三重県園芸福祉研究会

会長 前川 良文先生

はじめよう 園芸福祉

園芸福祉の活動とは

花や野菜を育てて、みんなで幸せになろう。一言でいえば、これが園芸福祉の活動です。青空のもと、地域の様々な場所で営まれる植物の種子～発芽～成長～開花～結実～収穫というプロセスに幅広い年代の人々が参加して、植物と接し栽培する楽しみや喜びを共有することが園芸福祉活動です。

市の事業の一環として（三重県名張市・いなべ市）



仲間をつくり
都市・農村住民
など多彩な人達

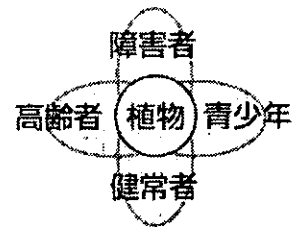
植物と共に
花・果物・野菜
その他のみどり

楽しく過ごす
栽培・育成、配植・配置
交換・交流、管理・運営
などの活動を通じて

みんなで幸せになろうという、思慮、技術、運動、実習

◎地域の誰もが参加できる活動です

地域に暮らす様々な人たちが、同じ立場で参加して、植物を通じた多彩な活動を展開しています。



全国で多彩な園芸福祉活動が展開されています。

園芸福祉の活動は、家庭ばかりでなく近隣や地域社会のなかで、人々と交流しながら、楽しい時間の過ごし方や、それを体感できる場所や空間を作りあげて行く活動です。全国各地で初級園芸福祉士を中心に地域にあわせた様々な活動が始まっています。

都市の子供が園に親しむ（千葉県浦安市）



病院の中庭のなかで（岐阜県多治見市）



地元企業と連携して（静岡県静岡市）



世代間交流に向けた福祉農園で（長崎県長崎市）



保育園活動のなかで（大阪府高槻市）



商店街の美化と活性化に向けて（新潟県新潟市）



高齢者施設の入所者と一緒に（島根県邑南町）

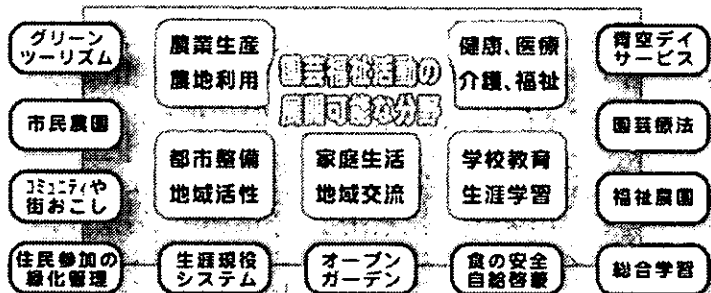


「園芸福祉活動には様々な分野と可能性があります。」

代替治療の分野から環境保全や地域・街づくり、さらに、情操教育や生涯学習、高齢者や障害者福祉まで、幅広い分野で園芸福祉活動が展開されています。

植物の持つ3つの効果・効用：「園芸福祉のすすめ」より

- ①生産的効用／栽培での達成感や自信、意欲をもたらす。
- ②経済的効用／自給や生産・販売での経済的利益をもたらす。
- ③環境的効用／地域の物理的な環境条件を快適にする。
- ④心理的・生理的効用／五感を通して心の充足が得られる。
- ⑤社会的効用／植物を通じた活動で人間関係が円滑になる。
- ⑥教育的効用／「育てる」ことで多面的効果を教えられる。
- ⑦身体的効用／疾病予防的側面と運動機能的側面がある。
- ⑧精神的（人間的）効用／働きがいや生きがいを生む。



「地域自治体・団体と連携しての活動も進んでいます。」

園芸福祉の実践活動を地域に根付かせていく動きは、自治体や団体と連携しての園芸福祉活動も進んでいます。

- 岐阜県：園芸福祉サポーター
 - 三重県名張市：園芸福祉指導員
 - 長野県駒ヶ根市：花と緑のサポーター
 - JA広島中央会：デイサービス事業
 - 日本橋ロータリークラブ：社会奉仕活動
- 官民・ロータリークラブの協働で（東京都中央区）



「日本園芸福祉普及協会が活動を支援しています。」

日本園芸福祉普及協会（理事長：進士五十八東京農業大学長）は2001年4月に設立、2002年4月にNPO法人化、園芸福祉活動の普及に向けて全国で多彩な活動を展開しています。

第4回園芸福祉全国大会（静岡県浜松市）



◆普及・啓発関連の活動

- ・園芸福祉全国大会の開催
- ・シンポジウム・フォローアップ研修会の開催

◆人材育成関連の活動

- ・初級園芸福祉士養成講座
- ・初級園芸福祉士資格認定制度

◆調査・研究関連の活動

- ・生活者動向調査・受託調査

◆広報関連の活動

- ・会報「園芸福祉NOW」など



全国38都道府県で1,200名以上が活動

地域の中で園芸福祉の実践活動を普及するための人材育成を目的とした初級園芸福祉養成講座は、全国各地で開催しており、これまでに1,500名以上が受講。資格登録をした「初級園芸福祉士」は、全国38都道府県で1,200名以上が活動を始めています。

初級園芸福祉士養成講座の実習風景（北海道美幌市）



2005.05.10

NPO 法人
園芸福祉 日本園芸福祉普及協会 事務局

〒104-0031 東京都中央区京橋2～5～18
京橋二丁目第一生命ビル4F スカラベ内
TEL 03-3562-8500 FAX 03-3562-8497
E-mail: kyokai@engeifukusi.com
URL: http://www.engeifukusi.com

〈地域事務局〉

園芸福祉の苔だまづくり

小さな自然「苔だま」は私たちを「元気」にしてくれる大きな力を与えてくれます。華やかな鉢花にはない素朴な美しさ、不思議な懐かしさがあり身近に感じる「こころを和ませ、自然に寄り添うような優しさ」にしてくれます。作る、飾る、育てる楽しさを園芸福祉の活動に活かしましょう。

「苔だま」とは おにぎり大の土玉に植物を植え込み水苔と化粧苔巻きで完成させるミニ観賞植物

材料 土玉用土(ケト土 55%・赤玉土小粒 30%・富士砂 10%・クンタン 5%)

植え込み植物・水苔・化粧苔・耐水性の糸・受け皿など

準備用具 クラフトハサミ・ピンセット・バケツ・エプロン・新聞紙

作品とゴミの持ち帰り用袋



環境園芸プランニングの小さな自然

自然苔マリ(苔だま)作り

「園芸福祉の苔だまづくり」とは

園芸福祉アドバイザー 前川 良文

簡単に誰もが奇麗に作れる

安心安全な配慮があること

植物を引立たせることより、人々が生き生き楽しくなる活動であること

手順説明と「園芸福祉の苔だまづくり」について

園芸福祉と趣味の園芸の違い

手順説明

植え込み植物の準備

- ① 土を落とし根を整える
- ② 水苔をほぐし吸水させ軽く絞り一つ分づつ準備する

水苔巻きの場合

- ③ 水苔の中心に細かくした竹炭を入れ小さな球形をつくる

苔球用土を使う場合

- ③ 苔を手のひらの上で2cmていどの厚さに広げ径5cm程度の球形をのせ根をまとめ包み込むように水苔で球状にまとめる
- ④ 植物の根で苔の球形を覆うように整え上から水苔で包み込む

化粧苔巻き

- ⑤ 球形の底の部分は巻かずに丸く整える
- ⑥ 糸は縦巻きで回しながら強く化粧苔を固定し最後は強く締めてとめる
- ⑦ 出来上がり確認をし完成

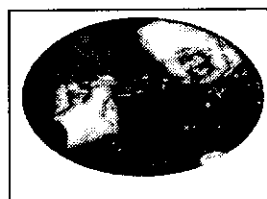
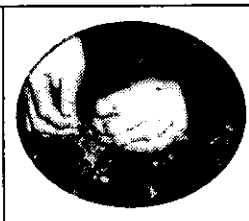
作品発表

苔球につけた名前やアピールした点を発表、紹介しながら良い点を評価する。

管理方法

受け皿(腐植し易い場合は直接置かない方がよい)に飾りつける
直射日光が必要か日陰を好むか性質を知り環境の条件を整える
水やりは乾き具合をみて霧吹きなどでやる。乾き過ぎはバケツに水を入れつけてやる場合もある

肥料は夏、冬は控え液肥 1000~2000 倍を月/2~3 回やる



水苔は強く巻く



化粧苔巻きで完成



参画型分科会 レクリエーション活動技術

開催期日：平成17年8月9日（火）

項目：参画型分科会 レクリエーション活動技術

場所：アストプラザ4階会議室1

時間：15:00～16:00

司会進行：三重県立みえ夢学園高等学校 野呂 朱美

記録：三重県立いなべ総合学園高等学校 岡村 真琴
三重県立いなべ総合学園高等学校 梅田 仁美

「福祉レクリエーションの理解と技術」

講師 社団法人 三重県レクリエーション協会

事務局長 鈴木寿子 先生

はじめに、5人の方々と「こんにちは」と言って握手をすることから始まりました。さらに、他の5人の方々と握手をして、互いに名前を名乗り、じゃんけんをして負けた方が勝った方を褒める、褒められた方は、「うれしいわ」と答える。つい笑みがこぼれる楽しい雰囲気の中、進んでいきました。

支援者として何を届けるのか？レクリエーション支援を通じて、笑顔、元気、陽気、きれい・・・等をめざしているのであって、うたを歌う、ゲームをするだけではなく「幸せ」を届ける仕事をするのがレクリエーション支援である。

さらに実技が続きました。

- 1, グー・パー、グー・パーと左右の指を交互に動かす動作を繰り返す
 - 2, グー・チョキ、グー・チョキと左右の指を交互に動かす動作を繰り返す
 - 3, チョキ・パー、チョキ・パーと左右の指を交互に動かす動作を繰り返す
 - 4, 片方の指はグーにしてのど元に、もう片方は、パーにして前に伸ばし、これを交互に動かす動作を繰り返す（注：前に出るのはパーにする）
 - ・ さらに交互に入れ替える時に、パチンと手をたたく動作を繰り返す。
- * 終わった所で「手があたたかくなったね」とどうしてこれをやっていたかを一言、説明を入れると良い。
- 5, 片方をパー、もう片方をグーにしてお皿とおまんじゅうにたとえ、横つながりで両隣の方に差し出す。かけ声と同時にパーとグーを入れ替える動作を繰り返す。
 - ・ 慣れたところで、2拍を入れてからグー、パーを入れ替える動作を繰り返す。
 - ・ これを、歌に合わせてやってみる。
 - ・ 3人で輪になって歌に合わせてやってみる
 - ・ さらに、グー・パーを規則正しく繰り返すのではなく、こんどは、気の向くまま、グー・パーを出してみる。やっていく内に3人とも上手にかみ合ったら、皆で手を上げ出来た～と喜びを分かち合う。
 - ・ かけ声を3文字の言葉に代えてみる。（え・が・お）（き・れ・い）（ス・テ・キ）など。
- * 出来ないと「なんて、鈍くさい！」などと思いがちであるが、そこで支援者が「たくさん遊べたね」と声かけをすることが大切。3人でやると、皆と合わせようという気持ちになり隣の人と共有する気持ちが出てくる。1人ではこのような気持ちは得られにくい。
- 6, 2人で向かい合わせになり、片方の手を出し合い重ねる。ハンカチをお団子状（もち）にまとめたものを重ねた手のひらに乗せ、もう片方の手をパーにして、お互い交互にもちをつく動作を繰り返し、ときおりどちらかが、そのもちを取り上げる。もちが手がないときはグーでもちをつく

動作をする。もちがまた手の上に戻ったらパーでつき、もちがないのにパーでついてしまったら負けとなる。この動作を繰り返す。

- * 共同作業であり、お互い、あなたと共に生きている事を共感できる。アレンジの可能性。
- 7、ふたりで背中合わせになり、かけ声と共に振り向いて「こんにちは」と言い合う。3回とも向きが合ったら終わりにする。
- * すべてが競争ではなく、2人で出来てよかったねという共感、2人で出来たことを喜んで受け止める事が大事である。

レクリエーションは、体にプラスのアプローチをしてくれ、さまざまな欲求を満たしてくれる。

- ・ 身体的欲求
- ・ 精神的欲求
- ・ 社会的欲求
- ・ 知的欲求

体の自由のきかない寝たきりの方や車イスの方々に対してはどうするのか？

たとえば、寝たきりの方が、おむつを替えていただいた時や、お風呂に入った時など気持ちがいいと感じることがある。活動だけではなく「気持ち」も含めてレクリエーションである。レクリエーションは特別なものではなくて、生活そのもの（生活のレクリエーション化・レクリエーションの生活化）である。介護支援の中にかかにハートをおこむか？ハートがかか利用者をこちよくするかである。

この学習で大切なのは、グループワーク・ケースワーク・コミュニケーションワークである。グループを介した支援では、4つの柱が重要になってくる。

- ・ 伝達技術（ゲームのルール化）
- ・ 展開演出する力
- ・ 楽しさの本質を理解すること
- ・ 人間交流（利用者と支援者）

ひとりひとりが大切にされているという言葉がかかとても大事である。

レクリエーションを盛り上がったというだけで終わらせないためにも個々の欲求に答えていくことも重要視しないとけいけい。レクリエーションをやらないという人に対しても、やらないという活動を保証しないとけいけい。出でこない人には、出ない自由を認めて、出ない自由を意識することが重要である。更に出でくるためには、何をしていくのかを考えないとけいけい。

レクリエーションのためのアセスメントを大切に、ホスピタリティを柱に、コミュニケーションスキルとホスピタリティマインドを中心にして、支援者とはいうものの、同じ人間としてやっでいくという事を大切に出来る支援者を育てていっでほしい。

参画型分科会 コミュニケーション技法

開催期日：平成17年8月9日（火）
項目：参画型分科会コミュニケーション
場所：ホテルグリーンパーク津（6階）伊勢の間
時間：15:00～17:00
司会進行：三重県立白山高等学校 松尾佳津代
記録：三重県立飯南高等学校 竹岡 美幸
三重県立飯南高等学校 大藪 昭子

「福祉コミュニケーションの理解と実技」

演習内容：参画授業への誘い ～頭と心と身体を使って学ぶこと～

講師：大阪教育大学教育学部教養学科 助教授 新崎 国広 先生

1 対人援助の専門性の三要素について

対人援助の専門性を木の葉と幹と根に例えて説明。葉は技術、幹は知識、根は理念・価値と表現され、技術だけでなく、根の部分がしっかり支えることで、最終的に大きな木として育つ。理念や価値をしっかり伝える技術を学んでほしい。

教員、地域、生徒などそれぞれの福祉観がある。①大切なことは丸暗記をさせない②知らないことは恥ずかしいことではないという理念を持ち、共同参画型（気づきとふりかえり）の授業を取り入れ、子どもたちに援助技術を伝えていくことが重要。

2 グループワークトレーニング

注) それぞれのワークを通して、受講生モードと教員側モードの2つの視点から解説をする。

◆ワーク1：『後だしジャンケン』アイスブレイク（波長合わせを学ぶ）

- ① ふつうにジャンケンをする…個別化を伝える
- ② 後だしジャンケン（5勝、5敗をそれぞれ）をする…少数に意見を聞く
 - ・ 5連敗をすることは意外と難しい。
 - ・ 勝つことがジャンケンだと思っていたり、相手の事を考え理解することは少し時間がかかる。

●福祉の心＝思いやりの心

「思いやりの心」は実際にどこにあるのか…

どこにあるのかを「いちにのさん！」で指してみる。

（例）頭、心、足、ふれあい、その人がいるから生まれる e t c

↓ ↓

『みんな違ってみんないい』

●生徒に教師側のエピソードを伝える

◆ワーク2：『～さんが言いましたゲーム』対人援助に必要な不可欠な3つの学び

『～さんが言いました。〇〇してください』と言った時だけ、その行動をとる。

（例）「でめきんさんが言いました。両手を挙げてください」

- ① 笑顔の大切さ（ホスピタリティ）
- ② 失敗を恐れない（許される失敗と許されない失敗を伝える）
- ③ ネットワーク（手をつなぐことを大切さ）

●許されない失敗

- ① 上から下に見下げ関わりをしない
- ② できもしない約束はしない
- ③ 失敗を隠さない
- ④ 守秘義務

● ソーシャルインクルージョン（社会的包括）の考え方の重要性

◆ワーク3：『何でもチェーン』

言葉を使わずに、ジェスチャーで1つの円をつくる

- ① 朝起きチェーン…起床した時間が早い人から順番に大きな円を作る
- ② バースディチェーン…誕生日順に大きな円を作る

◆ワーク4：『イメージの伝言ゲーム』

- ① 10チームに別れ、列を作る。
 - ② 先頭のリーダーにある言葉を伝える。
 - ③ その言葉を聞き、イメージしたものを次の人に伝える（小さい声で）
 - ④ 次の人は、またその言葉から連想するものを次に伝えということを最後の人まで行う。
 - ⑤ 最後は、最初のキーワードを知り、連想したものを発表する。
- (例) 『あたたかいもの』→布団→寝る→夜→星→きれい→景色→観光 e t c

◆ワーク5：『話上手より聞き上手』受容的雰囲気、傾聴の重要性を伝える

- ① 5人一組で円になり座る。
- ② 「自分が一番楽しかったこと」について話す（各自1分間）。
 - * 1回目：聞いている人は、相づちや言葉は一言も発せず、ただ黙って座る
 - * 2回目：聞いている人は、相づちを打ったり、言葉を発することができる
- ③ 1回目と2回目を比較し、それぞれ感じた印象の感想を聞く。

～体験者の感想～

1回目（一方通行のコミュニケーション）	2回目（双方向のコミュニケーション）
時間が長く感じた 無反応はつらい 留守電に話しているようだった 視線を合わせないので苦痛 聞いているかどうか不安 内容をあまり覚えていない それぞれが関連性のない話をした <div style="text-align: center;">聞く</div>	あっという間に終わった気がする とても話しやすかった 会話がはずんでいった 視線を合わせ反応が見られたので楽しかった 聞いてくれているという安心感があった 話してくれた内容を覚えている 前の人の話に関連させて会話を楽しめた <div style="text-align: center;">聴く</div>

● 双方向のコミュニケーションの重要性

時間はかかるが、確認をしながら行うことで信頼関係が生まれる

自分が受け入れられていると感じる雰囲気の中で、コミュニケーションが深まって行く事を体験的に理解させ、受容的雰囲気の重要性を実感することの大切さ。

たくさんの笑い声の響く会場で、新崎先生と参加者全員が充実した時間を過ごし、実践的なグループワークを体感できた貴重な分科会でした。

参画型分科会 介護技術（講義）

開催期日：平成17年8月9日（火）

項目：参画型分科会 介護技術（講義）

場所：三重県立みえ夢学園高等学校 国際経済総合実習室

時間：前半グループ 15:00～16:00

後半グループ 16:00～17:00

（1時間ずつ2交代で行いました）

司会進行：三重県立亀山高等学校

教諭 小河 由佳里

記録：三重県立尾鷲高等学校

教諭 茶木 正幸

三重県立昴学園高等学校

教諭 宮本 千賀

テーマ「施設実習に備えた学内指導のあり方および心構え、留意点」

講師 学校法人大橋学園ユマニテク福祉専門学校

大崎 淳子 先生

1、介護技術講習会について

平成17年度の介護福祉士国家試験から、介護技術講習会の実施がスタートした。ユマニテク福祉専門学校もその会場となるため、4月から申し込み受付を始めたが、1時間半申し込みの電話が鳴り止まない状態が続いた。そして、結局40名の講座を7回開くこととなった。受講料は三重県内統一で6万2千円である。

講習会の内容は、8時間×4日の計32時間。単に4日間出席すればよいといったものではなく、修了認定基準に達した者しか介護技術講習会の修了を認定してもらえない。

その基準は、

- ① 「総合評価」を受けるまでの28.5時間の講義・演習の全てを受講している。
（どんな理由でも遅刻・欠席は認められない）
- ② 「総合評価」が5点以上である。
指導者が演習課題例から1例選定し、評価項目に従って受講者一人ひとりについて、課題を的確に行えているかどうかを、8つの評価項目に従って、1項目当たりの点数を1点とし、総合評価の総点数を8点として採点。
- ③ 「受講態度など」が1点以上である。
4日間の講義・演習中の態度を良は2点、可は1点、不可は0点と採点。

介護技術講習会を実施するにいたった流れは、「わずか5分間の実技試験でその人を評価できるのだろうか？」という問題点があったことが影響している。実際、私が訪問介護員として勤務していたときに実技試験を受験し、恐ろしく緊張したことを今でも忘れられない。（試験終了後、家まで電車でどのように帰ったか覚えていないくらい…）そして、5分間では実力を発揮できない、じっくり見てもらいたいという気持ちを持った受験生は多い。また、「介護の質を向上すべき」という考えが大きくなってきたことも、講習会を実施するにいたったことに影響している。実際現場で勤務して受験している人は、技術の基礎が出来ていないことも多い。従って、4日間の講習を受けることによって、適切な技術を習得し、質の向上に繋がる。

介護福祉士の資格を有して福祉施設で働いている人は、全体の10%と低い数値であり、この数値を向上させるためにも、介護技術講習会は必要であると思う。

2、施設実習に備えた学内指導について

ユマニテク福祉専門学校に勤務するまで、私は三重県名張市にある社会福祉協議会で主任訪問介護員として勤務しており、今とは逆で実習生を受け入れる側であった。介護保険が始まって以来、最小限のスタッフで運営しているため、実習生を受け入れるのが厳しいというのが本音あり、実習生が来るたびに疲れていた。忙しい毎日の中で、実習を受け入れるということは非常に大変なことである。

そして、今専門学校の実習指導教員として、現場へ学生を送り出す側になり、実習先から「学生さんは、あいさつが出来ない」という注意を受けた。巡回に行くと、利用者を前にして、壁にあいさつをしているような姿の学生を発見した。つまり、コミュニケーションのボールの投げ方が正しくできていないのであった。また、失語症の方に何度も何度も「昨日はよく眠れましたか？」と問いかけている生徒もいた。そこで、学校で実施した演習を会場で行う。

会場の3人にあいさつをしよう！

1回目 … 声だけであいさつする（頭も下げない）

※ 全員着席後、誰にあいさつをしたか思い出し、指を指す

2回目 … 笑顔でアイコンタクトを送り、握手をしながらあいさつする

※ 同じ

3回目 … 1、2回目に加えて、あいさつをしてから、何かひとつ相手を誉める

※ 同じ

目が合った人、手を挙げてください（アイコンタクトを送り、それを受ける練習）

人と人との関わりにおいて、「あいさつ」は欠かすことができないものである。しかもマニュアル通りではなく、目と目を合わせて、その方の身体状態を知ってから、介護に関わっていくことが大切である。そのことを学生一人ひとりが気付いて実行する必要がある。また、誉められることによって、お互いに安心感が生まれるので、コミュニケーションにおいて誉めるということは大事なことだ。そのために、相手を観察する力が必要となるので、それを磨いていきたい。

言葉というプレゼントを差し上げることが、コミュニケーションである。だから、投げっぱなしではなくて、投げて返ってくるその方の表情を見て、投げた言葉がその方のどこにどのように届いたかというところを、見極めるようにすることが大切である。

また、両手を広げた範囲は、自分のパーソナルスペースである。誰でも入れるスペースではなく、日常生活の中で、このスペースに入ることができる相手は限られている。しかし、例えばトランスファーをするためには、このスペースに利用者の身体を持ってこないと利用者は不安定な状態になる。まさに私たちの作業域は、信頼関係がないと入れないスペースにあるのだ。だからこそ、コミュニケーションは、ただ言葉を交わすのではなく、利用者を一人のかけがえのない人間として見極めながら信頼関係を構築し、関わっていくことが大切なのである。

そして、学生の多くは話が続かないことに悩む。そのために、コミュニケーションの話題作りの引き出しを大きくしておくことが大切である。そこで、ひとつ引き出しとなるポイントを紹介する。

「たちつと なかにはいれ」

た … 食べ物

ち … 知識 (例、便秘に効くものは〇〇)

つ … 通勤 (ここに来るまでに起きたこと)

て … 天気

と … 友達

な … 名前

か … 家族

に … ニュース

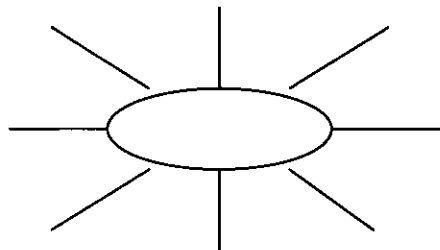
は … 流行りのもの

い … 異性

れ … レジャー、趣味

もう1つの問題点は、最低限の常識が身につけていないことである。雑巾を絞れない、包丁を使えない (乱切りすると言ったら、野菜を投げて包丁を振り乱し切った実習生がいた)、米を洗うときに洗剤を入れる…など、知っていて当たり前のことを知らないまま大きくなってきている学生が多い。在宅介護に関わってく場合には、特に注意をしなければならない。今、私たちに出来ることは、教師として信念を持って学生たちに話をしていくことである。また、実習に行くにあたって、どんなことに気をつける必要があるか、自分で考えさせることも大事である。

身だしなみで気をつけることは?という質問のもと、ワークシートに書き込む。



例、円の中に「身だしなみを整える」と記入

線の先に、その為に具体的にどうすれば良いかを記入し、出来ていたら〇をつける
(髪を束ねる、爪を短く切る、清潔な服を着る など)

その他、円の中に「利用者と信頼関係を結ぶには?」と記入し、自分の問題点を自分で見つけて、自分で解決策を考える。そうすると、「させられる」ではなく、「自分で」という意識を持って、実習に望むことができる。

3、実習の効果

たった一言の「ありがとう」から、エネルギーをもらうことがあるように、体感して学んでいくことが介護のよいところだと思う。実習に行くことによって、「人とは?」「人生とは?」ということを考える機会を得ることができ、「当たり前で生きるということがこんなにも貴重なのだ」ということを利用者から学ぶことができる。そして、自分を必要としてくれている人に出会い、その気持ちがこれからの福祉の学習へのモチベーションを上げてくれるのだ。従って、実習現場は重要な教材である。この教材を有効に使うためには、教師もボランティアなどに行き、現場の様子を知るとよい。

「福祉=幸せ」であり、介護を行うことによって、人を幸せにさせていただく専門職が介護福祉士であり、そんな人をひとりでも多く育てていきましょう。

参画型分科会 園芸福祉

開催期日：平成17年8月9日（火）

項目：参画型分科会 園芸福祉

場所：アストプラザ5階 橋北公民館実習室

時間：15:00～17:00

司会進行：三重県立朝明高等学校 伊藤 稲子

記録：三重県立紀南高等学校 寺前 淑湖

三重県立紀南高等学校 曾野 亜希子

園芸福祉の理解と苔玉作り

講演「始めよう園芸福祉」 広島国際大学大学院 教授 吉永 元孝 先生

実習「観葉植物の苔玉作り」 三重県園芸福祉研究会 会長 前川 良文 先生

園芸福祉の分科会では、最初に吉永元孝先生による講演がありました。

自己紹介の後、園芸福祉とは何か、漢字の成り立ち、意味から丁寧に説明していただきました。園芸療法が治療に取り入れられているのに対して、園芸福祉は社会的に生産や趣味として教育やボランティア、地域の緑化など広く取り入れられており、多くの施設や病院で農園芸活動が行われています。

市民活動とソーシャル・キャピタル（地域の絆資本）のお話の中では、ボランティア活動をはじめとする市民活動を行うことによって絆（ネットワーク）ができ、これがWell-being（暮らしやすい豊かな社会の実現）につながっていく、ということでした。この市民活動で園芸福祉を取り入れることができるのです。かつてアメリカでコミュニティが崩壊してしまって犯罪などが多発した時期にソーシャル・キャピタルが見直されました。

ボランティアの活発な地域では、人々が地域で活動するので人の目が増え、子どもたちに挨拶をしたり、声をかけたりすることから少年の非行が減り、犯罪発生率が下がるという結果も出ています。また、障害者雇用や高齢者雇用により自分たちが生活している地域で小さなビジネスができ、失業率も下がるのです。また、見えざる資本（ボランティア活動や地域活動をすることによって出来るネットワーク）が蓄積されている地域では、地域で子育てを支援してもらえるので出生率が上がるという結果も出ています。

園芸福祉活動の考え方として、植物と接することにより、仲間ができ、植物と楽しく過ごす時間がもたらされます。この時にコーディネーターとして園芸福祉士が活躍することになります。

園芸福祉活動の継続的な展開につなげるために、基本3要素として、A活動する背景や理由、B活動目標やテーマ、C仲間、組織、体制が必要となってきます。これだけでなく、誰もが参加でき、集まって一緒に過ごし、地域も人も元気になる、楽しむ仕組みがある、ということも大切なことです。

脳神経内科の医師であった吉永先生は、筋ジストロフィーやパーキンソン病、ALSなどの治らない病気の患者さんと関わるなかで、漢方薬について勉強し、園芸療法と出会います。園芸療法を詳しく学びたい、と考えアメリカへ行き、様々な場所で園芸療法が取り入れられていることを知りました。アメリカの事例として、退役軍人のための施設、障害者の方が楽しむ園芸、刑務所やアルコール、薬物中毒者リハビリテーションセンター等で実施されていることを映像と共に紹介していただきました。この中で、障害を持つ人も作業する高さ、改良農具などにより園芸を楽しむことができ、意欲がでること、植物と関わることは、見る、さわる、匂う、食べるなどの五感を使い、刺激を受けることを話されました。また、園芸福祉は、心の病気に効果が大きく、リラックスできたり、命を育てることが情操教育につながります。誰かにあげるために育てるこ

とが、人の役に立つことになり、意欲を持つこともできます。鉢植えを販売している施設では、子どもたちが鉢植えの売れゆきが気になって病室から出ることで、身体機能のリハビリになっています。

「今までやってきて、新しいものは何もないと思いました。目の前にあったものに気がつかないだけで。今までの関係を変えることで、形をかえるのです。」と最後に話されました。

苔玉作りもどのように行うか、で同じプログラムでも人によって意味が違ってきます。自分が楽しむ、誰かにあげる、技術を誰かに伝える、それぞれの思いを持って作ってください、と言われていました。

約1時間の講演の後、前川良文先生による、苔玉作りの実習がありました。実習では園芸福祉士である田村先生、富井先生も講師として指導してくださいました。実習の材料である、皿はあけぼの学園高等学校の生徒が、持ち帰り用のペットボトルは明野高等学校の生徒が用意してくれたものでした。

まず、園芸福祉的苔玉作りでは、技術的な形、色使い、アレンジがうまくできるかではなく、自分が思うように作って、人が主役で楽しまなくてはならない、と説明がありました。また、苔玉作りの時の約束として、静かにやらない。賑やかに、自分のものを自慢しながらすることと、苔玉に名前を付け、どこに飾るか、誰にあげるか、どういう意味で作るか考えながら作るように言われました。

作り方を田辺先生から説明していただき、苔玉作りが始まると、笑い声も出て和やかな雰囲気の中で実習が進められました。今回は苔玉を巻くために透明の釣り糸が使われましたが、障害者の方、高齢者の方のリハビリなどでは色つきの紐を使ったり、握力を鍛える効果もあるそうです。

作品が出来上がってから、発表会が行われました。発表会では作品の紹介と先生からの講評があります。講評では、悪いところを指摘しない、褒めることが大切です。他の人の作品、自分の作品を見て喜ぶことから、交流が生まれ、他の人のことを理解することへつながっていきます。

時間の都合上、全員が発表することはできませんでしたが、自分のニックネームを苔玉の名前にしたり、だんな様の退職祝いであったり、苔玉にはそれぞれの思いが込められているようでした。

園芸福祉では、今日はちょっと楽しかった、という思いを持ってもらうことが大切で、作ることで昔を思い出したり、大切な人のことを思ったりすることもできます。また、誰でも簡単に関わることができ、命にふれることで優しさを育てることもできます。世話をすることを手伝ってもらったり、一緒にすることで交流が生まれます。

ただ、植物も安全なものばかりではなく、やってもらうためには知識が必要であることを最後に言われていました。

参加した人、全員が「今日はちょっと楽しかった。」という気持ちを持って、分科会を終えることができました。

東北・北海道ブロック会議事録

開催期日：平成17年8月10日（水）
項目：ブロック別会議（東北・北海道地区）
場所：アストプラザ4階会議室
時間：9：00～10：00
司会進行：置戸高等学校 前田 信治
記録：光南高等学校 大久保義行

議題等：ブロック別会議

会長挨拶：北海道・東北地区の福祉担当教員が顔を合わせるのは年に一度であるので有効な会にしたい。情報交換をもとに各校の教育活動に生かせたら幸いである。

自己紹介：函館大妻高等学校 野村久子 田中芳博
置戸高等学校 前田信治
釧路星園高等学校 山田英二
東奥学園高等学校 高橋福太郎 小川義光 工藤貴子 阿保貴史 永田幸治
七戸高等学校 小野淳美
合川高等学校 工藤元博 穴倉博明
六郷高等学校 吉沢直子 越後谷育子
一戸高等学校 日山敏子 阿部洋子
一関第二高等学校 小田島留美子
西和賀高等学校 笠水上訓正
久慈東高等学校 高橋徹秀 浅川義人
岩手女子高等学校 石川一代 五十嵐正
村田高等学校 酒井原美樹
山辺高等学校 影山敦司
光南高等学校 市川淳一 大久保義行

協 議

①平成18年度青森大会についての概要報告

期日：平成18年8月9日（水）10日（木）11日（金）

場所：東奥学園高等学校、ぱるるプラザ、ねぶたの里

内容：学科主任会代表者会議、基調報告、記念講演、ブロック会議
介護技術研修等

なお、閉会行事の中でビデオを使って青森市とねぶたの紹介をする。

②北海道・東北ブロック合同研修会についての概要説明

期日：平成17年9月17日（土）

場所：函館大妻高等学校

北海道の研修会について

- ・北海道内3校で持ち回りで開催している。本年度は、函館開催ということで東北と合同開催にした。
- ・北海道では、主に全国大会の基調報告を中心として開催しているが、今後東北との合同開催を検討していきたい。
- ・合同での開催は、各地区での実践について情報交換にができ有意義であるが、

担当教員がそう多いというわけではないので負担が大きくなる。2年に1度程度の開催を検討していきたい。

- ・ 研修会や全国大会への参加は、昨今の財政状況から出席できにくい。さらには、県単位の研修会がなかったり、県の本会の主管校がどこか決まっていない。
- ・ 北海道は、3校持ち回りで開催しているが3校の距離があり困難を感じる。函館開催は、距離的にも東北が参加できる距離なので函館開催を合同研修会にすることも考えられる。
- ・ 地区別の研修会は、昨年度青森で開催した。18年度は、全国大会が青森で開催されるため合同になるが19年度開催については各校の校長と相談し検討したい。

③さんフェアについての依頼

- ・ 各地において、積極的な参加について検討してほしい。
- ・ 複数の参加校の申込みがあった場合は、事務局と文部科学省の矢幅先生と協議し決定する。

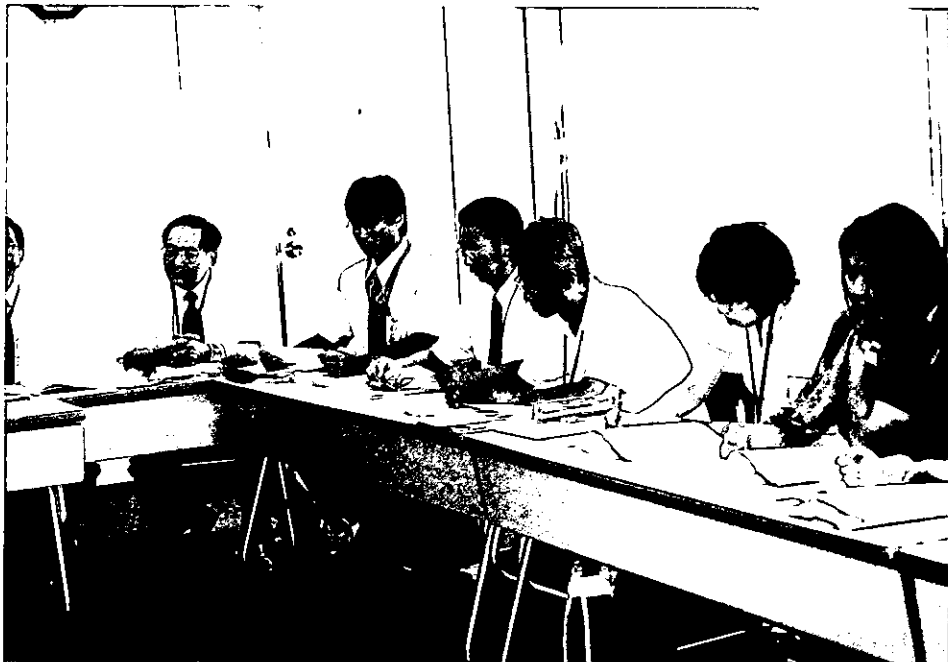
④研修会アンケートについての依頼

- ・ 18年1月7日8日に開催される第7回福祉教育講座における、高校教員による福祉の模擬授業の担当者を募集している。自薦他薦でもいいので、授業担当者について協力をお願いしたい。

諸連絡

①学科主任等代表者組織における各部の報告

- ・ 研修部～これまで福祉科校長会が担当していた、新産業技術、情報教育に関する指導者の養成を目的とした研修を研修部に引き継がれた。
- ・ 調査統計部～介護福祉士国家試験と介護技術講習会の調査を行う。
- ・ 広報部～全国大会の報告の在り方について検討する。



関東ブロック会議事録

開催期日：平成17年8月10日（水）

項目：ブロック別会議（関東地区）

場所：アストプラザ（4F）会議室1

時間：9：00～10：00

司会進行：東京 野津田高等学校 小山 哲広

記録：茨城 古河第二高等学校 嶋田 拓巨

議題等

司会：主な議題は3つであり、その後はフリートークの形で進行していく予定。主な議題とは、

1点目 全国産業教育フェアの今年及び来年について

2点目 2006年に開催される福祉教育研修講座について

3点目 関東ブロックの情報伝達ルートの確立について である。

1点目について

千葉 松戸矢切高等学校 鈴木 恭太

まず全国産業教育フェアのポスターが約20部ですが用意しました。各学校に配付するので、会議終了後に持ち帰って頂きたい。

今年度の全国産業教育フェアについて、作品展示については出展校（松戸矢切 他2校）が決定している。問題としては、体験発表と作品研究発表の参加校が決定していない。申し込み期間は過ぎているが、遅くとも今月中までに決定し、統括している高等学校に連絡しなければならない。各1校ずつ選ばなければならないので、各ブロックから参加校を募りたい。

司会 自薦・他薦を問わず、参加希望があれば申し出てほしい。

千葉 松戸矢切高等学校 鈴木 恭太

この場ですぐというのは難しいと思うので、学校に戻って検討し、その後以下まで連絡頂きたい。連絡先 松戸矢切高等学校 047-368-4741 鈴木恭太

繰り返しになりますが、会議終了後ポスターを持ち帰ってください。

2点目について

神奈川 川崎高等学校 岡 多枝子

2006年1月7（土）・8（日）に福祉教育研修講座が実施される。テーマは「社会福祉教育における高大連携の展開」ということで、全国校長会も協力し、福祉教育には高大連携が必要ということで設けられている。そして研修内容の1つ「模擬授業」の実施者候補を会場が日本女子大学目白キャンパスということもあり、関東ブロックから選出したい。

実施する模擬授業の科目は「社会福祉基礎」「社会福祉制度」「社会福祉援助技術」「基礎介護・社会福祉実習」の4本と考えている。

青色のアンケート用紙が、大会資料と一緒に入っているので、自薦・他薦を問わず、授業を実施してみたい、またこの学校のこの先生の授業を見てみたいという希望があれば、必要事項を記入し提出してください。また何かあれば連絡して下さい。

044-244-4781 川崎高等学校 岡 多枝子

司会 授業の時間は50分と考えてよろしいのか？ また模擬授業実施者は研修講座への参加費を支払う必要性はあるのか？など教えて下さい。

神奈川 川崎高等学校 岡 多枝子

授業時間は通常の50分で、高校の教員が授業を行う。大学の教員と高校の教員は、会場で

前日や当日に事前に打ち合わせを行うことになると考えられる。その理由は、授業を行う高校教員が東京、大学の先生が九州地区から選出された場合、あらかじめの打ち合わせは難しいと考えられるためである。また授業者は参加費を支払う必要はない。

若く、新しい先生に模擬授業を行ってもらうことで、授業のつまづき等を発見し、解決していく場として考えている。そのため、どちらかというベテランの先生よりも若くて新しい先生に授業をやってもらいたい。

この場で「誰」と決定していくことは難しいので、アンケートへの記入をお願いします。

3点目について

司会 関東ブロックはブロック会が確立していないため、情報伝達手段がない。そのため、内容伝達を複数回行わなければならない。一回で情報伝達が行えるように確立すべきだが、どのような形態で情報伝達ルートを確立するべきか。

千葉 松戸矢切高等学校 鈴木 恭太

メールはどうか。特に各学校の主任の先生のアドレスが掌握できればよいのではないだろうか。

司会 東京の場合は個人アドレスでのやり取りとなるため現実的ではない。メールを活用する場合には公的、つまり学校のアドレスでなくてよいのか。また、セキュリティが弱い場合には、情報が外部に漏れる危険性もあると考えられる。何かいい案がありましたらご連絡頂ければと思います。

一応、個人ではありますがアドレスを紹介しておきます。

tetsu@tetsu-hiro.com

千葉 松戸矢切高等学校 鈴木 恭太

文部科学省や福祉部会からのアンケートが来るが、FAXのため印刷が薄かったりして読めない状態で送られてくることもある。

将来的にはメールで行えるようになれば、アンケートの場合には自動集計もできるのでよいと思うし、今後はそうなるようになっていければ良いと思う。

各県では情報伝達ルートを確立されているか確認したい。

茨城 なし

栃木 福祉部会が高教研に立ち上がり、福祉関係資格を取れる学校は3校だが56校加入している。福祉教育、ボランティアに携わる学校が参加している。

会員約180名程度で年2回交流の機会を設けている。今後は他県にも門戸を開放していきたい。

群馬 年2回の情報交歓会を実施している。

埼玉 研修会が立ち上がり、年2回埼玉県立大学の先生を招いてグループワーク研修を行ったことがある。20名程度ずつ参加した。

千葉 研修会はあるが正式な部会はない。加盟校は12～13校。

神奈川 福祉部会がある。年3回総会と分科会を実施している。総会はヘルパー研修の動向について、分科会は国家試験受験資格取得可能校とコース制高校で実施

その他年2回の研修会

東京 ない。福祉科を設置している学校が1校もない。介護福祉士国家試験受験資格を取得できる学校は現在3校。来年は4校になる予定。

福祉に関する教育は相当の数の学校が実施している。

北信越ブロック会議事録

開催期日：平成17年8月10日（水）

項目：ブロック会議(北信越地区)

場所：アストプラザ(4階)和室

時間：9:00～10:00

司会進行：山梨県立富士北稜高等学校 外川 真美

記 録：啓 新 高 等 学 校 水元 敏博

出席者	山梨	富士北稜高等学校	外川真美先生	鈴木桂一先生
		北杜高等学校	丸茂宣子先生	
	石川	田鶴浜高等学校	小坂井謙六先生	
	富山	有磯高等学校	中田恵子先生	
		新川みどり野高等学校	稲場恵子先生	
		となみ野高等学校	嶋本隆一先生	
		南総合井波高等学校	中嶋協子先生	
	新潟	八海高等学校	藤田さやか先生	
		新井高等学校	桃井隆栄先生	
	福井	丹南高等学校	小堀雅夫先生	
		啓新高等学校	荻原昭人先生	水元敏博

内容

- 1 自己紹介
- 2 産業体験フェア説明及び参加校募集依頼
- 3 福祉研究講座説明及び依頼
- 4 平成19年度大会開催の説明質疑応答
- 5 北信越ブロック大会開催（平成19年度大会を契機として開催検討）



東海ブロック会議事録

開催期日：平成17年8月10日（水）

項目：ブロック会議(東海地区)

場所：アストプラザ(4階)アストホール

時間：9:00～10:00

司会進行：岐阜県立坂下高等学校 安江 実恵子

記 録：愛知県立古知野高等学校 坂井 美恵子

議題等：全国産業教育フェアの在り方について・情報交換

1 協議事項

第15回全国産業教育フェア東京大会(さんフェア東京2005)の進捗状況について

(1)説明

- ・日 時 平成17年11月26日(土)・27日(日)午前10時～午後4時
- ・会 場 日本科学未来館

(2)作品・研究発表についての協議

現時点では、参加申し込みのない状況下である。検討するなかで、各県の「産業教育フェア」の実情を紹介し検討した。

- ・愛知県・・・実施していない
- ・岐阜県・・・発表内容としては、作品展示を中心として費用は発表校負担である
- ・三重県・・・発表内容としては、体験学習的な内容が中心である
- ・静岡県・・・実施していない

(3)協議内容

- ・15回東京大会に向けての参加は、ブロックとしては難しい。
- ・16回埼玉大会に向けては、予算的に削減化傾向にあるだけに、前年度の事務局より呼びかけは、出来る限り早期にするとよい。
- ・意見・体験発表及び作品・研究発表については、全国から募り、作品展示については準備、費用の点などからも近県が望ましいと思われる。
- ・継続できる発表会にするためにも、理事会において検討し、原案を提示してほしい。また、参加条件としては、発表内容、経費、輪番性(発表)、次年度の計画時期の4点があげられるが、理事会にて原案を提示していただく。

2 報告事項

第7回福祉教育研修講座の紹介及び参加の要請について

(1)説明

- ・日 時 平成18年1月7日(土)・8日(日)
- ・会 場 日本女子大学目白キャンパス
- ・テーマ 「社会福祉教育における高大連携の展開」

(2)加盟校への呼びかけ

- ・社会福祉関連の研修として幅広く計画されているので、福祉担当者のスキルアップを目指すためにも、積極的に参加し資質を高める努力が大切である。
- ・会場が遠隔地で参加が難しい面があるが、情報交換の場としても有効であるので可能な限り参加できるような体制づくりが必要である。

3 今後の課題

- ・ブロック会議を組織化して、地域の在り方も含め情報交換できる場があるとよい。

また、横のネットワークが希薄しているだけに前向きに考えていきたい。

4 事務局への要望

・社会福祉関連の研修の紹介は、事前に出来る限り早期に連絡していただきたい。



近畿ブロック会議事録

開催期日：平成17年8月10日（水）

項目：ブロック別会議（近畿地区）

場所：アストプラザ（5階）研修室B

時間：9：00～10：00

司会進行：京都府 福知山淑徳高等学校 教諭 松井 儀幸

記録：奈良県 榛原・榛生昇陽高等学校 教諭 匠原記世子

校長会等報告・介護技術講習会についての情報交換

1. 挨拶 福知山淑徳高等学校 山口 亨校長
2. 自己紹介
3. 理事会、校長会総会の報告（山口校長より）

福祉に関する学科を持つ学校について、介護福祉士の受験資格を取れる学校、訪問介護員の養成の課程を持っている学校、それ以外の福祉に関する教科を持っている学校、矢幅先生の資料によると3つ合わせて1011校ある。そのうち訪問介護員の養成課程を持つ学校が一番多く、いずれも増加傾向にある。ところが、訪問介護員については養成を数年後廃止していく、バージョンアップのための基礎研修が来年あたりから始まるのではないかといわれる。将来は、福祉施設の職員は、介護福祉士一本にしていくようである。移行期間があるが、現在訪問介護員の養成課程を持っている学校は考えていかなければならないのではないかと。これは、大きな課題である。介護福祉士の国家試験の受験を可能にしている学校でも、高校卒の18歳では、資格が取れても仕事をするには若すぎるのではないかという話がある。私はいろいろな年齢、学歴もいろいろ集まってひとつの施設を構成していくものだと思っている。今後、資質を問われていくと思われる。国家試験の合格率は、高校生が高いので、存続をさせていけるだけのものがあるわけだが、いつ高校生は受けさせないと言われることがあるかもしれないので、校長会としてデータを収集しようと考えている。卒業生の追跡調査をして、就職してからこうして働いている、何年間続いて働いているなどのデータをしっかりと収集して、それを中央に出して成果を認めてもらう。そして、受験を今後も可能にしていくように働きかけていく。

日本女子大学での、福祉教育研修講座にも是非参加をお願いする。

今年は、特に訪問介護員の養成研修を行っている学校には、たいへん大きな課題がある。

（司会より）訪問介護員の制度について8月中旬に答えを出すと、5月の全国の理事会で聞いてきたと伝えたが、遅れている。9月の中旬には出せるよう努力するとのことである。出たら各校に届くと思う。

（質問）介護福祉士の卒業後の追跡調査は、今年度中など計画があるのか。あれば、積極的に取り組んでいきたい。

（山口校長）期限を定めていない。全国でやるのか、場合によってはブロックでと、具体的に決まれば報告をしたい。福祉科の生徒たちは、他校との交流がない。家庭クラブのような全国大会での交流なども必要である。

（意見）4月からこの福祉の会合に参加し、勉強中である。学校というところは実際に1、2年先に、事が動くという時になって気づくことが多いと思う。ホームヘルパーの問題もそのようになっていないかと思う。その先の介護福祉士の問題も、危惧されることがあるならば、

早くから調査し、データを文科省や厚労省に示す、あるいはさまざまな学会にも協力をお願いする必要があるのではないか。

4. 学科主任等代表者会議の報告（松井 儀幸先生）

・各部活動報告

研修部・・・社会福祉実習の教科書、ノートを活用状況アンケートで見直し中。

調査統計部・・・秋に、進路追跡調査 国家試験一次合格者の状況をまとめる。

広報部・・・今回の全国大会の報告をする。各ブロックに広報できるニュースを編集していく。ホームページがよいか、FAXがよいか。本年度は、手元にFAXで届くようにする。

・17年度加盟校 224校

・本年度全国産業教育フェア東京大会について

作品展示の部は、千葉県立松戸矢切高校、埼玉県立不動岡誠和高校、栃木県立田沼高校。

意見・体験発表の部、作品研究発表の部の参加校の依頼があった。近畿ブロックとしては長浜高校にお願いをした。宮崎県立日南農林高校と2校。内容によって、長浜高校は作品研究としての発表になるかもしれない。まだ、出そろっていないので、8月いっぱい参加校を募る。

来年度埼玉大会にも、3部に参加できるように準備、活動をお願いしたい。

（長浜高校より）施設実習でケアプランを立てさせていただいた。その経過や、子どもたちの悪戦苦闘した様子を研究として見ていただけたらと思う。

・第7回福祉教育研修講座について

福祉科高等学校長会に研修委員会があるが、主には社会福祉教育学校連盟との連携を取りながら福祉教育の充実を図る取り組みをしている。福祉教育研修講座はその活動のひとつである。その講座の二日目の高等学校教員による模擬授業をしてくださる先生を推薦して欲しい。

・広報に対して、情報の要望等あれば、福知山淑徳高校へ連絡をして欲しい。

5. 情報交換

介護技術講習会の参加状況と結果について

日高・・・・・・受けていないため、受けた学校の様子を知りたい。

天理第2部・・・・全員受けていない。定時制、経済的などの理由による。

榛原・榛生昇陽・・・半数が希望し、希望者全員が受けている。結果待ち。

綾羽・・・・・・32名中5名が希望したが、4名は受講できず、1名修了証。

長浜・・・・・・受けていない。基礎知識がない、受かった後授業に身がはいらないのではなどの理由。

久美浜・・・・・・自由に選択。希望者は全員受講。

福知山淑徳・・・・希望者6名。1名だけ受講できた。1名、四国で受講する者がいる。

六甲アイランド・・・8月末に、1名受講予定。本年度の1学年からは、介護福祉士を受験できないカリキュラム。

日ノ本学園・・・・希望者なし。

新宮・・・・・・保護者に情報提供をして、半数強が希望。すでに講習が終わった生徒は修了証。

淀之水・・・・・・各自で申込み、半数が受講。梅田、難波は断られることが多い。来年から

は、積立をして、全員受講させる予定。

淀商業・・・・・・・・希望者。専門学校にお願いして受講。

有田中央・・・・・・・・昨年10月に説明会をし、受けるように勧める。全員が10月に受講。

一般は、一割程度が不合格であったようで、心配している。

(質問) 介護技術講習会について、学校での指導も十分できていない状態で受けさせるのはどうか。2年時に実技が終わるカリキュラムならよいが、今後どのようにしていくか、各校の考えを聞きたい。

(司会) 新産業技術等指導者養成研修の「介護技術に関する講義と実習」での様子から、生徒の技術的な面もわかるのではないかと思われる。榛原・榛生昇陽高校の松本先生に伺いたい。

(松本先生) 事務局としての参加だったが、実技講習会のテキストを書かれた井上千津子先生の講義を中心に受けていた。内容の中で一番難しいのは介護計画の立て方で、技術的なことは「絵でみる介護」などで見る内容だった。新しい言葉として「ことばかけ」「有する能力」、最初と最後におさえなければならないことは共通している、次の行動を説明し了解を求める、安全安楽などが強調されていた。自立を助けるということで、有する能力を引き出すということに焦点をあてた講義をされていた。

(質問) 介護講習までのカリキュラム等は、どうしたらよいか。

(質問) 来年の3年のカリキュラムを考えているが、実技等の終了を早める学校もあるように聞いている。

(司会) 技術講習会の内容は、3年間でやりきれぬ内容なのか。

(意見) 基本的な基礎をきちんとおさえれば、教科書に書いてある内容で十分である。

(意見) 私たちは、1次も2次も受かる指導を、一生懸命していけばよい。

6. 挨拶 福知山淑徳高等学校 山口 亨校長

中国ブロック会議事録

開催期日：平成17年8月10日（水）
項目：ブロック別会議（中国地区）
場所：アストプラザ（4階）会議室3
時間：9：00～10：00
司会進行：倉敷中央高等学校 浅野 純子
記録：ベル学園高等学校 大石 博之

議題等： 今後の中国ブロックのあり方について

平成17年7月14日（木）に行われた「平成17年度 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 中国地区福祉科高等学校長会 総会並びに研究協議会」の報告が倉敷中央高等学校中根校長からなされ、そのなかから今後の中国地区校長会のあり方に対して提案・議題等がだされた。

《参加校・参加者》

岡山：岡山後楽館高等学校（寺田）
倉敷中央高等学校（中根・浅野）
備前緑陽高等学校（秋山）
ベル学園高等学校（平山・大石）
鳥取：境港総合技術高等学校（小田原・大田）
島根：出雲西高等学校（田原・石川）
明誠高等学校（伊藤）
益田産業高等学校（坂本）
広島：黒瀬高等学校（池田・武智・森谷）
山口：久賀高等学校（木橋・三輪）
中村女子高等学校（桂・古閑）
誠英高等学校（田邊）（順不同 敬称略）

中根： 島根県松江農林高等学校から、今年度中国地区代表理事が岡山県倉敷中央高等学校に移った。しかし、現実どこでなにが決まり、どういった状況なのか分からない状態。理事の輪番などは決まっているが、今後中国地区として会を運営していくにあたり、内容を充実させ、意味あるものにしていくためにもこの機会に議論していただきたい。

科として明確な学校は良いのだが、コース・教科・系列などの開設校の把握が事務局としてできない。各県で状況を把握し、中国地区理事の学校に報告していただければ、と考えている。訪問介護員の今後の状況、各校の疑問など文部科学省の方を招いて直接お聞きしたり、校長会だけでなく現場の主任等の研究協議会をあわせて中国地区の会を開催したりするためにも、正確な状況把握、そして中国地区校長会への登録・参加費の徴収を行いたい。

木橋： 平成15年度に校長会が立ち上がってから、会自体は形だけでうまく機能していない。山口県内も総合学科、系列など多種多様で情報が入ってきていない。把握している範囲では、16校が福祉を何らかの形で開設している。しかし、校長会福祉部会には6校の登録、中国地区の大会への参加は4校にとどまっている。

池田： 広島県内は部会員80人程度、校長会参加は4校、全国のほうには3校が参加している。資料等は全ての配送しているし、来月には県内の福祉部会が開催予定なので、今回の報告をするつもりである。しかし広島県の状況から見て、会への積極的な参加を求めるのは大変厳しい状況であると思う。

中国地区の会のあり方だが、やはり校長会と主任等研究協議会は、話し合いの内容によって別々にあるほうが良いのではないだろうか。

坂本： 島根県は松江農林高等学校から今年度引継、17、8年度は益田産業高等学校と明誠高等学校が2校で担当する。県内、「福祉」開設校は現在8、9校あるが、単年度実施など流動的である。福祉科としては明誠高等学校が1校、総合学校としては3校、残りは系列などでヘルパー養成のみ行っている。

田原： 島根県は現在総合学科から、福祉科への流れには向いていない。また公立、私立の連携があまりできていない。まず県内の連携をどのようにするかが、問題となっている。

小田原： 鳥取はヘルパー養成を何校かが行っているが、介護福祉士受験資格養成は今後しばらくは境港総合技術高等学校1校という状況が続く。このような状況下で中国地区の役員等を引き受けるのは難しいと思う。

中根： 各県状況はバラバラだが、福祉科、総合学校等の限定はせず、広く参加するように声をかけていってほしい。すぐに登録というわけでもなくとも参加することによって意識も高まり、加盟校も増加するのではないだろうか。また、資料等が散逸しないように記録の編纂も行っていきたい。

池田： 情報交換の場として立ち上がった中国校長会も研究会・研修会といったものによって変わってきている。会の目的を明確にして、会の方向性、あり方も再検討していく段階なのでしょう。

小田原： 家庭部会の中に福祉があり、参加・登録自体が良く理解できない。片方だけの参加でよいのか？

中根： 訪問介護員、介護福祉士養成等が現在のように揺れ動いている状況で、文部科学省や厚生労働省への意見具申の必要性など政治的な配慮から「福祉」として独立していないと聞いている。

今年度の分科会発表は広島県黒瀬高等学校が行った。14年度は岡山県が行っているので、19年度の研究発表は広島・岡山県以外で行ってほしいと思っている。今後理事会で検討していきたい。今年度の発表も黒瀬高等学校自身が知らないところで決定されていた、ということもある。19年度の発表、21年度の中国地区での全国大会にむけて、中国地区として連携・協力体制を作っていきたいと思っている。

浅野： 来年度中国地区の大会は7月13、14日を予定している。全国の大会に中国地区としての意見を持っていけるように話し合いの場を多く作っていきたい。そのために泊を伴う会も検討中である。各校の協力・参加をお願いしたい。

《確認事項》

- 各県の状況把握について
各県理事 → 事務局へ
中国地区校長会への参加呼びかけ
- 中国地区大会のあり方
校長会だけでなく、主任・学科担当者の参加
具体的な意見交換の場の設置
- 中国地区各県の連携・協力体制の構築

中国地区各県ごとに状況が違い、中国地区としての具体的な議論はできなかったが、これからの中国地区福祉科高等学校校長会のあり方を考えていく上で、各県の意見交換と方向性は示すことができたのではないだろうか。

四国ブロック会議事録

ブロック会議 平成17年8月10日(水)

9:00~10:00

アストプラザ(5階) 研修室C

司会進行: 別役 千世(高知県立室戸高等学校)

記録: 阿部 美恵(徳島県立小松島西高等学校)

議題: 情報交換と今後の課題

1 主管校校長より挨拶(高知県立室戸高等学校 大宮健吉校長)

○高校福祉科の現状について

- ・社会情勢によって高校福祉科の存在が揺れ動いており、これからは地域社会の理解と協力が必要なのではないか。
- ・高校で専門の知識、技術を学んだ者が、現場で働くことによって福祉施設でのサービスのレベルアップにつながる。そのためにもどんどんスペシャリストを育てていくことが大切。

2 質疑応答等

- ・来年度の学校案内に訪問介護員の資格取得については、どのように表記すればよいか。
(高知中央高校)

→現段階で訪問介護員の資格取得については明言できないので、介護福祉士国家試験受験資格の取得に対応したカリキュラムであることを表記する。(松山城南高校)

3 情報・意見交換

- ・訪問介護員の資格取得については、まだ明言されていないが、生徒たちのために移行期間が必要である。(尽誠学園高校)
- ・高校では、福祉に関する意識付けを行うというようなレベルで、資格取得だけを目指すのはいけないのではないか。しっかりと福祉専門の教養を身につけ、進学を目指せる取り組みが必要なのではないか。(室戸高校)
- ・これからは産学一体のパイプをつくる必要がある。(尽誠学園高校)
- ・ブロック毎での生徒間の交流の場を、これからは設けていくことが必要なのではないか。
(松山城南高校)
- ・訪問介護員の取得は、専門分野を学ぶ入り口としての役割が大きい。これからはその役割を何で実施していくかを考えていかなければならない。(高知中央高校)

4 理事校(高知県立室戸高校)より挨拶と連絡

九州ブロック会議事録

開催期日：平成17年8月 10日（水）
項目：ブロック別会議（九州地区）
場所：アストプラザ（4階）研修室A
時間：9：00～10：00
司会進行：長崎県立大村城南高等学校長 宇田川 決
記 録：長崎県立大村城南高等学校教諭 下田 かおる

議題等： 理事会・学科主任等代表者会の報告、情報交換

- 1：九州ブロック理事・宇田川校長 挨拶
- 2：九州ブロック理事・宇田川校長 理事会・校長会報告
 - 1) 6月の九州・沖縄地区福祉科校長会総会及び学科主任等研究協議会時での決議事項であった、「九州・沖縄地区」の名称変更を提案し、平成17年8月9日付け「九州地区」に改正することが承認された。
 - 2) 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会の事務局が、今年度から2年ごとに全国5ブロック持ち回りとなったことを確認。
平成20年度の全国大会（九州ブロック担当）は佐賀県開催。
九州・沖縄地区福祉科校長会の事務局も平成19年度、20年度は佐賀県であることを確認。
全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会加入高校数（61）と九州地区福祉科校長会加入高校数（78）に違いがある。九州地区福祉科校長会のみ加入校がある。
 - 3) 訪問介護員養成が廃止された場合の対応について活発な意見が交換された。
「家庭科技術検定のような介護技術検定」といったものを全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会で実施することが出来ないか、との意見も出されたが異論もあった。賛否両論があった。
 - 4) 訪問介護員養成から介護福祉士養成に切り替える時、指定養成所の受入数に限度があり問題が生じている。
- 3：九州ブロック学科主任等代表者・下田 かおる 挨拶及び学科主任等代表者会報告
 - 1) 17年度新産業技術等指導者養成講習実施報告
受講生募集が他の教科の都合で遅くなった。情報が出た時点で県に問い合わせるとよい。
来年度からの事務手続きは研修部で担当することになる。研修部の主任は九州地区理事の佐賀県立鹿島実業高校の井手校長先生、学科主任の井上先生である。
なお、期間中の受付業務、会場整理係など今年度は奈良県立榛生昇陽校松本先生と日本女子体育大学付属二階堂高校横田先生の協力を得たが、来年度は研修部で担当するようになった。
介護技術と社会福祉援助技術の会場を来年度、関西と関東を入れ替えたい。
 - 2) 第15回全国産業教育フェアの進捗状況について
 - ①作品・研究発表が現時点で参加申し込みがない。再度参加申し込みを募っている。
 - ②8月中に参加申し込みがなければ滋賀県立長浜高校に作品・研究発表を担当してもらい（現在検討中）、宮崎県立日南農林高校には意見・体験発表をお願いする。
 - ③、②ができない場合、福祉科は作品・研究発表の参加を辞退し、滋賀県立長浜高校と宮崎県立日南農林高校の2校から意見・体験発表校を選ぶ。

3) 福祉科高等学校長会研修委員会の活動報告について

①福祉科高等学校長会研修委員会（主に日本社会福祉教育学校連盟との連携等）委員に3名の先生が委嘱された。

②平成18年1月8日 第7回福祉教育研修講座における高等学校教員による模擬授業の担当者を推薦してほしい。 A：社会福祉基礎 B：社会福祉制度
C：社会福祉援助技術 D：基礎介護・社会福祉実習

4：情報交換、質疑応答

1) 宮崎県高原高校成合校長：平成20年度全国大会に向けて九州ブロックで支援体制をとるようにしたかどうか。

佐賀県立鹿島実業高校井手校長：佐賀県で校長会の立ち上げを今年度中に計画。全国大会に向けては現在開催のみ決定している状況である。

* 佐賀県で具体化した時点で、九州地区としての支援体制をとる。

2) 各県における部会の立ち上げ状況

	校長会	教科部会	備考
福岡県	あり	H16	産振の部会あり
佐賀県	なし	なし	
大分県	あり（私学参加）	あり	研修会8月実施
熊本県	なし	教育研究会福祉部会	
鹿児島県	なし	なし	勉強会は実施
沖縄県	9月立ち上げ予定	なし	
長崎県	あり	なし	
宮崎県	H15（2年毎持ち回り）	あり	生徒発表会9月、研究会10月 総会8月16、17

3) 福岡福智高校荒瀬校長：福智高校は専攻科があり高校3年生の介護技術講習会受験については校内で審査を行っている。他校の状況はどうか？

①ブロック会議参加高校の多くは受講生徒の人数の差はあるが、希望生徒については受験させている。

②熊本県：最初定員からもれた生徒がいたが、熊本学園大学において高校生枠を設けてもらい受験可能になった。

③鹿児島県：希望生徒数に対し定員が少ない。

④受講手続きについて：専門学校の対応にばらつきがあり生徒や保護者にとって不公平感がでた。受付時間や日時など公平な事務手続きをしてほしい。

⑤県から専門学校に公平な形で受講できるように働きかけることを、校長会から各県に要望してほしい。

4) 平成18年度の九州地区福祉科校長会総会ならびに学科主任等研究協議会は、長崎県大村市において、平成18年6月15日（木）、16日（金）に開催予定

全体報告会

開催期日：平成17年8月10日（水）

項目：I、校長部会報告

II、教員研修会報告

(1) 分科会（現場実習・資格取得）

(2) 分科会（進路指導・授業研究）

参加型分科会（レクリエーション活

動技術・コミュニケーション技法・

介護技術・園芸福祉）

III、報告

家庭部会本部

福祉科校長会事務局

場所：アストプラザ（4階）アストホール

時間：10:15～11:20

司会進行：三重県立飯南高等学校 校長 中谷 文弘

記録：静岡県立富士宮東高等学校 教諭 高橋 恵子

静岡県静岡女子高等学校 教諭 太田久巳子

I、校長部会報告

東京都立野津田高等学校

校長 安田 健

議事

- 1 平成16年度事業報告
- 2 平成16年度会計決算報告
- 3 平成17年度事業計画（案）
- 4 平成17年度会計予算（案）
- 5 平成17年度役員

が報告・審議された。会計予算の中で、一部訂正があった。支出の部の事業費の広告部補助費は広報部補助費と訂正があった。

規約の改正があった。第4条 9 九州・沖縄地区理事から「9 九州地区」にしたいと提案があり、了承された。

報告

- 1 加盟校数について

平成16年は210校で平成17年度は224校になったと報告がありました。

- 2 平成17年度 社会福祉関連の研修について報告がありました。

- 3 その他

平成17年度全国産業フェアについての説明がありました。

例年は都道府県教育委員会が主催で行っていましたが、今年度は文部科学省後援で各校長会主催で実施することになったという報告があり、18年度は埼玉県で11月3, 4, 5日で開催するという報告がありました。

研究協議会で矢幅調査官より

- 1 第17回介護福祉士国家試験の結果（今後の介護福祉士試験）について
- 2 介護技術講習会について

3 ホームヘルパー資格について

について、以下のようなお話をしていただいた。

1) 全国的に福祉関係の高校が増加している

2) 介護福祉士の合格について

全国平均は48.6%でここ数年厳しくなっている

高校は48.9%

(卒業見込みの生徒は54.4%、既卒者は24.8%)

現役で受かる指導と卒業生のアフターフォローについて話があった。

3) 教科書

社会福祉実習・演習の教科書を発行して欲しいという要望がありますが文部科学省は福祉に限らず、実習・演習の教科書は検定しないことになっているという説明を受けた。

4) 研修について

新産業技術等指導者養成研修に多く参加して欲しい。高大連携の事業なのでよろしく御願ひしますとのことでした。

5) 産業教育フェアについて

今年度は先ほどの説明の通りであるが、これとは別に、高校生の発表の場として県・ブロックで機会があればというお話がありました。

6) 介護福祉士の高校生の合格率は両極化している

100%合格する学校が6校、90%以上が11校、80%以上が19校ある一方で3年連続0%の学校もある。

7) 介護技術講習会の受講について

この講習は出来ることが前提なので、事前指導をしっかりする必要がある。

8) 訪問介護員養成の最終報告が9月初めにでるので、分析をしてください。

のお話を頂き、その後質疑・応答があり、次のようなお話しをしていただいた。

- ・ 介護技術講習会の定員が少なく、受講出来なかった方がいたので、受講希望について関係機関に情報を発信することが必要です。
- ・ 高校福祉科の認知度が、大学・社会で低いので、高校福祉科をアピールする必要がある。そのために、卒業生の状況をデータとして示す必要がある。
- ・ 今後の高校教育の在り方で、訪問介護員の制度が変わっていく中で、高校として検討をする必要がある。例えば、福祉科として検定というものを作る等という話も出たが、賛否両論であった。
- ・ 訪問介護員の制度変更の話でFTAの話も出た。

II、教員等研修会報告

(1) 分科会

北海道立置戸高等学校 教諭 前田信治

ア 現場実習 「社会福祉実習の取り組みについて」

広島県立黒瀬高等学校 教諭 森谷順子・武智朋子

はじめに、学校及び福祉科の概要、教育課程について報告がありました。この報告については、取得できる資格について話題になりました。黒瀬高校では、訪問介護員1・2級が取得できますが訪問介護員1級については校内認定試験に合格した者のうち希望者が取得するというしくみになっているとのこと。また、「福祉総合」という科目を設置し、福祉住環境コーディネーター3級の資格取得を目指すことのできる特色のある取り組みも行っているとのこと。

次はテーマでもある現場実習について、実習前後の指導について詳しい報告がありました。特

に実習前の行われる結団式や実習後の報告会などの取り組みが成果を上げているとのことでした。実習後の自己評価や課題についても指導に工夫がみられ、大変勉強になる報告でした。結団式や報告会の生徒の感想についてもご一読いただければ、各学校の今後の指導に役立つことと思われま

イ 資格取得 「介護福祉士 資格取得の取り組み…本校の現状と課題」

大分県立野津高等学校 教諭 津田暁子

大分県立野津高校は、福祉科単科の専門高校で全国唯一であるという大きな特徴があります。研究発表では「地域に貢献できる福祉従事者」の育成を目指し、学習活動・部活動・学校行事の三方面から学校の構想を立てているとのことでした。野津高校の構想である「平成17年度ビジョンサポート」は、①豊かな人間性を備えた福祉のスペシャリスト、②自己教育力を身につけ主体的・自律的に生きる力を備えた生徒の育成を目指すものであるとのことでした。

介護福祉士の資格取得状況についても報告がありました。これについては、平成16年度の結果を受けて、合格率を上げるための具体的な方策についての取り組みが発表されました。その取り組みは筆記試験及び実技試験に対し、各学年ごときめ細かな対策のもと確かな学力・技術を身につけることを目標に、資格取得の意義をあらためて考察しながら行われているとのことでした。今回の発表は施設が求める人材と資格取得の必要性を再認識させられる研究協議でもありました。

(2) 分科会

秋田市立相川高等学校 教諭 宍倉博明

ア 進路指導 「村田高校社会福祉系列の進路指導の現状」

宮城県立村田高等学校 教諭 酒井原美紀

学校は平成7年に全国で8番目、宮城県では初の総合学科(6系列、4クラス、160名)の学校に改編され、国際教養系列、自然環境系列、コンピュータ・ビジネス系列、メカニカル・テクノロジー系列、情報シスカテム系列、そして社会福祉系列です。

「産業社会と人間」の科目で一年次前期週4時間、2単位30コマの指導計画に基づき、「将来の生活・職業」「高校卒業後の進路」など高校では何のために学ぶのか、何に向かって学ぶのかを考えさせ決定させている。この時間を村田高校では「自分さがしの旅」と呼んでいる。また、一人ひとりのカリキュラム作成のため6系列専門教科の教員、担任がその指導に当たり1クラス2名が担当する。また、卒業生や上級生も一年生のクラスに出向きアドバイスをしている。ただ、福祉系列は、介護福祉士受験資格、訪問介護員1級修了させるため選択の幅は狭くならざるを得ない面もある。

・進路指導全体について

一年次から進路指導を行っているが、三年次には総合的な学習の時間で①就職、②大学・短期大学、③専門学校(コース別)に別れ指導している。

・社会福祉系列の進路指導

進学希望者・・・推薦入試を希望するものが多いので、約半年間にわたり指定された教員につき小論文の指導を受ける。

就職希望者・・・進路指導部もあたるが、福祉担当教諭が希望調査・面接・履歴書作成等の指導の必要からあたる。

昨年度、施設への就職希望者全員(14名)年度内に就職させることができた。例年6月頃定着指導にあわせ、施設に求人依頼をしている。しかし、まだ管内以外では村田高校の福祉は定着しているとはいえないので、今後生徒の

希望に沿ったところにも求人開拓をしていかなければと考えている。

・介護福祉士国家試験に向けての指導

三年次の夏季休業期間は実習体験(2単位増単)を行うので、休業明けから毎日1時間の課外授業を行う。冬季休業中は年末年始を除き、生徒からの依頼で毎日60分を3コマか4コマを行う。二次試験対策昨年度までは、一次試験後毎日8時間実施していた。

イ 授業研究 「感染予防の授業の一工夫」—介護者としての自覚の芽生えを期待して—
静岡県立吉田高等学校 教諭 福嶋みちる・池上香苗

平成6年度から保育科が学科改編され福祉科になり、各学年1クラス、在籍120名、卒業後の進路は進学約80%、約20%は就職(特養、老健、デイサービス等)です。介護福祉士受験資格、訪問介護員1級修了取得可能校です。

1) テーマ設定について

最近、福祉施設における感染症に関する事故の報道(O-157、ノロウイルス等)を目にするようになった。

介護者を養成する機関として正しい予防知識や技術習得の必要性や現場実習において安全を守るため質を高めるために必要不可欠と考える。

学習指導要領には感染予防に関してとくに記述はなく、吉田高校4名の教員により効果的な指導方法の工夫を試みた。

2) 研究内容

科目は社会福祉実習、一年次の「介護技術の基本と実際」の「感染予防」(4時間)とした。

①目標、②「感染予防の評価規準」の作成、③指導上の工夫等を最初に行った。

3) 指導上の工夫例

- ・感染に対するタイムリーな出来事(ニュース等)を活用する
- ・基礎科目が未修なため専門用語を精選する
- ・自分との関わりが深いテーマであることを考えさせる
また、実験により、感染の脅威を実感させる。
- ・手を介しての感染が拡大することを体験させる
- ・視覚的に見せることにより、技術の定着をはかる

4) 実験例

①手洗い検証パウダーを使用し、握手→握手→握手又はコップ、ブラックライトをあて、見て、結果を知る。※実験中生徒の高い興味・関心があった。

②手洗い検証クリームを使用し、「日常的手洗い」「衛生的手洗い」を行い、ブラックライトをあて、その違いや残存などを生徒が視覚的に体験する。

※実験後、清掃や机の上の整理がよくなった。また、実習の際指導する爪の長さや髪を束ねる必要性を理解した。などの予期せぬ効果もあった。

上記のように、知識の少ない一年次に実験実習行うことに不安はあったが、その重要さを認識させ学習意欲も喚起させることに成功したと考える。今後、改良・工夫を重ねもっとより良いものになりたい。

〈指導助言〉

和田欣子先生(三重県教育委員会高校教育室指導主事)

・村田高校の発表に対して

高校における専門学科の福祉と総合学科における福祉は少し位置づけの違いがあると思う。総合学科の多様な系列をもつその特徴を生かした教育があるはずである。在り方・生き方を考え

させ成長をはかる柔軟な教育が大切なのではないか。ただ、介護福祉士国家試験受験資格、訪問介護員1級修了をさせるために制約があるなかで、福祉系列の教員が大変苦勞しながら頑張っている姿には敬意を表する。

専門学科に学んだ生徒たちが大学に入学後苦勞していると聞いている。進学を希望する生徒たちへの基礎学力向上には、福祉系列の教員だけでなく学校全体で取り組んで行くことが大切ではないかと話されました。

・吉田高校の発表について

授業を行う場合、いつ、何を、どのように展開するかというデザイン力は教師の力量を問われるところである。科学性、合理性に裏付けられた“うん、そうだ”“なるほど”と生徒に思わせる授業が大切である。生徒たちは3年間でゴールではない。将来いろいろな仕事・職域で活躍するのであるから、学び続けなければならない。そのため、学ぶ意義・よろこびを与えるような今回の体験的・実験的研究発表は示唆にとんだ素晴らしいものである。

学習指導要領については、現場の先生方から声を上げることも大切である。

このような機会を最大限生かし情報交換をし、各校それぞれの実態に合わせた教育を実践してほしいと指導助言がありました。

参画型分科会

三重県立いなべ総合学園高等学校

教諭 梅田仁美

ア レクリエーション活動技術「福祉レクリエーションの理解と実技」

社団法人 三重県レクリエーション協会 事務局長 鈴木寿子先生

社団法人三重県レクリエーション協会事務長、鈴木寿子先生より「楽しさいっぱい、笑顔いっぱいのレクリエーション支援」と題して、お話しして頂きました。参加者33名で、最初に1人が他の5人の方と握手することからスタートし、一気にその場がなごやかなムードに包まれました。椅子に座ったままでできるいくつかの実践を教えていただく中、その一つ一つの動きをすることで、人間が持っている様々な欲求（身体的、精神的、社会的、知的欲求）が満たされていくことを感じました。レクリエーションはややもすると「みんなで歌を歌いましょう」「ゲームをしましょう」といった、活動するだけで終わってしまいがちであるが、活動するだけでなく、その方の気持ちを含めたものをレクリエーションということ、また、レクリエーションは特別な時間を考えるのではなく、生活そのもので介護支援の中にいかにハートを折り込むことが出来るか、支援者のハートが、いかに利用者さんをこちよくなるかという支援を考えていくことも大切であると、教えていただきました。授業にすぐにでも使いたくなるような実践内容で楽しい分科会となりました。

イ コミュニケーション技法「福祉コミュニケーションの理解と実技」

大阪教育大学助教授 新崎国広 先生

まず、対人援助の専門性を木に例えて説明されました。

木の葉の部分は 技術

木の幹の部分は 知識

木の根の部分は 理念・価値

これらを専門性の三要素であると話された、どの要素が欠けても対人援助は成立しないことを念頭におき授業を進めていくべきである。

その後、講義を通して、知識の丸暗記でなく頭・身体・心で考えていく参加型授業を体験しました。その中で、生徒の立場と教師の立場両方の視点から研修を受け、“気づき”と“振り返り”

の重要性を実体験を通して学ぶことが出来ました。

たくさんの演習に参加することで、頭・身体をフルに活用し最後には、心に残る2時間となりました。大会冊子P. 70～紹介されているワークを中心に、たくさんの先生方の笑顔がこぼれる、充実した研修でした。

ウ 介護技術 「施設実習の心構えと介護実習」

学校法人大橋学園ユマニテク福祉専門学校 伊藤幾代 大崎淳子 先生

学校法人大橋学園ユマニテク福祉専門学校の伊藤幾代先生からご指導いただきました。内容は

1、実技試験出題基準と学習の進め方

2、実技に関する留意点

について具体的に説明され、その後3人一組にて実習をした。

重要なことは、利用者をしっかり見る、向き合うことが大切である。実技国家試験の場合も課題文章を単に暗記しようとするのではなく「今、自分がどんな障害を持った人に、何をして行くか。この方をどう介護するか。」という、計画→実施→評価のこの過程が大切である。

試験問題例をもとに、

「安全・安楽・残存機能・個人の尊厳・麻痺側を保護する」ことを考える。70人いたら70通りの介護の方法がある。

「その人に応じて、考え行動する。同じ介護は出来ない。そして、その時足りなかった事は無かったかを考える。また、介護者の身体を守ることも必要であり、自分自身のことも考えてプランを立てる。」と言う事を、実施を交えて教えて頂きました。

介護技術の講義を学校法人大橋学園ユマニテク福祉専門学校の太田淳子先生より「施設実習に備えた学内指導のあり方及び心構え、留意点」というテーマで、お話しをして頂きました。過去には名張市の社会福祉協議会で、訪問介護の主任として勤務され、実習現場の受け入れ側であったこと、そして今は逆に実習現場へ送り出す側であり、現在の学生に欠けている点は何か、その為に学内指導として我々がすべきこととは、という点でユマニテク福祉専門学校での取り組みを、ユーモアたっぷりに講義して頂きました。

また、本年から実施されている介護福祉士国家試験の「介護技術講習会」の概要及び実施されるに至った流れについてもお話しして頂きました。最後に、「介護を行うことによって、人を幸せにしていく専門職が介護福祉士であり、そのような人をひとりでも多く育てていただければと思います。」と講義をまとめて頂きました。

エ 園芸福祉 「園芸福祉の理解と苔玉作り」

広島国際大学大学院教授 吉長元孝 先生

三重県園芸福祉研究会会長 前川良文 先生

園芸福祉の分科会では「始めよう 園芸福祉」という題目で広島国際大学大学院教授吉長元孝先生の講演と、苔玉作りの実習を三重県園芸福祉研究会会長前川良文先生から、ご指導頂きました。

講演では、先生の自己紹介後、園芸福祉の意味、漢字の成り立ちから丁寧に説明して頂きました。市民活動とソーシャルキャピタルについてのお話しは、ボランティア活動の活発な所では、犯罪の発生件数が少なく、高齢者や障害者の雇用により失業率も下がり、地域の支援で出生率が上がる、という興味深い内容でした。

先生がアメリカで園芸福祉を学ばれた時に事例も映像と一緒に紹介していただきました。その中で身体的な障害を持つ人達や少年刑務所やアルコール中毒者など精神的障害を持つ人達に大き

な効果が現れていました。

最後に、「園芸福祉をやってきて新しいものは何も無かった。目の前にある物にずっと気がついていなかっただけだった。今までの関係を変えることで形がかわる。」と言われていました。

苔玉作りの実習では、作業は賑やかにする、苔玉を誰に上げるか、どこに飾るか考えて、名前を付けること、という注意の後、作り方の説明がありました。

園芸福祉士の田辺先生と富井先生にもお手伝いいただきました。作業が始まると笑い声も出てきて和やかな雰囲気となりました。作った苔玉の発表会では、家族の方へのプレゼントだったり、自分にニックネームを付けたりとそれぞれの思いが込められていることがよく分かりました。

園芸福祉は、人が主役であるということを実感できた実習でした。

Ⅲ、報告

家庭部会本部

全国高等学校長協会家庭部会

理事長 今成 昭

2日間参加させていただき大変勉強させていただきました。

ここでは、全国家庭部会校長会、特に福祉に関わることをお話しします。5月24日に家庭部会校長会総会がありました。その折、福祉科の先生よりご指摘がありましたが、今までは家庭部会という家庭科の視点で動いてきたのですが、福祉教科が立ち上がり充実発達していくことで、家庭部会の中ではあるが、きちんとした位置付けを持って福祉のことを考えていかなければならないと考えます。と言うのは、家庭部会の事業のなかに色々な調査委員会・研究委員会がありますが、それは家庭科に関する調査になってしまい、運営事態も家庭科という切り込みになってしまうので、組織的にも検討する時期であります。

今現在、課題研究委員会などそれぞれの部会の委員長等により、福祉に対してきちんとした位置付けをしなればということ、検討中であります。

進路指導調査研究委員会において、卒業した生徒の進路調査をしているのですが、17年度からは福祉系の調査を実施しています。7月31日現在100校からの回答があり、この結果を今後、大学等へ要請を出していきたいと考えています。

また、福祉科としての研修会が、文部科学省や独立法人等の研修会などもあるのですが、家庭部会校長会としての、研修会も実施しています。その一つとして、7月25日から27日まで東京で行われました。九州・大阪・愛知と東京と順番に行っているのですが、これからはブロックごとに担当していくという意見もあります。今年東京で行われた福祉に関するものは、高等学校の家庭科おける中の福祉ということがメインになってしまうのですが、国際医療福祉大学助教授の佐々木先生による、講義と演習が3日間にわたり行われました。全国から50名ほどが参加しました。その他のところで、福祉科として独立して研修していただき、福祉科としての校長会も充実して組織も大きく成っています。

産業教育フェアですが、本年東京で行うものは東京として行うのではなく、校長会として実施するので、規模としては少し小さくなるのですが、家庭部会としては、被服・食物・保育中心に行います。福祉については、福祉が単独で計画しているのですが、連携しながら行いたい。来年の埼玉県での産業フェアは、去年の広島県のような大きなかたちで出来るのではないのでしょうか。

福祉科においても、主体的に色々な提案をして欲しいと思います。

もう一つ産業教育進行中央会というものがあります。教員の研修について、特に海外研修では福祉科の先生も多く参加しています。独立法人行政教育研修センターの海外短期研修と言うものもあります。そこに何人が参加できるか、校長会で実態調査をしています。31名の希望があり、その中には福祉科の先生います。中央会に報告し、福祉に関わる視点での視察が出来るようお願いをしています。

家庭部会の中にある福祉科であるが、充実して発展しています。これからどういうかたちで連

携していくか考えていかなければならないのですが、心の教育として家庭科と福祉科が一緒に進んでいきたいと考えております。

福祉科校長会事務局

全国高等学校校長協会家庭部会福祉科高等学校校長会事務局
青森県東奥学園高等学校

教諭 小川義光

1 平成 17 年度学科主任代表者活動について

1) 研修部

昨年は実習ノート、今年は演習ノートを作成したが各校においてノートを使用活用しての、アンケート調査を実施したい。その他、今年 7 月 25 日から京都女子大学で実施した H-1 の研修、ルーテル学院大学で実施した H-2 の研修の事務手続きを来年度以降は研修部の事業として行っていく予定である。

2) 調査統計部

11 月に各校へ基礎調査、追跡調査、介護技術講習会実施状況等についての調査依頼文を年内回収で送りますので、御協力願いたいとの事です。集計考察等を年度内で行い、先生方に報告したいとの事でした。

3) 広報部

2 学期中(11 月)全国大会の報告も含め第 1 回目の発行、3 月までには国家試験、就職、進路を含め発行ということで、年度内に 2 回発行予定である。ホームページの活用も検討されたが、加盟校の担当者全員が確実に見られるように今年度は FAX で実施する。ホームページの活用に関しては担当者や事務局が代わるとホームページが無くなるという現状から今後検討課題ということでした。

2 平成 17 年度社会福祉関連の研修紹介について

1) H-1 の介護技術に関する講義と実習については、7 月 25 日から 30 日までの 6 日間、京都女子大学を会場に定員 20 名に対して 32 名の申し込みがあり、実施された。会場整理係として期間中、榛生昇陽高校の松本先生にお世話になりました。

2) 社会福祉援助技術に関する講義と演習については 7 月 25 日から 29 日までの 5 日間、ルーテル学院大学を会場に定員 20 名に対して 13 名の申し込みがあり、実施された。会場整理係として期間中、二階堂高校の横田先生にお世話になりました。

3) 運営に関しては今後研修部で実施していきます。開催に関しては来年度も、関東と関西で行う予定です。

3 第 15 回全国産業フェア(東京大会)について

11 月 26 日・27 日開催の東京大会の福祉部門作品展示に関しては、松戸矢切高校、不動岡誠和高校、田沼高校の 3 校が出展予定です。意見、体験発表、作品研究発表については現在調整中ですが、長浜高校、日南農林高校が候補として上がっています。来年開催の、埼玉大会では各ブロックから推薦していただき、高校福祉科の PR をしていきたいと思っております。

4 福祉科校長会研修委員会発足について

高大連携を目的として、野津田高校の小山先生を委員長に真岡北稜高校の猪瀬先生、川崎高校の岡先生を委員に発足しました。活動の一つとして、1 月に行われる「福祉教育研修講座」で研究授業を担当して下さる先生を推薦していただき、高校福祉科教育を更に発展させていきたいと思っております。推薦については、各先生からのアンケートにより検討します。

5 「平成 18 年度 青森大会」実施案について(研究協議会担当校)

- ① 現場実習については、高知県の室戸高校
- ② 資格取得については、奈良県の榛生昇陽高校
- ③ 授業研究については、北海道の置戸高校

④ 進路指導については、福井県の啓新高校

6 福祉科校長会加盟校について

平成16年度は210校の加盟校が17年度に16校が新規で加わり、226校の予定でしたが、廃校、合併により224校となりました。

7 その他

事務局として加盟校の住所・代表者・学科主任等を正確に把握したいので、教職員名簿を未提出の学校は至急提出して下さい。イニシャルで提出された学校には確認のFAXが行きます。また、会費未納の学校も早めに納入して下さい。



文部科学省指導講評

開催期日：平成17年8月10日（水）
項目：指導講評
場所：アストプラザ（4階） アストホール
時間：11：20～12：20
司会進行：岐阜県立大垣桜高等学校 校長 横山仁美
記録：静岡県立磐田北高等学校 教諭 高井恵実
静岡県三島高等学校 教諭 芦川裕美

国立教育政策研究所教育課程研究センター教育開発部教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官 矢幅清司

三重県大会において熱心に討議・演習をされた事と思います。特に参画型分科会は新しい形の分科会として、大きなお土産となるでしょう。又、校長部会においては資格取得の厳しい状況の中、今後の学校運営の取り組みにおいて活発な意見が交わされました。

高校福祉科の現状について話をさせていただきます。文科省の持っている報告書を元に現状を述べていきます。

（1）高等学校福祉関連学科等の設置状況

・学校基本調査報告書にみる高等学校福祉関連学科

新教科「福祉」が創設された平成15年度からの設置状況である。平成17年度は11月頃調査結果を集計する予定である。平成16年度に関しては、福祉関連学科を設置している学校は全国で62校である。この数字は学校側が福祉に関する学科であると申請してきた数である。25単位以上、福祉関連科目を設置している学校に関しては、福祉関連学科とし、申請をお願いしたい。正式な実態把握を行うことが出来るようにし、教員数の確保も今後求められる課題の一つである。現在、文科省の把握している数は都道府県の指導主事を通して申請された数である。

設置状況は、①介護福祉士受験校187校、②訪問介護員養成事業実施校643校、③資格に関係なく科目実施校181校、合計1011校である。①～③どれにおいても増加傾向にある。特に訪問介護員養成事業実施校の2級過程の増加が著しい。しかし、訪問介護員を取り巻く状況は厳しく、来年度より介護職員基礎研修へと移行される。詳細は9月上旬発行予定の報告書参照。介護福祉士受験校の数は、専門学科が110校、総合学科50校、普通科27校である。現在、総合学科を設置すると「福祉系列」を置く学校が多いが、カリキュラム上、2年3年での履修となるのが特徴である。通常3年間での養成を2年間で行うので生徒の負担は大きい。また、履修人数が定まらないため、実習施設の確保が困難である。そのため、人数の確保が可能であれば専門学科としての設置が望ましいと思われる。

（2）在籍生徒数

介護福祉士受験校 20019人（+3215）、 訪問介護員養成研修 42911人
（+16684）、資格等の取得なし15472人（+4894）
福祉を学ぶ生徒は万単位での増加である。

（3）入学状況・志望倍率

介護福祉士1.57倍、訪問介護員1.63倍
どちらも志望倍率は1.5倍以上の人気を保つ。

(4) 介護福祉士国家試験受験可能校の進路状況

卒業生総数 6441名、進学者3006名、就職者2936名

進学、就職とほぼ半数となっている。就職者の中で2/3以上が、福祉関連施設等への就職である。この数は専門学科においては衛生看護科に次ぐ数字である。

(5) 教科「福祉」の担当教員の状況

学校当たりの配置数は少ない状況にある。

(6) 教科「福祉」の担当教員の免許所持

介護福祉士受験校 免許所持者50.5%、訪問介護員養成校 免許所持者23.9%
資格なし 免許所持者31.4%

全体では福祉の免許所持者34.0%と1/3の数にとどまっている。新教科ではあるが、今後免許所持者の採用を各都道府県及び学校で検討する必要あり。この数字を上げることが専門性を深め、社会的認知を高めることにつながる。

(7) 介護福祉士国家試験の状況

全体の合格率、平成10年度までは50%台の合格率であったが、質の向上、問題数の増加により平成11年度より40%台となる。今年度は42.6%である。福祉系高等学校においては、平成10年度以降は全体の合格率より高い合格率を保っている。この数字は生徒の頑張り、先生方の努力の現われだと思われる。今年度は、全体42.6%であったが、福祉系高等学校においては、48.9%と高い数字になっている。但し、合格率の高い学校と低い学校が両極分化されている。100%合格校6校、70%以上50校である。昨年度受験校の中で、1/3以上が70%以上の合格率である。逆に、0%の学校6校、30%以下の学校52校であり、全体の受験校の1/3が30%以下の合格率である。

卒業時の合格率54.4%、卒業後の合格率24.8%である。

(8) 教員養成

現職教員等の講習会で1517名、高等学校教員資格認定試験173名

現在は大学での教員養成は187課程において、141校で実施されている。1086名が福祉の免許を受理し、22名が専修免許を得ている。今後、大学との相互の連携を図ることが望ましい。また、未来の教員養成を念頭に置き、積極的に教育実習生の受け入れをお願いしたい。

(9) 教科書

教科「福祉」は7科目で構成。社会福祉実習、社会福祉演習を除く5科目については、教科書もしくは準教科書が発行済みである。「実習」及び「演習」に関しては教科書は原則として発行されないことになっている。

(10) 教員の確保

昨年度、教員採用試験を行った県は12県であり、倍率は平均して12.9%であった。他の教科の倍率とほぼ同じ数字である。

今年度、22府県市で実施、昨年の倍の数字である。今後、採用試験の科目に実技試験を取り入れる方向が望ましいと思われる。

(11) 研修紹介

代表的な研修会

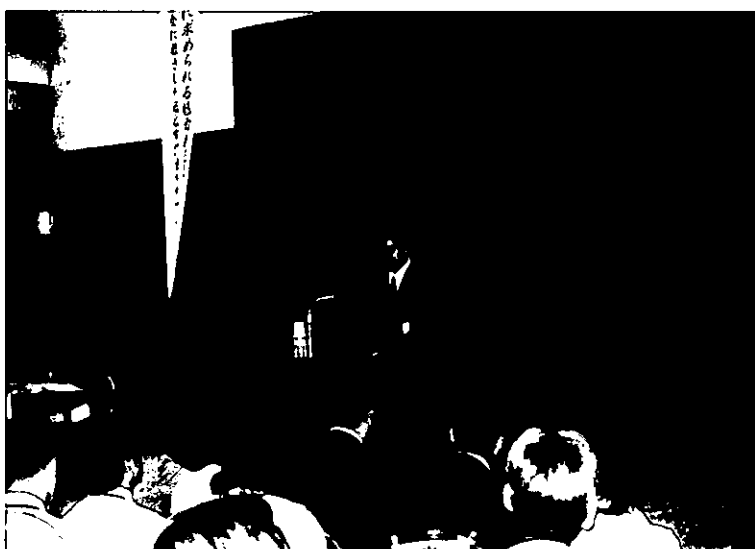
- ・全国社会福祉教育セミナー（日本社会福祉教育学校連盟）H.17.10.29～10.30
- ・福祉教育研修講座（日本社会福祉教育学校連盟）H.18.1.7～1.8
- ・日本福祉教育・ボランティア学習学会 H.17.11.25～11.27

今後、学習指導要領の改訂作業が始まる。福祉においても第1回目の改訂であるが、忌憚のないご意見をいただきたい。

次に事業の紹介ですが「目指せスペシャリスト」がある。昨年度は兵庫県立新宮高校が採択されたが今年度はエントリーがなかった。来年度に向けて是非、エントリーしてほしい。また、研究指定校については、学習指導要領に基づきデータが必要である。今年度は、山形県立山辺高校と川崎市立川崎高校である。来年度に向け研究指定校の依頼があれば受けてほしいと願っている。

今後、高等学校福祉教育を社会の方々、地域の方々に広めていかねばならない。そのためには各学校が地域へ更には全国へ情報を発信していかねばならない。

最後になりますが、この大会を開催していただいた三重県教育委員会、そして家庭部会の皆様、主管校の明野高校の諸先生方、「共生の時代に求められる魅力ある高校福祉教育」という研究主題を支えていただきました東海ブロックの先生方又、日頃より福祉教育を推進して下さっている先生方に感謝を述べ、また今後のご協力をお願いしたいと思います。



閉 会 行 事

平成17年8月10日(水) 12:20~12:40 アストプラザ
司会進行：三重県立いなべ総合学園高等学校 校長 西城 博
記 録：愛知県立海南・海翔高等学校 教諭 神野 孝司
愛知県立宝陵高等学校 教諭 原田 喜子

1 開会の言葉

岐阜県立坂下高等学校 校長 松 久 聡

全国からここ三重県津市にお集まりいただきまして、福祉教育につきまして熱心に研究協議等を行いました。皆様のお陰を持ちまして有意義な会を持つことができました。私のおります岐阜県では、代議員会や地元集会を行っていますが、今年の内容の多くは福祉に関する教育内容を盛り込んだものです。7月末に新聞発表がありましたが、高齢者の人口が20%を超えるということも大きな課題になっている。こうしたことに中高生は敏感に反応しているのではないかと思います。そうした情勢のもとでの2日間の有意義な会ではなかったかと思えます。それでは、これより閉会式を開きたいと思えますのでよろしくお願ひします。

2 主催者あいさつおよび次回主管校あいさつ

全国高等学校協会家庭部会福祉科校長会 会長

青森県東奥学園高等学校 校長 高橋 福太郎

挨拶の前にちょっとの時間、青森のねぶた祭りのビデオを上映し、あわせて津軽三味線のさわりの演奏を聴いていただき、その後じっくりと挨拶をしたいと思ひます。

—ねぶた祭りのビデオ上映・津軽三味線の生演奏—

2日間にわたる三重大会での研修内容には大変勇気づけられました。高校に戻って生かして行きたいと思ひています。主管校である明野高校の校長先生をはじめ東海地区の先生方には本当に大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。また矢幅先生には、この2日間にたくさんのお話を教えていただきました。そういう意味では一番感謝を申し上げなければならないと思ひています。

18年度は、北海道・東北地区が担当させていただきます。青森県の東奥学園高校が主管校となります。青森県は非常に自然が豊かまた歴史が豊かで、食べ物は海の幸、山の幸など大変おいしいです。大会はねぶたが終わった後ですが、皆様方のために県知事に再現してもらえるように言っております。昨日の研修後、帰ってしまわれた先生方、最後までみえなかった先生方には見てもええず残念です。どうか来年は今年の2倍、3倍の先生方に参加していただけますようお願い致します。来年、先生方に青森県で会えることを心待ちに致しまして、研修内容を豊かにし、青森県あげてお待ちしております。どうかお越しく下さい。歓迎いたします。

3 主管校あいさつ

三重県立明野高等学校 校長 濱 口 政 巳

2日間にわたります皆様方の熱心な研究協議、お疲れ様でした。文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官であられます矢幅清司先生の多面、多岐に渡りますご教授、それから本日の指導高評、また昨日の研究協議や各分科会での協議をとおしまして、各学校や地域での課題解決のヒントを得ていただけたのではないかと感じております。何かと不行き届きな点があったかと思ひますが、この大会をこうして無事に閉会が迎えられることを、ご参加の皆様を始め、運営にご協力いただきました多くの県内外の先生方のお陰だと心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。この後、お時間の許される方は、今開催されています愛地球博、昨日の教育懇親

会で紹介のありました熊野古道、伊勢志摩、松阪、伊賀上野等の名所がございます。ぜひ、お立ち寄りをいただきまして、今研修会に厚みを加えていただければ幸いです。来年度、高橋会長の故郷、青森で皆さんに再びお会いできることを楽しみにして閉会の挨拶にします。どうか皆様、ご無事でお家に着かれますよう祈念致しまして、お礼の挨拶とさせていただきます。どうも有難うございました。

4 閉会のことば

岐阜県立関有知高等学校 校長 江崎 榮彦

只今は、見事な津軽三味線またねぶたと、本当にマッチする日本の伝統文化だと感じました。また、次年度開催県の高橋校長先生からは、ぜひ来年、青森の大会にという熱心なご発言がありましたけれども、私ももう1年定年を延ばしたいという気持ちが起こりました。こうして2日間にわたり、全国の高等学校福祉教育にかかわりを持っておられる皆様方に多数ご参集いただきまして、「共生の時代に求められる魅力ある高校福祉教育」の研究主題のもと、熱心に研究協議を重ねていただきまして誠にご苦労様でした。また、本大会のためにご多忙中にもかかわらず、文部科学省教科調査官、矢幅清司先生には大変熱心にご指導またご助言を賜りました。現場での最も知りたい情報を分かりやすくお話をしていただきまして本当に有難うございました。また、今大会の運営にあたりましては、関係役員の皆様方、さらには三重県の関係高等学校の皆様には大変ご尽力をいただき本当に有難うございました。今年度の調査あるいは研究協議、こういったものの反省を踏まえまして、次年度の開催県、青森県での研究協議の更なる深まりを期待しますとともに、本大会の益々の発展を期待申し上げます。それではこれを持ちまして、平成17年度全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会、第11回総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会を閉じます。



主管校挨拶

三重大会を終えて ～参画型分科会を試みて～

主管校 三重県立明野高等学校 校長 濱口 政巳

全国各地から260名というたくさんの方々の参加を得て第11回の総会・研究協議会三重大会が無事終了できましたことを心から感謝申し上げます。

大会を開催するにあたり、従来の方式での開催は難しいとして明野方式を認めていただき、2日間という短い日程での研究協議となり、慌ただしい思いをされたのではと心配をしております。

また、大会準備を進める中で、予算や参加者数が十分確保できるのか非常に心配しましたが、大勢の方から参加の申し込みをいただき本当にありがとうございました。

交通の便や分科会の会場の都合から津市を開催地といたしました。本校の所在する小俣町明野からは距離もあり、会場との打合せも簡単には行かず歯がゆい思いもしましたが、新しく試みた「参画型分科会」はご好評をいただき、思い切って取り組んで良かったなど安堵しております。大会運営にあたっては本当に多くの皆様にご協力をいただきました。改めて深く感謝申し上げます。

この大会を無事終えて本校教職員も一層の自信を得て、生徒たちの実習指導や国家試験対策に精力的に取り組んでおります。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご指導ご助言をいただきました全国高等学校長協会家庭部会事務局、大分県立野津高等学校、徳島県立小松島西高等学校、東奥学園高等学校の皆様にご感謝申し上げますとともに、開催にご協力くださいました文部科学省、三重県教育委員会、津市教育委員会、三重県高等学校長協会の皆様にご心からお礼申し上げます。

来年度は事務局校でもある青森県東奥学園高等学校の主管で開催されます。大会がさらに充実したものとなりますよう祈念して、お礼のご挨拶といたします。

三重大会事務局を担当して

主幹校三重県立明野高等学校 教諭 西嶋 秀子

三重大会の開催につきましては、東海ブロック・全国役員・三重県内の先生方をはじめ多くの方々のご支援・ご協力のお陰で無事終了させていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

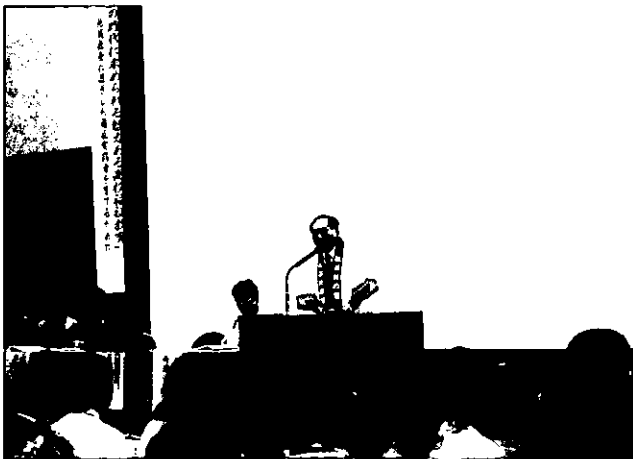
平成15年秋、17年度の全国大会の開催を三重県がお受けすることとなり、10月の大分大会で主幹校名を報告するため県内福祉教員会議を重ね検討いたしました。その結果、明野高校がお受けすることとなりましたが、急な決定で準備期間も短く、校内事情もあり例年のような大会ではなく「明野方式」と名付けた明野独自の大会内容でお受けさせていただきました。例年との違いは、行事の多い2学期は避け、生徒に影響が少なく、また参加していただきやすい夏休みに日程を変更したこと。全国役員の先生方のご負担を軽くさせていただくため大会前日に行われていた役員会を1日目の朝に設定し、全日程を2日に短縮したこと。公開授業を無くし参画型分科会を取り入れたこと。移動時間を減らし時間を有効に利用して頂くため、会場を一箇所に設定したこと。近県の先生方と福祉教育活動の情報交換を十分にさせていただけるようブロック会議を1時間に設定したこと等です。このように変更致しましたので、参加していただけるかとても不安でしたが、お陰様で210名の参加予定を大幅に上回る260名の参加申し込みがあり、来賓・講師の先生方を含めると280名近い皆様にご参加頂くことができ、安堵致しました。また、検討を重ね計画致しました参画型分科会におきましても先生方に満足していただけるかととても不安でしたが、勉強になったと

の声を沢山いただきほっと致しました。

今回事務局を担当させていただき、教員の研修・福祉教育のあり方を検討し情報交換をする場の必要性を再認識いたしました。

昨年度末より本格的に準備が始まり、多くの不安と主幹校というプレッシャーを抱えながら予想以上の忙しさの中、多くの先生方に支えられみなさんに満足していただける大会をと準備を進めてまいりました。至らぬ点も多々あったかと思いますが、2日間の日程の中で何かを得てお帰りいただけたことと思っております。

次期大会は、青森県の東奥学園高校で開催されますが、画期的な大会を計画させていただいております。多くの先生方にご参加いただき、研鑽を積んでいただきますことを願っております。



全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会
報 告

全国高等学校長協会家庭部会 福祉科高等学校長会
平成16年度事業報告

全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会

期 日	活 動 内 容	備 考
5月28日(金) 10:00~12:00	第1回理事会 ・平成15年度事業計画・決算報告 ・平成16年度事業計画案・予算案 ・平成16・17年度全国産業教育フェアについて ・徳島大会・三重大会について ・独立について ・役員選出について 第1回学科主任等代表者会議 ・平成16年度学科主任等代表者組織について ・代表者組織の活動について ・研究協議会分科会について ----- 理事・学科主任等代表者合同会議 ・理事会及び学科主任等代表者会報告	千代田区富士見区民館
7月21日(水) ~29日(木)	「産業技術・情報技術等に関する指導者の養成を目的とした講習」 ・介護技術に関する講義と演習	日本福祉教育専門学校 (東京都豊島区高田)
7月26日(月) ~30日(金)	「産業技術・情報技術等に関する指導者の養成を目的とした講習」 ・社会福祉援助技術に関する講義と演習	
10月27日(水)	第2回 理事会 第2回 学科主任等代表者会議	会場：徳島県立小松島西高等学校・徳島県教育会館 徳島県郷土文化会館 講師：同志社大学教授 黒木 保博 氏
10月28日(木)	徳島大会 第1日 (基調講演・公開授業等)	
10月29日(金)	徳島大会 第2日 (講演会・総会・研究協議会等)	
10月29日(金) ~31日(日)	第14回全国産業教育フェア広島大会 (岡山県立倉敷中央高校・山口県立久賀高校・大分県立野津高校)	広島県総合体育館他
1月 8日(土) ~ 9日(日)	第6回 福祉教育研修講座 (旧ソーシャルワーク実践教育研修講座)	日本女子大学目白キャンパス
3月25日(金)	徳島大会報告書の刊行	800部 各校2部配布

- ・ 広 報 : 「福祉系高校ニュース」発行 (HP)
- ・ 研 修 : 「社会福祉演習指導参考ノート」発行
- ・ 調査統計 : 「平成16年度 全国福祉系高等学校福祉教育実態基礎調査 (卒業生の就業調査及び第17回介護福祉士国家試験受験状況調査)」

平成16年度
全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会会計決算書

収入額 1,709,145円
支出額 1,232,235円
残 額 476,910円

1 収入の部 (単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	摘 要
会 費	1,025,000	1,050,000	25,000	年会費 5,000円×210校
繰 越 金	494,136	494,136	0	
雑 収 入	864	165,009	164,145	広告料 5,000円×33件+利息 9円
合 計	1,520,000	1,709,145	189,145	

2 支出の部 (単位:円)

	科 目	予 算 額	決 算 額	残 額	摘 要
総務費	会 議 費	70,000	6,505	63,495	第1回理事会費
	印 刷 費	10,000	0	10,000	
	旅 費	100,000	130,570	▲ 30,570	事務局一人分総会旅費及び会長旅費等
	通 信 費	400,000	355,216	44,784	電話代・郵送料等
	小 計	580,000	492,291	87,709	
事業費	報 告 書 印 刷 費	400,000	462,000	▲ 62,000	A4版 800部
	総 会 補 助 費	150,000	150,840	▲ 840	840円は振込手数料
	広 報 部 補 助 費	50,000	15,972	34,028	
	調 査 統 計 部 補 助 費	50,000	11,445	38,555	
	研 修 部 補 助 費	100,000	8,660	91,340	演習指導書代は来年度予算より支出
	10周年記念事業費	60,000	42,762	17,238	賞状・額・記念品等
	雑 費	100,000	48,265	51,735	封筒印刷・事務用品代等
小 計	910,000	739,944	170,056		
	予 備 費	30,000	0	30,000	
	合 計	1,520,000	1,232,235	287,765	

(▲は超過)

本会計は、決算報告書のとおり正確かつ適正に処理されたことを認めましたので、ここに報告いたします。

平成17年 〳月 〵日


全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会

監 事

千葉県立東金高等学校長

古山 

前日本女子体育大学体育学部附属二階堂高等学校長

氏家 

平成17年度事業計画（案）

全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会

期 日	活 動 内 容	備 考
5月27日（金） 10:00～12:00	<p>第1回理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度事業計画・決算報告 ・平成17年度事業計画案・予算案 ・平成17・18年度全国産業教育フェアについて ・徳島大会・三重大会について ・独立について ・役員選出について <p>第1回学科主任等代表者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度学科主任等代表者組織について ・代表者組織の活動について ・研究協議会分科会について <p>理事・学科主任等代表者合同会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会及び学科主任等代表者会報告 	千代田区富士見区民館
7月25日（月） ～29日（金）	<p>「産業技術・情報技術等に関する指導者の養成を目的とした講習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護技術に関する講義と演習 	京都女子大学
7月25日（月） ～28日（木）	<p>「産業技術・情報技術等に関する指導者の養成を目的とした講習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉援助技術に関する講義と演習 	ルーテル学院大学
8月 9日（火）	三重大会 第1日 （第2回理事会・学科主任等代表者会議・基調講演・研究協議会等）	主管校:三重県立明野高等学校
8月10日（水）	三重大会 第2日 （地区別会議・全体報告会等）	
11月26日（土） ～27日（日）	第15回全国産業教育フェア東京大会 （埼玉県立不動岡誠和高校・千葉県立松戸矢切高校・栃木県立田沼高校他）	日本科学未来館
1月上旬	第7回 福祉教育研修講座 （旧ソーシャルワーク実践教育研修講座）	未定
3月下旬	三重大会報告書の刊行	800部 各校2部配布

平成17年度
全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会会計予算（案）

収入総額 1,750,000 円

支出総額 1,750,000 円

1. 収入の部（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減額	備 考
会 費	1,050,000	1,025,000	25,000	会費5,000円×210校
繰 越 金	476,910	494,136	▲ 17,226	
雑 収 入	223,090	864	222,226	広告料(10,000円×22件)及び預金利息等
合 計	1,750,000	1,520,000	230,000	

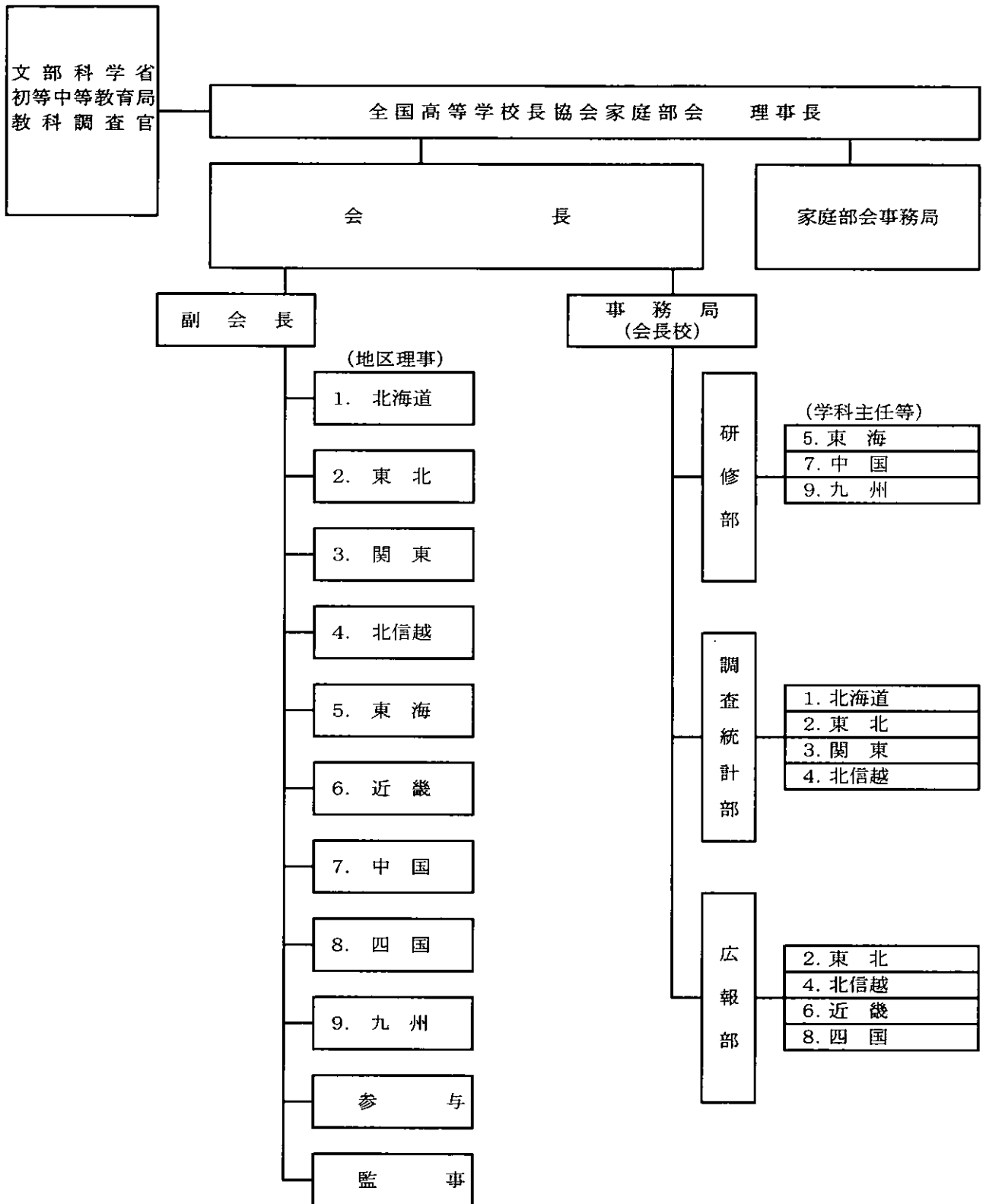
(▲は減額)

2. 支出の部（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減額	摘 要	
総 務 費	会 議 費	20,000	70,000	▲ 50,000	理事会会場費等
	印 刷 費	10,000	10,000	0	
	旅 費	320,000	100,000	220,000	事務局一人分総会旅費及び会長旅費等
	通 信 費	400,000	400,000	0	電話代・郵送費等
	小 計	750,000	580,000	170,000	
事 業 費	報告書印刷費	470,000	400,000	70,000	A4版800部
	総会補助費	100,000	150,000	▲ 50,000	
	広報部補助費	30,000	50,000	▲ 20,000	
	調査統計部補助費	30,000	50,000	▲ 20,000	
	研修部補助費	180,000	100,000	80,000	演習指導書250部その他
	全国産業教育フェア補助費	100,000	0	100,000	参加生徒旅費及び作品送料等
	福祉教育功労者表彰	10,000	60,000	▲ 50,000	賞状及び記念品代等(1名)
	雑 費	50,000	100,000	▲ 50,000	封筒印刷・事務用品代
小 計	970,000	910,000	60,000		
予 備 費	30,000	30,000	0		
合 計	1,750,000	1,520,000	230,000		

(▲は減額)

平成17年度 組織図



平成17年度 加盟校

地区別・都道府県別数

地区	都道府県	小計	合計
1. 北海道	北海道	7	7
2. 東北	青森	5	27
	岩手	7	
	宮城	3	
	秋田	5	
	山形	3	
	福島	4	
3. 関東	茨城	3	33
	栃木	3	
	群馬	11	
	埼玉	2	
	千葉	4	
	東京	3	
	神奈川	7	
4. 北信越	新潟	5	20
	富山	5	
	石川	3	
	福井	2	
	山梨	4	
	長野	1	
5. 東海	岐阜	4	24
	静岡	8	
	愛知	6	
	三重	6	

地区	都道府県	小計	合計
6. 近畿	滋賀	4	19
	京都	2	
	大阪	4	
	兵庫	6	
	奈良	2	
	和歌山	1	
7. 中国	鳥取	1	20
	島根	5	
	岡山	7	
	広島	3	
8. 四国	山口	4	14
	徳島	3	
	香川	3	
	愛媛	5	
	高知	3	
9. 九州	福岡	13	61
	佐賀	5	
	長崎	3	
	熊本	9	
	大分	10	
	宮崎	6	
	鹿児島	12	
沖縄	3		
合計			225

過去12年の推移

	1. 北海道	2. 東北	3. 関東	4. 北信越	5. 東海	6. 近畿	7. 中国	8. 四国	9. 九州	全国
平成6年度	4	13	12	4	5	6	7	2	13	66
平成7年度	4	12	13	6	5	7	9	2	16	74
平成8年度	4	17	14	10	6	9	11	5	22	98
平成9年度	5	18	15	13	7	10	13	5	25	111
平成10年度	5	20	15	7	12	11	18	9	30	127
平成11年度	5	21	21	10	14	10	17	9	35	142
平成12年度	5	24	21	13	16	11	18	10	44	162
平成13年度	5	25	22	5	16	17	19	10	50	169
平成14年度	5	26	29	15	20	17	18	10	50	190
平成15年度	5	26	33	15	23	18	17	12	56	205
平成16年度	6	25	32	17	21	18	19	14	58	210
平成17年度	7	27	33	20	24	19	20	14	61	225

平成17年度 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 役員

地区	No.	氏名	公私	学 校 名	TEL
				住 所	FAX
文部科学省初等中等 教育局教科調査官		矢幅 清司	-	東京都千代田区丸の内2-5-1 7F	03-3519-8718
					03-3519-8729
全国高等学校長協会 家庭部会理事長		今成 昭	公	東京都立白鷗高等学校	03-3843-5678
				東京都台東区元浅草1-6-22	03-3841-6925
全国高等学校長協会 家庭部会事務局長		小島 和雄	-	東京都千代田区富士見1-5-6	03-3261-0617
					03-3288-1670

地区	No.	氏名	公私	学 校 名	TEL
				住 所	FAX
会 長		高橋 福太郎	私	東奥学園高等学校	017-775-2121
				青森県青森市勝田2-11-1	017-775-2137
1. 北海道	1	山田 英二	公	釧路市立釧路星園高等学校	0154-46-1538
				北海道釧路市武佐4-28-10	0154-46-1941
2. 東 北	2	工藤 元博	公	北秋田市立合川高等学校	0186-78-3177
				秋田県北秋田市下杉字中島54-2	0186-78-3178
3. 関 東	4	安田 健 (副会長)	公	東京都立野津田高等学校	042-734-2311
				東京都町田市野津田2001	042-734-9388
4. 北信越	5	鈴木 桂一	公	山梨県立富士北稜高等学校	0555-22-4161
				山梨県富士吉田市新西原1-23-1	0555-30-0173
5. 東 海	6	松久 聡	公	岐阜県立坂下高等学校	0573-75-2163
				岐阜県中津川市坂下624-1	0573-75-4011
6. 近 畿	9	奥田 弥進夫	私	福知山淑徳高等学校	0773-22-3763
				京都府福知山市正明寺36-10	0773-23-5519
7. 中 国	10	中根 公郎	公	岡山県立倉敷中央高等学校	086-465-2559
				岡山県倉敷市西富井1384	086-466-2832
8. 四 国	11	大宮 健吉	公	高知県立室戸高等学校	0887-22-1155
				高知県室戸市室津221	0887-22-3891
9. 九州・沖縄	12	井手 正博	公	佐賀県立鹿島実業高等学校	0954-63-3126
				佐賀県鹿島市高津原539	0954-63-9007
監 事		高橋 昭子	公	長崎県立大村城南高等学校	0957-54-3121
				長崎県大村市久原1-416	0957-27-3056
事務局		小川 義光(事務局長)	私	東奥学園高等学校	017-775-2121
				青森県青森市勝田2-11-1	017-775-2137
事務局		工藤 貴子	公	岩手県立久慈東高等学校	0194-53-4371
				岩手県久慈市門前36-10	0194-53-2540

平成17年度
学科主任等代表者 組織分担表

事務局：小川 義光・工藤 貴子（東奥学園高等学校）

	地区	氏名	公私	学 校 名	TEL
				住 所	FAX
授業・指導書研究 1 研修部	9.九州	校長部会 井手 正博	公	佐賀県立鹿島実業高等学校	0954-63-3126
				佐賀県鹿島市高津原539	0954-63-9007
	9.九州	◎井上 千秋	公	佐賀県立鹿島実業高等学校	0954-63-3126
				佐賀県鹿島市高津原539	0954-63-9007
	5.東海	○岩田 知子	公	岐阜県立坂下高等学校	0573-75-2163
				岐阜県中津川市坂下624-1	0573-75-4011
	5.東海	坂井 美恵子	公	愛知県立古知野高等学校	0587-56-2508
				愛知県江南市古知野町高瀬1	0587-53-0989
	7.中国	浅野 純子	公	岡山県立倉敷中央高等学校	086-465-2559
				岡山県倉敷市西富井1384	086-466-2832
9.九州	下田かおる	公	長崎県立大村城南高等学校	0957-54-3121	
			長崎県大村市久原1-416	0957-27-3056	
全国基礎調査 2 調査統計部	2.東北	校長部会 市川 淳一	公	福島県立光南高等学校	0248-42-2205
				福島県西白河郡矢吹町田町532	0248-44-3373
	2.東北	◎大久保 義行	公	福島県立光南高等学校	0248-42-2205
				福島県西白河郡矢吹町田町532	0248-44-3373
	1.北海道	○前田 信治	公	北海道立置戸高等学校	0157-52-3263
				北海道常呂郡置戸町字置戸256-8	0157-52-3263
	3.関東	小山 哲広	公	東京都立野津田高等学校	042-734-2311
				東京都町田市野津田2001	042-734-9388
4.北信越	水元 敏博	私	啓新高等学校	0776-23-3489	
			福井県福井市文京4-15-1	0776-21-2922	
各校の近況・福祉情報 3 広報部	6.近畿	校長部会 奥田 弥進夫	私	福知山淑徳高等学校	0773-22-3763
				京都府福知山市正明寺36-10	0773-23-5519
	6.近畿	◎松井 儀幸	私	福知山淑徳高等学校	0773-22-3763
				京都府福知山市正明寺36-10	0773-23-5519
	4.北信越	○外川 真美	公	山梨県立富士北稜高等学校	0555-22-4161
				山梨県富士吉田市新西原1-23-1	0555-30-0173
	2.東北	穴倉 博明	公	北秋田市立合川高等学校	0186-78-3177
				秋田県北秋田市下杉字中島54-2	0186-78-3178
	8.四国	別役 千世	公	高知県立室戸高等学校	0887-22-1155
				高知県室戸市室津221	0887-22-3891

平成10年5月28日・全国福祉科学科主任代表者会議での確認事項

- (1) 学科主任代表者会議の中で分担する。
- (2) 担当者が異動となっても、担当校として遂行する。
- (3) 平成9年福井大会で、学科主任代表者会活動費が措置されたが、会議における出張等の費用は、各該当校で配慮をする。

**総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会
会場地区一覧**

ブロック		北海道 東北	関東 北信越	東海 近畿	中国 四国	九州
回	年度					
1	平成 7年度			静岡・ 三島高校		
2	平成 8年度	北海道・ 釧路星園高校				
3	平成 9年度		福井・ 大野東高校			
4	平成10年度					宮崎・ 門川農高校
5	平成11年度				岡山・ ベル学園高校	
6	平成12年度			兵庫・ 新宮高校		
7	平成13年度	岩手・ 一関第二高校				
8	平成14年度		茨城・ 古河第二高校			
9	平成15年度					大分・ 野津高校
10	平成16年度				徳島・ 小松島西高校	
11	平成17年度			三重・ 明野高校		
12	平成18年度	青森・ 東奥学園高校				
13	平成19年度		石川・ 田鶴浜高校			
14	平成20年度					○
15	平成21年度				○	
16	平成22年度			○		

総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会分科会分担一覧

地区		1	2	3	4	5	6	7	8	9
回	年度	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
1	平成7年度			千葉・松戸矢切高	石川・田鶴浜高	静岡・三島高		岡山・岡山女子高		
2	平成8年度	北海道・釧路星園高	青森・東奥学園高 岩手・一戸高							
3	平成9年度			千葉・松戸矢切高 神奈川・高浜高	石川・金沢伏見高			岡山・美作高 山口・久賀高		福岡・杉森女子高
4	平成10年度			茨城・八千代高 栃木・真岡北陵高		静岡・静岡女子高				沖縄・陽明高
5	平成11年度		山形・山辺高	千葉・御宿高		愛知・高浜高	京都・福知山 淑徳高			
6	平成12年度		①青森・七戸高 ②福島・光南高	②茨城・古河第二高 ③埼玉・不動岡誠和高		④三重・上野商高	①兵庫・日高		③愛媛・北条高	④鹿児島・加治木女子高
7	平成13年度	①北海道・置戸高	②岩手・西和賀高		③新潟・八海高	④愛知・古知野高				
8	平成14年度			①神奈川・市立川崎高			②和歌山・有田中央高	③岡山・倉敷中央高、 美作高 広島・吉田高		④宮崎・高原高
9	平成15年度	④北海道・函館大妻高	③秋田・合川高		②新潟・西川竹園高					①熊本・阿蘇清峰高
10	平成16年度			②群馬・新田暁高		③岐阜・大垣桜高	④滋賀・長浜高		①香川・尽誠学園高	
11	平成17年度		①宮城・村田高			①静岡・吉田高		②広島・黒瀬高		③大分・野津高
12	平成18年度	①			④		③		②	
13	平成19年度		④	①		②		③		
14	平成20年度	③			④		②			①

*分科会のテーマは次の4つとする。

①授業研究(主管地区校が担当する) ②現場実習 ③資格取得 ④進路指導

*分科会のテーマは持続性を有するものとする。

平成17年度 社会福祉関連の研修紹介

No.	研修名	会場	期日	主催者	問い合わせ先
1	高等学校福祉教育実践研究会	各ブロックによる		福祉科校長会 ブロック担当	〒030-0821 青森県青森市勝田2-11-1 東奥学園高等学校内 tel:017-775-2121 fax:017-775-2137
2	新産業技術等指導者養成研修 H-1:介護技術に関する講義と実習 H-2:社会福祉援助技術に関する講義と実習	[H-1] 京都女子大学	H17. 7. 25 ～ 7. 30	教員研修センター	〒160-0012 東京都新宿区南元町23 tel:03-5379-6730 fax:03-5379-6727 http://www.nctd.go.jp/ 〒030-0821 青森県青森市勝田2-11-1 東奥学園高等学校内 tel:017-775-2121 fax:017-775-2137
		[H-2] ルーテル学院大学	H17. 7. 25 ～ 7. 29	福祉科校長会	
3	第35回全国社会福祉教育セミナー	文京学院大学本郷キャンパス(予定)	H17. 10. 29 ～ 10. 30	日本社会福祉教育学校連盟	〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館501 tel:03-5366-5964 fax:03-5366-5965 http://www.jassw.jp/ e-mail:info@jassw.jp
4	第7回福祉教育研修講座	東京都内を予定	H18. 1. 7 ～ 1. 8		
5	日本社会福祉学会 第53回大会	東北福祉大学	H17. 10. 8 ～ 1. 9	日本社会福祉学会事務局	〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館501 tel:03-3356-7824 fax:03-3358-2204 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssw/ e-mail:jsssw@jt2.so-net.ne.jp
6	日本地域福祉学会 第20回大会	長崎国際大学	H18. 6. 10 ～ 6. 11	日本地域福祉学会事務局	〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館501 tel:03-5363-1518 fax:03-5356-1519 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jracd/ e-mail:chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp
7	日本福祉教育・ボランティア学習学会 第11回大会	神戸大学	H17. 11. 25 ～ 11. 27	日本福祉教育・ボランティア学習学会事務局	〒160-003 東京都新宿区本塩町21 広瀬ビル7F 日本地域福祉研究所内 tel:03-3355-2473 fax:03-3355-2330 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaassl/ e-mail:jaasesl@mbp.nifty.com
8	日本介護学会 第3回大会	グランシップ (静岡コンベンションアーツセンター)	H17. 12. 11	日本介護学会事務局	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3F 社団法人日本介護福祉士会内 tel:03-3507-0784 fax:03-3507-8810 http://www.jaccw.or.jp/ e-mail:webmaster@jaccw.or.jp

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会

規 約

平成 7 年 10 月 12 日施行

平成 10 年 7 月 23 日改正

平成 11 年 10 月 21 日改正

平成 14 年 10 月 31 日改正

平成 15 年 10 月 30 日改正

(総 則)

第 1 条 本会は全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会と称する。

第 2 条 本会は全国高等学校長協会家庭部会の研究協議機関として、福祉教育の振興を図ることを目的とする。

(組 織)

第 3 条 本会は全国の福祉科（福祉科に準ずる）を置く高等学校の校長で組織する。

第 4 条 本会は次の地区を設ける。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 北海道地区 | 6. 近畿地区 |
| 2. 東北地区 | 7. 中国地区 |
| 3. 関東地区 | 8. 四国地区 |
| 4. 北信越地区 | 9. 九州地区 |
| 5. 東海地区 | |

(事 業)

第 5 条 本会の目的を達成するために年 1 回の総会・研究協議会を開催するほか、研究活動、広報活動等を行い、また学科主任の連絡、情報交換、研究協議等の事業を行う。

(役 員)

第 6 条 前条の事業を行うために本会に次の役員を置く。

- | | | | |
|--------|--------|--------|-----|
| 1. 会 長 | 1 名 | 4. 監 事 | 2 名 |
| 2. 副会長 | 1 名 | 5. 参 与 | 若干名 |
| 3. 理 事 | 各地区若干名 | | |

第 7 条 役員は理事会を構成し、本会の企画・運営に当たる。

第 8 条 役員を選出方法は次のとおりとする。

1. 理事は各地区ごとに総会で選出する。
2. 会長は理事の互選とする。
3. 監事は会長が委嘱する。
4. 副会長は会長が委嘱し理事を兼ねることができる。
5. 会長所属地区からは、新たに理事を選出できる。
6. 参与は会長が委嘱する。

第 9 条 役員任期は 2 年とする。但し、再任は妨げない。

第 10 条 本会の事務局は会長高等学校に置く。

(会 計)

第 11 条 本会の経費は会員の会費で支弁する。

会費は年額 5,000 円とする。

(附 則)

この規約は平成 7 年 10 月 12 日から施行する。

表彰規程について

1 表彰規程について（旧）

- (1) 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会に所属した者。
- (2) 福祉科高等学校長会会長。
- (3) 福祉教育の発展に功績顕著であった者。
- (4) 被表彰者は理事会で審議する。

1 表彰規程について（新）

被表彰者

- (1) 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会に所属した者。
- (2) 福祉科高等学校長会会長。
- (3) 福祉教育の発展に功績顕著であった者。

審議方法

理事より表彰の推薦があった者を理事会で審議する。



平成17年度 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 加盟校リスト

加盟 番号	ブロック	校種	校名	学科名	コース・類等名	郵便番号	住所(都道府県から)	TEL番号	FAX番号	ホームページ	学校長名	主任等名
1	北海道	道	釧路	福祉科	099-1112	北海道常呂郡釧路町字戸戸256-8	0157-52-3263	0157-52-3263	http://www.town.oketo.hokkaido.jp/oketokoukou/index.cfm	小野 章	前田 信治	
2	北海道	道	留寿都	農業福祉科	048-1731	北海道釧路市留寿都179-1	0136-46-3376	0136-46-3386	http://www.phoenix-c.or.jp/~rusutu/	大高 優		
3	北海道	道	釧路昆陽	福祉科	085-0806	北海道釧路市武佐丁目28-10	0154-46-1538	0154-46-1941	http://www.seion-h.kushiro.ed.jp/framepage1.htm	山田 英二		
4	北海道	町	釧路	農業生活科	098-0323	北海道釧路市大平町215	0165-34-2549	0165-34-2694	http://users.eolas-net.ne.jp/kenko/	佐々木 誠治		
5	北海道	私	函館大妻	福祉科	040-0004	北海道函館市柳町14-23	0138-52-1890	0138-52-1892	http://www1.nv.ne.jp/~otsumahi/	外山 茂樹		
6	北海道	市	士別東(定時)	定時制普通科	095-0371	北海道士別市上士別町15線南3	0165-24-2145	0165-24-2622	http://academic1.plala.or.jp/seh	三品 純一	高井 央	
7	北海道	道	石狩翔陽	総合学科	061-3248	北海道石狩市花川東128-31	0133-74-5771	0133-74-8741	http://www.ishikarishoyoh.hokkaido-c.ed.jp/	光永 正己	長尾 勝恵	
8	東北	県	七戸	総合学科	039-2516	青森県上北郡七戸町字福野47-31	0176-62-4111	0176-62-4112	http://www.kamikita.asn.ed.jp/~stichinohe/	高橋 昭子	小野 清英	
9	東北	私	東奥学院	福祉科	030-0821	青森県青森市勝田二丁目11-1	0177-75-2121	0177-75-2137	http://www.infoamori.ne.jp/coogakuen/	高橋 福太郎	小川 義光	
10	東北	私	光星学院	体育福祉科	031-8507	青森県八戸市高台六丁目14-5	0178-33-4151	0178-35-2859	http://www.jomon.ne.jp/~kosei05/	山西 幸子	加藤 康子	
11	東北	県	青森中央	総合学科	030-0847	青森県青森市東大野一丁目22-1	017-739-5135	017-729-3488	http://www.tosei-w.asn.ed.jp/~chuo	本谷 隆司	森 由紀子	
12	東北	県	大湊	総合学科	035-0096	青森県むつ市大湊字大近川44-84	0175-24-1244	0175-24-2680		星 和夫		
13	東北	県	西和賀	普通科	029-5503	岩手県和賀郡湯田町湯田19-25-2	0197-84-2809	0197-84-2844	http://www2.iwate-ed.jp/rwg-h/	菅原 通	笠水上 御正	
14	東北	県	一関第二	福祉教養科	021-0041	岩手県一関市赤赤字野中23-1	0191-25-2242	0191-25-5432	http://www2.iwate-ed.jp/ic2-h/	佐藤 長善	佐藤 貴生	
15	東北	県	久慈東	総合学科	028-0021	岩手県久慈市門前36-10	0194-53-4371	0194-53-2540		高橋 徹秀		
16	東北	県	一戸	福祉科	028-5312	岩手県一戸郡一戸町一戸字壽前60-1	0195-33-3042	0195-33-2861		日山 敏子	阿部 洋子	
17	東北	県	岩谷堂	総合学科	023-1122	岩手県江刺市館山4-47	0197-35-1911	0197-35-1911	http://www2.iwate-ed.jp/iyd-h/	小野寺 宗男	牛崎 秀恵	
18	東北	私	盛岡スコレ	総合学科	020-0851	岩手県盛岡市向中野字才川2-3	019-636-0827	019-636-0830	http://www.schole.jp	舟山 治男	長岡 一恵	
19	東北	私	岩手女子	福祉教養科	020-0825	岩手県盛岡市大沢川原一丁目5-34	019-623-6467	019-652-3327	http://www.iwatejoshi-h.ed.jp/	五十嵐 正	石川 一代	
20	東北	県	村田	総合学科	989-1305	宮城県柴田郡村田町村田字金谷1	0224-83-2275	0224-83-2276	http://www.murata-h.myswan.ne.jp	鈴木 伸一	酒井原 英紀	
21	東北	県	迫坂	福祉教養科	989-5502	宮城県栗原市若柳字川南戸/西184	0222-35-1818	0222-35-1822	http://www.hakuon.myswan.ne.jp/	米室 真也	河野 春子	
22	東北	私	明成	普通科	981-8570	宮城県仙台市青葉区川平2-26-1	022-278-6131	022-277-5130		小島 信弥		
23	東北	県	六郷	福祉科	019-1404	秋田県山形郡美郷町六郷字馬場52	0187-84-1280	0187-84-0040		利部 共平	林 晴子	
24	東北	県	雄勝	普通科	019-0112	秋田県湯沢市下院内字小白岩197-2	0183-52-4355	0183-52-4356	http://www.ogachi-h.akita-c.ed.jp	木村 寛	柴田 英樹子	
25	東北	県	増田	総合学科	019-0701	秋田県平鹿郡増田町増田字一本柳137	0182-45-2073	0182-45-2088	http://www.masuda-h.akita-c.ed.jp/	鳥島 貢		
26	東北	県	湯沢北	生活科学科	012-0823	秋田県湯沢市湯沢原二丁目1-1	0183-73-5168	0183-73-5169	http://www.yutopia.or.jp/~yukitatsu/test1/framepage1.htm	佐々木 敏	菅 美智子	
27	東北	市	合川	介護福祉科	018-4221	秋田県北秋田市下杉字中島54-2	0186-78-3177	0186-78-3178	http://www.kumagera.ne.jp/aikawac/	工藤 元博	六倉 博明	
28	東北	県	山辺	福祉科	990-0301	山形県東村山郡山辺町大字山辺3028	023-664-5462	023-664-5545		五十嵐 義昌	佐藤 鶴芳	
29	東北	県	鶴岡中央	総合学科	997-0017	山形県鶴岡市大至寺字日本国410	0235-25-5724	0235-25-5734	http://www.tsumokachuo-h.ed.jp/	菊地 善教		
30	東北	県	天童	総合学科	994-0021	山形県天童市山元850	023-653-6121	023-653-6188	http://www.tendo-h.ed.jp/	早坂 満		
31	東北	県	光清	総合学科	969-0227	福島県西白河郡矢吹町田町532	0248-42-2205	0248-44-3373	http://www.kobnan-h.fks.ed.jp	市川 浩一	大久保 義行	
32	東北	県	川口	普通科	969-0011	福島県大沼郡金山町川口字姥沢2434-2	0241-54-2154	0241-54-2240		新井田 大		
33	東北	県	船引	普通科	963-4398	福島県田村市船引町船引字石崎15-3	0247-82-1511	0247-82-5233	http://www.funehiki-h.fks.ed.jp	小田 省悟	橋本 雅子	
34	東北	県	小野	総合学科	963-3401	福島県田村郡小野町小野新町字宿後63	0247-72-3171	0247-72-6211	http://www.ono-h.fks.ed.jp/	菊地 和章	鈴木 龍也	

平成17年度 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 加盟校リスト

加盟 番号	ブロック	都道府県	校名	学科名	コース・類等名	郵便番号	住所(都道府県から)	TEL番号	FAX番号	ホームページ	学校長名	主任等名
35	3. 関東	東京都	古河第二	福祉科	306-0024	茨城県古河市幸町19-18	0280-32-0444	0280-31-6602	http://www.koga2-h.ed.jp	菅本 一男	嶋田 拓臣	
36	3. 関東	東京都	八千代	総合学科	300-3561	茨城県結城郡八千代町大字平塚4824-2	0296-48-1836	0296-48-3201	http://www.yachiyo-h.ed.jp/	竹井 茂雄		
37	3. 関東	東京都	大子第二	普通科	319-3521	茨城県大子町北田気662	02957-2-0147	02957-2-1301	http://www.daigo2-h.ed.jp	高久 裕一郎	菊池 久恵	
38	3. 関東	東京都	真岡北陵	教養福祉科	321-4415	栃木県真岡市下藤谷396	0285-82-3415	0285-83-4634		大瀧 英一		
39	3. 関東	東京都	塩谷	社会福祉科	329-2332	栃木県塩谷郡塩谷町大宮2579-1	0287-45-1101	0287-45-0986	http://www.tochigi-c.ed.jp/koukou/highschool/shiyoa/index.htm	小林 邦夫	飯村 節子	
40	3. 関東	東京都	田沼	社会福祉科	327-0312	栃木県佐野市栃本町300-1	0283-62-3411	0283-62-8404	http://www.tanuma-h.ed.jp/	奥中 栄二	鈴木 祥子	
41	3. 関東	東京都	新田曉	総合学科	370-0347	群馬県太田市新田大根町999	0276-57-1056	0276-57-3953		木村 智樹	北澤 明子	
42	3. 関東	東京都	波川菅翠	総合学科	377-0000	群馬県渋川市折原3912-1	0279-24-2320	0279-24-9543	http://www.seisui-hs.gsn.ed.jp	岩岩 健一	名塚 康恵	
43	3. 関東	東京都	大間々	普通科	376-0102	群馬県山田郡大間々町桐原193-1	0277-73-1611	0277-72-4212	http://www.oma-hs.gsn.ed.jp/	鈴木 優		
44	3. 関東	東京都	万壽	普通科	370-1503	群馬県多野郡神流町生利1549-1	0274-57-3119	0274-57-2453	http://www.edu-c.pref.gunma.jp/gakko/kou/manbu/	長尾 悦治	影森 裕子	
45	3. 関東	東京都	太田西女子	家政科	373-0844	群馬県太田市下田島町1243-1	0276-31-0511	0276-31-8921		辻村 好一	冬木 夢登里	
46	3. 関東	東京都	吾妻	福祉科	377-0801	群馬県吾妻郡吾妻町原町192	0279-68-2334	0279-68-2747	http://www.agatsuma-hs.gsn.ed.jp/	藤川 一郎	福原 佐知子	
47	3. 関東	東京都	藤岡北	ホームカ-ビス科	376-0017	群馬県藤岡市藤原90	0274-22-2308	0274-22-6741	http://www.fujikita-hs.gsn.ed.jp	奈良 公太郎	井上 徹	
48	3. 関東	東京都	吉井	総合学科	370-2104	群馬県多野郡吉井町馬庭1478-1	027-388-3511	027-388-2298	http://www.yoshi-hs.gsn.ed.jp	深町 裕	畑野 智佳子	
49	3. 関東	東京都	玉村	福祉選択	370-1134	群馬県佐渡郡玉村町与六分14	0270-65-2309	0270-64-1870	http://www.edu-c.pref.gunma.jp/gakko/kou/tamamura	大橋 秀夫		
50	3. 関東	東京都	桐生第一	家政科	376-0043	群馬県桐生市小曾根町1-5	0277-22-8131	0277-22-4515	http://www.kinichi.ac.jp	高橋 昇	齋藤 順	
51	3. 関東	東京都	高崎経済福祉大学	普通科	370-0033	群馬県高崎市大類町531	027-352-3460	027-353-0855	http://www.tuhw-h.ed.jp	宮川 清	菅柳 博文	
52	3. 関東	東京都	不動岡誠和	社会福祉科	348-0024	埼玉県羽生市大字神戸706	048-561-6651	048-560-1051	http://www.seiwa-h.specc.ed.jp/	大塚 尊司	塚原 昌代	
53	3. 関東	東京都	彰葉学園	普通科	345-0015	埼玉県北葛飾郡杉下町並塚1642	0480-38-1810	0480-38-2976	http://www.shokagaku.ac.jp	遠藤 あき	益田 和文	
54	3. 関東	東京都	松戸矢切	福祉教養科	271-0075	千葉県松戸市中央切54	047-368-4741	047-368-4396	http://www.pref.chiba.jp/kyouiku/tischool/056/index.html	火竹 頼之	鈴木 義太	
55	3. 関東	東京都	勝浦若潮	普通科	299-5102	千葉県夷隅郡御宿町久保1528	0470-68-2911	0470-68-6886		東 得通	峰島 文乃	
56	3. 関東	東京都	船橋豊富	普通科	274-0053	千葉県船橋市豊富町656-8	047-457-5200	047-457-7576		上野 孝裕	森崎 正明	
57	3. 関東	東京都	植草学園文化女子 学 体育学	普通科	260-8601	千葉県千葉市中央区弁天二丁目8-9	043-252-3551	043-256-9501	http://bunka.uokusa.ac.jp	植草 昭		
58	3. 関東	東京都	日本女子体育大学 体育学	普通科	156-0043	東京都世田谷区松原二丁目17-22	03-3322-9151	03-3327-6164	http://www.nhk-gaku.ac.jp/n-gaku	植草 昭	横田 佳英子	
59	3. 関東	東京都	野津田	普通科	195-0063	東京都町田市野津田町2001	042-734-2311	042-734-2311	http://www.nhkaido-koukou.com/	横田 佳英子		
60	3. 関東	東京都	日本放送協会学園	専攻科	186-8001	東京都国立市富士見台2-36	042-572-3151	042-574-3559	http://www.nhk-gaku.ac.jp/n-gaku	安田 健	小山 智広	
61	3. 関東	東京都	綾瀬西	普通科	252-1123	神奈川県綾瀬市早川1485-1	0467-77-5121	0467-76-8199	http://www.02.sonathe.jp/ayanishi/	鈴木 理	伊藤 由紀子	
62	3. 関東	東京都	高浜	普通科	254-0805	神奈川県平塚市高浜台8-1	0463-21-0418	0463-23-7138	http://www.sch-net.ne.jp/takuhama/	伊藤 伸子		
63	3. 関東	東京都	市川崎	福祉科	210-0806	神奈川県川崎市川崎区中島3-3-1	044-244-4981	044-211-8295		高橋 裕之	吉田 昌弘	
64	3. 関東	東京都	津久井	普通科	220-0209	神奈川県津久井郡津久井町三ヶ木272-1	042-784-1053	042-784-7368	http://www.tsukui-h.pen-kanagawa.ed.jp/	山本 裕	菅原 祥子	
65	3. 関東	東京都	横濱裕風	普通科	240-0023	神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町447	045-731-4361	045-716-0202	http://www.y-seifu.ac.jp/	安達 真哉	安田 節子	
66	3. 関東	東京都	二反川看護福祉	福祉科	241-0815	神奈川県横浜市旭区中尾一丁目5-1	045-391-6165	045-361-9777	http://www.futamatagawa-h.pen-kanagawa.ed.jp/	細谷 俊一	佐坂 和子	
67	3. 関東	東京都	白鷺女子	普通科	230-0074	神奈川県横浜市中区見沼北区寺尾四丁目10-13	045-581-6721	045-571-3372	http://www.hakuhogoshi-h.ed.jp	大橋 巖	梅本 知里	
68	4. 北信越	東京都	八幡	福祉科	949-6632	新潟県南魚沼市糸川1276	025-772-3281	025-772-8878	http://www.hakkai-h.nein.ed.jp	又田 道夫		

平成17年度 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 加盟校リスト

加盟 番号	ブロック	都道府県	学校名	学科名	コース・類型	郵便番号	住所(都道府県から)	TEL.番号	FAX番号	ホームページ	学校長名	主任等名
69	4.	北信越	高田北城	生活文化科	福祉コース	943-8525	新潟県上越市北城町二丁目8-1	025-522-1164	025-526-1579	http://www.kitasiro.jome.ed.jp	田中 肇一	
70	4.	北信越	新井	総合学科	福祉系列	944-0031	新潟県妙高市町田一丁目10-1	0255-72-4151	0255-72-7529	http://www.ngt-arai-h.ed.jp/	横山 邦夫	桃井 隆榮
71	4.	北信越	西川竹園	生活文化科	福祉教養コース	950-8570	新潟県新潟市越後2-1	0256-88-3131	0256-88-5208	http://www.nishikawatzen-h.nein.ed.jp/	齋藤 肇夫	
72	4.	北信越	中越	普通科	福祉系	940-8585	新潟県長岡市新保町1371-1	0258-24-0203	0258-24-0205	http://www.chuotsu-h.ed.jp/	神主 式二	上野 香織
73	4.	北信越	八尾	普通科	福祉コース	939-2376	富山県富山市八尾町福島213	076-454-2205	076-454-5999		長谷川 充	鮫治 京子
74	4.	北信越	とがみ野	総合福祉科		932-0114	富山県小矢部市清水95-1	0766-61-2040	0766-61-8255	http://www.tonamino-h.tym.ed.jp	向田 永真	
75	4.	北信越	有磯	生活福祉科		935-0025	富山県氷見市鞆川1056	0766-74-0228	0766-74-0827	http://www.tym.ed.jp/sc358/	田中 泰男	長井 ひとみ
76	4.	北信越	新川みどり野	福祉教養科		937-0011	富山県魚津市水新144	0765-22-3535	0765-22-2119	http://www.midorino-h.tym.ed.jp	平内 好子	稲場 恵子
77	4.	北信越	南砺総合・井夜	福祉科		932-0226	富山県南砺市北川166-1	0763-82-0771	0763-82-1318	http://www.inami-h.tym.ed.jp	平木 文子	奥田 順子
78	4.	北信越	金沢伏見	普通科	人間福祉コース	921-8163	石川県金沢市米桑町5-85	076-242-6175	076-242-7458		加藤 茂芳	
79	4.	北信越	田鶴浜	健康福祉科		929-2195	石川県七尾市上野ヶ丘町59	0767-68-3116	0767-68-2351	http://www.ishikawa-c.ed.jp/~taturh/	高 一男	今井 和代
80	4.	北信越	能登菅翔	総合学科	介護福祉系列	928-0331	石川県鳳鳴郡能登町字佛田4部3	0768-76-1211	0768-76-0079	http://www.ishikawa-c.ed.jp/~seishh/	宮本 順郎	池田 麻衣
81	4.	北信越	大野東	福祉教養科		912-0016	福井県大野市友江9-10	0779-66-4610	0779-66-5577	http://www.oonohigashi-h.ed.jp	浅野 清英	
82	4.	北信越	私 啓新	福祉科		910-0017	福井県福井市文京4-15-1	0776-23-3489	0776-21-2922	http://www.keishinn.ed.jp	荻原 芳昭	
83	4.	北信越	甲府城西	総合学科	福祉生活科学系列	400-0064	山梨県甲府市下飯田1-9-1	055-223-3101	055-223-3103	http://www.kai.ed.jp/yosaih/	古居 孝徳	古居 由起
84	4.	北信越	甲府協田	介護福祉科		400-0867	山梨県甲府市青沼3-10-1	055-233-0127	055-233-0129	http://www.ito-gakuen.ed.jp	伊藤 信	菊嶋 良江
85	4.	北信越	富士北陵	総合学科	福祉健康系列	400-0017	山梨県富士吉田市西原1-23-1	0555-22-4161	0555-30-0173	http://fujihokuryo.ed.jp/	鈴木 桂一	外川 真美
86	4.	北信越	北杜	総合学科	福祉健康系列	408-0023	山梨県北杜市長坂町岩沢1007-19	0551-20-4025	0551-32-3194		坂本 仁	九茂 立子
87	4.	北信越	上田千曲	生活福祉科		386-8585	長野県上田市中之条626	0268-22-7070	0268-23-5370	http://www.raagano-c.ed.jp/chikuma/	飯島 彦太郎	横沢 祥子
88	5.	東海	大垣桜	福祉科		501-0103	岐阜県安八郡豊原町上海465-1	0584-62-6131	0584-62-5608	http://school.gifu-net.ed.jp/ogksakura-hs/	横山 仁美	渡辺 美智子
89	5.	東海	坂下	福祉ライフ科		509-9232	岐阜県中津川市坂下624-1	0573-75-2163	0573-75-4011	http://school.gifu-net.ed.jp/sakasita-hs/	松久 聡	岩田 知子
90	5.	東海	瑞浪	生活福祉科		509-6196	岐阜県瑞浪市土岐町7942	0572-68-4161	0572-67-1988	http://school.gifu-net.ed.jp/mizunami-hs/	村居 一也	遠藤 浩代
91	5.	東海	飛騨高山	健康福祉科		506-0052	岐阜県高山市下岡本町2000-30	0577-32-5320	0577-32-5321	http://school.gifu-net.ed.jp/hakayama-hs/	井上 陸	松本 清子
92	5.	東海	吉田	福祉科		421-0303	静岡県榛原郡吉田町片岡2130	0548-32-1241	0548-32-7831		江間 秀明	福嶋 みちる
93	5.	東海	熱海	普通科	福祉類型	413-0102	静岡県熱海市下多賀字向山1484-22	0557-68-3291	0557-68-1854	http://www.izu.co.jp/~atamih/	青木 敏	那須 のぞみ
94	5.	東海	磐田北	福祉科		438-0086	静岡県磐田市見付2031-2	0538-32-2181	0538-32-8354		太田 恒義	伏見 博英
95	5.	東海	富士宮東	福祉科		418-0022	静岡県富士宮市小泉1234	0544-26-4177	0544-26-0007	http://www.shizuoka-c.ed.jp/tujinomiyahigashi-h/	高田 聡	船津 倫子
96	5.	東海	三島	福祉科		411-0944	静岡県駿東郡長泉町竹原354	055-975-0080	055-976-0735	http://www2.tokai.or.jp/mishinakoko/	渡邊 敏	栗田 淳子 鈴木 祥子
97	5.	東海	静岡女子	福祉科		422-8076	静岡県静岡市駿河区八幡3-6-1	054-285-2274	054-282-2757		坂本 英文	太田 久巳子
98	5.	東海	沼津中央	普通科	人間福祉コース	410-0033	静岡県沼津市杉崎町11-20	055-921-0346	055-924-7158	http://www.n-chuo.ac.jp	桐山 敏雄	
99	5.	東海	芥田学園	福祉科・普通科	福祉コース	430-0851	静岡県浜松市向宿二丁目20-1	053-461-7356	053-461-7559	http://www.orange.ne.jp/~akuta/	丸尾 雅史	藤本 信浩
100	5.	東海	高浜	福祉科		444-1311	愛知県高浜市本郷町1-6-1	0566-52-2100	0566-52-7059	http://www.takahama-h.aichi-c.ed.jp/	江坂 栄子	神谷 千尋
101	5.	東海	宝蔵	生活福祉科		441-1205	愛知県宝蔵郡一宮町大木字瀧水445	0533-93-2041	0533-93-2826	http://www.horyo-h.aichi-c.ed.jp	細井 政雄	原田 喜子
102	5.	東海	古知野	福祉科		483-8331	愛知県江南市古知野町高瀬1	0587-56-2508	0587-53-0989	http://www.kochino-h.aichi-c.ed.jp/	伊藤 久夫	坂井 美恵子

平成17年度 全国高等学校校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 加盟校リスト

加盟番号	ブロック	種別	校名	学科名	コース・類等名	郵便番号	住所(都道府県中心)	TEL番号	FAX番号	ホームページ	学校長名	主任等名
103	5. 東海	県	桃陵	生活福祉科		474-0025	愛知県大府市中央町5丁目15	0562-46-5351	0562-44-0656	http://www.toryo-h.aichi-c.ed.jp	岩間 博	松浦 真子
104	5. 東海	県	梅翔	福祉科		490-1401	愛知県海部郡十四山村六條新田字大崎22	0567-52-3061	0567-52-3710	http://www.kainan-h.aichi-c.ed.jp	田中 基夫	神野 孝司
105	5. 東海	市	西陵	総合学科	介護福祉系列	451-0086	愛知県名古屋市中区西区児玉二丁目20-65	052-521-5551	052-522-2371	http://www.seiryu.ed.jp	岡田 修	小林 厚子
106	5. 東海	県	明野	福祉科		519-0501	三重県度会郡小俣町明野1481	0596-37-4125	0596-37-4127	http://www.mie-c.ed.jp/hakono/	横山 政巳	西嶋 芳子
107	5. 東海	県	上野商業	福祉科	社会福祉系列	510-0833	三重県伊賀市緑ヶ丘東町920	0595-21-1900	0595-21-1923		廣園 久和	
108	5. 東海	県	みえ夢学園	総合学科		514-0803	三重県津市柳山津興1239	059-226-6217	059-226-6218	http://www.mie-c.ed.jp/hmicsy/	小椋 幸志	大袋 昭子
109	5. 東海	県	飯南	総合学科	介護福祉系列	515-1411	三重県松阪市飯南町粥見5480-1	0598-32-4611	0598-32-2204		中谷 文弘	
110	5. 東海	県	いんべ総合学園	総合学科	社会福祉系列	511-0222	三重県いなべ市員弁町御薮632	0594-74-2006	0594-74-4104	http://www.inabe-h.ed.jp/	西陵 博	梅田 仁美
111	5. 東海	県	昂学園	総合学科	介護福祉系列	519-2593	三重県多気郡宮川村茂原48	0598-76-0040	0598-76-0318	http://www.mie-c.ed.jp/hsubar/	竹内 一	草木 千賀
112	6. 近畿	近畿	長浜	福祉科		526-0033	滋賀県長浜市平方町270	0749-62-0896	0749-62-0910	http://www.nagako-h.shiga-cc.ed.jp/	中野 正登	村元 研二
113	6. 近畿	市	守山女子	生活総合科	生活福祉コース	524-0041	滋賀県守山市勝部3-9-1	077-582-2019	077-583-2829	http://cgil.biwa.ne.jp/~morijp01/	小西 義隆	
114	6. 近畿	私	滋賀学園	普通科	福祉コース	527-0003	滋賀県東近江市建部北町520-1	0748-23-0858	0748-23-6145	http://www.newton.ac.jp/	清田 剛	宇佐美 明広
115	6. 近畿	私	綾羽	介護福祉科		525-0025	滋賀県草津市西萩川一丁目18-1	077-563-3435	077-565-5820	http://www.biwa.ne.jp/ayaha-hs	柴原 龍樹	柴原 元則
116	6. 近畿	私	聖カトリック女子	福祉科		622-0002	京都府船井郡園部町美園町1-78	0771-62-0163	0771-63-0969	http://www.catalina-kyoto.ed.jp/	小林 豊	松崎 由香
117	6. 近畿	私	福知山淑徳	総合学科	介護福祉系列	620-0936	京都府福知山市字正明寺36-10	0773-22-3763	0773-23-5519	http://www2.nkansai.ne.jp/sch/shukutoku/	奥田 勇夫	松井 儀彦
118	6. 近畿	府	松原	総合学科	地域福祉系列	580-0041	大阪府松原市三宅東3-4-1	072-334-8008	072-334-8142	http://www.osaka-c.ed.jp/mitsubara/	津田 仁	加納 明彦
119	6. 近畿	府	柴島	総合学科	福祉系列	533-0024	大阪府大阪市東淀川区柴島一丁目7-106	06-6323-8351	06-6323-8237	http://www.osaka-c.ed.jp/kumijima/	池田 謙昭	
120	6. 近畿	私	淀之水	福祉科		554-0011	大阪府大阪市北花区朝日一丁目1-9	06-6461-0091	06-6465-0336	http://yodononizu-h.ed.jp/	鶴巻 泰二	
121	6. 近畿	市	淀商業	福祉科/ケア科		555-0024	大阪府大阪市淀川区野里3-3-15	06-6474-2221	06-6473-9950	http://www.ocae.ne.jp/yodo/index.htm/	笠岡 隆志	草木 健吾
122	6. 近畿	県	日高	福祉科		669-5395	兵庫県豊岡市日高町岩中1	0796-42-1133	0796-42-1648		竹田 秀輝	山崎 由美
123	6. 近畿	県	新宮	福祉科		679-4313	兵庫県掛保郡新宮町新宮27-1	0791-75-0018	0791-75-2549	http://www.hyogo-c.ed.jp/~shingu-hs/	観田 正信	長森 順子
124	6. 近畿	私	神戸第一	家庭科	介護福祉コース	651-0058	兵庫県神戸市中央区算合町寺ヶ谷1	078-242-4811	078-242-5723		片本 進	舟引 京子
125	6. 近畿	私	園田学園	普通科	総合コース(福祉選択)	661-0012	兵庫県尼崎市南塚口町1-24-16	06-6428-2242	06-6428-0201	http://www.sonodagakuen.ed.jp		
126	6. 近畿	私	日本学園	普通科	福祉コース	679-2151	兵庫県神戸市香灘区向洋町中四丁目4	0792-32-5578	0792-32-3420	http://www.hinomoto.ac.jp	高橋 啓一	伊藤 晴美
127	6. 近畿	市	六甲アライント	普通科	生活福祉学系	658-0032	兵庫県神戸市兵庫区向洋町下井足210	0745-82-0525	0745-82-0145	http://www.kobe-c.ed.jp/rki-hs/	桑原 元一	有元 文祐
128	6. 近畿	県	棲生昇陽	福祉科		633-0241	奈良県宇陀郡榛原町下井足210	0743-62-2456	0743-62-2456	http://www.nac-huhs-h.ed.jp 、 http://www.kcn.ne.jp/~yam/kyoyasu/hdara.htm	鈴木 信隆	鈴木 美希
129	6. 近畿	私	天理(第二部)	介護福祉科		632-8585	奈良県天理市柳之内町1260	0737-52-4340	0737-52-6749	http://www.temri-h.ed.jp/2bu/	飯森 成彦	
130	6. 近畿	県	有田中央	総合学科	福祉系列	643-0021	和歌山県有田郡吉備町下津野459	0859-45-0411	0859-45-0413	http://www.aridachuo-h.wakayama-c.ed.jp	堀東 東治	名原 伸子
131	7. 中国	県	境港総合技術	家庭学科福祉科		684-0043	鳥取県境港市竹内町925	0856-22-0642	0856-31-1043	http://www.tonikyo.ed.jp/sakaisogo-h	小田原 利典	
132	7. 中国	県	益田産業	総合学科	生活福祉系列	698-0041	鳥取県益田市高津三丁目21-1	0852-21-6772	0852-21-6796	http://www.shimane-net.ed.jp/sanko/index.htm	大賀 敏郎	坂本 榮子
133	7. 中国	県	松江農林	総合学科	福祉サービスマス系列	690-8507	鳥取県松江府乃木高富町51	0856-22-1052	0856-22-8729	http://www.shimane-net.ed.jp/matsumo/	山田 忠男	
134	7. 中国	私	明誠	福祉科		698-0006	鳥取県益田市三宅町7-37	0852-21-5578	0852-21-1350	http://www.moisei-masuda.ed.jp	吉岡 了司	小林 忠美
135	7. 中国	私	松徳女学院	普通科	福祉系列	690-0015	鳥取県松江市上乃木1-14-51	0853-21-1183	0853-21-1397	http://www.shotoku-h.ed.jp	庄司 肇	
136	7. 中国	私	出雲西	普通科	福祉コース	693-0032	鳥取県出雲市下志町1163			http://www.izumomishikou.jp/	水島 弘明	田原 祐真子

平成17年度 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校校長会 加盟校リスト

加盟 県名	ブロック	学校名	学科名	コース・類等名	郵便番号	住所(都道府県から)	TEL番号	FAX番号	ホームページ	学校長名	主任等名
137	7. 中	国 倉敷中央	福祉科		710-0845	岡山県倉敷市西富井1384	086-465-2559	086-466-2832	http://www.kurachuo.okayama-c.ed.jp/kurach.htm	中根 公郎	浅野 純子
138	7. 中	国 吉備北陵	普通科	社会福祉系	716-1112	岡山県加賀郡吉備中央町湯山1028	0866-54-1033	0866-54-0933	http://www.kibihoku.okayama-c.ed.jp	赤堀 元英	森山 順子
139	7. 中	国 福渡	普通科	生活福祉系	709-3111	岡山県御津郡建部町福渡425	0867-22-0741	0867-22-2380	http://www.hukuwata.okayama-c.ed.jp/hukuwa.htm	浅野 哲郎	野上 寛子
140	7. 中	国 岡山後楽館	総合学科	福祉系列	700-0814	岡山県岡山市天神町9-24	086-226-7100	086-226-7109	http://www.korakukan.city-okayama.ed.jp	仁熊 博行	寺田 真美
141	7. 中	国 私 真作	普通科	介護福祉コース	708-0004	岡山県津山市北500	0868-22-4838	0868-24-6171	http://www.mimasaka.ed.jp	鈴木 昌徳	竹田 吉彦
142	7. 中	国 私 ベール学園	総合福祉科		700-0054	岡山県岡山市下伊福西町7-38	086-252-2101	086-253-0582	http://www.bell-h.ed.jp/	平山 武茂	
143	7. 中	国 私 岡山学芸館	普通科	総合コース(福祉選択)	704-8502	岡山県岡山市西大寺上1-19-19	086-942-3864	086-943-8040	http://www.gakugeikan.ed.jp	森 靖彦	
144	7. 中	国 県 黒瀬	福祉科		724-0622	広島県東広島市黒瀬町乃美尾1	0823-82-2525	0823-82-2527	http://www.kurose-h.hiroshima-c.ed.jp/	池田 由美子	森谷 順子
145	7. 中	国 県 世羅	生活福祉科		722-1193	広島県世羅郡世羅町本郷870	0847-22-1118	0847-22-5244	http://www.sera-h.hiroshima-c.ed.jp	北川 洋一	谷本 喜久子
146	7. 中	国 県 吉田	生活福祉科		731-0501	広島県安芸高田市吉田町吉田719-3	0826-42-0031	0826-42-0207	http://www.yoshida-h.hiroshima-c.ed.jp/	清水 憲昭	亀川 久美
147	7. 中	国 私 誠英	福祉科		747-0813	山口県防府市東三田尻一丁目2-14	0835-38-5252	0835-38-5353	http://www.seiei.ac.jp	吉野 紀生	田邊 元久
148	7. 中	国 県 久賀	福祉科		742-2301	山口県大島郡周防大島町久賀4851-2	0820-72-0024	0820-72-0096		水橋 悦二	
149	7. 中	国 私 中村女子	介護福祉科		753-8530	山口県山口市駒通り1-1-1	083-922-0418	083-922-8063	http://www.y-nakamura.ed.jp/	桂 雄三	岡崎 克子
150	7. 中	国 私 聖光	普通科	社会福祉コース	743-0011	山口県光市光井九丁目22-1	0833-72-1187	0833-72-1308	http://www.seiko-h.ed.jp	藤井 康正	藤井 正彦
151	8. 四	国 県 城西	総合学科	健康福祉系列	770-0046	徳島県徳島市船渡町二丁目1	088-631-5138	088-633-0453	http://www.josei-hs.tokushima-ec.ed.jp	多田 実	原 佐緒理
152	8. 四	国 県 小松島西	福祉科		773-0015	徳島県小松島市中田町字原ノ下28-1	08853-2-0129	08853-2-5462	http://www.komatsushimanishi-hs.tokushima-ec.ed.jp	小倉 正幹	福村 桂子
153	8. 四	国 県 鳴門第一	総合学科	福祉系列	772-0003	徳島県鳴門市撫養町南浜字馬目木58	088-685-1107	088-685-0049	http://www.nf-hs.tokushima-ec.ed.jp/	篠原 道佳	増田 尚子
154	8. 四	国 県 三木	総合学科	福祉系列	761-0702	香川県木田郡三木町平木750	087-891-1100	087-891-1551	http://www.kagawa-edu.jp/mikb01/top.htm	荒井 修二	
155	8. 四	国 県 飯山	総合学科	福祉サービズ系列	762-0083	香川県丸亀市飯山町下法蓮寺664-1	0877-98-2525	0877-98-2576	http://www.kagawa-edu.jp/hanzn01/	斎藤 賢一	北村 文恵
156	8. 四	国 私 尺草学園	福祉科		765-0053	香川県善通寺市生野町855-1	0877-62-1515	0877-62-0586		田山 保信	楠見 寿一郎
157	8. 四	国 県 新居浜南	総合学科	福祉サービズ系列	792-0836	愛媛県新居浜市篠塚町1-32	0897-43-6191	0897-44-7447	http://www.nihamaminami-h.ed.jp/a.htm	宇和上 正	藤田 優子
158	8. 四	国 県 北条	総合学科	生活福祉系列	799-2493	愛媛県松山市北条辻600-1	089-993-0333	089-993-0429	http://ehm-hojo-h.esnet.ed.jp	桐山 聖子	
159	8. 四	国 県 川之石	総合学科	福祉サービズ系列	796-0201	愛媛県八幡浜市保内町川之石1-112	0894-36-0550	0894-36-1994	http://kawanoishi-h.esnet.ed.jp	和田 恒男	渡部 加代子
160	8. 四	国 私 松山城南	福祉科		790-8550	愛媛県松山市北久米町815	089-976-4343	089-976-4348	http://matsuyamajonan-h.ed.jp/	堀地 勝哉	
161	8. 四	国 私 今治明德	普通科	総合福祉コース	794-0861	愛媛県今治市北日吉町一丁目4-47	0898-22-6767	0898-33-2723	http://www.ima-meitoku.ed.jp/meitoku/	白川 見敬	大西 浩一
162	8. 四	国 県 城山	普通科	福祉教養コース	781-5310	高知県香美郡赤岡町1612	0887-55-2126	0887-55-0170	http://www.kochinet.ed.jp/shiroyama-h/	野町 均	野中 昭良
163	8. 四	国 私 高知中央	普通科	福祉・健康コース	781-5103	高知県高知市大津乙324-1	088-866-3166	088-866-1400		前田 正也	杉村 真一
164	8. 四	国 県 室戸	総合学科	生活福祉系列	781-7102	高知県室戸市室津221	0887-22-1155	0887-22-3891	http://www.kochinet.ed.jp/muroto-h	大宮 健吉	別役 千世
165	9. 九	州 県 三井	普通科	福祉教養コース	838-0122	福岡県小郡市松崎650	0942-72-2161	0942-72-9064		仲上 健	
166	9. 九	州 県 久留米筑水	社会福祉科		839-0817	福岡県久留米市山川町1493	0942-43-0461	0942-45-0143		杉森 克彦	柴垣 久美子
167	9. 九	州 県 黒木	普通科	福祉・看護コース	834-1216	福岡県八女郡黒木町桑原10-2	0943-42-1150	0943-42-3791	http://kurogiki.ku.ed.jp/	久保 大	
168	9. 九	州 市 福岡女子	保育福祉科		819-0013	福岡県福岡市西区愛宕浜3-2-2	092-881-7344	092-883-4227		清水 昭男	
169	9. 九	州 私 杉森女子	福祉科		832-0046	福岡県柳川市奥州町3	0944-72-5216	0944-72-5218	http://www.5c.biglobe.ne.jp/~sugimori/	高山 宏樹	田中 裕美
170	9. 九	州 私 慶成	福祉科	介護福祉コース 社会福祉コース	803-0854	福岡県北九州市小倉北区血山町15-1	093-561-1331	093-561-4844	http://www.keisei-h.jp	植木 颯児	中村 卓二

平成17年度 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 加盟校リスト

加盟番号	ブロック	都道府県	校名	学科名	コース・類等名	郵便番号	住所(都道府県から)	TEL.番号	FAX番号	ホームページ	学校長名	主任等名
171	九州	私	神学園	社会総合学科	介護福祉コース	816-0095	福岡県福岡市博多区竹下二丁目1-33	092-431-1868	092-441-3274	http://www.okigakuen.ed.jp/	沖 隆博	奥塚 孝彦
172	九州	私	大和青藍	介護福祉科		822-0025	福岡県直方市日吉町10-12	0949-22-0533	0949-22-0535	http://www.yamato-gakuen.ac.jp	川原 茂彦	
173	九州	私	折尾愛真	普通科	福祉コース	807-0861	福岡県北九州市八幡西区堀川町12-10	093-611-4083	093-692-5690	http://www.ny.airmet.ne.jp/oriyo/	増田 仰	小川 恵子
174	九州	私	福翠	介護福祉科		825-0002	福岡県田川市伊田3934	0947-42-4711	0947-44-7289	http://www.fukuuchi-h.ed.jp/	荒瀬 昭彦	
175	九州	私	久留米学園	総合学科	介護福祉系列	830-0032	福岡県久留米市東町272-4	0942-34-4535	0942-33-5222	http://www.gakuen.ac.jp	小西 清昭	日比 真一
176	九州	私	真福館	総合学科	介護・福祉系列	803-0837	福岡県北九州市小倉北区市井口5-1	093-561-1231	093-591-9595	http://www.shinsokan-h.ed.jp	八秋 巧	奈良 眞佐子
177	九州	県	大川樟風	普通科	福祉系	831-0004	福岡県大川市環津262-3	0944-87-2247	0944-86-6016		萩 八州夫	吉田 朋章
178	九州	県	神崎清明	総合学科	生活福祉系列	842-0012	佐賀県神埼郡神埼町横武2	0952-52-3191	0952-51-1017	http://www3.saga-ed.jp/school/edq10021/	松尾 幸夫	津村 タマキ
179	九州	県	鹿島真菜	生活福祉科		849-1311	佐賀県鹿島市高津原539	0954-63-3126	0954-63-9007	http://www3.saga-ed.jp/school/edq10038/index.htm	井出 正博	井上 千秋
180	九州	県	牛津	生活経営科	生活福祉	849-0303	佐賀県小城市牛津町牛津274	0952-66-1811	0952-51-5008	http://www3.saga-ed.jp/school/edq10009/	千綿 藤司	久掛 豊子
181	九州	県	北陵	生活文化科	介護福祉コース 健康福祉コース	849-0921	佐賀県佐賀市高木瀬西三丁目7-1	0952-30-8676	0952-33-5524	http://www.hokuryo.ac.jp/	久原 政郎	
182	九州	県	多久	総合学科	健康福祉系列	846-0002	佐賀県多久市北多久町大字小待23	0952-75-3191	0952-71-9001	http://www3.saga-ed.jp/school/edq10028/topmenu.htm	山口 聡	南治 玲子
183	九州	県	大村城南	総合学科	福祉生活科	856-0835	長崎県大村市久原一丁目416	0957-54-3121	0957-27-3056	http://academic3.plala.or.jp/johnan-h/	宇田川 映	下田 小おる
184	九州	私	玉木女子	福祉科		850-0822	長崎県長崎市愛宕一丁目21-6	095-826-6321	095-828-6837	http://www.tamaki.ac.jp/koikou/	鬼塚 拓吉	山内 茂樹
185	九州	県	長崎明誠	総合学科		851-3101	長崎県西彼杵郡琴海町西海郷1854	095-884-2543	095-884-3562		島崎 英明	
186	九州	県	八代農芸	福祉教養科		869-4201	熊本県八代郡鏡町鏡村129	0965-52-0076	0965-52-5048		鶴田 慧平	中野 祥子
187	九州	県	多良木	普通科	福祉教養コース	868-0500	熊本県球磨郡多良木町多良木1212	0966-42-2102	0966-49-1022		森 和則	瀬江 博英
188	九州	県	阿蘇清峰	社会福祉科		869-2612	熊本県阿蘇市一の宮宮地4131	0967-22-0045	0967-22-5161	http://www.higo.ed.jp/sh/asosho/	山本 豊	梅井 美保
189	九州	県	甲佐	普通科	福祉教養コース	861-4606	熊本県上益城郡甲佐町横田327	096-234-0041	096-234-4425	http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/sh/kousash	鈴木 幸人	戸田 涼子
190	九州	私	菊池女子	社会福祉科		861-1331	熊本県菊池市殿村1081	0968-25-3032	0968-25-3180	http://www.kikuchijoshi.ac.jp	荒木 元子	徳永 良子
191	九州	私	城北	社会福祉科		861-0598	熊本県山鹿市志々岐798	0968-44-8111	0968-44-0747	http://www.johoku-hs.ed.jp	緒方 孝臣	
192	九州	私	熊本フェリス学院	医療福祉科		861-4106	熊本県熊本市南高江七丁目3-1	096-357-7151	096-358-3044	http://www.fairh.ac.jp	福井 健嗣	吉村 正一
193	九州	私	有明	福祉科		864-0032	熊本県荒尾市増永2200	0968-63-0545	0968-64-1366	http://www2.ocn.ne.jp/~hsariake/	片山 盛雄	村田 太佳子
194	九州	私	芦北	福祉科		869-5431	熊本県芦北郡芦北町乙千屋20-2	0966-82-2034	0966-82-5606	http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/sh/ashikitash/	植山 浩之助	
195	九州	県	山香農芸	生活科学科	福祉コース	879-1306	大分県速見郡山香町広瀬4706	0977-75-1166	0977-75-1165	http://yamaganoogyo-u.oita.ed.jp	水瀬 博徳	奥貞 謙子
196	九州	県	野津	福祉科		875-0201	大分県臼杵市野津町大字野津市537-1	0974-32-2031	0974-32-2119	http://notu-h.oita-ed.jp/	濱田 ミナヨ	南 富実子
197	九州	県	耶麻溪	普通科	生活福祉コース	871-0404	大分県中津市耶麻溪町大字戸原1663-1	0979-54-2011	0979-54-2519	http://yabakei-h.oita-ed.jp/	佐々木 哲司	工藤 典子
198	九州	私	楊志館	福祉科	福祉ワーカースコース	870-0838	大分県大分市桜ヶ丘7-8	097-543-6711	097-543-4516	http://www.green.oit-net.jp/geogaku/yoshikan	原尻 正信	佐々木 修
199	九州	私	福徳学院	保育福祉科	医療福祉コース	870-0883	大分県大分市永興550	097-544-3551	097-544-5883	http://www.hkutuoku.ed.jp	坂田 一郎	甲斐 大介
200	九州	私	大分東明	商業科	商業介護福祉コース	870-8658	大分県大分市千代町二丁目4-4	097-535-0201	097-533-2660	http://www.coara.or.jp/~rin kou/tomei/	佐藤 欣司	
201	九州	私	昭和学校	福祉科		877-0082	大分県日田市日/出町14	0973-23-8737	0973-22-7129	http://www.coara.or.jp/~showa/index.htm	永松 克興	
202	九州	県	日出暁谷	総合学科		879-1504	大分県速見郡日出町大字大神1396-43	0977-72-2855	0977-72-2655	http://www.hijiyokoku-h.oita-ed.jp	白岩 弘道	矢島 和子
203	九州	県	佐伯豊南	総合学科	食物・福祉系列	876-0835	大分県佐伯市鶴岡町二丁目2-15	0972-22-1900	0972-22-1906		内田 良三	
204	九州	私	日本文理大学付属	普通科	福祉コース	876-0811	大分県佐伯市鶴谷町2-1-10	0972-22-3501	0972-22-3503	http://www.nbu-h.ed.jp	系水 隆章	立木 清太郎

平成17年度 全国高等学校校長協会家庭部会福祉科高等学校長会 加盟校リスト

加盟 番号	ブロック	校名	学校名	学科名	コース・類等名	郵便番号	住所(都道府県から)	TEL.番号	FAX番号	ホームページ	学校長名	主任等名
205	九州	妻 栗	日南森林	福祉科		881-0003	宮崎県西部市右松2330	0983-43-0005	0983-43-0004	http://www.miyazaki-c.ed.jp/tsuma-h/	土持 昭達	内村 加奈恵
206	九州	日南森林	日南森林	福祉科		889-3202	宮崎県南郷郡南郷町中村甲3453	0987-64-1177	0987-64-1947	http://www.miyazaki-c.ed.jp/nichinanmorin-h/index.html	岩下 英樹	濱砂 美穂子
207	九州	門川	門川	福祉科		889-0611	宮崎県東臼杵郡門川町川尻末2680	0982-63-1336	0982-63-5194	http://www.miyazaki-c.ed.jp/kadokawa-ah/	橋口 研夫	榎野 乃志さ
208	九州	高原	高原	福祉科		889-4411	宮崎県西諸県郡高原町広原3981-2	0984-42-1010	0984-42-1270		成合 新	笹山 圭子
209	九州	都城	都城	介護福祉科		885-8502	宮崎県都城市養原町7916	0986-23-2477	0986-26-5220		久保 武司	前田 大輝
210	九州	日草学園	日草学園	福祉科		880-0125	宮崎県宮崎市広原836	0985-39-1321	0985-39-1324	http://www.nissho.ac.jp/ngh	安藤 忠次	下別府 透
211	九州	加世田常翔	加世田常翔	生活福祉科		897-0002	鹿児島県加世田市武田14863	0993-53-3600	0993-53-3601	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kasedajojun	佐多 典夫	橋田 知子
212	九州	宮之城農業	宮之城農業	福祉科		895-1811	鹿児島県薩摩郡さつま町虎店1900	0996-53-0020	0996-53-2718	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Miyanojoip-A/	岩下 明朗	宮崎 富美子
213	九州	加治木女子	加治木女子	医療福祉科		899-5241	鹿児島県姶良郡加治木町水田5348	0995-63-3001	0995-63-3001	http://www.gh-kagoshima.ac.jp/kgts/	山切 英澄	迫田 良治
214	九州	鳳凰	鳳凰	総合福祉科		897-1121	鹿児島県加世田市唐仁原1202	0993-53-3633	0993-52-7974	http://www.hooh.ed.jp	西 英雄	東 義人
215	九州	出水中央	出水中央	医療福祉科		899-0213	鹿児島県出水市西出水町448	0996-62-0500	0996-62-1772	http://www.izumi.ac.jp	松之野 正弘	川柳 博美
216	九州	神科学園高等部	神科学園高等部	医療福祉科		896-8686	鹿児島県串木野市下名4460	0996-32-3232	0996-32-2990	http://www.kaminura.ac.jp	神村 裕之	山口 金光
217	九州	樟南	樟南	介護福祉科		890-0044	鹿児島県鹿児島市常盤町440-6	099-281-2900	099-281-2522	http://www7.ocn.ne.jp/~shonank/	時任 克鶴	有木 時義
218	九州	鹿児島城西	鹿児島城西	社会福祉科		899-2593	鹿児島県日置市伊集院町清藤1938	099-273-1234	099-273-1651	http://www.nissho.ac.jp/kjh/	伊藤 博仁	桑原 英津子
219	九州	尚志館	尚志館	医療福祉科		899-7104	鹿児島県伊予郡志布志町安楽6200	0994-72-1318	0944-72-1319	http://www12.synapse.no.jp/syoshikan/	林 敬 郎	
220	九州	鹿児島情報	鹿児島情報	医療福祉科		891-0141	鹿児島県鹿児島市谷山中央二丁目4118	099-268-3101	099-266-1851		原田 理幸	西野 康子
221	九州	開陽	開陽	福祉科		891-0198	鹿児島県鹿児島市上福元町5296-1	099-263-3733	099-260-8233	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kaiyo/top.html	岩屋 秀男	吉本 裕子
222	九州	薩摩中央	薩摩中央	福祉科		895-1811	鹿児島県薩摩郡さつま町虎店1900	0996-53-1207	0996-53-1208	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/sachuo/	大迫 勝次	那木 加代子
223	九州	鶴別	鶴別	介護福祉科		901-2113	沖縄県浦添市字大平488	098-879-3062	098-879-9520		宮城 敏	
224	九州	中部森林	中部森林	福祉科		904-2213	沖縄県うるま市字田場1570	098-973-3578	098-973-3357	http://www.chubuh-ah.open.ed.jp/	島袋 安弘	大城 尚子
225	九州	沖縄水産	沖縄水産	総合学科	福祉サービス系系列	901-0305	沖縄県糸満市西崎一丁目1-1	098-994-3483	098-992-5920	http://www.okisui-h.open.ed.jp/	前原 新吉	崎浜 秀治

※ 網掛けのしてある学校は、今年度の名簿が未届出のため、昨年のものをそのまま記載しています。

あ と が き

今年度主管校である三重県立明野高等学校をはじめ、研究発表されました先生方並びに東海ブロック各校の先生方のご協力により、ここに三重大会報告書（通巻第11号）を発刊することができました。

初めての事務局という大役に戸惑うばかりではありましたが、全国の皆様のご指導・ご協力により終盤を迎えることができましたことを、職員一同心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。

(事務局)

平成18年度全国大会予告

期 日 平成18年8月 9日(水) 理事会・学科主任等代表者会議
平成18年8月10日(木) 大会 第1日目
平成18年8月11日(金) 大会 第2日目
会 場 東奥学園高等学校(青森県)
青森県青森市勝田二丁目11-1
ホテル青森
青森県青森市堤町一丁目1-23
主管校 東奥学園高等学校(青森県)

平成18年度 第1回理事会・学科主任等代表者会議予告

日 時 平成18年5月19日(金)
理事会・学科主任等代表者会議 10時
合同会議 13時
会 場 東京都千代田区富士見区民館

事 務 局

〒030-0821 青森県青森市勝田二丁目11番1号
東奥学園高等学校内
担当：小川 義光(事務局長)・工藤 貴子
全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会事務局
TEL・FAX：017-775-5555
017-775-2121 (学校代表TEL)
017-775-2137 (学校代表FAX)
E-mail：koko-fukushi@toogakuen.ac.jp

MEMO

贊助廣告

実教の教材

教科書内容の確認・定着に最適な準拠ノート
「社会福祉基礎」(福祉001)準拠

社会福祉基礎学習ノート

B5判 80ページ (別冊解答8ページ) 定価550円

やさしく学べる福祉科用の情報処理テキスト

準教科書 福祉情報処理

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会推薦

監修・執筆 木谷 収 (東京大学名誉教授・日本大学教授)

B5判 144ページ 定価1,500円

この商品に対するお問い合わせは…

 実教出版株式会社

〒102-8377 東京都千代田区五番町5
Tel.03-3238-7777 Fax.03-3238-7755
<http://www.jikkyo.co.jp/>

2006年度 介護福祉士国家試験 問題分析と受験対策

おかげさまで
毎年ベストセラー

**介護福祉士国家試験
問題分析と受験対策**

■B5判 本体2,700円+税 送料340円
■介護福祉士国家試験問題研究会 編

対人援助実習サポートブック



■B5判 本体1,700円+税 送料340円
■対人援助実践研究会HEART 編
■実習現場において、よくある質問にただ答えるのではなく、質問に対しワークをあげ、逆に問いかける等気づくから学ぶというプロセスを重視した構成となっています。実習生や教員だけでなく、受け入れ機関・施設の方々の実習指導の参考に…!

先生にも人気 77のワークで学ぶ 対人援助ワークブック



■B5判 本体2,800円+税 送料340円
■対人援助実践研究会HEART 編
■対人援助技術演習を学ぶ方々にとって、よりたくさんワーク(77のワーク)で学習し、理解を深めていくことを目的といたしました。また、気づくから学ぶというプロセスを重視した直接書き込める点など他にない工夫を凝らした構成となっています。

三訂新版 介護実習ハンドブック



■B5判 本体2,000円+税 送料290円
■ケアワークマスタ研究会 編

おすすめ 新刊



ひらめき系
**イラスト
ワークブック**
レクリエーション援助の実践

■山本克彦 小山美聖 著
■岸本真弓 イラスト
■B5判 本体1,260円+税 送料290円



福祉・介護・保育・教育の書籍は…
久美出版 <http://www.kumi-web.co.jp>
info@kumi-web.co.jp
〒604-8214 京都市中京区新町通錦小路上ル
tel:075-251-7121 fax:075-251-7133

貴校の国家試験対策を総合的にサポートします！

当福祉教育カレッジ「介護福祉士公開模擬試験」は、全国の高等学校福祉科・専門学校等の団体において、トップクラスの採用実績を誇ります。国家試験制度発足時から18年に及び「信頼と実績」に基づいた「国家試験対策」を皆様にお届けします。

■公開模擬試験 ⇒国試に完全準拠！全国規模で学力レベルを把握できます！

- 第1回必修編：9月実施予定。標準的な問題を中心に、基礎知識の習得をはかります。
- 第2回予想編：11月実施予定。応用的な問題を中心に、学力のレベルアップをめざします。

■受験対策講座 ⇒筆記&実技試験に完全対応！充実した国試対策をお届けします！

- 通学講座：講義から模擬試験まで、資格取得をめざす方を総合的にサポートします。
- 通信講座：4回実施の模擬試験を中心に、ご自宅にて効果的に国家試験対策を行います。
- イベント講座：一次&二次試験直前期に、重要ポイントの総復習・徹底解説を行います。

■書籍 ⇒基礎固めはこれでOK！重要項目をわかりやすく解説します！

- 『介護福祉士国試対策』：過去問対策の決定版。過去5年間の国試問題を詳細解説。
- 『キーワード・マップ』：国試参考書シリーズ。出題基準をベースに各科目を徹底解説。
- 『絵でみる介護』：実技対策の必携本。イラストにより介護技術・国試問題を明解説。

** その他の書籍もございます。詳細はお問い合わせください **

福祉教育カレッジ

〒169-0073・東京都新宿区百人町1-22-23 新宿ノモスビル2F
 フクシ コクシ

0120-294-594 URL <http://www.294594.jp/>

社会福祉士・介護福祉士・保育・心理・幼稚園教諭・小学校教諭・柔道整復の仕事をめざそう！



介護福祉士と社会福祉の2つの国家資格を取得し、
 高齢社会を支える高齢者福祉・障害者福祉のスペシャリストをめざす。

社会福祉専攻 介護福祉コース

ソーシャルワークと社会福祉を総合的に学び、社会福祉士国家資格を取得。
 即戦力として活躍できるケースワーカー、生活相談員をめざす。

社会福祉専攻 社会福祉コース

★介護福祉(専門学校2年)、保育・幼児教育(短大3年・専門学校3年)のコースもあります。

2005年
 東京福祉大学グループは
2年連続
日本一
 の合格者数です！

入学したらわかる教育力の違い—あなたも“輝くとき”がくる！

通学課程の卒業生を出した初年度から古い伝統校を抜いて

日本で初めて

第17回 社会福祉士 第7回 精神保健福祉士

1,000人以上が合格！

池袋または名古屋の学習センターに通学して、

東京福祉大学や**保育系短大**を卒業！

●大学・短大の入学試験なし！ ●大学通学部3年次編入学制度あり

総長がハーバード大学教育学大学院で研究開発した新しい効果的な教え方で学ぶ！

東京福祉大学 名古屋学習センター
名古屋福祉保育柔整 専門学校

お問い合わせは 教養部四郎次郎記念学園入学相談室まで

☎ **0120-159672**

URL <http://www.nagoya-college.ac.jp>
 携帯から空メール。資料請求(無料)・説明会申込。
 QRコードからもOK。

ad@mwjt.jp



東京福祉大学
 TOKYO UNIVERSITY OF SOCIAL WELFARE

〒372-0831 群馬県伊勢崎市山王町2020-1

お問い合わせは **入学課**まで

TEL.0270-20-3673 FAX.0270-20-3693

URL <http://www.tokyo-fukushi.ac.jp>
 携帯から空メール。資料請求(無料)・説明会申込。
 QRコードからもOK。

twg@kwml.jp

東京福祉大学 学習センター
東京福祉保育 専門学校

お問い合わせは **入学課**まで

☎ **0120-800-626**

URL <http://www.sunshine.ac.jp>
 携帯から空メール。資料請求(無料)・説明会申込。
 QRコードからもOK。

gj@kwml.jp

業界初の電子辞典化!!

電子辞典版 福祉用語辞典

プリインストール版

福祉用語辞典がデジタルコンテンツに!!
最新家庭の医学をはじめ50の辞書も完全収録!!

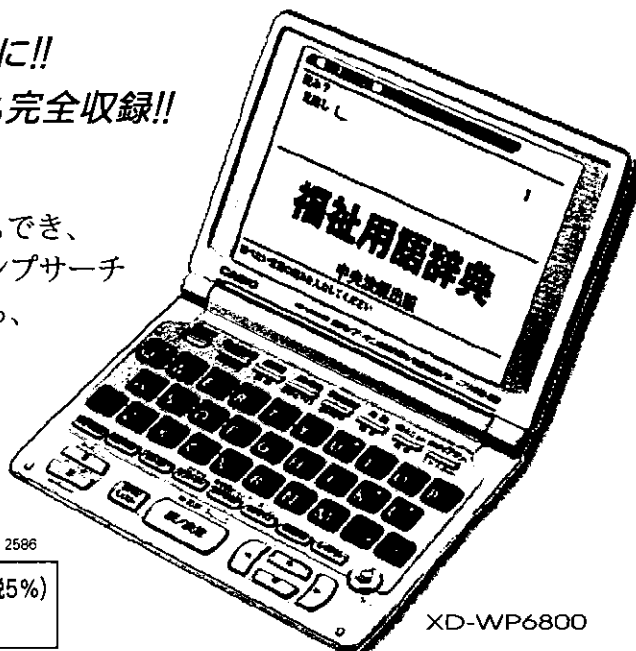
福祉関連用語 約4,850 項目を収録。
また、書籍ではなし得なかった後方一致検索もでき、
言葉や単語そのものの意味も、スーパージャンプサーチ
機能により、辞書間を自在にジャンプしながら、
その語の意味が調べられます。

※本機の詳細は下記営業所までお問い合わせください。

カシオ エクスワードデータプラスシリーズ
中央法規出版取扱セット価格

特価37,800円(本体36,000円+税5%) 2586

[メーカー希望小売価格辞書本体52,500円(本体50,000円+税5%)
+辞書ソフト6,300円(本体6,000円+税5%)のところ]



中央法規出版 仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-9-2
TEL.022-222-1693 FAX.022-216-5087 <http://www.chuohoki.co.jp/>

第一福祉大学

(募集人員)

人間社会福祉学部

社会福祉学科	200名	心理学科	100名
介護福祉学科	100名	福祉産業学科	100名
人間福祉学科	100名	* 社会福祉学科に「保育士コース新設」認可申請中	

(入試日程)

入試区分	一般入試	A O 入試
出願期間	後期 1/30(月)~3/14(火)	3/23 ただし、エントリーは 3/22まで随時受付中
試験期日	後期 3/19(日)	エントリーシート提出者と調整して決定し、通知します
合格発表	後期 3/24(金)	2/14 2/28 3/9 3/16 3/25

一般入試/(国語) 国語総合(古典を除く) (外国語) 英語 I・II (理科) 生物 I
(地理・歴史) 日本史B (数学) 数学 I
上記の中から1教科・1科目を選択する。

{お問い合わせ・大学案内等請求(無料)は}

〒818-0194 福岡県太宰府市五条3丁目10-10

TEL (092)-918-6517 FAX (092)-918-6522

川崎医療福祉大学

〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288

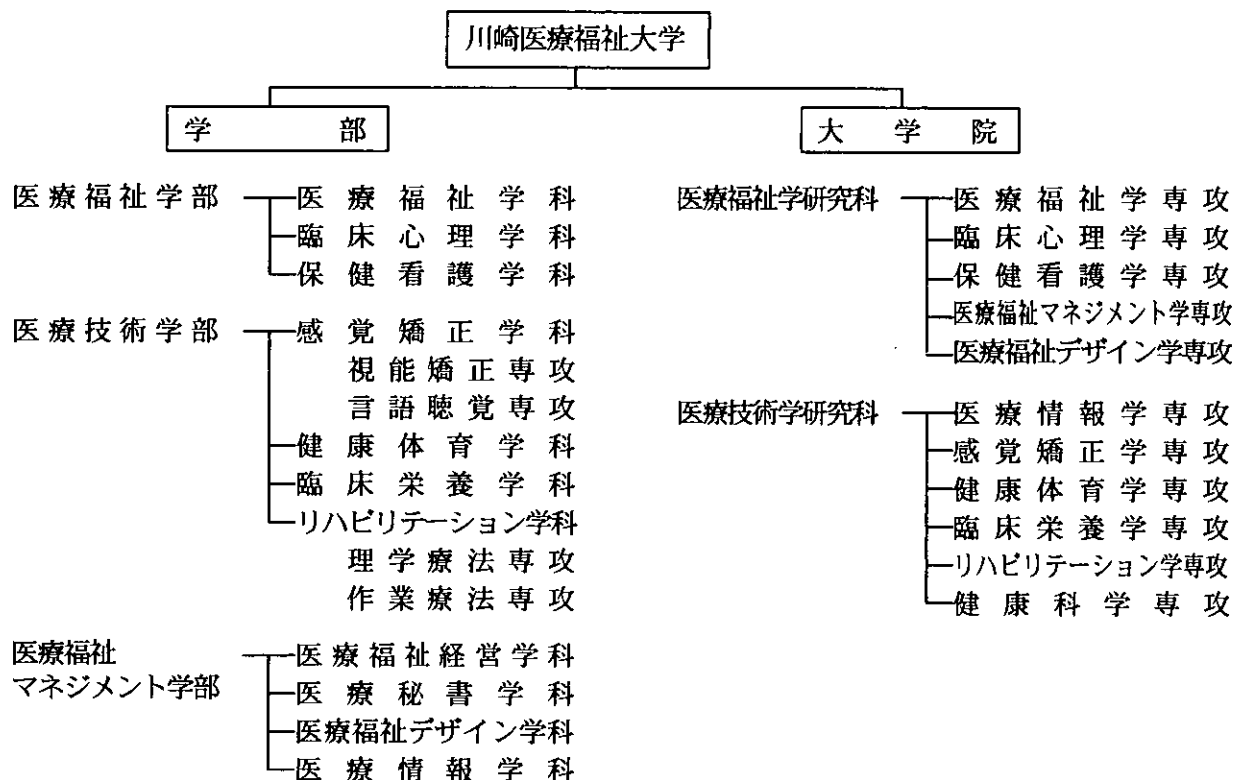
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/>

川崎医療福祉大学は、医療福祉と健康科学を統合した世界で初の総合大学です。

平成3年に開学し、平成17年に15年目を迎えました。現在、3学部11学科編成で、医療福祉系のパイオニア・ユニバーシティとして優秀な専門職を育成しています。

また、本学の教育・研究・臨床実習の結果として、資格試験の合格率は常に高い数値を維持しており、数多くの医療・福祉関連機関からの評価も良く、就職率は常に95%前後となっています。

さらに、本学の総合大学としての使命を深化するため、大学院に2研究科を設置、修士課程10専攻、博士後期課程7専攻(うち、1専攻は設置計画中)を擁し、学部教育から大学院まで一貫した教育・研究を行っています。





ひたむきに、真剣に。



社会福祉学部 社会福祉学科 / 保健福祉学科 / 心理臨床学科

経済学部 経済学科

情報社会科学部 人間福祉情報学科 / 生活環境情報学科

福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 / 国際福祉開発マネジメント学科

通信教育部

大学院 社会福祉学研究科 / 情報・経営開発研究科 / 国際社会開発研究科 (通信教育)

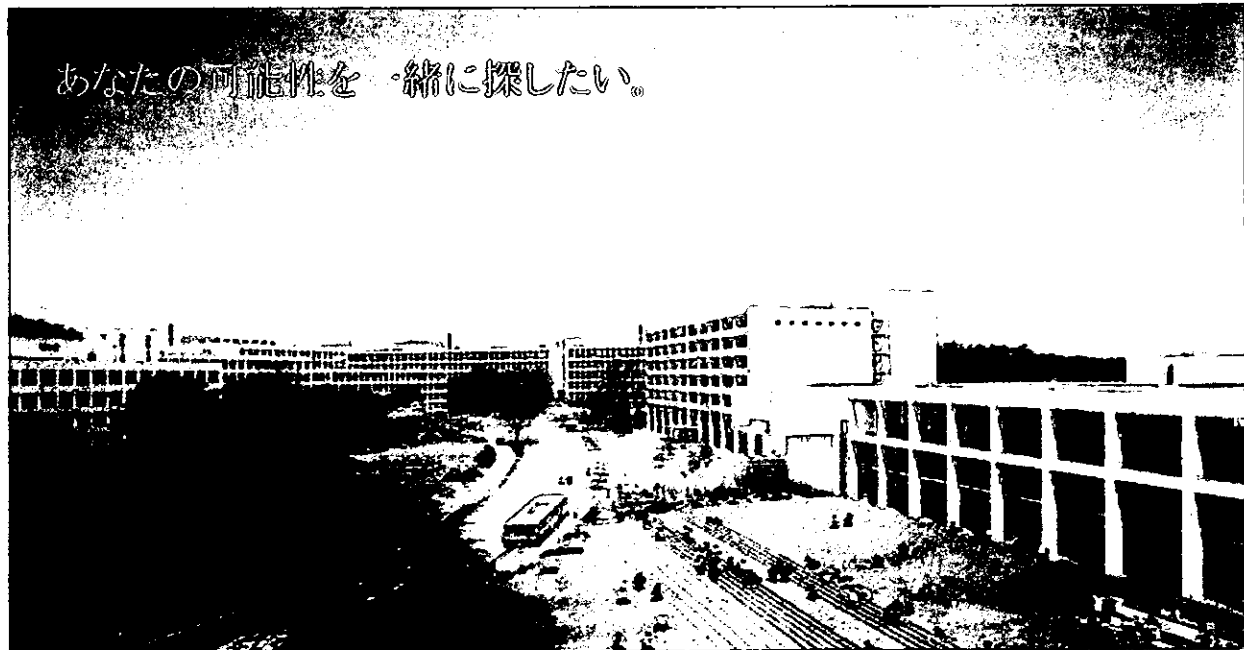
日本福祉大学中央福祉専門学校 日本福祉大学高浜専門学校 日本福祉大学附属高等学校

日本福祉大学

www.n-fukushi.ac.jp

〈日本福祉大学 入学広報課〉〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 TEL.0569-87-2212 (平日9:30~17:00 土曜日は12:00まで)

あなたの可能性を一緒に探したい。



■**梅花女子大学** 現代人間学部 人間福祉学科 (社会福祉専攻・保育福祉専攻・介護福祉専攻) / 心理学科 / 生活環境学科 文化表現学部 国際英語学科 / 児童文学科 / 日本文化創造学科 / 情報メディア学科

■**梅花女子大学短期大学部** 生活科学科 <調理・製菓専攻 (調理コース / 製菓コース / 食彩コース) > 造形デザイン専攻 / 英語コミュニケーション学科 / 日本語表現科

■**梅花女子大学大学院** 現代人間学研究科 (注1)人間福祉学専攻 (修士) / 心理臨床学専攻 (修士・臨床心理士養成の第1種指定大学院) 文学研究科 日本語日本文学専攻 (修士) (注2) / 英語英米文学専攻 (修士) (注2) / 児童文学専攻 (修士前期・修士後期) (注1)2006年4月開設予定 (注2)2006年4月各種変更予定

大阪府茨木市宿久庄2丁目19-5 〒567-8578 TEL.072-643-6221 (代)

FAX.072-643-8473 (女子大/大学院) FAX.072-643-7687 (短大)

 **学校法人 梅花学園**
BAIKA 1878 <http://www.baika.ac.jp/>

■**梅花高等学校** ■**梅花中学校** ■**梅花幼稚園**

大阪府豊中市上野西1丁目5-30 〒560-0011 TEL.06-6852-0001 (代)

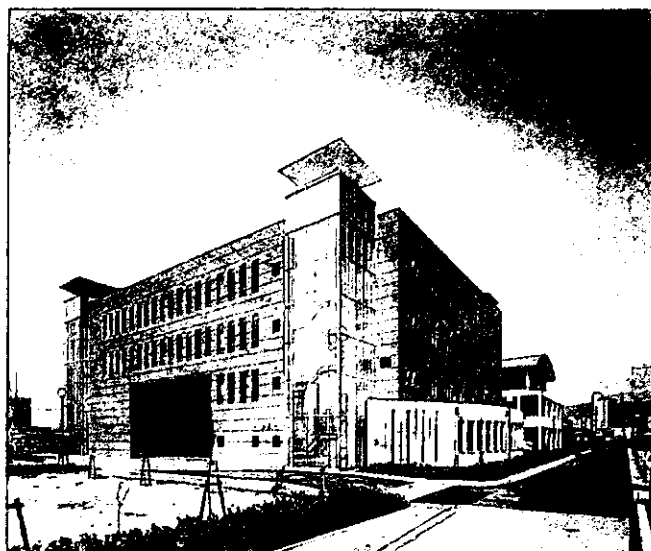
FAX.06-6852-0151 (高校/中学) FAX.06-6854-1320 (幼稚園)

社会福祉学科

ひと・こころ・いのち

今からおよそ 1200 年前、弘法大師 空海は
性別や身分にとらわれえず、誰もが学ぶことので
きる学校「しゆげいしゆちん綜藝種智院」を平安京に創りました。
それが種智院大学の前身です。

「ひと・こころ・いのち」を大切に作る建学の精
神は 21 世紀を迎えた今も種智院大学に受け継が
れています。



仏教学部 仏教学科・社会福祉学科

種智院大学

〒612-8156 京都市伏見区向島西定請 70
TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610
URL <http://www.shuchiin.ac.jp>

淑徳大学

【千葉キャンパス】

◆総合福祉学部

社会福祉学科／実践心理学科※／人間社会学科※
※平成18年4月 心理学科と社会学科を名称変更

◆大学院 総合福祉研究科

社会福祉学専攻博士前期・後期課程
心理学専攻修士課程
社会学専攻博士前期・後期課程

〒260-8701 千葉市中央区大蔵寺町200
Tel.043-265-7331(代)

入学 についての
お問合わせ ▶千葉アドミッションセンター-043-265-6881

【みずほ台(埼玉)キャンパス】

◆国際コミュニケーション学部

人間環境学科／経営コミュニケーション学科／
文化コミュニケーション学科

- スポーツ&ウエルネスコース
- 英語コミュニケーションコース
- 教育実践コース
- 環境コミュニケーションコース※
- メディア表現コース
- 福祉環境コース
- 表現文化コース※
- ライフケアビジネスコース※
- 歴史文化コース
- 経営コミュニケーションコース

※平成18年4月 コース名を変更

◆大学院 国際経営・文化研究科

国際経営専攻修士課程／国際文化専攻修士課程

〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町履久保1150-1
Tel.049-274-1511(代)

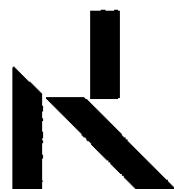
入学 についての
お問合わせ ▶みずほ台アドミッションセンター-049-274-1506

【池袋サテライト・キャンパス】

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-10-1 住友池袋駅前ビル6F Tel.03-5979-7061(代)

www.shukutoku.ac.jp/

設立55年の伝統と実践的な教育プログラム



龍谷大学 短期大学部

介護福祉士、社会福祉士(受験基礎資格)、保育士養成施設

《社会福祉科》

- …社会福祉コース
- …児童福祉コース
- …健康福祉コース

《専攻科》

福祉専攻(1年課程)

2003年度特色ある大学教育支援プログラム

「実習事前指導の体系的な実施—ボランティア活動の活用を中心とした取組—」が採択されました。

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 TEL:075-645-7897【教学部(短期大学部担当)直通]
www.ryukoku.ac.jp

立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科 / 人間福祉学科

学んだことが活かせる進路。

社会要請に対応していくことができる理論と実践のカリキュラムを用意。

一人ひとりが自分らしく、充実した生活を送るために私たちの“明日”に活かせることを学びます。

進路先は福祉施設や保育所・幼稚園をはじめ、福祉系企業や福祉関連職などへの就職や大学院進学・留学など多彩です。

取得可能な資格

社会福祉学科

社会福祉士国家試験受験資格
精神保健福祉士国家試験受験資格
養護学校教諭一種免許状
高等学校教諭一種免許状(福祉・公民)
中学校教諭一種免許状(社会)

両学科共通

社会福祉主事任用資格
児童福祉士任用資格
児童指導院任用資格
ホームヘルパー2級※
※在学中に所定の講座を受講して取得

人間福祉学科

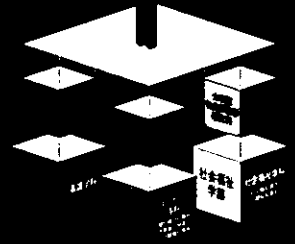
保育士
幼稚園教諭一種免許状
認定心理士(日本心理学会認定)
※保育士と幼稚園教諭は同時取得できます

立正大学社会福祉学部 社会福祉学科 人間福祉学科 〒360-0191 埼玉県越谷市万吉1700 Tel. 048-536-1328

SEIREI CHRISTOPHER COLLEGE

聖隷クリストファー大学には、看護学部、リハビリテーション学部、社会福祉学部の3つの学部と、さらに深い探究を目的とする大学院研究科があります。「看護」「リハビリテーション」「社会福祉」の3分野は、それぞれに独立して高度な専門知識と技術を追求すると同時に、「人を支える」ために学ぶという共通する側面をもっています。そして、それぞれ「支える」ための活動の中心にいるのは、常に人。聖隷の基本理念である隣人愛の心で「人を支える人」をめざします。3分野が互いに交流しながら学べる理想的な環境が、保健・医療・福祉の連携に向けた人材育成の土壌となります。

テーマは
「人を支える」こと。



保健・医療・福祉の探究

聖隷クリストファー大学

看護学部/リハビリテーション学部/社会福祉学部

大学院 看護学研究科/リハビリテーション科学研究科/社会福祉学研究科

リハビリテーション科学研究科は2006年4月開学予定

お問い合わせは【入試・広報センター】へ

Tel.053-439-1401

Email cl-entrance@admin.seirei.ac.jp

〒433-8558 静岡県浜松市三方原町3453 <http://www.seirei.ac.jp>



愛知新城大谷大学

社会福祉学部社会福祉学科

人間福祉専攻・福祉心理専攻

愛知新城大谷大学短期大学部

介護福祉学科

愛知県新城市川路字萩平1-125

TEL 0536-23-3311

<http://www.owari.ac.jp/shinshiro.html>

E-mail kouhou@shinshiro-otani.ac.jp

福祉の
“とびら”
を
開く

面倒見のよい大学。入って伸びる大学。

人間福祉学部 人間福祉学科

「福祉のこころ」をすべての人に

■取得できる資格

社会福祉士（国家試験受験資格）

精神保健福祉士（国家試験受験資格）

高等学校教諭一種免許（福祉）

社会福祉主事任用資格

認定心理士（日本心理学会資格）

■カリキュラム外で自由に取得できる資格

ホームヘルパー

福祉住環境コーディネーター（商工会議所資格）



Love God and Serve His People

聖学院大学

アドミッションセンター

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

TEL:048-725-6191 (ダイヤルイン)

<http://www.seigakuin-univ.ac.jp>

平成17年度より

社会福祉学科では、実務型教育の要望に応えた

魅力の3コース制を導入！！

■社会福祉士コース

～社会福祉士国家試験の高い合格率をめざします～

■生活支援コース

～「生活の質」を高める支援者を育成します～

■福祉心理コース

～日本心理学会認定心理士をめざします～

※3コースとも社会福祉士国家試験受験資格を得られます。



TSUKUBA
International University

つくば国際大学

産業社会学部 産業情報学科 社会福祉学科

〒300-0051 茨城県土浦市真鍋6丁目20番1号 TEL 029-826-6000

【ホームページ】<http://www.ktt.ac.jp/tiu/> 【Eメール】info@tius.ac.jp

IT力で、明日の福祉を支える

福祉と情報を融合した日本初の学部。
福祉情報とは、“人の幸せの実現”を支える
手段や技術を学ぶ学問です。

徳山大学 福祉情報学部

福祉情報学科(定員 100名)

2年次からそれぞれの志望にあったコースを選択

- **社会福祉コース**・・・福祉のゼネラリスト
社会福祉士受験資格取得を目指します。
- **福祉情報コース**・・・21世紀の福祉社会
をITで支える情報リーダーを養成します。



徳山大学 経済学部/福祉情報学部

【お問い合わせ先】

〒745-8566 山口県周南市久米栗ヶ迫 843-4-2
☎ 0834-28-5302(入試室直通)
<http://www.tokuyama-u.ac.jp>
E-mail: nyushi@tokuyama-u.ac.jp

中部学院大学・大学院

人間福祉学部/人間福祉学科・健康福祉学科
子ども福祉学科・通信教育部

人間福祉学研究所

中部学院大学短期大学部

幼児教育学科・社会福祉学科・経営情報学科・専攻科(福祉専攻)

2006年4月 各務原キャンパス 誕生!!

子ども福祉学科・経営情報学科を設置

所在地
及び
問い合わせ先

〒501-3993 岐阜県関市倉知4909-3
TEL 0575-24-2213 (入試広報課 直通)
HP <http://www.chubu-gu.ac.jp>

こころがわかる福祉のプロを...

福祉の専門知識・技術だけでなく、
心理学を学び、援助を受ける人の気持ちがわかる
本物の福祉従事者をめざします。

経営学部 総合ビジネス学科
人間学部 人間心理学科 ※
臨床心理学専攻・思春期心理学専攻
消費者行動学専攻・犯罪科学専攻
教育福祉学科 ※
こども学専攻・社会福祉専攻
英語コミュニケーション学科

※2006年4月 人間行動学科から名称変更予定
大学院 人間行動学研究科



関西国際大学

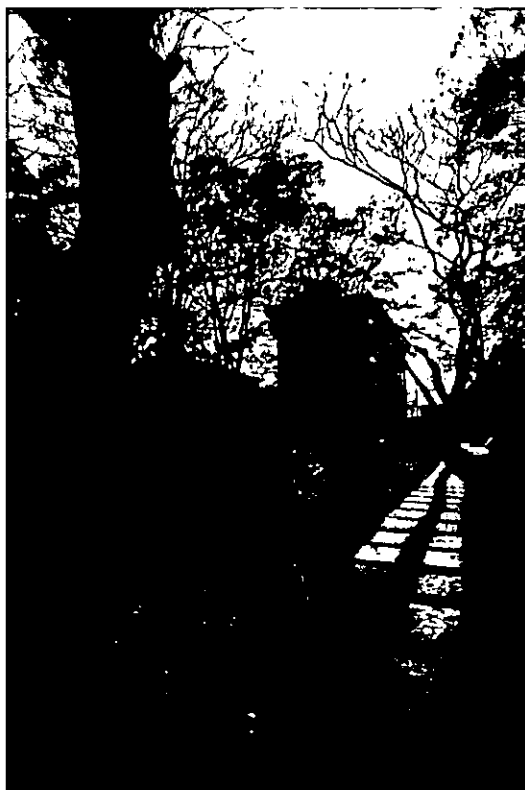
〒673-0521
兵庫県三木市志染町青山1丁目18番
TEL 0794-85-2288 FAX 0794-85-1102
URL <http://www.kuins.ac.jp/>



四国学院大学...

それは自分らしく生きる場所。

文学部	言語文化学科 人文学科 教育学科
社会福祉学部	社会福祉学科 子ども福祉学科
社会学部	応用社会学科 カルチュラル・マネジメント学科
大学院	比較言語文化専攻 社会福祉学専攻 社会学専攻



〒765-8505 香川県善通寺市文京町3-2-1



0120-459-433

<http://www.sg-u.ac.jp>



携帯用HP

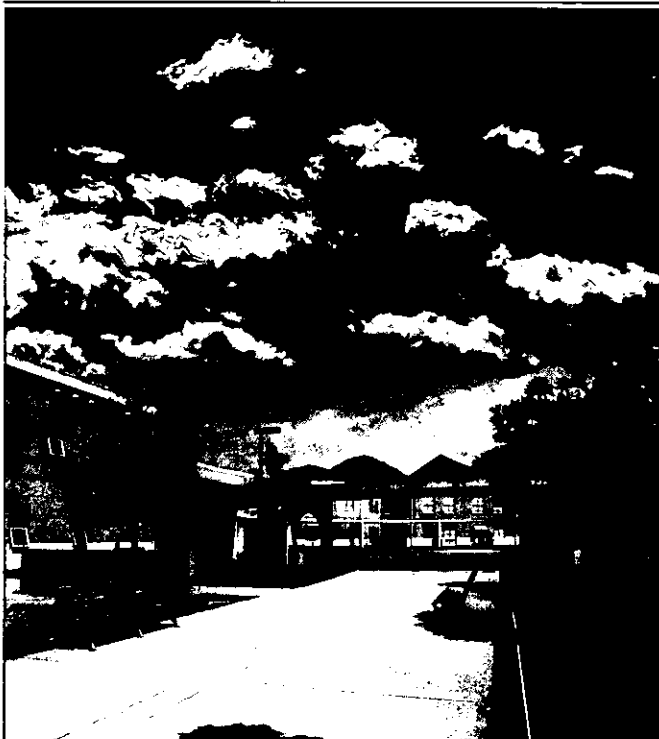


関西福祉大学

KANSAI UNIVERSITY of SOCIAL WELFARE

入試センター 0791-46-2500 (直)
URL <http://www.kusw.ac.jp>

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田 380-3
E-mail kusw-info@kusw.ac.jp



2006年4月

『看護学部 看護学科』スタート!

社会の多様なニーズに対応し、
地域社会に貢献できる看護専門職を育成します。

【取得できる資格】

- 看護師 (国試受験資格) ■保健師 (国試受験資格)
- 養護教諭1種免許

社会福祉学部社会福祉学科

- ◇総合福祉コース ◇精神保健・医療福祉コース
- ◇心理福祉コース ◇児童福祉コース

【取得できる資格】

- 社会福祉士 (国試受験資格)
- 精神保健福祉士 (国試受験資格)
- 高等学校教諭1種免許状「福祉」
- 保育士 ■認定心理士

<任用資格>

- 社会福祉主事 ■児童福祉司 ■児童指導員 ■家庭児童相談員

開学以来常に高い就職率を維持!

就職率 2005年3月卒業生 98.6%



Knowledge
Virtue
Art

東京家政学院大学人文学部人間福祉学科

社会福祉専攻・介護福祉専攻

社会福祉専攻

総合的・専門的な実力能力の習得を重視し、社会福祉士や精神保健福祉士として様々な福祉現場で活躍できる人材を育てます。学生全員が福祉施設・機関での実習が可能であり、個々に合った実践力取得のカリキュラムを用意しています。卒業生は児童・障害・高齢者福祉施設や公務員として活躍中です。

主な取得資格:社会福祉士国家試験受験資格 精神保健福祉士国家試験受験資格 高等学校教諭1種免許状(福祉)など

介護福祉専攻

介護のスペシャリストとして活躍するため、1年次より多彩な領域を学び、専門的な力を身に付けます。授業では、1クラス30名の少人数制教育のもと、一人ひとりの学生の個性を伸ばし、人としての成長を支えます。卒業生は高齢者や障害者のための施設、病院などで専門性の高い仕事をしております。

主な取得資格:介護福祉士(卒業時取得可能) 高等学校教諭1種免許状(福祉)など

所在地 町田キャンパス 〒194-0292 東京都町田市相原町 2600 番地
 お問い合わせ先 町田校舎・入試課 TEL 042-782-9411 FAX 042-782-1711
 ホームページアドレス <http://www.kasei-gakuin.ac.jp>

皇學館大学 社会福祉学部

〔URL〕 <http://www.kogakkan-u.ac.jp>

創立

124年

社会福祉学科
総合福祉学J-入
児童福祉学J-入
社会情報学J-入
介護福祉学J-入 (※H18年度開設予定認可申請中)

資格取得と進路に直結する
4つのコースをリニューアル

本学社会福祉学部では、「資格取得者対象自己推薦入試」を実施。

「英語検定準2級以上取得者」および「介護福祉士国家試験受験資格取得者(見込者を含む)」を出願資格とし、面接のみを課しています。

お問い合わせ/入学試験課 TEL0596-22-6316 (直) [E-mail] nyusi@kogakkan-u.ac.jp

【名張キャンパス】〒518-0498 三重県名張市春日丘7番町1番地 TEL0595-61-3351 (代)
名張までの所要時間(近鉄利用): 大阪(上本町)より50分。名古屋より90分。名張駅よりスクールバスにて8分

高い倫理観、豊かな専門知識、
確かな実行力を備えた社会福祉専門職の育成

福祉総合学部

福祉文化学科・福祉経営学科

— さまざまな学びができる総合大学 —

薬学部/福祉総合学部/経営情報学部/メディア学部/人文学部/観光学部



城西国際大学

JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

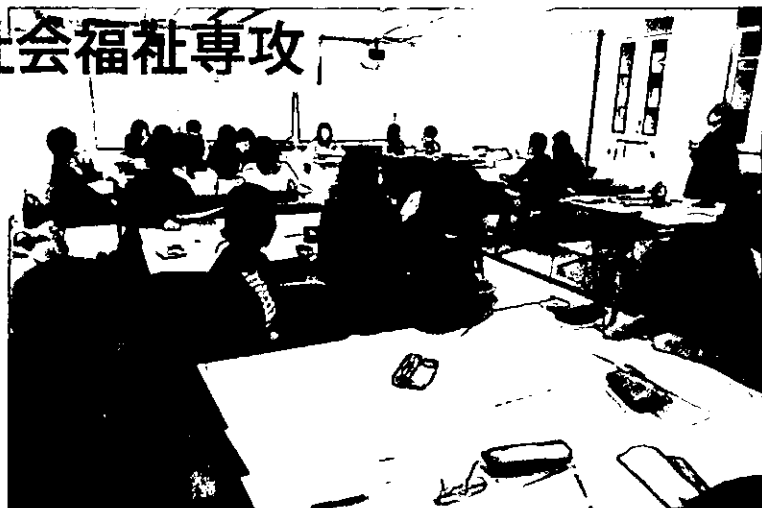
〒283-8555 千葉県東金市求名(ぐみょう)1番地

入試・広報センター TEL.0475-55-8855 FAX.0475-53-2194

ホームページ <http://www.jiu.ac.jp/> ケータイ <http://www.jiu.ac.jp/i/>

人間学部人間関係学科

社会福祉専攻



<取得可能資格>

- ☆社会福祉士受験資格
- ☆精神保健福祉士受験資格
- ☆高等学校福祉科教員資格
- ☆社会福祉主事

1学年30名定員の
徹底した少人数教育を通し、
対人援助のプロを育成！



天理大学

URL tenri-u.jp

「あなたの生き方を福祉社会の中に探そう」

神奈川県川崎市多摩区西生田 1-1-1 小田急線読売ランド前駅 徒歩 15 分 <http://www.jwu.ac.jp>

- ◆ 現代の福祉課題を、社会学、経済学、法学、心理学等の**基礎科学を動員**して基礎的に学ぶと共に、福祉社会づくりに貢献できる人材を育成します。
- ◆ 資格取得だけにとらわれず、理論と演習、実習を通して**幅広く「福祉」を学び**、卒業生も様々な分野で活躍しています。実習指導も充実しています。
- ◆ もちろん**社会福祉士及び精神保健福祉士**の国家受験資格も得られます。

日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科

Point1 社会福祉教育のバイオニア

日本初の社会福祉専門教育を行う学部として1921年に開設された歴史と伝統。

Point2 社会問題の解決策を具体的に探る

高齢者介護をはじめ、児童虐待、ホームレス問題、外国人労働者問題など、深刻な現代の社会問題に幅広くかかわり、解決の方向を具体的に探ります。

Point3 少人数教育と学生の自主性尊重

1年次の基礎演習から4年次の卒業研究まで、少人数教育を徹底。

福祉をきわめる



金城大学 6つの教育プログラム

1. SEMINAR
少人数制のきめ細やかな授業
2. PRACTICAL TRAINING
豊富な実習
3. EQUIPMENT
最新機器を導入した実習室
4. VOLUNTEER
ボランティア活動の単位認定
5. TEACHING-CERTIFICATE
多彩な教員免許の取得が可能
6. SUPPORT
「社会福祉士」資格サポート

就職率92.5%

2年連続全国第二位
「就職に強い学部
ベスト100(文系)」

週刊東洋経済

金城大学は、明日の福祉社会を支えるエキスパートの養成を使命と考えます。経験豊富な指導陣による実践的なカリキュラム、多彩なサポートシステムなど、6つの教育プログラムで、一人ひとりの個性を尊重した教育を実践しています。人と向き合い、自分自身と向き合える学舎——。金城大学であなた自身の未来がひらけます。

社会福祉学部 社会福祉学科

社会福祉コース
社会福祉士受験資格
養護学校教諭1種*
高等学校教諭1種(公民)*
高等学校教諭1種(福祉)
中学校教諭1種(社会)*

介護福祉コース
社会福祉士受験資格
介護福祉士資格
養護学校教諭1種
高等学校教諭1種(公民)
高等学校教諭1種(福祉)*
中学校教諭1種(社会)

注：教員免許のうち、※印は各コース比較的理解なく取得できる教員免許です。

2007年4月
医療健康学部(仮称)
新設構想中



夢、まっすぐに未来へ

金城大学 社会福祉学部

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 金沢市南郊 金沢・小松駅から25分(JR15分+徒歩9分)
TEL: 076-276-4400(代) FAX: 076-275-4316
<http://www.kinjo.ac.jp/> E-mail daigaku@kinjo.ac.jp



長崎ウエスレヤン大学

社会福祉学科 | 地域づくり学科 | 国際交流学科

〒854-0081 長崎県諫早市栄田町 TEL. 0957-26-1234

ペンとノートと、
スニーカー。

学びの基本は、体験主義。
教科書だけでなく、
外に出て現場を体験することで、
生きた学問を学びます。



SHINE LIKE STARS IN A DARK WORLD

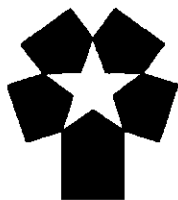
大学院

文学部

経済学部

社会福祉学部

短期大学部



Hokusei Gakuen University

北星学園大学

北星学園大学短期大学部

〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西 2-3-1

TEL. 011-891-2731

<http://www.hokusei.ac.jp/>

アクセス：地下鉄東西線「大谷地」駅 1 番出口徒歩

～人を幸せにする学問を学ぶ～

関西福祉科学大学

～充実の学び、満足できる就職～

関西女子短期大学

社会福祉学部

社会福祉学科(定員 240 名)(3 年次編入学定員 40 名)

福祉臨床の最前線で活躍できる専門家を養成。

☆取得可能資格：社会福祉士、精神保健福祉士など

臨床心理学科(定員 100 名)(3 年次編入学定員 20 名)

最新の心理学の理論と技術を学び、実践力のある心理支援専門家を養成。

☆取得可能資格：認定心理士、学校心理士(大学院修了後)、臨床心理士*(指定大学院修了後)など

※本大学院は(財)日本臨床心理士資格認定協会第 1 種指定大学院です。

健康福祉学部

健康科学科(定員 90 名)(3 年次編入学定員 10 名)

心身の健康をめざす「トータルヘルス」の専門家を育成。

☆取得可能資格：養護教諭 1 種、産業カウンセラーなど

福祉栄養学科(定員 80 名)(3 年次編入学定員 5 名)

“食”を通じて健康と福祉を支える、カウンセリングマインドを修得。

☆取得可能資格：管理栄養士、栄養士、栄養教諭 1 種など

歯科衛生学科(定員 100 名)

3 年制課程。多様化・高度化する口腔医療に対応できる
歯科診療のトータルマネージャーを養成。

保健科(定員 70 名)

養護・保健コース

子どもたちの心のよりどころになる養護教諭(2 種)を養成。

医療秘書コース

医療界が求めるコ・メディカルスタッフ・医療秘書を養成。

保育科(定員 130 名)

幼児教育コース

子どもを育てる実力派のプロ・幼稚園教諭を養成。

保育福祉コース

子育て支援のコミュニティリーダー・保育士を養成。

臨床保育コース

子どもと親の両方の心をサポート、心理を学んだ保育者を養成。

【お問い合わせ】

入試広報部

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘 3 丁目 11 番 1 号

TEL(直通)：0729-78-0676(大学)

0729-78-0640(短大)

FAX(代表)：0729-78-0377(共通)

【URL】<http://www.fuksi-kagk-u.ac.jp>(大学)

<http://www.kwc.ac.jp>(短大)

安心の就職率

平成17年3月
卒業生実績

95%

◆◆なりたい自分に出会う場所◆◆

- 食物栄養学科 一栄 養コース 栄養士・管理栄養士(国家試験受験資格)・栄養教諭・フードコーディネーター・他、取得可
- 社会福祉学科
 - 社会福祉コース 社会福祉士(国家試験受験資格)・ホームヘルパー2級・社会福祉主事・他、取得可
 - 児童福祉コース 保育士・社会福祉主事・他、取得可
 - 介護福祉コース 介護福祉士・社会福祉主事・福祉住環境コーディネーター・他、取得可

2006年4月『こども学科』誕生 幼稚園教諭2種(申請中)
保育士(申請中)

淑徳短期大学

東武東上線「ときわ台」駅・都営三田線「志村三丁目」駅・徒歩15分 JR「赤羽」駅・バス20分



〒174-8631 東京都板橋区前野田5-3-7
TEL 03-3966-7637 FAX 03-3966-6579
URL <http://www.jc.shukutoku.ac.jp>
mail nyushi@jc.shukutoku.ac.jp



福祉教育の リーダー校

数多くの卒業生が、福祉業界の指導的立場で活躍中。

これは、本校がつねに新しい視点で福祉を見つめ、

社会福祉士や介護福祉士などの人材を

国家資格化される以前から育成してきた成果です。

磨き続けた教育力で、あなたを福祉の最前線へ導きます。

○学科紹介 / 取得目標資格

- 高卒以上対象学科
- 介護福祉学科
介護福祉士(国家資格)
 - 社会福祉学科・社会福祉主事専攻
社会福祉主事任用資格・ホームヘルパー
 - 社会福祉学科・手話通訳専攻
社会福祉主事任用資格・手話通訳士
 - 社会福祉総合学科
社会福祉士受験資格(国家資格)(卒業後実務1年要)
 - 心理技術学科
精神保健福祉士受験資格(国家資格)(卒業後実務1年要)
 - 健康心理学科
認定健康心理士

- 大卒・実務経験者対象学科
- 介護福祉学科・社会福祉士コース
介護福祉士(国家資格)・社会福祉士受験資格(国家資格)
 - 社会福祉学科・社会福祉士コース
社会福祉士受験資格(国家資格)
 - 言語聴覚療法学科
言語聴覚士受験資格(国家資格)
 - 社会福祉士養成学科
社会福祉士受験資格(国家資格)
 - 精神保健福祉士養成学科
精神保健福祉士受験資格(国家資格)
 - 社会福祉士養成科(夜間)
社会福祉士受験資格(国家資格)
 - 精神保健福祉士養成科(夜間)
精神保健福祉士受験資格(国家資格)
 - 音楽療法専攻科(夜間)
認定音楽療法士(補)
 - 社会福祉士養成通信課程
社会福祉士受験資格(国家資格)
 - 精神保健福祉士養成通信課程(一般・短期)
精神保健福祉士受験資格(国家資格)

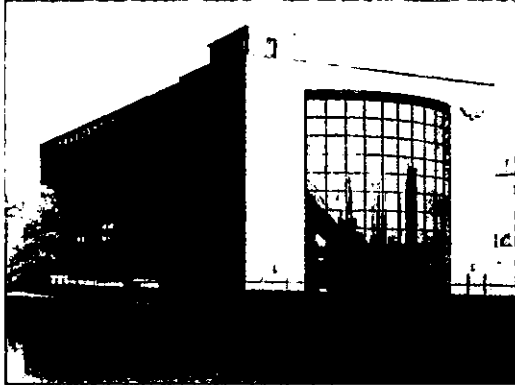
学校法人 敬心学園 **日本福祉教育専門学校**

〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-15 ☎0120-166-255

URL <http://www.nippku.ac.jp> 空メールで資料請求! nfk@kwml.jp



南海福祉専門学校



〒592-0005 大阪府高石市千代田6-12-53

☎ 0120 (294) 329

TEL 072 (262) 1094

FAX 072 (261) 7886

<http://www.kanku-city.or.jp/nansen>

(南海本線「北助松」駅下車 徒歩約10分)

設置課程・募集人員・取得資格

- 児童福祉科 (2年・男女) 100名
保育士
児童厚生指導員(選択)
保健児童ソーシャルワーカー(選択)
 - 社会福祉科 (2年・男女) 40名
社会福祉主事任用
社会福祉士受験(卒業後実務経験2年
訪問介護員2級(選択))
 - 介護福祉科 (2年・男女) 70名
介護福祉士
- *各 科 共 通……レクリエーションインストラクター(児童福祉科は選択)

入学資格

- 高校卒業の者(卒業見込みの者を含む)
- 高卒と同等以上の学力を有する者
- 社会福祉士専攻科 (1年・男女) 40名
- 社会福祉士養成通信課程(1年7ヵ月)
〔共に社会福祉士受験資格取得〕



はばたく力を育てたい



厚生労働大臣指定/介護福祉士・保育士・社会福祉主事・歯科衛生士・言語聴覚士養成校

仙台医療福祉専門学校

- 福祉系 | 介護福祉学科・保育介護福祉学科・児童福祉学科
社会福祉学科・福祉学科・介護福祉専攻学科・言語聴覚学科
- 医療系 | 医療秘書学科・医療クラーク学科
医療情報管理学科・医療福祉事務学科・医療事務学科
歯科アシスタント学科・歯科衛生学科



厚生労働大臣指定/理学療法士・作業療法士養成校

仙台医療技術専門学校

- 理学療法学科Ⅰ部・Ⅱ部
作業療法学科

HOKUTO GAKUEN

学校法人 北杜学園

〒980-0021 仙台市青葉区中央4-7-20

入学案内係

☎ 0120-200-941 通話無料

無料 FAX 0120-844-910 送信無料



URI <http://www.hokuto.ac.jp> (☎ 同じ)

✉ info@hokuto.ac.jp

ホームページには
ここからもアクセスできます ▶